

生涯学習に関する調査報告書

**平成30年度
武蔵野市教育委員会**

目 次

第1章 本調査について	1
1. 調査の趣旨	1
2. 調査概要	1
3. アンケート調査の標本誤差	2
第2章 調査結果について(概要)	3
1. 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け).....	3
2. 市民の学びに関するアンケート調査(団体向け).....	7
3. 武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査.....	9
4. ヒアリング調査	10
第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果	13
1. 学びや調べ事への関心や行動について	13
2. 生涯学習施策の評価・ニーズについて	29
3. 子どもの生涯学習について	39
4. あなた自身について	43
5. 学ぶことに対する関心・活動状況による分析	56
6. 回答者の生活状況による分析	62
7. 子どもの学習活動の状況に関する分析	69
8. 学習活動と社会関係資本の関係に関する分析	71
9. 生涯学習施策に対する評価に関する分析	73
第4章 市民の学びに関するアンケート調査(団体向け)集計結果	76
1. 団体について	76
2. 活動について	79
3. 今後の活動について	85
4. 市の施策について	88
第5章 武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査集計結果	91
1. 学びや調べ事への関心や行動について	91
2. 生涯学習施策の評価・ニーズについて	100
3. あなた自身について	106
4. 子どもの生涯学習について	110
第6章 ヒアリング調査結果	112
1. 武蔵野市民会館運営委員会	112
2. 武蔵野市文化財保護委員・歴史公文書等管理委員	113
3. 障害者団体・ボランティア団体(身体・知的・精神).....	115
第7章 調査票	117
1. 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け).....	117
2. 市民の学びに関するアンケート調査(団体向け).....	129
3. 武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査.....	137

第1章 本調査について

1. 調査の趣旨

- 武蔵野市教育委員会では現在、平成31(2019)年度に武蔵野市生涯学習計画の改定を予定しています。それに先立ち、現在の計画(平成22年度策定)の評価を行うとともに、現在の武蔵野市民の生涯学習の現状やニーズを把握するため調査を行いました。
- 調査は、市民や武蔵野市内で活動する社会教育関係団体を対象にしたアンケート調査のほか、周辺自治体に住み、過去に武蔵野市内の生涯学習施設を利用した方への調査、ならびに特定のテーマについて対象を絞ったヒアリング調査を実施しています。

2. 調査概要

(1)アンケート調査「市民の学びに関するアンケート調査」

①市民向けアンケート調査

- 対象 武蔵野市に住民登録(平成30年8月1日現在)のある18歳以上の人
- 標本数 2,500サンプル
- 調査期間 平成30年8月30日～平成30年9月12日
- 調査手法 郵送送付・郵送回収
- 回収率 791サンプル(31.6%)

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上 75歳未満	75歳以上
発送数	300	350	350	350	350	450	350
回収数	53	63	97	109	129	206	121
回収率	17.7%	18.0%	27.7%	31.1%	36.9%	45.8%	34.6%

※年齢について無回答のサンプルは除きます。

②団体向けアンケート調査

- 対象 武蔵野市に社会教育関係団体として登録している団体 200団体
- 調査期間 平成30年9月28日～平成30年10月24日
- 調査手法 郵送送付・郵送回収
- 回収率 142サンプル(71.0%)

(2)モニター調査「武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査」

- 対象 武蔵野市周辺自治体に住む16歳以上の人(過去1年間で何かを自主的に学んだか、学ぼうと思った人、かつこれまでに武蔵野市の公共施設を学習のために利用したことのあることが回答の条件となる)
- ※杉並区、練馬区、三鷹市、小金井市、小平市、国分寺市、国立市、西東京市
- 調査期間 平成30年10月5日～平成30年10月10日
- 調査手法 ウェブモニター調査
- 回収数 500サンプル

(3)ヒアリング調査

- 対象 武蔵野市民会館運営委員会、武蔵野市文化財保護委員・歴史公文書等管理委員、武蔵野市で活動する障害者団体・ボランティア団体(知的・精神・身体)
- 趣旨 武蔵野市民会館および武蔵野ふるさと歴史館の現状や今後の展望について検討するためのヒアリングを行いました。
- また、武蔵野市生涯学習計画の改定にあたって、障害者に対して生涯学習の機会提供の必要性やその在り方を検討するためのヒアリングも行いました。

3. アンケート調査の標本誤差

- ①図表内の「N」は、各設問の回答者数を示します。
- ②集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③複数回答を求めた設問では 設問に対する回答者数を分母として選択肢ごとの割合を算出しているため、回答比率の合計が100.0%を上回る場合があります。
- ④図表中の選択肢の表記は、場合によって語句を一部簡略化しています。
- ⑤クロス集計の表では分析軸となる設問で「無回答」を除いています。そのため全体のNと各項目のNの合計が一致しない場合があります。
- ⑥選択肢が多い設問のクロス集計については表で記載しています。表中の数字は割合を示しており、単位は%です。クロス集計の表については、項目ごとに上位1位・2位に網掛けをしています。なお、Nが10未満の場合は網掛けをしていません。
- ⑦標本調査を行ったため、調査結果には統計上の誤差(標本誤差)が生じることがあります。無作為抽出を用いた場合の標本誤差は、信頼度を95%にした場合は、次の計算式によって求められます。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \quad (N: \text{母集団数}, n: \text{サンプル数(有効回答数)}, p: \text{回答比率})$$

市民向けアンケート調査の誤差範囲は、Nを平成30年8月1日時点の武蔵野市の18歳以上の人口125,815人として、次のように求められます。

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
791	±2.08%	±2.78%	±3.18%	±3.40%	±3.47%

※上記の表の見方

市民意識調査において、回答者数が791人の設問の場合、回答比率が30%の選択肢の標準誤差が±3.18%となり、26.82%～33.18%の範囲にあることになります。

第2章 調査結果について(概要)

1. 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)

(1)回答者の基本属性

- 回答者は男性が37.0%、女性が60.6%です。(43ページ・図22)
- 年代は「60歳代」が17.0%で最も多く、最も少ない年代は「10歳代」で6.7%です。(43ページ・図23)
- 居住地は「吉祥寺地区」が39.7%、「中央地区」が26.4%、「武蔵境地区」が32.1%です。(44ページ・図24)
- 就労状況をみると、何らかのかたちで働いている人は52.6%です。専業主婦・主夫、学生、無職の人は41.7%です。(44ページ・図25)

(2)学びや調べ事への関心や行動について

学ぶことに対する関心

- 学ぶことや調べることに「関心のある」人は64.3%です。「どちらかというに関心がある」人も含めると93.9%になります。(13ページ・図1)
- 性別・年代にかかわらず「関心がある」人が5割を上回っています。(13ページ・表1)
- 学んだり、調べたりすることの効果としては、「趣味・教養が深まる、関心が広がる」(81.8%)が特に多く、そのほかには「生きがいや余暇の充実につながる」(57.3%)が5割を上回っています。(14ページ・図2)
- 男性では20～50歳代で、女性では20～40歳代で「日々の仕事に役立つ」が、他の年代に比べて多くなっています。(15ページ・表2)

過去1年間における学習活動

- 過去1年間で何かを「学んだことがある」人は69.4%です。「学びたかったが、できなかった」人(10.0%)を含めると、79.4%となります。(16ページ・図3)
- 男性では20～40歳代、女性では10～40歳代で「学んだことがある」人が、他の年代に比べて多くなっています。(16ページ・表3)
- 時間や経済的な余裕のない人ほど、「学んだことがある」人は少なくなっています。自由にできる時間がほとんどない人、および経済的な余裕がほとんどない人はいずれも、「学んだことがある」人が5割を下回ります。(66ページ・表50、67ページ・表54)
- 子どもの有無によって学習活動に大きな違いは見られません。(69ページ・表58)

過去1年間において何かを学んだ理由

- 過去1年間で学んだ人の理由は、「趣味・教養を深めたり、関心を広げるため」(78.7%)が特に多く、「生きがいや余暇の充実のため」(44.4%)も5割に近くなっています。(17ページ・図4)
- 上記のような個人的な理由が2～3割であるのに対して、「地域やコミュニティの活動のため」や「ボランティアやNPOの活動のため」は1割未満と少なくなっています。(17ページ・図4)
- 男性・女性ともに70歳代以上では、他の年代に比べて「仲間づくりのため」が多くなります。(18ページ・表4)

- 常勤社員・職員と自営業・自由業の人が学ぶ理由としては、「日々の仕事に役立てるため」が働いていない人や非常勤・アルバイト・パートよりも多くなっています。常勤社員・職員では、「キャリアアップや転職のため」も多くなっています。(64ページ・表46)
- 子どもの有無でみると小学生の子どもがいる人で、他に比べて「子どもに影響されたから」が多くなっています。(62ページ・表40)

過去1年間において何かを学んだ方法

- 「本を読んで」(56.5%)と「ウェブサイトで検索・閲覧して」(47.2%)を除くと、「民間の教室・講座」(35.5%)が最も多くなっています。(19ページ・図5)
- 「市主催の教室・講座」については、男性では70歳代以上で、女性では50歳代以上で多くなります。(20ページ・表5)
- 「サークルやグループなどでの活動」については、男性・女性ともに70歳代以上で多くなります。(20ページ・表5)

過去1年間において学んだことの活用方法等

- 学習活動をきっかけとしたコミュニケーションの状況をみると、「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」人は63.4%です。「家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた」人は17.3%です。(23ページ・図8)
- 学んだことの活用方法をみると、「仕事や家事などに役立てた」人が38.4%います。特に男性の30～50歳代、女性の20～50歳代で他の年代に比べて多くなっています。(23ページ・表8)
- 一方、「地域やコミュニティの活動に役立てた」人は全体でみると1割未満です。男性の70歳代以上、女性の50歳代と70歳代以上ではやや多くなっています。(23ページ・表8)

過去1年間において学ばなかった理由

- 全体では、「仕事や家事が忙しくて時間がない」(53.4%)が最も多くなっています。特に常勤社員・職員で多くなっています。(24ページ・図9)

学ぶことに対する関心や学習活動によるグループ分け

- 学ぶことに対する関心や過去1年間での学習活動の有無、今後も学び続けるかどうかを組み合わせると、回答者を次のようにグループ化できます。(56ページ・図32・33)

グループ	無関心層	関心層		行動層	
			行動準備層		行動継続層
割合	5.4%	15.8%	9.9%	4.9%	60.9%
		25.7%		67.6%	

- 行動層(学ぶことに関心があり、かつ過去1年間で学習活動をした人)は67.6%で、さらに学び続けたいと思っている人(行動継続層)は60.9%です。何かを学んだ人のほとんどが学び続けたいと思っていることが分かります。(57ページ・図32・33)
- 関心層(学ぶことに関心があるが、過去1年間で学習活動をしていない人)は25.7%で、活動しようという意向を持っている人(行動準備層)は9.9%となっています。(57ページ・図32・33)

関心・行動の階層による分析

- 過去1年間で学ばなかった理由をみると、無関心層では「特に必要に迫られなかった」が最も多く、関心層では「仕事や家事が忙しくて時間がない」が最も多くなっています。(58ページ・表28)
- 行動準備層では、関心層に比べて「仕事や家事が忙しくて時間がない」が多く、また「費用がかかる」も比較的多くなっています。58ページ・表29)
- 学ぶようになるきっかけについては、無関心層では「本人の意志や意欲による」が最も多く、ついで「仕事や家庭で必要に迫られる」が続いており、個人の動機によると考えられています。(58ページ・表30)
- 一方、関心層においては「あまり費用がかからずにできる」が最も多く、「学び、調べるための場所が身近にある」が続きます。これは行動層と同様の傾向であり、気軽さや身近さが求められていると考えられます。(58ページ・表30)
- また、行動層・関心層ともに「魅力のある教室や講座を知る」が多くなっていることから、情報がきっかけになると考えられます。(58ページ・表30)

(3)市の生涯学習施策の評価

- 現在の武蔵野市生涯学習計画における6つの目標について評価するため、それら目標の実現につながる事柄を実感するかどうか尋ねたところ、以下の結果となりました。(29ページ・図12)

項目	実感している人	どちらかという 実感している人	合計
①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している	15.0%	41.5%	56.5%
②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している	11.0%	33.0%	44.0%
③地域のコミュニティの活動に参画するきっかけが豊かである	4.6%	25.0%	29.6%
④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている	4.6%	21.6%	26.2%
⑤学びや地域・コミュニティのための活動のための施設が充実している	10.9%	33.2%	44.1%
⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している	6.1%	27.4%	33.5%

- 項目⑥「将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している」については、中学生以下の子どもを持つ人に限ると、「実感している」人は8.0%、「どちらかという実感している」人は38.7%となり、全体よりも多くなります。(75ページ・表74)
- 項目①・②・⑤・⑥の機会提供や環境整備については5割程度の人(項目⑥は中学生以下の子どもを持つ人)が実感しています。(29ページ・図12)
- 一方、コミュニティにかかわる項目③・④については、それほど実感されていない状況です。(29ページ・図12)

(4)生涯学習のイメージや市に求める取組等

生涯学習のイメージ

- 「生活を楽しむ、心を豊かにすること」(65.4%)、「子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと」(59.4%)、「生きがいを充実すること」(56.3%)、「趣味・教養を深めること」(55.5%)が5割を上回っています。(32ページ・図13)
- リカレント教育や学び直しにつながる「職業上必要な知識・技能を身につけること」は8.5%です。「人と交流し、地域とかかわること」は27.6%となっており、いずれも実際の学習活動とは違ったイメージとなっています。(32ページ・図13)

生涯学習の機会を市が提供する際に重視すること

- 市が生涯学習の機会を提供する際に重視することとしては、「市民の関心やニーズに応える」(54.4%)が最も多くなっていますが、その他の選択肢はいずれも3～4割となっています。(34ページ・図14)
- 学びに対する関心や学習活動の有無でみると、関心層においては「大人の学び直し」が多くなっています。(59ページ・表33)
- 「大人の学び直し」について就労状況でみると、常勤社員・職員などの働いている人で多くなっているほか、専業主婦・主夫でも同じ程度に多くなっています。(65ページ・表49)
- 中学生以下の子どもがいる人では「子どもが様々なことを経験できる」が最も多くなっています。子どもの年齢別にみると、小学生以下の子どもがいる人で特に多くなっています。(63ページ・表43)
- 高齢者にとっての学習機会としては、当事者となる50歳代以上では、「高齢者向けの教室・講座を増やす」、「気軽に立ち寄れる居場所を充実させる」、「図書館等の市の施設に通いやすくする」が多くなっています。(35ページ・表19)

生涯学習の機会提供がまちにもたらす効果

- 生涯学習の機会提供がまちにもたらす効果としては、「充実した生活を送る人が増える」(65.4%)が最も多く、「地域における人と人のつながりが生まれる」(59.3%)も5割を上回っています。(37ページ・図16)
- 無関心層においては、「特に効果がない」と思う人が20.9%であるものの、「充実した生活を送る人が増える」と「地域における人と人のつながりが生まれる」はそれよりも多くなっています。関心層、行動層においても同様の効果が認識されています。(60ページ・表34)
- 人のつながりがもたらす効果については、学びに対する関心や学習活動の有無にかかわらず、「地域で助け合う関係が生まれる」が最も多くなっています。(60ページ・表35)

学習活動と社会関係資本

- 過去1年間に地域や学校の行事等に「参加した」人は42.0%です。「参加したかったが、できなかった」人(7.6%)を含めると49.6%となります。(48ページ・図29)
- 市内に住む人たちと何らかのつながりのある人は61.5%です。一方、「つながりのある人がいない」人は36.0%います。(49ページ・図30)
- 市内における人とのつながりの有無を性別・年代別にみると、男性の10～60歳代、女性の10～40歳代では、4～7割の人がつながりがありません。(50ページ・表26)

- 男性については、70歳代以上になると「近所に住む人たちと親しくしている」人が4割弱、「同じ趣味や関心事を持つ人がある」人が3割前後となります。(50ページ・表26)
- 女性については、50～70歳代で「食事に行ったり、遊んだりする気の合う人いる」人が3～4割、70歳代では「同じ趣味や関心事を持つ人がある」が5割程度となります。(50ページ・表26)
- 男性に比べて、女性の方が、「同じサークルやグループで活動している人がある」が多くなり、特に女性の60歳代以上で多くなっています。(50ページ・表26)
- 関心・行動の階層でみると、行動している人ほど、地域活動に参加しており、かつ市内での人のつながりがある人が多くなります。(71ページ・表63・64)
- また、仲間づくりや地域活動やボランティア活動などのために学習活動を行った人では、「同じ趣味や関心事を持つ人がある」が5割を上回っています。(72ページ・表67)

(5)子どもの学習活動

- 子どもの年齢で学習活動をみると、乳幼児(0～2歳)では、他の年齢に比べて「活動している」子どもは少なくなります。それ以外の年齢では、6～8割の子どもが何らかの生涯学習活動を行っています。(69ページ・表59)
- 学習活動をしていない理由をみると、「子どもが関心を示さないから」(28.9%)が最も多くなっています。「保護者が仕事で忙しくて時間がないから」、「どのように活動させてよいか分からないから」(いずれも15.8%)、「保護者が家事・育児で忙しくて時間がないから」(13.2%)も多いです。(40ページ・図19)
- 保護者の状況と子どもの学習活動の関係をみると、保護者が学習活動をしていると、子どもも活動していることが分かります。(70ページ・表60)
- 保護者に時間や経済的な余裕のない場合には、活動している子どもは少なくなります。(70ページ・表61・62)

2. 市民の学びに関するアンケート調査(団体向け)

(1)回答した団体の基本属性

- 回答した団体は39.4%が「20年以上」活動しています。(76ページ・図34)
- 団体の会員で最も多い年代について、「70歳代」と回答した団体は33.8%、「60歳代」と回答した団体は31.7%となっています。(76ページ・図35)
- 団体の規模は、「10名以上、20名未満」(36.6%)が最も多くなっています。団体のうち7割が30人未満の規模です。(77ページ・図36)
- 団体の活動テーマとしては、「スポーツ」(25.4%)と「文化・芸術活動(音楽、茶道、舞踏などの活動)」(23.9%)が多くなっています。(77ページ・図37)

(2)活動実態や課題等

活動内容

- 活動内容としては、「会員どうしの交流・懇親や情報交換」(47.2%)で最も多く、そのほか「技術習得・向上のための練習稽古」(35.9%)、「外部講師を呼んでの学習」(34.5%)も多くなっています。

(78ページ・図38)

○活動目的をみると、「趣味を豊かにするため」(26.1%)が最も多く、「健康・体力づくりのため」(19.7%)、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」(19.0%)も多くなっています。(82ページ・図45)

○日常的な活動で用いられている場所としては、「市内のコミュニティセンター」(45.8%)が最も多く、「市民会館」(29.6%)、「市内小中学校」(23.9%)も多くなっています。(80ページ・図41)

○イベント的な活動で用いられている場所としては、「市内のコミュニティセンター」(21.8%)と「その他、市内の文化施設(市民文化会館・公会堂・美術館など)」(21.1%)が多くなっています。(81ページ・図44)

学習した成果の活用方法

○学習した成果の活用方法としては、「会員の人生をより豊かにしている」(73.2%)が最も多く、「会員の健康維持・増進に役立てている」(49.3%)も多くなっている。(83ページ・図46)

活動を行う上での課題

○活動を行う上での課題としては、「新たな会員等の確保が難しい」(47.2%)が最も多く、「リーダーや役員のなり手がいない」(29.6%)、「適当な活動場所を確保しづらい」(28.9%)も多くなっています。(84ページ・図47)

地域他団体との交流状況

○地域の他の団体と何らかの交流がある団体は50.0%です。(85ページ・図49)

○具体的な交流内容としては、「イベント等を一緒におこなうなどの交流がある」(31.0%)、「イベント等のお知らせをするなどの交流がある」(22.5%)が多くなっています。(85ページ・図49)

(3)今後の活動に対する展望

活動内容を広げたい団体

○団体の活動内容を広げたいと思う団体は40.1%です。(85ページ・図48)

地域他団体と協働したい団体

○地域の他の団体と協働した活動をしたいと思う団体は74.7%です。(86ページ・図50)

○具体的な協働の内容をみると、「お互いの交流や仲間づくり」(41.5%)が最も多く、「イベント当日に参加協力する」(23.9%)も多くなっています。(86ページ・図50)

市と協働したい団体

○市と協働した活動をしたいと思う団体は71.9%です。(87ページ・図51)

○具体的な活動内容としては、「交流や仲間づくりのための場をもつ」(31.0%)、「イベント当日に参加協力する」(28.2%)、「広報・PRの協力をする」(22.5%)が多くなっています。(87ページ・図51)

(4)市の取組の利用状況や必要とされる取組

社会教育関係団体の支援事業の利用状況

- 「市のホームページやサークルガイド(冊子)による団体紹介」は5割以上の団体が利用しています。そのほか、「市民会館施設使用時の使用料の減免」(44.4%)、「社会教育学習のための借上バスの補助金」(34.5%)も多く利用されています。(88ページ・図53)
- 「社会教育事業への後援(名義使用の承認)」、「社会教育事業への講師謝礼の援助」、「学校施設使用時の使用料の減免」については3割程度の団体が「知らない」と回答しています。(88ページ・図53)
- 団体が利用したいと思う支援施策は、「市民会館施設使用時の使用料の減免」(45.1%)が最も多くなっています。(89ページ・図54)
- 「社会教育事業への講師謝礼の援助」については、利用したことのある団体に対して利用したいと思う団体が多くなっています。(88ページ・図53、89ページ・図54)

活動する上で必要な情報

- 活動を進めていく上で必要な情報としては、「施設の利用に関する情報」(51.4%)が最も多く、「武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報」(43.0%)も多くなっています。(87ページ・図52)

生涯学習を活発にするための取組

- 生涯学習を活発にするために必要な取組としては、「団体の活動に関する広報・PR」(40.1%)が最も多く、「生涯学習に関する情報提供の充実」(34.5%)、「市がおこなう催しの企画・運営への参加の促進」(24.6%)も多くなっています。(89ページ・図55)

3. 武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査

※ここでは武蔵野市に関する内容のみまとめます。

(1)武蔵野市の施設の利用状況

- これまでに学習活動のために利用したことのある施設としては、「武蔵野市立図書館」(61.4%)が最も多く、「武蔵野プレイス」(40.2%)も多くなっています。(92ページ・図58)
- 過去1年間における利用状況についても、「武蔵野市立図書館」(39.2%)、「武蔵野プレイス」(27.3%)が多くなっています。いずれかの施設を利用した人は68.3%です。(92ページ・図59)
- 市外在住者が武蔵野市の施設を利用した理由としては、「自宅や職場、学校からアクセスしやすいから」(62.2%)が最も多く、「居心地のよいスペースがあるから」(38.2%)、「学ぶために適当なスペースがあるから」(36.2%)も多くなっています。(93ページ・図60)

(2)市の生涯学習施策の評価

○現在の武蔵野市生涯学習計画における6つの目標について評価するため、それら目標の実現につながる事柄を実感するかどうか尋ねたところ、以下の結果となりました。(100ページ・図73)

項目	実感している人	どちらかというと実感している人	合計
①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している	21.2%	41.0%	62.2%
②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している	14.0%	39.0%	53.0%
③地域のコミュニティの活動に参画するきっかけが豊かである	11.2%	33.4%	44.6%
④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている	11.0%	32.2%	43.2%
⑤学びや地域・コミュニティのための活動のための施設が充実している	17.4%	37.8%	55.2%
⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している	12.0%	32.4%	44.4%

○市民アンケート調査と比べると、コミュニティに関する項目③・④について、市外在住者の方が実感していることが分かります。(101ページ・図74)

○生涯学習等の施設について充実していると思われる施設は、「武蔵野市立図書館」(51.4%)と「武蔵野プレイス」(43.6%)が多くなっています。(105ページ・図81)

4. ヒアリング調査

(1)武蔵野市民会館運営委員会

団体による利用状況

○学習活動を行う団体にとっては開館時間が長いことから利便性が高く、よく利用されている状況です。

○ただし、より幅広い団体が利用されることが望まれています。また、市民に広く認知されていないことが課題視されています。

今後の施設のあり方

○運営委員会が考える今後の施設のあり方としては、生涯学習のための施設として、独自に学習機会を提供していくことが望まれています。

○学習機会の提供に際しては、館内に設置されている男女平等推進センターや、近隣の武蔵野ふるさと歴史館、武蔵野プレイスと連携することが期待されています。

○ただ、施設利用を希望する団体が多いなかで自主事業に施設を利用することや、学習機会を企画・運営するための組織について懸念が示されました。

(2)武蔵野市文化財保護委員・歴史公文書等管理委員

現状と評価

- 文化財保護委員・歴史公文書等管理委員からみて、武蔵野ふるさと歴史館の展示やイベントの企画については評価を得ており、文化財の公開・発信については十分に取り組んでいるという認識でした。
- 展示スペースの面積が十分でないこと、また業務内容に対して人員体制が十分でないことが懸念されていました。

運営上の課題

- 人員体制を充実させるため、専門知識を持った学芸員を専任で雇用し、事業企画や文化財の収集・保存の核をつくっていく必要性が指摘されました。
- 武蔵野ふるさと歴史館独自の運営委員会を設置するとよいという意見がありました。委員構成は、専門的になりすぎないように公募の市民が参画できるようにすることが望まれていました。

今後の展望

- 文化財保護法も改正され、保存から活用に展開する動きがあるため、武蔵野市としてもその動向を捉えて取組をしていくとよいという意見がありました。
- 高齢者向けの学び直しの機会を充実させるとともに、大学と連携して若い年代との連携や、子どもを対象とした事業を通じて地域への愛着を育んでいくことも求められていました。

文化財について

- 市内には江戸時代から戦前・戦中における貴重な文化財も残っているため、東京都と連携して保存することも視野に入れる必要があるという指摘がありました。
- ただ、文化財を保存しようとする市が拠出する費用も少なくないことから、市民に理解を促していく必要性が指摘されていました。

(3)障害者団体・ボランティア団体(身体・知的・精神)

生涯学習の取組状況

- 身体障害者の団体からは、精神的な障壁はあるものの、障害があることによって生涯学習の教室や講座などに参加ができなくなることは少ないという意見がありました。
- 特にパラリンピックの開催に向けてスポーツの機会が増えていることが評価されていました。
- 一方、知的障害者・精神障害者の各支援団体からは、広く参加者を募る学習機会に、健常者とともに参加することは難しいという認識が示されました。

生涯学習に取り組む上での課題

- 身体障害者の団体からは、健常者と一緒に参加する上で、機会を提供する施設や事業者に対して、障害者が参加することに対する意識や、必要な知識、適切な対応が求められていました。
- 知的障害者の支援団体からは、知的障害者向けの機会が提供されることが望まれていました。さらに知的障害の程度によって活動できる内容も変わってくることから、障害の程度に応じて細かく対応されていると参加しやすくなるという意見がありました。

- 精神障害者の支援団体からは、障害の性質上、外出することが困難である場合があることを考慮した参加のあり方を検討する必要があると指摘されていました。
- 知的障害者・精神障害者の各支援団体ともに、障害に対する知識があり、適切な対応ができる人材を、機会提供の場に配置することが求められていました。

生涯学習に対するニーズ

- 身体障害者の団体からは、障害に応じた機会提供よりも、既存の機会に参加しやすいよう人材の配置などの配慮が求められていました。
- 知的障害者の支援団体からは、障害の程度に応じて参加できる機会が求められたとともに、音楽や創作活動などの機会であれば参加しやすいだろうという意見がありました。
- 精神障害者の支援団体からは、ケアの一環としてスポーツなどの機会があるとよいという意見もありましたが、参加へのハードルを下げる工夫の必要性が指摘されました。また、広く参加者を募る機会への参加は難しい場合があることから、個別の機会が求められていました。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

1. 学びや調べ事への関心や行動について

問1 あなたは、何かを学ぶことや、調べることなどに関心がありますか。(○は1つ)

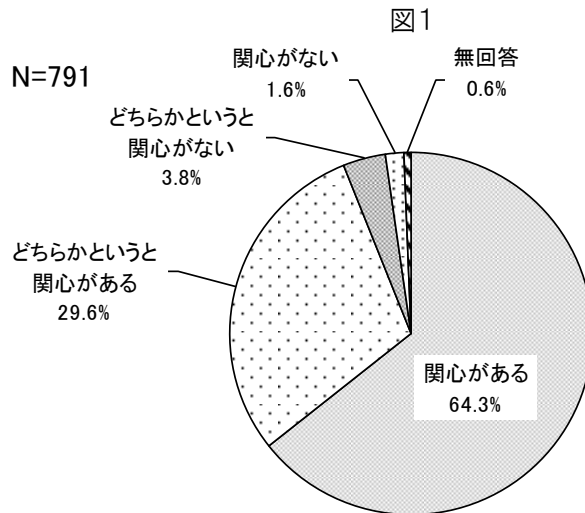


図1

○「関心がある」が64.3%で最も多く、ついで「どちらかというに関心がある」が29.6%、「どちらかというに関心がない」が3.8%で続きます。

○何かを学ぶことや、調べることなどに関心のある人(「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計)は93.9%です。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問1)

【男性】

	合計	関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない	無回答
全体	(N=293)	66.6	25.6	5.5	2.0	0.3
10歳代	(N=21)	52.4	33.3	9.5	4.8	0.0
20歳代	(N=17)	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	73.3	20.0	6.7	0.0	0.0
40歳代	(N=39)	71.8	23.1	5.1	0.0	0.0
50歳代	(N=53)	64.2	30.2	1.9	3.8	0.0
60歳代	(N=55)	69.1	25.5	5.5	0.0	0.0
70歳代	(N=46)	65.2	26.1	8.7	0.0	0.0
80歳以上	(N=32)	62.5	21.9	3.1	9.4	3.1

【女性】

	合計	関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない	無回答
全体	(N=477)	62.3	32.9	2.9	1.3	0.6
10歳代	(N=32)	50.0	40.6	9.4	0.0	0.0
20歳代	(N=46)	60.9	34.8	4.3	0.0	0.0
30歳代	(N=65)	60.0	30.8	4.6	3.1	1.5
40歳代	(N=70)	67.1	32.9	0.0	0.0	0.0
50歳代	(N=72)	59.7	40.3	0.0	0.0	0.0
60歳代	(N=78)	70.5	25.6	2.6	1.3	0.0
70歳代	(N=79)	65.8	26.6	3.8	2.5	1.3
80歳以上	(N=35)	48.6	42.9	2.9	2.9	2.9

表1

○性別・年代にかかわらず、「関心がある」が最も多くなっています。

問2 あなたにとって、何かを学んだり、調べたりすることの効果は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

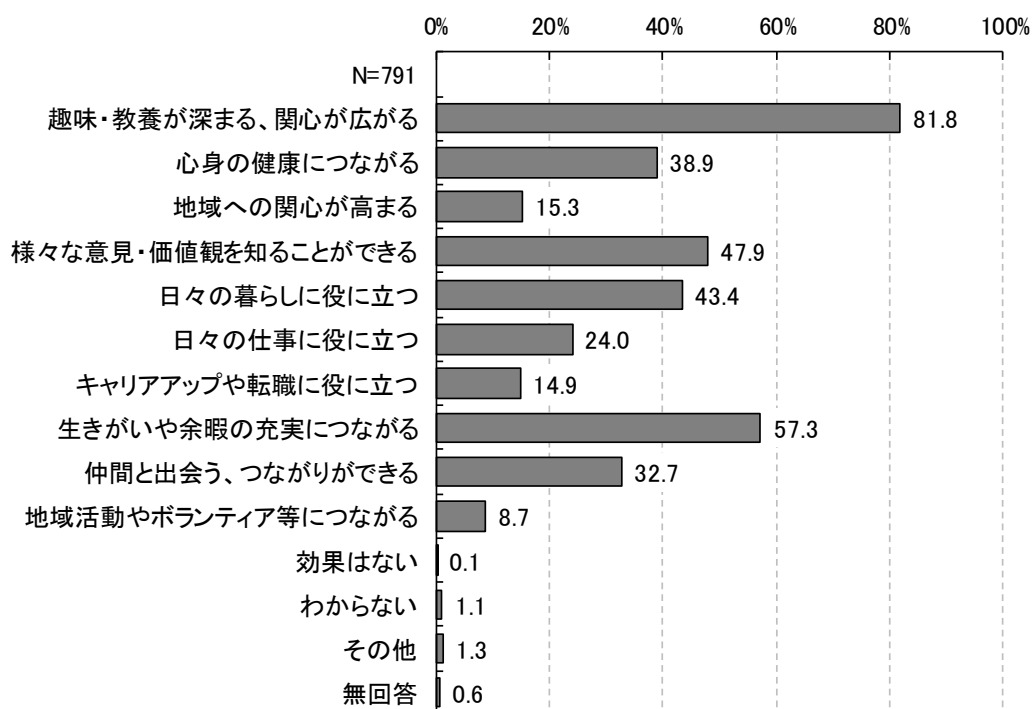


図2

○「趣味・教養が深まる、関心が広がる」が81.8%で最も多く、ついで「生きがいや余暇の充実につながる」が57.3%、「様々な意見・価値観を知ることができる」が47.9%で続きます。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問2)

【男性】

	合計	趣味・教養が深まる、関心が広がる	心身の健康につながる	地域への関心が高まる	様々な意見・価値観を知ることができる	日々の暮らしに役に立つ	日々の仕事に役に立つ	キャリアアップや転職に役に立つ	生きがいや余暇の充実につながる	仲間と出会う、つながりができる
全体	(N=293)	78.8	28.0	18.8	47.8	34.5	27.0	13.7	54.6	23.5
10歳代	(N=21)	81.0	4.8	4.8	42.9	47.6	14.3	23.8	33.3	28.6
20歳代	(N=17)	82.4	5.9	11.8	76.5	52.9	52.9	23.5	52.9	23.5
30歳代	(N=30)	90.0	23.3	13.3	50.0	40.0	43.3	20.0	46.7	16.7
40歳代	(N=39)	89.7	33.3	30.8	53.8	33.3	48.7	25.6	51.3	15.4
50歳代	(N=53)	81.1	32.1	11.3	45.3	37.7	43.4	22.6	60.4	13.2
60歳代	(N=55)	74.5	29.1	21.8	40.0	32.7	18.2	3.6	54.5	20.0
70歳代	(N=46)	73.9	34.8	28.3	56.5	28.3	4.3	2.2	63.0	41.3
80歳以上	(N=32)	62.5	34.4	15.6	31.3	18.8	0.0	0.0	59.4	34.4

	合計	地域活動やボランティア等につながる	効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=293)	10.2	0.3	1.4	1.4	0.3
10歳代	(N=21)	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0
20歳代	(N=17)	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	(N=39)	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	(N=53)	7.5	0.0	3.8	0.0	0.0
60歳代	(N=55)	12.7	0.0	1.8	1.8	0.0
70歳代	(N=46)	19.6	0.0	2.2	0.0	0.0
80歳以上	(N=32)	6.3	3.1	0.0	6.3	3.1

【女性】

	合計	趣味・教養が深まる、関心が広がる	心身の健康につながる	地域への関心が高まる	様々な意見・価値観を知ることができる	日々の暮らしに役に立つ	日々の仕事に役に立つ	キャリアアップや転職に役に立つ	生きがいや余暇の充実につながる	仲間と出会う、つながりができる
全体	(N=477)	83.9	45.1	13.4	48.2	48.6	22.0	15.3	58.9	38.6
10歳代	(N=32)	96.9	15.6	3.1	50.0	50.0	12.5	12.5	31.3	28.1
20歳代	(N=46)	95.7	23.9	6.5	54.3	56.5	47.8	43.5	56.5	41.3
30歳代	(N=65)	93.8	33.8	15.4	46.2	52.3	33.8	32.3	61.5	30.8
40歳代	(N=70)	87.1	50.0	7.1	50.0	57.1	37.1	17.1	58.6	31.4
50歳代	(N=72)	90.3	50.0	11.1	56.9	51.4	16.7	13.9	62.9	50.0
60歳代	(N=78)	78.2	47.4	15.4	46.2	48.7	15.4	5.1	61.5	37.2
70歳代	(N=79)	74.7	63.3	20.3	43.0	35.4	7.6	2.5	63.3	41.8
80歳以上	(N=35)	51.4	54.3	25.7	37.1	37.1	2.9	0.0	60.0	45.7

	合計	地域活動やボランティア等につながる	効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=477)	7.8	0.0	1.0	1.3	0.4
10歳代	(N=32)	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	(N=46)	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=65)	9.2	0.0	3.1	1.5	0.0
40歳代	(N=70)	4.3	0.0	1.4	0.0	0.0
50歳代	(N=72)	11.1	0.0	0.0	1.4	0.0
60歳代	(N=78)	7.7	0.0	1.3	3.8	0.0
70歳代	(N=79)	8.9	0.0	0.0	1.3	1.3
80歳以上	(N=35)	11.4	0.0	2.9	0.0	2.9

表2

○女性の80歳以上を除くと、いずれも「趣味・教養が深まる、関心が広がる」が最も多くなっています。

○男性では10～30歳代で、女性では10～20歳代で、他の年代に比べて「日々の暮らしに役に立つ」が多くなっています。

○男性では20～50歳代で、女性では20～40歳代で、他の年代に比べて「日々の仕事に役に立つ」が多くなっています。

○女性の70歳代・80歳以上は「心身の健康につながる」が多くなっているのに対して、男性の同年代はそれほど多くありません。

問3 あなたは、過去1年間において、学校や勤務先以外で何かを自主的に学んだことはありますか。(○は1つ)

(例:読書やウェブサイトの検索・閲覧、習い事、教室・講座への参加など。)

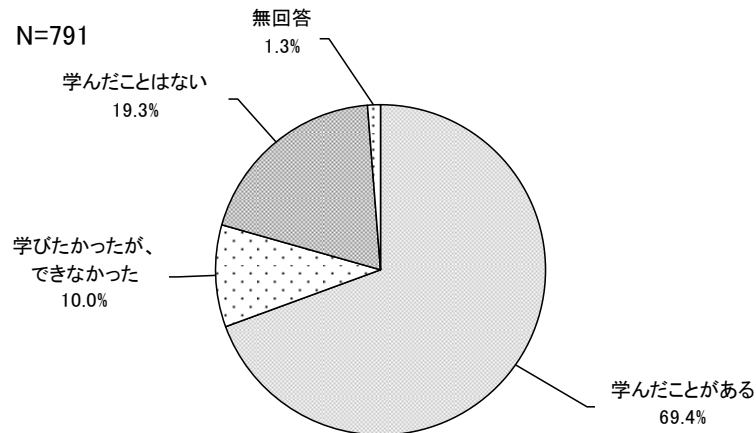


図3

○「学んだことがある」が69.4%で最も多く、ついで「学んだことはない」が19.3%、「学びたかったが、できなかった」が10.0%で続きます。

○過去1年間に実際に何かを学ばなかった人(「学びたかったが、できなかった」と「学んだことはない」の合計)は29.3%です。

■学習活動の有無に関する平成20年度調査との比較(参考)

○平成20年度調査では、現在学んでいることについて尋ねたところ、学んでいない人は48.7%でした。(同調査では読書による学習を含めず、意向の有無も加味されていません。)

○今回は、後述の学んだ方法を尋ねる問5の結果を用いて、読書のみで学んだ人を平成20年度調査にならって学ばなかった人と捉えると、過去1年間で学ばなかった人は33.0%となります。

※インターネットを利用した学習方法の捉え方が異なることと、調査時点での行動と過去も含めた行動の違いもあることから、参考比較となります。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問3)

【男性】

	合計	学んだことがある	学びたかったが、できなかった	学んだことはない	無回答
全体	(N=293)	65.9	7.2	25.9	1.0
10歳代	(N=21)	47.6	9.5	42.9	0.0
20歳代	(N=17)	82.4	0.0	17.6	0.0
30歳代	(N=30)	80.0	6.7	13.3	0.0
40歳代	(N=39)	82.1	2.6	15.4	0.0
50歳代	(N=53)	64.2	11.3	24.5	0.0
60歳代	(N=55)	58.2	9.1	32.7	0.0
70歳代	(N=46)	60.9	8.7	26.1	4.3
80歳以上	(N=32)	59.4	3.1	34.4	3.1

【女性】

	合計	学んだことがある	学びたかったが、できなかった	学んだことはない	無回答
全体	(N=477)	70.9	12.2	15.9	1.0
10歳代	(N=32)	75.0	18.8	6.3	0.0
20歳代	(N=46)	78.3	10.9	10.9	0.0
30歳代	(N=65)	76.9	10.8	12.3	0.0
40歳代	(N=70)	74.3	12.9	12.9	0.0
50歳代	(N=72)	66.7	16.7	15.3	1.4
60歳代	(N=78)	71.8	9.0	17.9	1.3
70歳代	(N=79)	63.3	8.9	25.3	2.5
80歳以上	(N=35)	62.9	14.3	20.0	2.9

表3

○性別・年代にかかわらず、「学んだことがある」が最も多くなっています。

○男性では20～40歳代が、女性では10～40歳代が、他の年代に比べて「学んだことがある」が多くなっています。

問4 問3で「学んだことがある」を選択した549人が回答しています。
あなたが何かを学んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

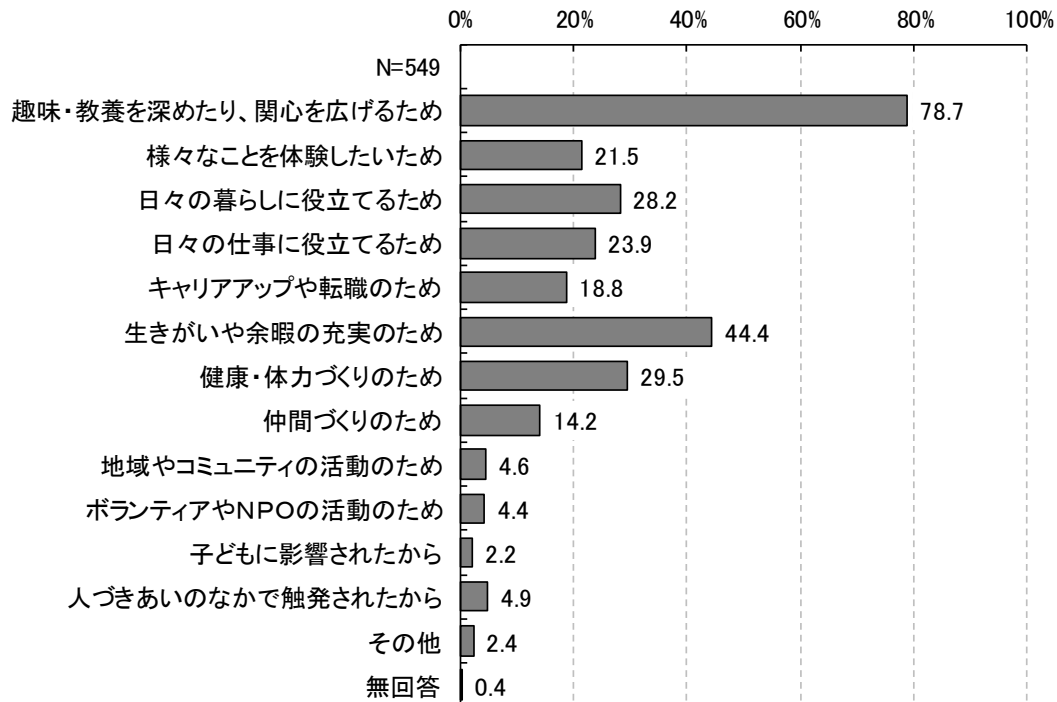


図4

○「趣味・教養を深めたり、関心を広げるため」が78.7%で最も多く、ついで「生きがいや余暇の充実のため」が44.4%、「健康・体力づくりのため」が29.5%で続きます。

■学習活動の理由に関する平成20年度調査との比較(参考)

○平成20年度調査では、「趣味を豊かにするため」が46.8%で最も多く、ついで「健康・体力づくりのため」が40.1%、「日常生活や人生を有意義にするため」が39.8%で続きます。

○リカレント教育の観点から比較すると、平成20年度調査では「現在の仕事や将来の就職等に役立てるため」が15.5%であったのに対して、今回の調査では「日々の仕事に役立てるため」が23.9%、「キャリアアップや転職のため」が18.8%となっています。

○後述の問5を用いて読書によって学んでいる人(29人)や学び方が分からない人(5人)を学んだことのある人から除いて集計すると、「日々の仕事に役立てるため」が15.4%、「キャリアアップや転職のため」が12.1%となり、概ね前回調査と同様の割合となります。

○地域での活動にかかわる項目については、平成20年度調査も今回同様に1割未満となっています。(平成20年度調査では「地域を良くするため」と尋ねられています。)

※平成20年度調査において生涯学習の行動を尋ねる設問の選択肢では、インターネットを利用した学びはオンライン講座に限定されていますが、今回の調査ではオンライン講座に限定していません。そのため参考比較となります。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問4)

【男性】

	合計	趣味・教 養を深め たり、関 心を広げ るため	様々なこ とを体験 したいた め	日々の暮 らしに役 立てるた め	日々の仕 事に役立 てるため	キャリア アップや 転職のた め	生きがい や余暇の 充実のた め	健康・体 力づくり のため	仲間づく りのため	地域やコ ミュニティ の活動の ため
全体	(N=193)	82.9	18.1	21.2	31.1	21.2	43.5	20.2	9.3	4.7
10歳代	(N=10)	90.0	20.0	30.0	0.0	0.0	50.0	20.0	0.0	0.0
20歳代	(N=14)	92.9	42.9	21.4	28.6	28.6	42.9	7.1	7.1	7.1
30歳代	(N=24)	79.2	8.3	25.0	58.3	33.3	20.8	12.5	4.2	0.0
40歳代	(N=32)	87.5	21.9	18.8	46.9	31.3	28.1	18.8	0.0	3.1
50歳代	(N=34)	73.5	5.9	29.4	50.0	38.2	32.4	17.6	2.9	0.0
60歳代	(N=32)	84.4	34.4	18.8	31.3	12.5	50.0	21.9	9.4	0.0
70歳代	(N=28)	89.3	14.3	17.9	0.0	7.1	64.3	32.1	21.4	17.9
80歳以上	(N=19)	73.7	5.3	10.5	0.0	0.0	73.7	26.3	31.6	10.5

	合計	ボランティ アやNPO の活動の ため	子どもに 影響され たから	人づきあ いのなか で触発さ れたから	その他	無回答
全体	(N=193)	4.7	1.0	4.1	1.6	0.5
10歳代	(N=10)	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
20歳代	(N=14)	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
30歳代	(N=24)	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0
40歳代	(N=32)	0.0	6.3	3.1	0.0	0.0
50歳代	(N=34)	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	(N=32)	9.4	0.0	3.1	0.0	0.0
70歳代	(N=28)	10.7	0.0	7.1	3.6	3.6
80歳以上	(N=19)	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0

【女性】

	合計	趣味・教 養を深め たり、関 心を広げ るため	様々なこ とを体験 したいた め	日々の暮 らしに役 立てるた め	日々の仕 事に役立 てるため	キャリア アップや 転職のた め	生きがい や余暇の 充実のた め	健康・体 力づくり のため	仲間づく りのため	地域やコ ミュニティ の活動の ため
全体	(N=338)	76.9	23.4	31.7	20.1	17.8	45.0	33.4	16.9	3.8
10歳代	(N=24)	79.2	25.0	25.0	4.2	16.7	25.0	8.3	16.7	4.2
20歳代	(N=36)	77.8	27.8	44.4	27.8	38.9	30.6	11.1	8.3	0.0
30歳代	(N=50)	72.0	18.0	28.0	28.0	42.0	30.0	20.0	8.0	2.0
40歳代	(N=52)	82.7	26.9	40.4	30.8	26.9	42.3	26.9	7.7	1.9
50歳代	(N=48)	79.2	29.2	29.2	25.0	10.4	47.9	37.5	10.4	8.3
60歳代	(N=56)	75.0	16.1	19.6	17.9	3.6	55.4	51.8	16.1	0.0
70歳代	(N=50)	76.0	32.0	36.0	10.0	0.0	60.0	52.0	38.0	8.0
80歳以上	(N=22)	72.7	4.5	31.8	0.0	0.0	63.6	45.5	40.9	9.1

	合計	ボランティ アやNPO の活動の ため	子どもに 影響され たから	人づきあ いのなか で触発さ れたから	その他	無回答
全体	(N=338)	4.4	3.0	5.6	2.4	0.3
10歳代	(N=24)	4.2	0.0	12.5	4.2	0.0
20歳代	(N=36)	0.0	0.0	5.6	2.8	0.0
30歳代	(N=50)	6.0	8.0	6.0	2.0	0.0
40歳代	(N=52)	0.0	7.7	1.9	3.8	0.0
50歳代	(N=48)	8.3	2.1	4.2	2.1	0.0
60歳代	(N=56)	7.1	1.8	5.4	1.8	0.0
70歳代	(N=50)	6.0	0.0	6.0	2.0	0.0
80歳以上	(N=22)	0.0	0.0	9.1	0.0	4.5

表4

○性別・年代にかかわらず、「趣味・教養を深めたり、関心を広げるため」が最も多くなっています。

○男性では、20歳代で「様々なことを体験したいため」が、30～50歳代で「日々の仕事に役立てるため」が多くなっています。70歳代以上では「仲間づくりのため」も多くなっています。

○女性では、20歳代では「日々の暮らしに役立てるため」が、30歳代では「キャリアアップや転職のため」が多くなっています。

問5 問3で「学んだことがある」を選択した549人が回答しています。
あなたは、どのように学びましたか。(〇はいくつでも)

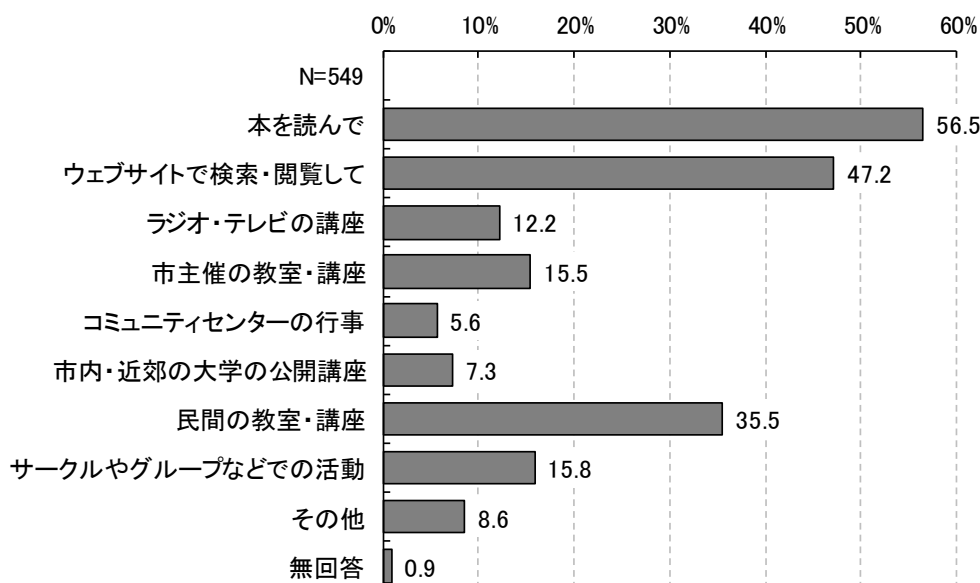


図5

○「本を読んで」が56.5%で最も多く、ついで「ウェブサイトで検索・閲覧して」が47.2%、「民間の教室・講座」が35.5%で続きます。

○何らかの教室・講座に参加した人(「市主催の教室・講座」、「コミュニティセンターの行事」、「市内・近郊の大学の公開講座」、「民間の教室・講座」のいずれかを選択した人)は40.3%です。

■学習方法に関する平成20年度調査との比較(参考)

○平成20年度調査では、「武蔵野市がおこなう講座や教室」は9.8%、「コミュニティセンターでの趣味や学習の講座」が9.5%でした。

○上記の調査結果を、学ばなかった人等も含めた母数(791人)で算出しなおすと、「市主催の教室・講座」は10.7%、「コミュニティセンターでの行事」は3.9%となります。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問5)

【男性】

	合計	本を読んで	ウェブサイトで検索・閲覧して	ラジオ・テレビの講座	市主催の教室・講座	コミュニティセンターの行事	市内・近郊の大学の公開講座	民間の教室・講座	サークルやグループなどでの活動	その他	無回答
全体	(N=193)	71.5	59.1	13.0	8.3	3.1	8.3	25.4	13.0	6.2	0.5
10歳代	(N=10)	70.0	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
20歳代	(N=14)	64.3	92.9	7.1	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=24)	87.5	54.2	4.2	0.0	0.0	4.2	29.2	4.2	4.2	0.0
40歳代	(N=32)	84.4	56.3	9.4	3.1	3.1	3.1	31.3	9.4	3.1	0.0
50歳代	(N=34)	79.4	64.7	11.8	2.9	0.0	0.0	26.5	11.8	11.8	2.9
60歳代	(N=32)	65.6	59.4	21.9	6.3	0.0	6.3	25.0	12.5	9.4	0.0
70歳代	(N=28)	53.6	53.6	17.9	25.0	10.7	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
80歳以上	(N=19)	57.9	31.6	15.8	26.3	10.5	21.1	26.3	31.6	10.5	0.0

【女性】

	合計	本を読んで	ウェブサイトで検索・閲覧して	ラジオ・テレビの講座	市主催の教室・講座	コミュニティセンターの行事	市内・近郊の大学の公開講座	民間の教室・講座	サークルやグループなどでの活動	その他	無回答
全体	(N=338)	48.2	40.8	11.5	19.8	6.8	7.1	41.4	17.2	9.8	1.2
10歳代	(N=24)	58.3	62.5	4.2	0.0	0.0	4.2	29.2	12.5	8.3	0.0
20歳代	(N=36)	63.9	80.6	11.1	2.8	2.8	0.0	25.0	13.9	8.3	0.0
30歳代	(N=50)	58.0	52.0	10.0	14.0	0.0	4.0	46.0	6.0	10.0	0.0
40歳代	(N=52)	59.6	50.0	3.8	15.4	1.9	0.0	38.5	5.8	15.4	0.0
50歳代	(N=48)	37.5	35.4	18.8	20.8	2.1	10.4	60.4	18.8	6.3	0.0
60歳代	(N=56)	42.9	35.7	14.3	19.6	5.4	12.5	39.3	16.1	16.1	1.8
70歳代	(N=50)	34.0	8.0	14.0	48.0	18.0	12.0	46.0	32.0	2.0	6.0
80歳以上	(N=22)	31.8	4.5	13.6	27.3	36.4	13.6	31.8	45.5	9.1	0.0

表5

○男性では、いずれの年代も、概ね「本を読んで」と「ウェブサイトで検索・閲覧して」が多くなっています。

女性では、10～40歳代に同じ傾向が見られますが、50歳代以降になると「民間の教室・講座」や「市主催の教室・講座」などの外部の学習機会が多くなります。

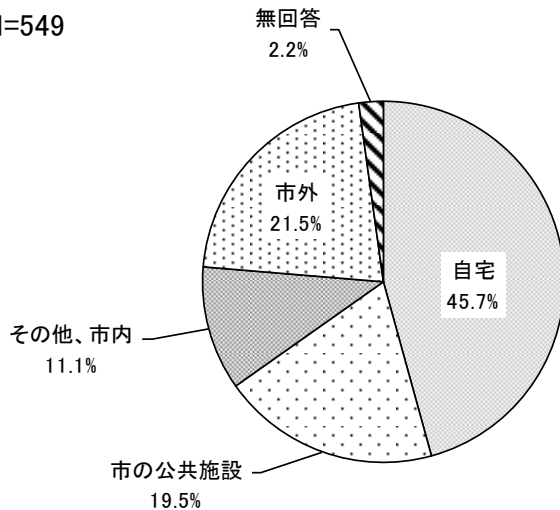
○「市主催の教室・講座」をみると、男性では70歳代・80歳以上で他の年代よりも多くなります。女性は、30歳代から多くなる傾向が見られます。女性の70歳代では最も多くなっています。

○「コミュニティセンターの行事」は、男性・女性ともに10～60歳代では1割未満となっています。女性の70歳代・80歳以上では他の年代に比べて多くなり、80歳以上では2番目に多くなっています。

○「サークルやグループなどでの活動」については、男性・女性ともに50歳代から多くなっていきますが、いずれの年代もやや女性の方が多くなります。女性の80歳以上では最も多くなっています。

問6 問3で「学んだことがある」を選択した549人が回答しています。
 あなたは、どこで学ぶことが多かったですか。最も多く使った場所を選択してください。(○は1つ)
 ※「市の公共施設」を選択した場合は、施設名を記入してください(例:武蔵野プレイス、中央図書館など)

N=549



市内施設の内訳

施設名	回答数(件)
武蔵野プレイス	28
コミュニティセンター	24
図書館	21
体育館	8
武蔵野市民会館	8
保健センター	3

3件以上の回答があったもののみ記載

図6

○「自宅」が45.7%で最も多く、ついで「市外」が21.5%、「市の公共施設」が19.5%で続きます。

○「市の公共施設」として具体的に挙げられた施設としては、「武蔵野プレイス」が28件で最も多く、「コミュニティセンター」が24件、「図書館」が21件で続きます。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問6)

【男性】

	合計	自宅	市の公共施設	その他、市内	市外	無回答
全体	(N=193)	60.6	15.0	7.8	15.5	1.0
10歳代	(N=10)	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	(N=14)	71.4	14.3	7.1	7.1	0.0
30歳代	(N=24)	66.7	8.3	12.5	12.5	0.0
40歳代	(N=32)	65.6	15.6	9.4	9.4	0.0
50歳代	(N=34)	70.6	8.8	5.9	11.8	2.9
60歳代	(N=32)	62.5	6.3	3.1	28.1	0.0
70歳代	(N=28)	46.4	25.0	3.6	25.0	0.0
80歳以上	(N=19)	21.1	36.8	21.1	15.8	5.3

【女性】

	合計	自宅	市の公共施設	その他、市内	市外	無回答
全体	(N=338)	38.2	20.7	13.0	25.1	3.0
10歳代	(N=24)	58.3	4.2	4.2	25.0	8.3
20歳代	(N=36)	66.7	11.1	8.3	13.9	0.0
30歳代	(N=50)	46.0	22.0	8.0	24.0	0.0
40歳代	(N=52)	46.2	9.6	19.2	23.1	1.9
50歳代	(N=48)	33.3	14.6	12.5	39.6	0.0
60歳代	(N=56)	33.9	21.4	14.3	26.8	3.6
70歳代	(N=50)	12.0	38.0	18.0	26.0	6.0
80歳以上	(N=22)	13.6	50.0	13.6	13.6	9.1

表6

○男性では10～70歳代では「自宅」が最も多くなっていますが、80歳以上では「市の公共施設」が多くなっています。

○女性では、10～60歳代では「自宅」と「市外」が多くなっていますが、70歳代以上では「市の公共施設」が最も多くなります。

問7 問3で「学んだことがある」を選択した549人が回答しています。

あなたは、過去1年間に学んだことを今後も学び続けたいと思いますか。(○は1つ)

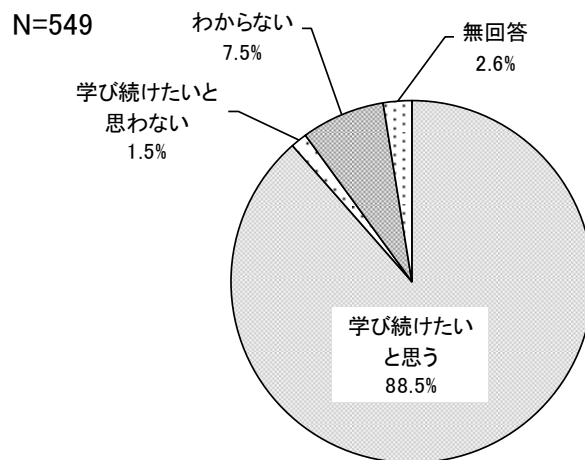


図7

○「学び続けたいと思う」が88.5%で最も多く、ついで「わからない」が7.5%、「学び続けたいと思わない」が1.5%で続きます。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問7)

【男性】

	合計	学び続けたいと思う	学び続けたいと思わない	わからない	無回答
全体	(N=193)	91.2	1.6	6.2	1.0
10歳代	(N=10)	80.0	10.0	10.0	0.0
20歳代	(N=14)	100.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=24)	95.8	4.2	0.0	0.0
40歳代	(N=32)	96.9	0.0	3.1	0.0
50歳代	(N=34)	82.4	0.0	14.7	2.9
60歳代	(N=32)	96.9	0.0	3.1	0.0
70歳代	(N=28)	96.4	0.0	3.6	0.0
80歳以上	(N=19)	73.7	5.3	15.8	5.3

【女性】

	合計	学び続けたいと思う	学び続けたいと思わない	わからない	無回答
全体	(N=338)	87.3	1.5	7.7	3.6
10歳代	(N=24)	70.8	4.2	16.7	8.3
20歳代	(N=36)	75.0	2.8	22.2	0.0
30歳代	(N=50)	90.0	2.0	6.0	2.0
40歳代	(N=52)	90.4	1.9	5.8	1.9
50歳代	(N=48)	91.7	0.0	8.3	0.0
60歳代	(N=56)	91.1	0.0	5.4	3.6
70歳代	(N=50)	90.0	0.0	2.0	8.0
80歳以上	(N=22)	86.4	4.5	0.0	9.1

表7

○いずれの年代も、「学び続けたいと思う」が最も多くなっています。

問8 問3で「学んだことがある」を選択した549人が回答しています。

あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。(○はいくつでも)

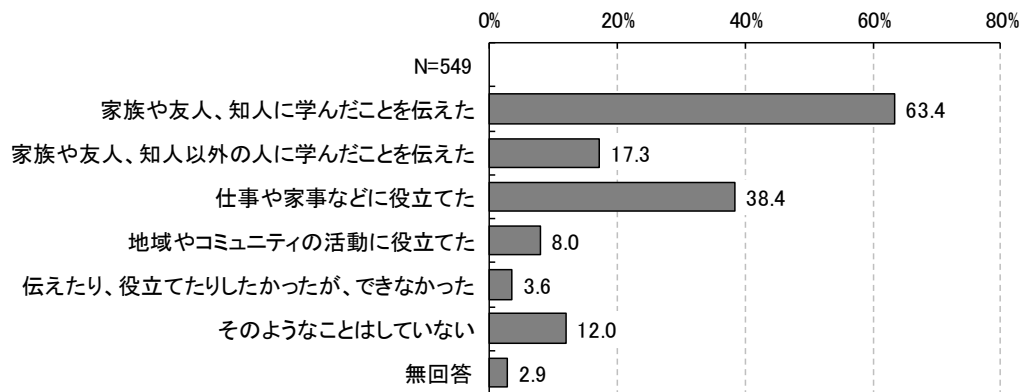


図8

○「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」が63.4%で最も多く、ついで「仕事や家事などに役立てた」が38.4%、「家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた」が17.3%で続きます。

○過去1年間に学んだことを誰かに伝えたり、何かに役立てたりした人(全体から「伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった」、「そのようなことはしていない」、「無回答」を除いて算出)は81.5%となっています。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問8)

【男性】

	合計	家族や友人、知人に学んだことを伝えた	家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた	仕事や家事などに役立てた	地域やコミュニティの活動に役立てた	伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった	そのようなことはしていない	無回答
全体	(N=193)	59.6	19.2	38.3	7.8	3.6	14.0	1.6
10歳代	(N=10)	60.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0
20歳代	(N=14)	64.3	28.6	35.7	0.0	0.0	28.6	0.0
30歳代	(N=24)	54.2	25.0	66.7	4.2	0.0	4.2	0.0
40歳代	(N=32)	46.9	12.5	56.3	9.4	0.0	18.8	0.0
50歳代	(N=34)	58.8	17.6	50.0	0.0	8.8	8.8	5.9
60歳代	(N=32)	62.5	21.9	37.5	9.4	6.3	6.3	3.1
70歳代	(N=28)	71.4	21.4	14.3	21.4	3.6	10.7	0.0
80歳以上	(N=19)	63.2	21.1	5.3	10.5	5.3	26.3	0.0

【女性】

	合計	家族や友人、知人に学んだことを伝えた	家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた	仕事や家事などに役立てた	地域やコミュニティの活動に役立てた	伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった	そのようなことはしていない	無回答
全体	(N=338)	65.7	16.0	39.1	8.3	3.0	11.2	3.6
10歳代	(N=24)	54.2	16.7	4.2	4.2	4.2	29.2	8.3
20歳代	(N=36)	52.8	13.9	55.6	2.8	5.6	8.3	0.0
30歳代	(N=50)	70.0	12.0	46.0	2.0	4.0	10.0	2.0
40歳代	(N=52)	61.5	13.5	51.9	5.8	3.8	11.5	1.9
50歳代	(N=48)	66.7	20.8	47.9	16.7	2.1	12.5	0.0
60歳代	(N=56)	75.0	12.5	37.5	7.1	1.8	5.4	5.4
70歳代	(N=50)	64.0	18.0	26.0	10.0	0.0	12.0	8.0
80歳以上	(N=22)	77.3	27.3	18.2	22.7	4.5	9.1	4.5

表8

○性別・年代にかかわらず、「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」が多くなっていますが、男性では30～50歳代、女性では20～50歳代で「仕事や家事などに役立てた」が多くなっています。

○「地域やコミュニティの活動に役立てた」は、男性では70歳代で多く、女性も50歳代・70歳代・80歳以上で他の年代に比べて多くなっています。

問9 問3で「学びたかったが、できなかった」か「学んだことはない」を選択した232人が回答しています。

過去1年間で、あなたが何かを学ばなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

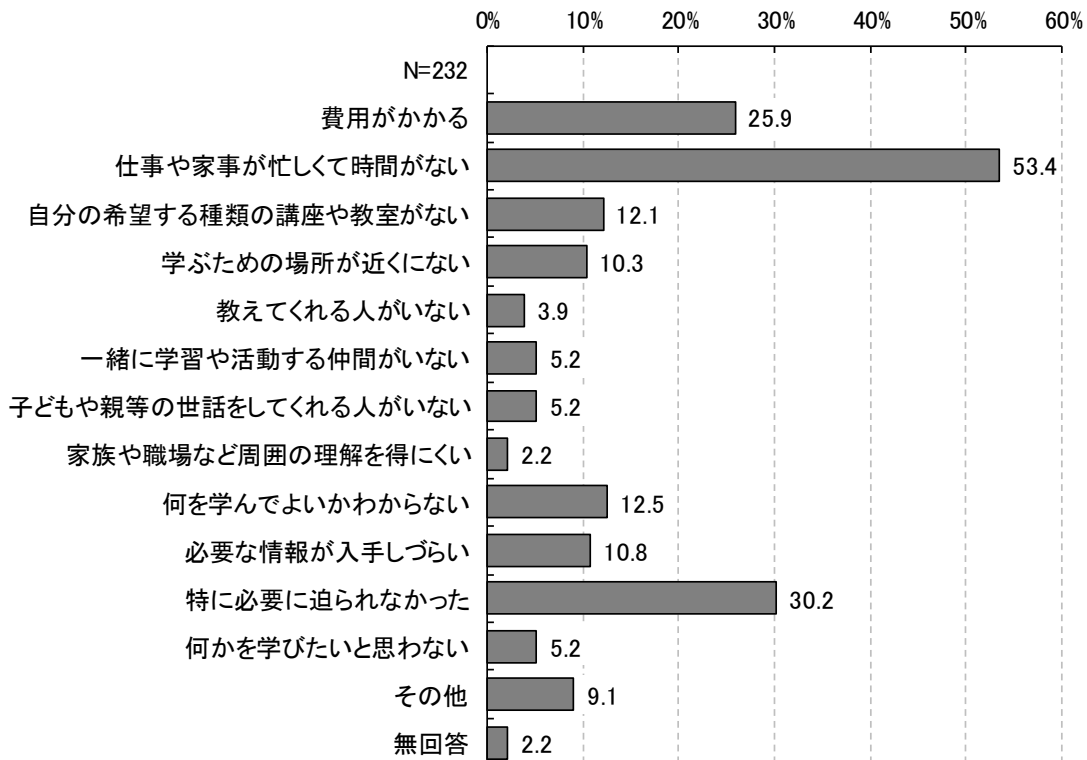


図9

○「仕事や家事が忙しくて時間がない」が53.4%で最も多く、ついで「特に必要に迫られなかった」が30.2%、「費用がかかる」が25.9%で続きます。

■学ばなかった理由に関する平成20年度調査との比較(参考)

- 平成20年度調査では、「仕事に忙しくて時間がない」が48.8%で最も多く、ついで「自分の希望に開催時期・開催時間が合わない」が22.0%、「必要な情報が入手しづらい」が19.9%となっていました。
- 今回の調査では、読書のみで学んだ人が回答者に含まれていないため参考比較となりますが、「必要な情報が入手しづらい」については10.8%となっており、少なくなっています。
- 一方、平成20年度調査では「特に必要がない」が13.3%でしたが、今回は「特に必要に迫られなかった」が30.2%と多くなっています。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問9)

【男性】

	合計	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の希望する種類の講座や教室がない	学ぶための場所が近くにない	教えてくれる人がいない	一緒に学習や活動する仲間がいない	子どもや親等の世話をしてくれる人がいない	家族や職場など周囲の理解を得にくい	何を学んでよいかわからない
全体	(N=97)	22.7	51.5	11.3	11.3	5.2	7.2	0.0	2.1	13.4
10歳代	(N=11)	18.2	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	36.4
20歳代	(N=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
30歳代	(N=6)	33.3	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	(N=7)	42.9	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9
50歳代	(N=19)	36.8	73.7	10.5	5.3	5.3	5.3	0.0	5.3	10.5
60歳代	(N=23)	30.4	56.5	13.0	26.1	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3
70歳代	(N=16)	6.3	18.8	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	12.5
80歳以上	(N=12)	0.0	41.7	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0

	合計	必要な情報が入手しづらい	特に必要に迫られなかった	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全体	(N=97)	11.3	28.9	10.3	9.3	1.0
10歳代	(N=11)	9.1	9.1	9.1	27.3	0.0
20歳代	(N=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
30歳代	(N=6)	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7
40歳代	(N=7)	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
50歳代	(N=19)	15.8	26.3	5.3	0.0	0.0
60歳代	(N=23)	8.7	21.7	8.7	0.0	0.0
70歳代	(N=16)	25.0	50.0	6.3	12.5	0.0
80歳以上	(N=12)	0.0	41.7	16.7	25.0	0.0

【女性】

	合計	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の希望する種類の講座や教室がない	学ぶための場所が近くにない	教えてくれる人がいない	一緒に学習や活動する仲間がいない	子どもや親等の世話をしてくれる人がいない	家族や職場など周囲の理解を得にくい	何を学んでよいかわからない
全体	(N=134)	28.4	54.5	12.7	9.7	3.0	3.7	9.0	2.2	11.9
10歳代	(N=8)	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
20歳代	(N=10)	50.0	70.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
30歳代	(N=15)	53.3	66.7	13.3	20.0	0.0	0.0	33.3	0.0	13.3
40歳代	(N=18)	27.8	66.7	22.2	11.1	0.0	5.6	16.7	0.0	11.1
50歳代	(N=23)	30.4	73.9	13.0	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	21.7
60歳代	(N=21)	19.0	57.1	19.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
70歳代	(N=27)	22.2	29.6	14.8	14.8	3.7	3.7	7.4	7.4	14.8
80歳以上	(N=12)	8.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	8.3

	合計	必要な情報が入手しづらい	特に必要に迫られなかった	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全体	(N=134)	10.4	31.3	1.5	9.0	3.0
10歳代	(N=8)	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
20歳代	(N=10)	30.0	50.0	0.0	10.0	0.0
30歳代	(N=15)	0.0	26.7	0.0	0.0	0.0
40歳代	(N=18)	11.1	16.7	5.6	5.6	0.0
50歳代	(N=23)	13.0	17.4	0.0	4.3	0.0
60歳代	(N=21)	0.0	38.1	0.0	9.5	0.0
70歳代	(N=27)	22.2	44.4	3.7	18.5	7.4
80歳以上	(N=12)	0.0	41.7	0.0	8.3	8.3

表9

○男性では10～60歳代・80歳以上で、女性では10～60歳代で「仕事や家事が忙しくて時間がない」が最も多くなっています。

問10 あなたは、今後、何かを自主的に学び始めようと思いますか。(〇は1つ)

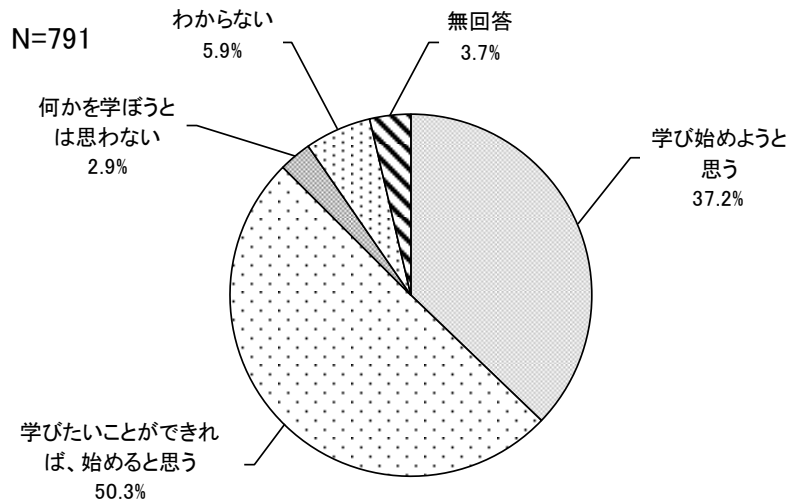


図10

○「学びたいことができれば、始めると思う」が50.3%で最も多く、ついで「学び始めようと思う」が37.2%、「わからない」が5.9%で続きます。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問10)

【男性】

	合計	学び始めようと思う	学びたいことができれば、始めると思う	何かを学ぼうとは思わない	わからない	無回答
全体	(N=293)	39.6	46.1	4.8	6.8	2.7
10歳代	(N=21)	28.6	66.7	0.0	4.8	0.0
20歳代	(N=17)	41.2	52.9	0.0	5.9	0.0
30歳代	(N=30)	53.3	36.7	3.3	6.7	0.0
40歳代	(N=39)	48.7	41.0	0.0	5.1	5.1
50歳代	(N=53)	45.3	45.3	1.9	3.8	3.8
60歳代	(N=55)	38.2	49.1	5.5	7.3	0.0
70歳代	(N=46)	30.4	54.3	8.7	6.5	0.0
80歳以上	(N=32)	28.1	28.1	15.6	15.6	12.5

【女性】

	合計	学び始めようと思う	学びたいことができれば、始めると思う	何かを学ぼうとは思わない	わからない	無回答
全体	(N=477)	36.1	52.8	1.9	5.7	3.6
10歳代	(N=32)	56.3	34.4	0.0	6.3	3.1
20歳代	(N=46)	39.1	54.3	0.0	2.2	4.3
30歳代	(N=65)	49.2	41.5	3.1	4.6	1.5
40歳代	(N=70)	44.3	52.9	0.0	0.0	2.9
50歳代	(N=72)	31.9	63.9	0.0	2.8	1.4
60歳代	(N=78)	26.9	64.1	1.3	5.1	2.6
70歳代	(N=79)	27.8	54.4	5.1	10.1	2.5
80歳以上	(N=35)	20.0	37.1	5.7	20.0	17.1

表10

○性別・年代にかかわらず、「学び始めようと思う」と「学びたいことができれば、始めると思う」が多くなっています。

○男性では30～50歳代、80歳以上で「学び始めようと思う」が最も多く、女性では10歳代と30歳代で「学び始めようと思う」が最も多くなっています。

問11 あなたは、自主的に学んだり、調べたりするようになるためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

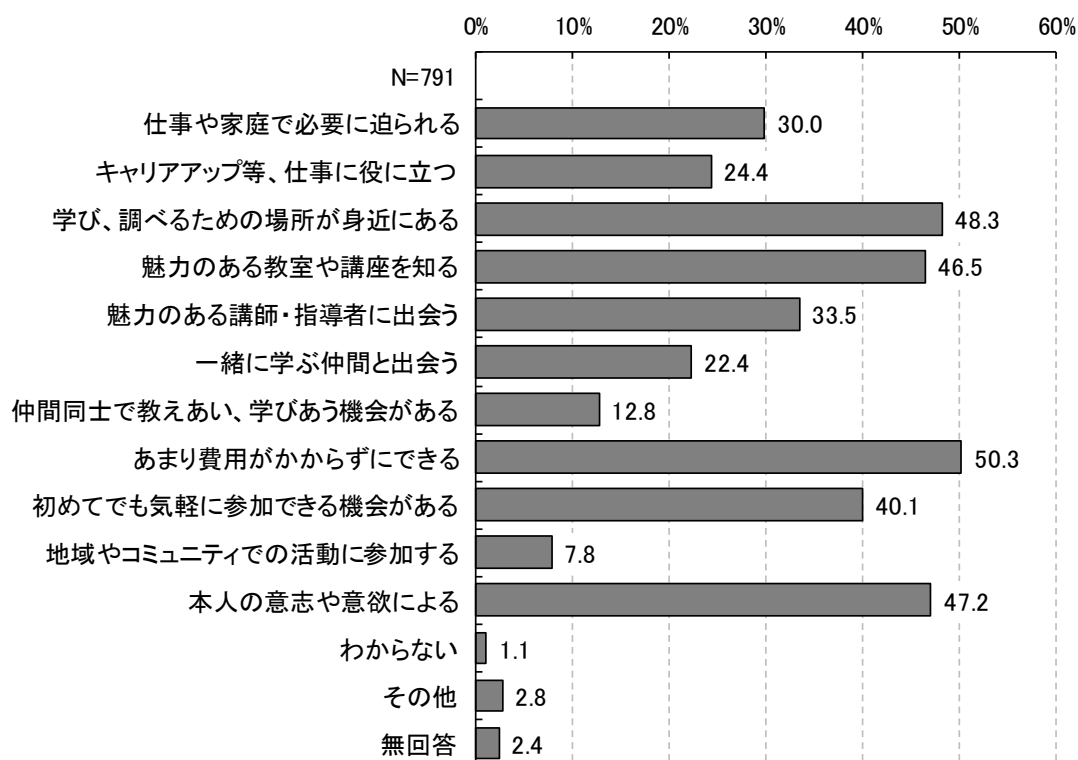


図11

○「あまり費用がかからずにできる」が50.3%で最も多く、ついで「学び、調べるための場所が身近にある」が48.3%、「本人の意志や意欲による」が47.2%で続きます。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問11)

【男性】

	合計	仕事や家庭で必要に迫られる	キャリアアップ等、仕事に役に立つ	学び、調べるための場所が身近にある	魅力のある教室や講座を知る	魅力のある講師・指導者に出会う	一緒に学ぶ仲間と出会う	仲間同士で教えあい、学びあう機会がある	あまり費用がかからずにいる	初めてでも気軽に参加できる機会がある
全体	(N=293)	28.0	24.9	42.0	37.9	27.6	19.8	11.9	39.6	29.7
10歳代	(N=21)	9.5	28.6	28.6	19.0	38.1	28.6	19.0	28.6	23.8
20歳代	(N=17)	41.2	41.2	29.4	29.4	29.4	29.4	23.5	29.4	29.4
30歳代	(N=30)	43.3	40.0	50.0	33.3	20.0	13.3	6.7	40.0	20.0
40歳代	(N=39)	64.1	43.6	51.3	48.7	25.6	15.4	7.7	46.2	38.5
50歳代	(N=53)	28.3	35.8	35.8	30.2	22.6	17.0	9.4	37.7	26.4
60歳代	(N=55)	25.5	18.2	45.5	49.1	27.3	12.7	5.5	52.7	34.5
70歳代	(N=46)	8.7	4.3	50.0	50.0	37.0	23.9	21.7	37.0	37.0
80歳以上	(N=32)	6.3	0.0	31.3	21.9	25.0	31.3	12.5	28.1	18.8

	合計	地域やコミュニティでの活動に参加する	本人の意志や意欲による	わからない	その他	無回答
全体	(N=293)	7.2	52.2	1.0	3.1	2.4
10歳代	(N=21)	0.0	66.7	4.8	0.0	0.0
20歳代	(N=17)	5.9	70.6	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	3.3	56.7	0.0	0.0	0.0
40歳代	(N=39)	7.7	46.2	0.0	5.1	5.1
50歳代	(N=53)	3.8	58.5	0.0	1.9	3.8
60歳代	(N=55)	7.3	47.3	1.8	1.8	0.0
70歳代	(N=46)	17.4	47.8	0.0	4.3	0.0
80歳以上	(N=32)	6.3	40.6	3.1	9.4	9.4

【女性】

	合計	仕事や家庭で必要に迫られる	キャリアアップ等、仕事に役に立つ	学び、調べるための場所が身近にある	魅力のある教室や講座を知る	魅力のある講師・指導者に出会う	一緒に学ぶ仲間と出会う	仲間同士で教えあい、学びあう機会がある	あまり費用がかからずにいる	初めてでも気軽に参加できる機会がある
全体	(N=477)	31.2	24.1	51.8	51.6	36.7	24.3	13.0	57.7	47.0
10歳代	(N=32)	34.4	40.6	46.9	21.9	37.5	25.0	12.5	43.8	37.5
20歳代	(N=46)	45.7	45.7	52.2	34.8	30.4	17.4	6.5	47.8	37.0
30歳代	(N=65)	49.2	46.2	61.5	46.2	30.8	26.2	15.4	60.0	43.1
40歳代	(N=70)	42.9	41.4	55.7	57.1	40.0	17.1	10.0	70.0	51.4
50歳代	(N=72)	36.1	19.4	54.2	62.5	41.7	25.0	11.1	65.3	58.3
60歳代	(N=78)	21.8	5.1	53.8	60.3	38.5	23.1	12.8	59.0	55.1
70歳代	(N=79)	12.7	3.8	44.3	60.8	32.9	31.6	16.5	57.0	45.6
80歳以上	(N=35)	5.7	2.9	37.1	37.1	42.9	28.6	20.0	37.1	28.6

	合計	地域やコミュニティでの活動に参加する	本人の意志や意欲による	わからない	その他	無回答
全体	(N=477)	8.0	43.6	1.3	2.5	2.1
10歳代	(N=32)	9.4	50.0	3.1	0.0	3.1
20歳代	(N=46)	2.2	56.5	0.0	8.7	2.2
30歳代	(N=65)	6.2	50.8	0.0	3.1	1.5
40歳代	(N=70)	7.1	48.6	0.0	0.0	1.4
50歳代	(N=72)	6.9	43.1	0.0	4.2	1.4
60歳代	(N=78)	10.3	32.1	0.0	1.3	1.3
70歳代	(N=79)	10.1	39.2	1.3	0.0	1.3
80歳以上	(N=35)	11.4	34.3	11.4	5.7	8.6

表11

○男性では「本人の意志や意欲による」が最も多くなっているのに対して、女性では「あまり費用がかからずにいる」が最も多くなっています。

○男性について年代別にみると、40歳代では「仕事や家庭で必要に迫られる」が、60歳代では「あまり費用がかからずにいる」が、70歳代では「学び、調べるための場所が身近にある」と「魅力のある教室や講座を知る」が最も多くなっています。

○女性については、30歳代では「学び、調べるための場所が身近にある」が、60～70歳代では「魅力のある教室や講座を知る」が、80歳以上で「魅力のある講師・指導者に出会う」が最も多くなっています。

2. 生涯学習施策の評価・ニーズについて

問12 あなたは、日々の生活のなかで次の事柄について実感することはありますか。項目①～⑥について実感しているかどうかを教えてください。(各項目につき○は1つずつ)

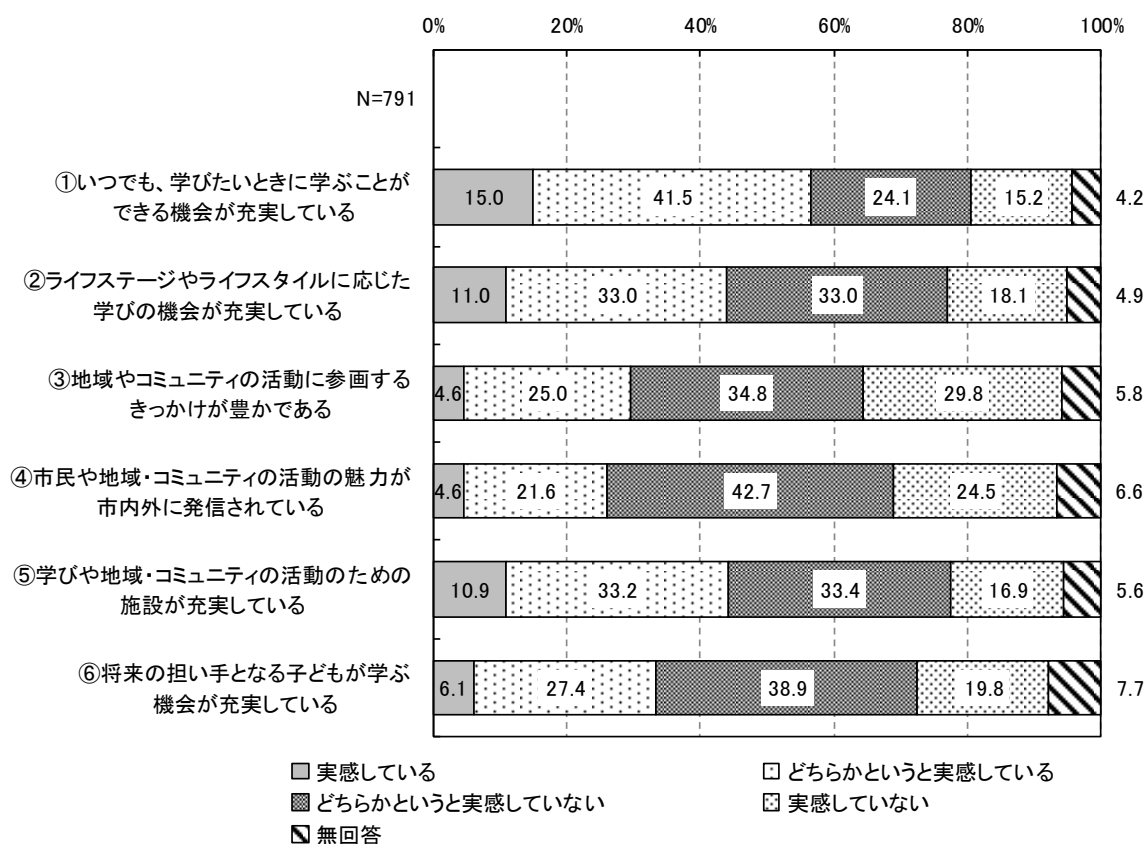


図12

○「いつでも、学びたいときに学ぶことができる」については、「実感している」と「どちらかという実感している」の合計が56.5%で5割を上回っています。

○そのほか、「実感している」と「どちらかという実感している」の合計が多いのは、「学びや地域・コミュニティの活動のための施設が充実している」(44.1%)と「ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している」(44.0%)です。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問12)

①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している

【男性】

	合計	実感している	どちらかというと実感している	どちらかというと実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=293)	17.4	37.2	23.2	19.8	2.4
10歳代	(N=21)	19.0	19.0	38.1	19.0	4.8
20歳代	(N=17)	41.2	47.1	5.9	5.9	0.0
30歳代	(N=30)	16.7	36.7	23.3	23.3	0.0
40歳代	(N=39)	7.7	51.3	20.5	20.5	0.0
50歳代	(N=53)	18.9	43.4	24.5	13.2	0.0
60歳代	(N=55)	12.7	36.4	27.3	23.6	0.0
70歳代	(N=46)	19.6	39.1	19.6	21.7	0.0
80歳以上	(N=32)	18.8	15.6	21.9	25.0	18.8

【女性】

	合計	実感している	どちらかというと実感している	どちらかというと実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=477)	14.0	43.4	24.7	12.8	5.0
10歳代	(N=32)	25.0	31.3	31.3	9.4	3.1
20歳代	(N=46)	15.2	52.2	21.7	10.9	0.0
30歳代	(N=65)	9.2	44.6	26.2	18.5	1.5
40歳代	(N=70)	12.9	54.3	18.6	14.3	0.0
50歳代	(N=72)	12.5	44.4	31.9	11.1	0.0
60歳代	(N=78)	19.2	37.2	30.8	9.0	3.8
70歳代	(N=79)	11.4	41.8	22.8	13.9	10.1
80歳以上	(N=35)	11.4	34.3	8.6	14.3	31.4

表12

○男性では10歳代で「どちらかというと実感していない」が、80歳以上で「実感していない」が最も多くなっています。

○女性では、いずれの年代も「どちらかというと実感している」が最も多くなっていますが、10歳代では「どちらかというと実感していない」も同数です。

②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している

【男性】

	合計	実感している	どちらかというと実感している	どちらかというと実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=293)	13.0	29.7	31.1	23.2	3.1
10歳代	(N=21)	14.3	28.6	33.3	19.0	4.8
20歳代	(N=17)	23.5	29.4	41.2	5.9	0.0
30歳代	(N=30)	13.3	26.7	23.3	36.7	0.0
40歳代	(N=39)	10.3	41.0	28.2	20.5	0.0
50歳代	(N=53)	13.2	37.7	34.0	15.1	0.0
60歳代	(N=55)	7.3	25.5	32.7	34.5	0.0
70歳代	(N=46)	15.2	32.6	30.4	19.6	2.2
80歳以上	(N=32)	15.6	9.4	28.1	25.0	21.9

【女性】

	合計	実感している	どちらかというと実感している	どちらかというと実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=477)	10.1	34.8	34.0	15.5	5.7
10歳代	(N=32)	15.6	43.8	25.0	12.5	3.1
20歳代	(N=46)	8.7	26.1	50.0	15.2	0.0
30歳代	(N=65)	9.2	38.5	29.2	21.5	1.5
40歳代	(N=70)	5.7	41.4	35.7	17.1	0.0
50歳代	(N=72)	8.3	36.1	41.7	13.9	0.0
60歳代	(N=78)	14.1	33.3	33.3	14.1	5.1
70歳代	(N=79)	11.4	30.4	30.4	16.5	11.4
80歳以上	(N=35)	8.6	28.6	20.0	8.6	34.3

表13

○男性は年代によって違いが見られ、30歳代・60歳代で「実感していない」が最も多くなっています。

○女性については概ね「どちらかというと実感している」と「どちらかというと実感していない」が多くなっています。ただ、女性の20歳代と50歳代で、他の年代に比べて「どちらかというと実感していない」が多くなっています。

③ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している

【男性】

	合計	実感している	どちらかというと実感している	どちらかというと実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=293)	4.8	18.8	36.2	36.9	3.4
10歳代	(N=21)	0.0	28.6	23.8	42.9	4.8
20歳代	(N=17)	5.9	29.4	23.5	41.2	0.0
30歳代	(N=30)	6.7	13.3	43.3	36.7	0.0
40歳代	(N=39)	5.1	17.9	38.5	38.5	0.0
50歳代	(N=53)	0.0	9.4	47.2	43.4	0.0
60歳代	(N=55)	5.5	21.8	38.2	34.5	0.0
70歳代	(N=46)	8.7	28.3	30.4	30.4	2.2
80歳以上	(N=32)	6.3	9.4	28.1	31.3	25.0

【女性】

	合計	実感している	どちらかというと実感している	どちらかというと実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=477)	4.4	28.3	34.2	26.2	6.9
10歳代	(N=32)	0.0	37.5	28.1	31.3	3.1
20歳代	(N=46)	2.2	21.7	32.6	39.1	4.3
30歳代	(N=65)	1.5	35.4	30.8	30.8	1.5
40歳代	(N=70)	2.9	24.3	38.6	34.3	0.0
50歳代	(N=72)	6.9	30.6	41.7	20.8	0.0
60歳代	(N=78)	2.6	26.9	43.6	21.8	5.1
70歳代	(N=79)	8.9	26.6	26.6	22.8	15.2
80歳以上	(N=35)	8.6	25.7	20.0	8.6	37.1

表14

○男性では「実感していない」が最も多くなっていますが、女性では「どちらかというと実感していない」が最も多くなっています。

④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている

【男性】

	合計	実感している	どちらかという と実感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=293)	3.4	18.1	44.7	30.0	3.8
10歳代	(N=21)	0.0	19.0	38.1	38.1	4.8
20歳代	(N=17)	11.8	11.8	41.2	35.3	0.0
30歳代	(N=30)	6.7	23.3	30.0	36.7	3.3
40歳代	(N=39)	5.1	15.4	48.7	28.2	2.6
50歳代	(N=53)	0.0	13.2	54.7	32.1	0.0
60歳代	(N=55)	3.6	16.4	56.4	23.6	0.0
70歳代	(N=46)	2.2	26.1	43.5	26.1	2.2
80歳以上	(N=32)	3.1	18.8	25.0	31.3	21.9

【女性】

	合計	実感している	どちらかという と実感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=477)	4.8	23.5	42.3	21.4	8.0
10歳代	(N=32)	3.1	18.8	37.5	37.5	3.1
20歳代	(N=46)	4.3	15.2	43.5	32.6	4.3
30歳代	(N=65)	6.2	26.2	40.0	26.2	1.5
40歳代	(N=70)	0.0	31.4	42.9	24.3	1.4
50歳代	(N=72)	4.2	22.2	55.6	18.1	0.0
60歳代	(N=78)	3.8	29.5	47.4	11.5	7.7
70歳代	(N=79)	8.9	20.3	38.0	16.5	16.5
80歳以上	(N=35)	8.6	14.3	20.0	17.1	40.0

表15

○男性・女性ともに「どちらかというと実感していない」が最も多くなっていますが、女性では2番目に「どちらかというと実感している」が多くなっています。

○女性では、30～70歳代において、「どちらかというと実感している」が2番目に多くなっています。

⑤学びや地域・コミュニティの活動のための施設が充実している

【男性】

	合計	実感している	どちらかという と実感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=293)	10.2	32.8	32.4	21.2	3.4
10歳代	(N=21)	28.6	28.6	19.0	19.0	4.8
20歳代	(N=17)	29.4	23.5	35.3	11.8	0.0
30歳代	(N=30)	20.0	16.7	43.3	20.0	0.0
40歳代	(N=39)	12.8	46.2	25.6	15.4	0.0
50歳代	(N=53)	0.0	39.6	39.6	20.8	0.0
60歳代	(N=55)	5.5	29.1	41.8	23.6	0.0
70歳代	(N=46)	4.3	43.5	26.1	23.9	2.2
80歳以上	(N=32)	9.4	18.8	18.8	28.1	25.0

【女性】

	合計	実感している	どちらかという と実感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=477)	10.9	33.8	34.2	14.7	6.5
10歳代	(N=32)	18.8	37.5	21.9	15.6	6.3
20歳代	(N=46)	17.4	26.1	37.0	17.4	2.2
30歳代	(N=65)	7.7	40.0	30.8	20.0	1.5
40歳代	(N=70)	4.3	40.0	38.6	17.1	0.0
50歳代	(N=72)	9.7	33.3	40.3	13.9	2.8
60歳代	(N=78)	9.0	33.3	41.0	9.0	7.7
70歳代	(N=79)	15.2	31.6	26.6	16.5	10.1
80歳以上	(N=35)	11.4	22.9	28.6	5.7	31.4

表16

○男性の10～20歳代・40歳代と女性の10歳代で「実感している」と「どちらかというと実感している」の合計が5割を上回っています。

⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している

【男性】

	合計	実感している	どちらかという と実感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=293)	5.8	30.4	37.5	21.5	4.8
10歳代	(N=21)	4.8	33.3	38.1	19.0	4.8
20歳代	(N=17)	11.8	29.4	41.2	17.6	0.0
30歳代	(N=30)	10.0	23.3	43.3	23.3	0.0
40歳代	(N=39)	7.7	41.0	35.9	12.8	2.6
50歳代	(N=53)	3.8	22.6	50.9	22.6	0.0
60歳代	(N=55)	1.8	34.5	40.0	23.6	0.0
70歳代	(N=46)	4.3	34.8	28.3	21.7	10.9
80歳以上	(N=32)	9.4	21.9	18.8	28.1	21.9

【女性】

	合計	実感している	どちらかという と実感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=477)	6.1	25.2	39.8	19.7	9.2
10歳代	(N=32)	18.8	31.3	31.3	15.6	3.1
20歳代	(N=46)	4.3	23.9	47.8	19.6	4.3
30歳代	(N=65)	0.0	33.8	40.0	24.6	1.5
40歳代	(N=70)	10.0	22.9	42.9	18.6	5.7
50歳代	(N=72)	5.6	26.4	38.9	25.0	4.2
60歳代	(N=78)	2.6	17.9	51.3	16.7	11.5
70歳代	(N=79)	5.1	30.4	31.6	19.0	13.9
80歳以上	(N=35)	11.4	11.4	25.7	14.3	37.1

表17

○男性の80歳以上では「実感していない」が最も多くなっています。

問13「生涯学習」¹と聞いて、あなたが思い浮かべるイメージについて、お答えください。(〇はいくつでも)

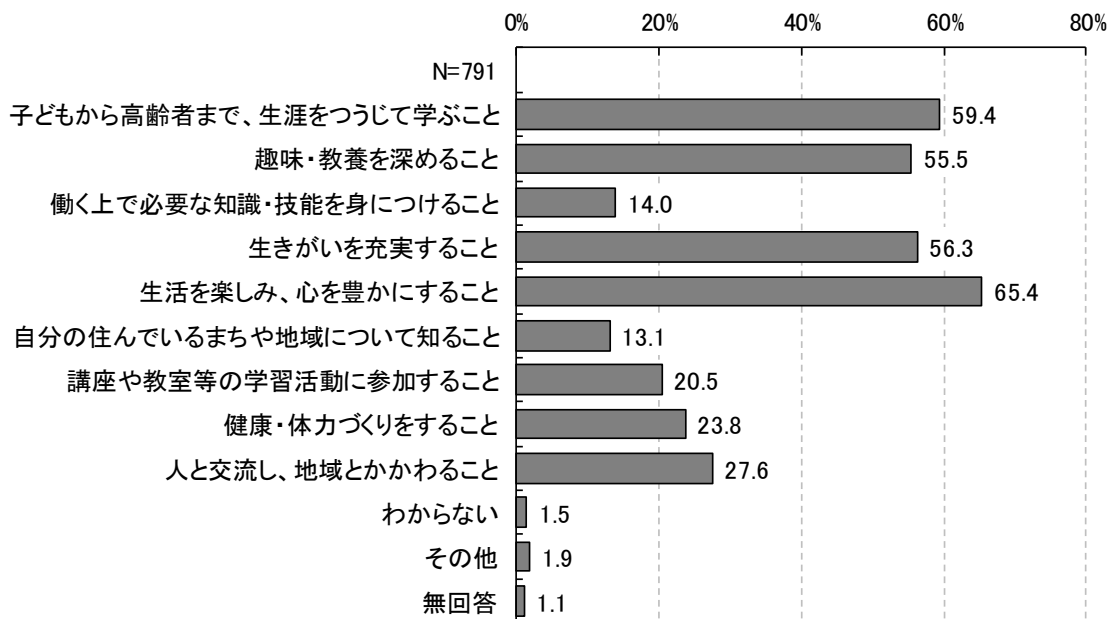


図13

○「生活を楽しむ、心を豊かにすること」が65.4%で最も多く、ついで「子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと」が59.4%、「生きがいを充実すること」が56.3%で続きます。

■生涯学習のイメージに関する平成20年度調査との比較(参考)

○リカレント教育や学び直しの観点から比較すると、平成20年度調査では「職業上必要な知識・技能を身につけること」が8.5%でした。それに対して今年度調査では「働く上で必要な知識・技能を身につけること」は14.0%となっています。

○まちづくりにつながる観点から比較すると、平成20年度調査では「自分の住んでいるまちや地域について知ること」は14.7%であり、今年度調査(13.1%)と大きく変わりません。

¹ 問13以降は、調査票にて、生涯学習を「生涯学習とは、市民が生涯にわたり、いつでも自由に学習機会を選んで学ぶことを言います。生涯学習には、学校教育、社会教育、芸術・文化、地域やまちづくり、スポーツ、ボランティアなどの活動も含まれます。」と定義しています。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問13)

【男性】

	合計	子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと	趣味・教養を深めること	働く上で必要な知識・技能を身につけること	生きがいを実感すること	生活を楽しむ、心を豊かにすること	自分の住んでいるまちや地域について知ること	講座や教室等の学習活動に参加すること	健康・体力づくりをすること	人と交流し、地域とのかかわること
全体	(N=293)	54.9	55.3	21.2	55.3	61.8	17.1	18.8	21.5	27.0
10歳代	(N=21)	61.9	52.4	23.8	52.4	52.4	14.3	0.0	14.3	33.3
20歳代	(N=17)	82.4	58.8	17.6	52.9	58.8	0.0	5.9	23.5	17.6
30歳代	(N=30)	70.0	53.3	13.3	40.0	46.7	13.3	10.0	3.3	20.0
40歳代	(N=39)	51.3	66.7	30.8	59.0	53.8	15.4	23.1	15.4	30.8
50歳代	(N=53)	60.4	60.4	26.4	58.5	66.0	9.4	18.9	17.0	24.5
60歳代	(N=55)	41.8	58.2	27.3	60.0	74.5	25.5	23.6	25.5	30.9
70歳代	(N=46)	45.7	50.0	13.0	58.7	76.1	17.4	28.3	39.1	26.1
80歳以上	(N=32)	53.1	37.5	9.4	50.0	43.8	31.3	18.8	25.0	28.1

	合計	わからない	その他	無回答
全体	(N=293)	2.7	2.0	0.7
10歳代	(N=21)	4.8	0.0	0.0
20歳代	(N=17)	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	10.0	3.3	0.0
40歳代	(N=39)	2.6	5.1	0.0
50歳代	(N=53)	1.9	0.0	0.0
60歳代	(N=55)	0.0	0.0	0.0
70歳代	(N=46)	2.2	2.2	0.0
80歳以上	(N=32)	3.1	6.3	6.3

【女性】

	合計	子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと	趣味・教養を深めること	働く上で必要な知識・技能を身につけること	生きがいを実感すること	生活を楽しむ、心を豊かにすること	自分の住んでいるまちや地域について知ること	講座や教室等の学習活動に参加すること	健康・体力づくりをすること	人と交流し、地域とのかかわること
全体	(N=477)	61.8	56.2	9.9	57.0	68.3	10.9	21.0	25.6	28.5
10歳代	(N=32)	71.9	40.6	15.6	53.1	43.8	0.0	6.3	9.4	12.5
20歳代	(N=46)	69.6	52.2	15.2	52.2	65.2	4.3	15.2	10.9	28.3
30歳代	(N=65)	70.8	50.8	7.7	46.2	63.1	6.2	23.1	6.2	23.1
40歳代	(N=70)	72.9	58.6	17.1	52.9	61.4	8.6	14.3	21.4	21.4
50歳代	(N=72)	63.9	59.7	8.3	55.6	79.2	6.9	19.4	22.2	33.3
60歳代	(N=78)	56.4	62.8	7.7	57.7	75.6	11.5	28.2	41.0	29.5
70歳代	(N=79)	49.4	57.0	6.3	75.9	77.2	20.3	29.1	43.0	40.5
80歳以上	(N=35)	40.0	57.1	2.9	54.3	60.0	28.6	20.0	37.1	28.6

	合計	わからない	その他	無回答
全体	(N=477)	0.8	1.7	1.0
10歳代	(N=32)	6.3	0.0	3.1
20歳代	(N=46)	2.2	0.0	2.2
30歳代	(N=65)	0.0	0.0	0.0
40歳代	(N=70)	1.4	1.4	0.0
50歳代	(N=72)	0.0	2.8	0.0
60歳代	(N=78)	0.0	1.3	0.0
70歳代	(N=79)	0.0	3.8	1.3
80歳以上	(N=35)	0.0	2.9	5.7

表18

○男性の10～30歳代と80歳以上、女性の10～40歳代では「子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと」が最も多くなっています。

○そのほか、男性の40歳代では「趣味・教養を深めること」が最も多くなっています。女性の50歳代以降は「生活を楽しむ、心を豊かにすること」が最も多くなっています。

○「働く上で必要な知識・技能を身につけること」は、女性に比べて男性で多くなっています。

問14 あなたは、市が生涯学習の機会を提供する際に重視すべきことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

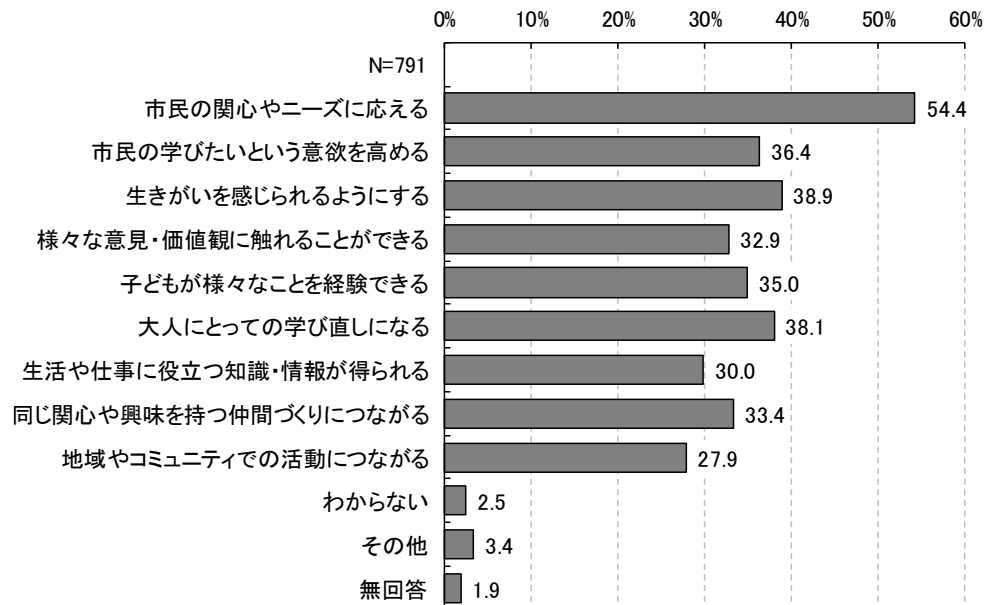


図14

○「市民の関心やニーズに応える」が54.4%で最も多く、ついで「生きがいを感じられるようにする」が38.9%、「大人にとっての学び直しになる」が38.1%で続きます。

問15 あなたは、高齢者が学ぶために、市に行ってほしいことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

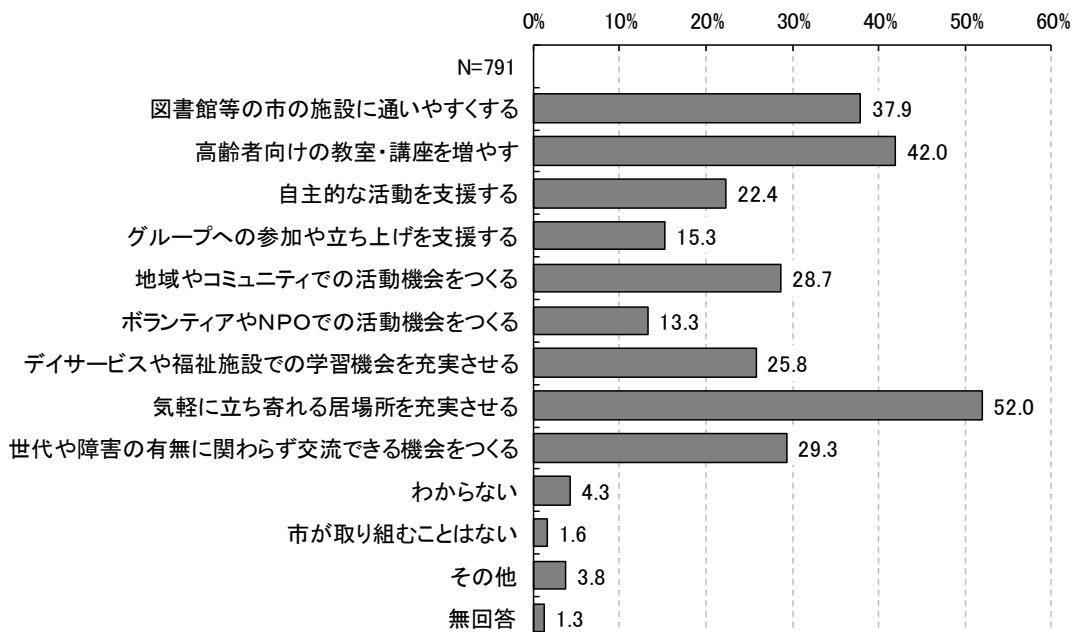


図15

○「気軽に立ち寄れる居場所を充実させる」が52.0%で最も多く、ついで「高齢者向けの教室・講座を増やす」が42.0%、「図書館等の市の施設に通いやすくする」が37.9%で続きます。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問14)

【男性】

	合計	市民の関 心やニ ーズに 応え る	市民の学 びたい という 意欲 を高め る	生きが いを感じ られる ように する	様々な 意見・ 価値 観に触 れるこ とがで きる	子ども が様々 なこ とを経 験で きる	大人に とって の学 び直 しに なる	生活や 仕事に 役立つ 知識・ 情報 が得 られ る	同じ関 心や興 味を持 つ仲間 づくりに つなが る	地域や コミュニ ティで の活動 につな がる
全体	(N=293)	49.5	34.5	38.9	33.4	32.4	31.7	29.0	32.8	28.3
10歳代	(N=21)	33.3	28.6	19.0	42.9	47.6	14.3	38.1	28.6	9.5
20歳代	(N=17)	47.1	52.9	35.3	64.7	41.2	29.4	41.2	35.3	17.6
30歳代	(N=30)	50.0	36.7	36.7	26.7	46.7	23.3	40.0	30.0	36.7
40歳代	(N=39)	64.1	43.6	33.3	30.8	53.8	43.6	35.9	35.9	51.3
50歳代	(N=53)	50.9	30.2	49.1	18.9	30.2	41.5	26.4	24.5	26.4
60歳代	(N=55)	43.6	34.5	49.1	27.3	18.2	30.9	41.8	40.0	23.6
70歳代	(N=46)	50.0	34.8	39.1	45.7	26.1	32.6	8.7	32.6	30.4
80歳以上	(N=32)	50.0	21.9	28.1	37.5	15.6	21.9	9.4	34.4	18.8

	合計	わから ない	その他	無回答
全体	(N=293)	3.1	4.4	0.7
10歳代	(N=21)	4.8	9.5	0.0
20歳代	(N=17)	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	0.0	6.7	0.0
40歳代	(N=39)	2.6	2.6	0.0
50歳代	(N=53)	1.9	3.8	0.0
60歳代	(N=55)	3.6	3.6	0.0
70歳代	(N=46)	0.0	4.3	0.0
80歳以上	(N=32)	12.5	6.3	6.3

【女性】

	合計	市民の関 心やニ ーズに 応え る	市民の学 びたい という 意欲 を高め る	生きが いを感じ られる ように する	様々な 意見・ 価値 観に触 れるこ とがで きる	子ども が様々 なこ とを経 験で きる	大人に とって の学 び直 しに なる	生活や 仕事に 役立つ 知識・ 情報 が得 られ る	同じ関 心や興 味を持 つ仲間 づくりに つなが る	地域や コミュニ ティで の活動 につな がる
全体	(N=477)	58.3	37.9	39.6	32.5	36.7	42.1	30.4	34.2	27.0
10歳代	(N=32)	56.3	34.4	28.1	34.4	31.3	34.4	34.4	40.6	21.9
20歳代	(N=46)	58.7	34.8	23.9	30.4	50.0	43.5	39.1	23.9	17.4
30歳代	(N=65)	64.6	32.3	21.5	27.7	49.2	43.1	36.9	36.9	26.2
40歳代	(N=70)	68.6	28.6	32.9	28.6	45.7	47.1	35.7	30.0	32.9
50歳代	(N=72)	59.7	43.1	44.4	37.5	37.5	43.1	27.8	37.5	31.9
60歳代	(N=78)	59.0	43.6	39.7	34.6	25.6	43.6	23.1	28.2	24.4
70歳代	(N=79)	49.4	43.0	59.5	35.4	34.2	44.3	27.8	39.2	31.6
80歳以上	(N=35)	42.9	40.0	62.9	28.6	11.4	25.7	20.0	40.0	20.0

	合計	わから ない	その他	無回答
全体	(N=477)	2.3	2.3	2.3
10歳代	(N=32)	0.0	3.1	3.1
20歳代	(N=46)	2.2	0.0	2.2
30歳代	(N=65)	1.5	6.2	0.0
40歳代	(N=70)	1.4	2.9	1.4
50歳代	(N=72)	2.8	2.8	0.0
60歳代	(N=78)	2.6	1.3	1.3
70歳代	(N=79)	0.0	1.3	5.1
80歳以上	(N=35)	11.4	0.0	8.6

表19

○男性では、10歳代で「子どもが様々なことを経験できる」が、20歳代で「様々な意見・価値観に触れることができる」が、60歳代で「生きがいを感じられるようにする」が最も多くなっています。

○女性では、70歳代・80歳代以上で「生きがいを感じられるようにする」が最も多くなっています。

○「大人にとっての学び直しになる」については、男性では40～50歳代で多くなっています。女性では全体で2番目に多く、年代別にみても20～70歳代で多くなっています。

○「地域やコミュニティでの活動につながる」については、男性の40歳代で半数以上となっています。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問15)

【男性】

	合計	図書館等の市の施設に通いやすくする	高齢者向けの教室・講座を増やす	自主的な活動を支援する	グループへの参加や立ち上げを支援する	地域やコミュニティでの活動機会をつくる	ボランティアやNPOでの活動機会をつくる	デイサービスや福祉施設での学習機会を充実させる	気軽に立ち寄れる居場所を充実させる	世代や障害の有無に関わらず交流できる機会をつくる
全体	(N=293)	34.8	38.6	23.5	13.3	28.3	12.6	21.5	47.1	22.5
10歳代	(N=21)	23.8	19.0	14.3	4.8	14.3	4.8	9.5	57.1	14.3
20歳代	(N=17)	29.4	35.3	17.6	11.8	23.5	5.9	17.6	35.3	23.5
30歳代	(N=30)	30.0	40.0	23.3	10.0	33.3	16.7	16.7	30.0	20.0
40歳代	(N=39)	28.2	33.3	23.1	23.1	35.9	12.8	25.6	53.8	30.8
50歳代	(N=53)	43.4	43.4	28.3	11.3	22.6	17.0	30.2	37.7	26.4
60歳代	(N=55)	34.5	36.4	32.7	14.5	23.6	14.5	16.4	60.0	25.5
70歳代	(N=46)	41.3	47.8	21.7	8.7	39.1	17.4	26.1	56.5	17.4
80歳以上	(N=32)	34.4	40.6	12.5	18.8	28.1	0.0	18.8	34.4	15.6

	合計	わからない	市が取り組むことはない	その他	無回答
全体	(N=293)	5.5	3.1	5.1	0.3
10歳代	(N=21)	0.0	9.5	0.0	0.0
20歳代	(N=17)	17.6	5.9	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	3.3	0.0	6.7	0.0
40歳代	(N=39)	2.6	0.0	5.1	0.0
50歳代	(N=53)	9.4	1.9	1.9	0.0
60歳代	(N=55)	5.5	3.6	5.5	0.0
70歳代	(N=46)	0.0	2.2	4.3	0.0
80歳以上	(N=32)	9.4	6.3	15.6	3.1

【女性】

	合計	図書館等の市の施設に通いやすくする	高齢者向けの教室・講座を増やす	自主的な活動を支援する	グループへの参加や立ち上げを支援する	地域やコミュニティでの活動機会をつくる	ボランティアやNPOでの活動機会をつくる	デイサービスや福祉施設での学習機会を充実させる	気軽に立ち寄れる居場所を充実させる	世代や障害の有無に関わらず交流できる機会をつくる
全体	(N=477)	40.0	45.1	21.2	16.6	28.9	13.8	28.9	55.3	34.0
10歳代	(N=32)	21.9	50.0	21.9	12.5	18.8	9.4	28.1	59.4	34.4
20歳代	(N=46)	43.5	34.8	19.6	21.7	21.7	8.7	37.0	67.4	13.0
30歳代	(N=65)	43.1	32.3	15.4	12.3	36.9	13.8	35.4	58.5	29.2
40歳代	(N=70)	40.0	44.3	24.3	17.1	31.4	11.4	34.3	62.9	42.9
50歳代	(N=72)	34.7	44.4	25.0	22.2	33.3	18.1	31.9	58.3	50.0
60歳代	(N=78)	47.4	53.8	17.9	15.4	25.6	12.8	21.8	44.9	32.1
70歳代	(N=79)	40.5	49.4	21.5	11.4	25.3	21.5	20.3	51.9	36.7
80歳以上	(N=35)	40.0	51.4	25.7	22.9	34.3	5.7	25.7	40.0	17.1

	合計	わからない	市が取り組むことはない	その他	無回答
全体	(N=477)	3.6	0.2	3.1	1.5
10歳代	(N=32)	9.4	0.0	3.1	3.1
20歳代	(N=46)	0.0	0.0	4.3	0.0
30歳代	(N=65)	7.7	0.0	1.5	0.0
40歳代	(N=70)	2.9	0.0	4.3	0.0
50歳代	(N=72)	2.8	0.0	4.2	0.0
60歳代	(N=78)	5.1	0.0	1.3	0.0
70歳代	(N=79)	1.3	1.3	3.8	6.3
80歳以上	(N=35)	0.0	0.0	2.9	2.9

表20

○50歳代以降をみると、男性では50歳代で「図書館等の市の施設に通いやすくする」と「高齢者向けの教室・講座を増やす」が、60～70歳代で「気軽に立ち寄れる居場所を充実させる」が、80歳以上で「高齢者向けの教室・講座を増やす」が最も多くなっています。

○女性では50歳代・70歳代で「気軽に立ち寄れる居場所を充実させる」が、60歳代・80歳以上で「高齢者向けの教室・講座を増やす」が最も多くなっています。

問16 あなたは、市が生涯学習の機会を提供することで、まちにどのような効果があると思いますか。(〇はいくつでも)

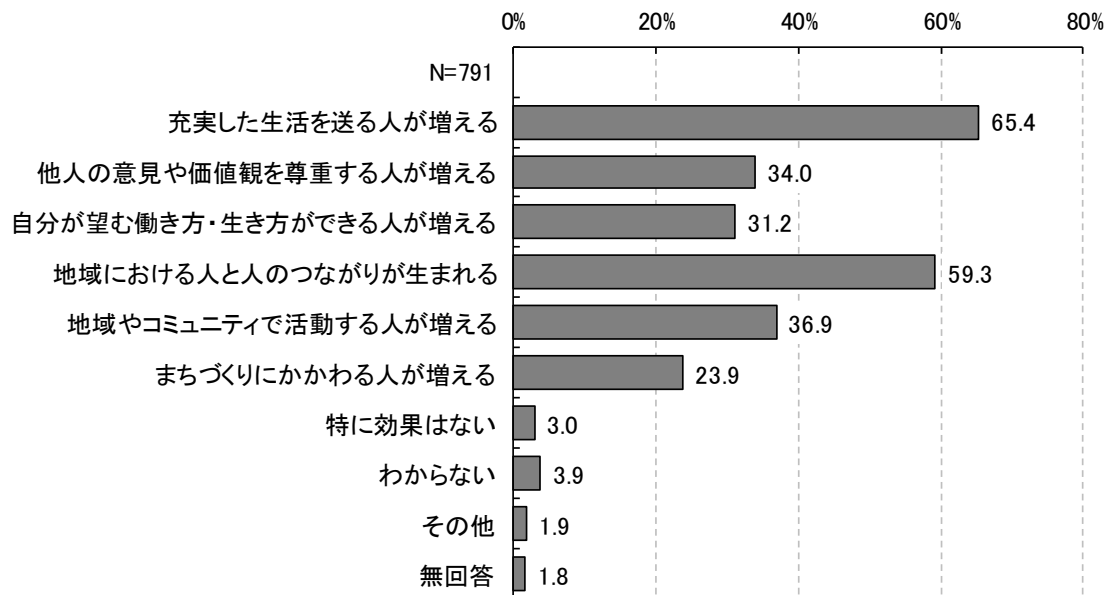


図16

○「充実した生活を送る人が増える」が65.4%で最も多く、ついで「地域における人と人のつながりが生まれる」が59.3%、「地域やコミュニティで活動する人が増える」が36.9%で続きます。

問17 あなたは、生涯学習をする上で、重要な施設はどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

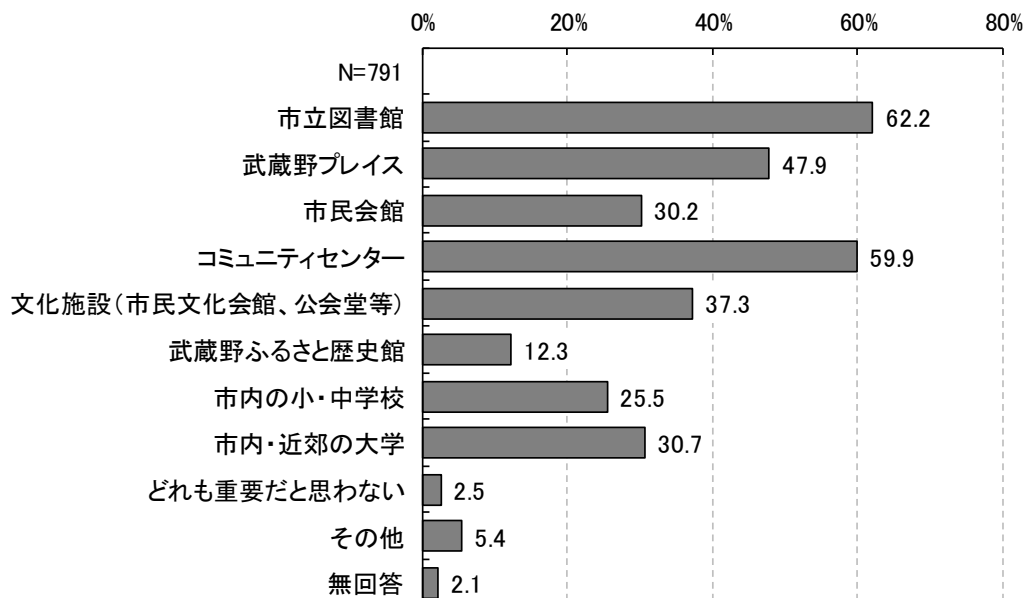


図17

○「市立図書館」が62.2%で最も多く、ついで「コミュニティセンター」が59.9%、「武蔵野プレイス」が47.9%で続きます。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問16)

【男性】

	合計	充実した生活を送る人が増える	他人の意見や価値観を尊重する人が増える	自分が望む働き方・生活ができる人が増える	地域における人と人のつながりが生まれる	地域やコミュニティで活動する人が増える	まちづくりにかかわる人が増える	特に効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=293)	64.2	34.5	28.7	49.8	35.2	21.5	4.8	5.5	2.0	1.0
10歳代	(N=21)	61.9	33.3	28.6	52.4	23.8	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0
20歳代	(N=17)	64.7	29.4	41.2	47.1	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	63.3	30.0	33.3	33.3	33.3	26.7	10.0	6.7	0.0	0.0
40歳代	(N=39)	66.7	25.6	33.3	61.5	71.8	28.2	0.0	2.6	0.0	0.0
50歳代	(N=53)	69.8	28.3	30.2	47.2	37.7	26.4	3.8	7.5	3.8	0.0
60歳代	(N=55)	69.1	47.3	38.2	52.7	29.1	21.8	5.5	3.6	1.8	0.0
70歳代	(N=46)	52.2	43.5	23.9	60.9	30.4	21.7	2.2	6.5	0.0	2.2
80歳以上	(N=32)	62.5	28.1	0.0	34.4	21.9	12.5	6.3	9.4	9.4	6.3

【女性】

	合計	充実した生活を送る人が増える	他人の意見や価値観を尊重する人が増える	自分が望む働き方・生活ができる人が増える	地域における人と人のつながりが生まれる	地域やコミュニティで活動する人が増える	まちづくりにかかわる人が増える	特に効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=477)	67.1	34.0	33.1	65.8	38.4	25.6	1.5	3.1	1.5	1.9
10歳代	(N=32)	53.1	28.1	18.8	56.3	40.6	25.0	3.1	3.1	0.0	3.1
20歳代	(N=46)	54.3	23.9	43.5	58.7	28.3	21.7	0.0	0.0	2.2	2.2
30歳代	(N=65)	75.4	23.1	36.9	60.0	47.7	35.4	1.5	3.1	1.5	0.0
40歳代	(N=70)	70.0	31.4	40.0	71.4	50.0	28.6	0.0	2.9	2.9	0.0
50歳代	(N=72)	72.2	36.1	37.5	77.8	44.4	29.2	0.0	1.4	0.0	0.0
60歳代	(N=78)	71.8	41.0	28.2	64.1	30.8	12.8	2.6	3.8	1.3	1.3
70歳代	(N=79)	63.3	41.8	27.8	67.1	31.6	29.1	3.8	3.8	2.5	3.8
80歳以上	(N=35)	62.9	40.0	25.7	60.0	28.6	20.0	0.0	8.6	0.0	8.6

表21

○男性の40歳代では「地域やコミュニティで活動する人が増える」が最も多くなっています。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問17)

【男性】

	合計	市立図書館	武蔵野プレイス	市民会館	コミュニティセンター	文化施設(市民文化会館、公会堂等)	武蔵野ふるさと歴史館	市内の小・中学校	市内・近郊の大学	どれも重要だと思わない	その他	無回答
全体	(N=293)	59.7	44.0	24.2	52.2	34.1	13.3	20.5	29.0	4.1	5.1	0.7
10歳代	(N=21)	33.3	66.7	23.8	33.3	28.6	4.8	28.6	42.9	4.8	4.8	0.0
20歳代	(N=17)	64.7	47.1	23.5	52.9	17.6	11.8	23.5	23.5	5.9	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	60.0	50.0	20.0	46.7	33.3	16.7	16.7	16.7	6.7	0.0	0.0
40歳代	(N=39)	66.7	56.4	35.9	74.4	33.3	25.6	33.3	33.3	0.0	5.1	0.0
50歳代	(N=53)	60.4	39.6	28.3	49.1	37.7	9.4	20.8	35.8	3.8	5.7	0.0
60歳代	(N=55)	60.0	41.8	23.6	45.5	36.4	14.5	21.8	23.6	5.5	12.7	1.8
70歳代	(N=46)	58.7	39.1	21.7	63.0	37.0	10.9	15.2	34.8	0.0	2.2	0.0
80歳以上	(N=32)	65.6	25.0	12.5	43.8	34.4	9.4	6.3	18.8	9.4	3.1	3.1

【女性】

	合計	市立図書館	武蔵野プレイス	市民会館	コミュニティセンター	文化施設(市民文化会館、公会堂等)	武蔵野ふるさと歴史館	市内の小・中学校	市内・近郊の大学	どれも重要だと思わない	その他	無回答
全体	(N=477)	63.9	49.9	34.2	64.2	39.0	11.7	28.7	31.7	1.5	5.9	2.7
10歳代	(N=32)	43.8	43.8	28.1	59.4	34.4	3.1	18.8	15.6	6.3	0.0	3.1
20歳代	(N=46)	73.9	50.0	39.1	58.7	37.0	10.9	30.4	21.7	0.0	8.7	2.2
30歳代	(N=65)	75.4	55.4	38.5	80.0	33.8	12.3	40.0	33.8	0.0	3.1	0.0
40歳代	(N=70)	70.0	52.9	31.4	72.9	37.1	11.4	44.3	32.9	0.0	4.3	1.4
50歳代	(N=72)	72.2	55.6	34.7	69.4	41.7	19.4	30.6	50.0	1.4	9.7	0.0
60歳代	(N=78)	64.1	50.0	35.9	51.3	38.5	7.7	24.4	29.5	3.8	9.0	3.8
70歳代	(N=79)	50.6	46.8	34.2	59.5	44.3	10.1	17.7	29.1	0.0	5.1	3.8
80歳以上	(N=35)	48.6	34.3	25.7	57.1	42.9	17.1	14.3	25.7	2.9	2.9	11.4

表22

○男性の10歳代では「武蔵野プレイス」が最も多く、女性の10歳代においても2番目に多くなっています。

3. 子どもの生涯学習について

問18 中学生以下の子どもがいる137人が回答しました。

あなたのお子さんは、学校の授業や課外活動、部活動以外で、過去1年間において何かを学んだり、体験する活動をしましたか。(〇はいくつでも)

※習い事で取り組んでいる場合も含まれます。

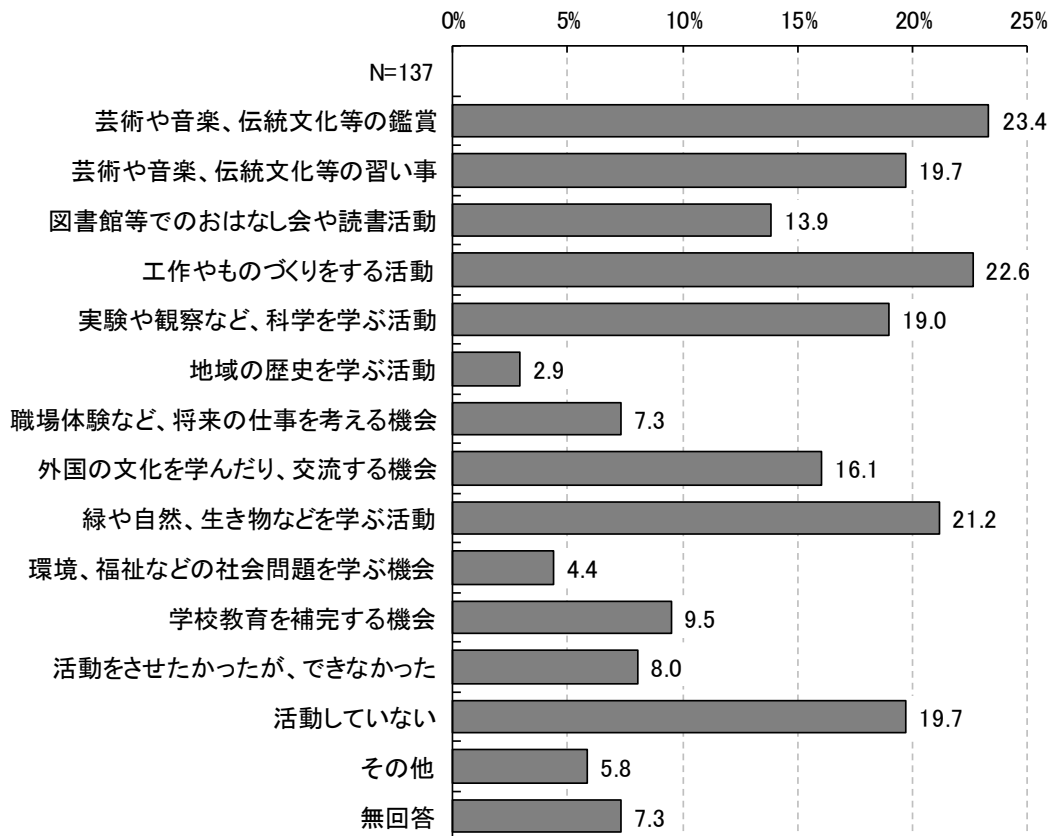


図18

○「芸術や音楽、伝統文化等の鑑賞」が23.4%で最も多く、ついで「工作やものづくりをする活動」が22.6%、「緑や自然、生き物などを学ぶ活動」が21.2%で続きます。

○「活動をさせたかったができなかった」が8.0%、「活動していない」が19.7%となっています。

○過去1年間で何かを学んだり、体験する活動をした子ども(全体から「活動させたかったが、できなかった」、「活動していない」、「無回答」を除いて算出)は65.0%です。

問19 問18で「活動させたかったが、できなかった」か「活動していない」を選択した38人が回答しています。

あなたのお子さんが、学んだり、体験活動をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

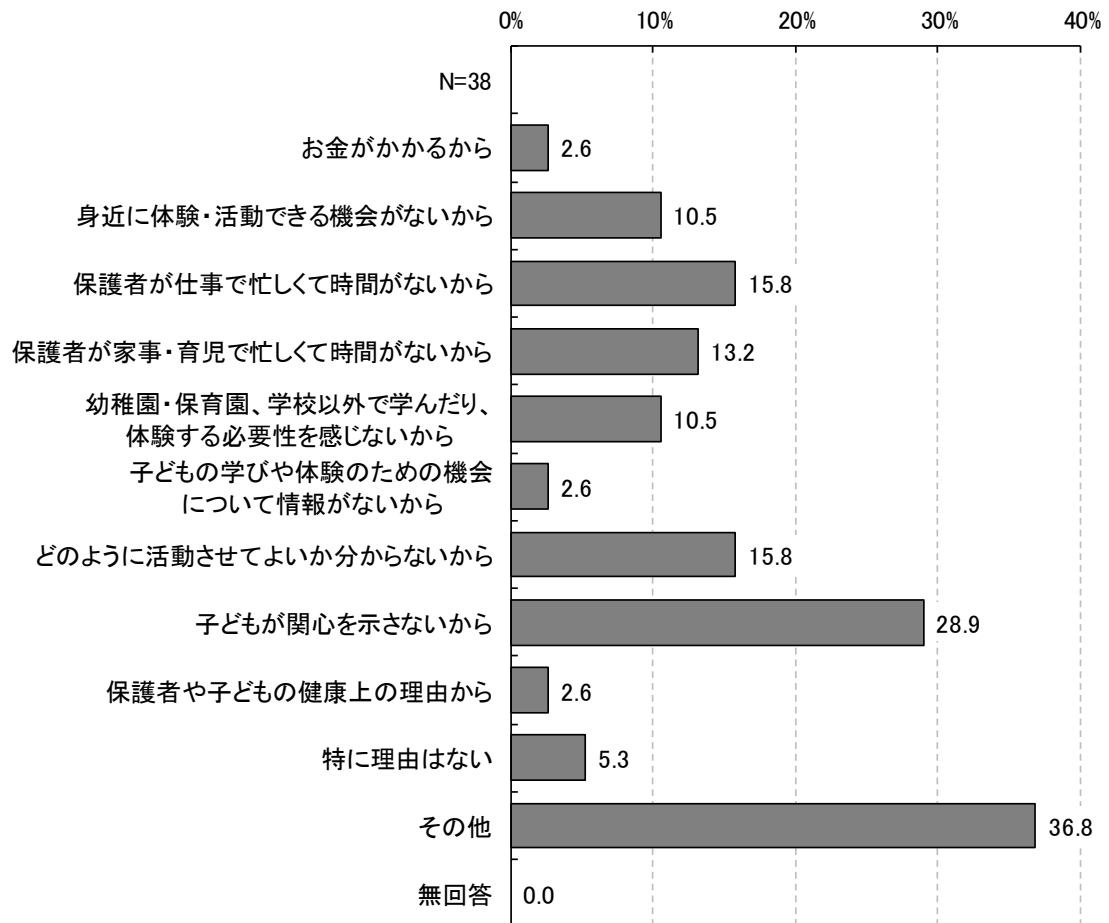


図19

○「その他」(36.8%)を除くと、「子どもが関心を示さないから」が28.9%で最も多く、ついで「保護者が仕事で忙しくて時間がないから」と「どのように活動させてよいかわからないから」が15.8%、「保護者が家事・育児で忙しくて時間がないから」が13.2%で続きます。

○「その他」の具体的な内容については、子どもが幼いために参加させていないという理由が多く見られました。

問20 中学生以下の子どもがいる137人が回答しました。

あなたが、子どものために、市が提供した方がよいと思う機会をすべて選択してください。(〇はいくつでも)

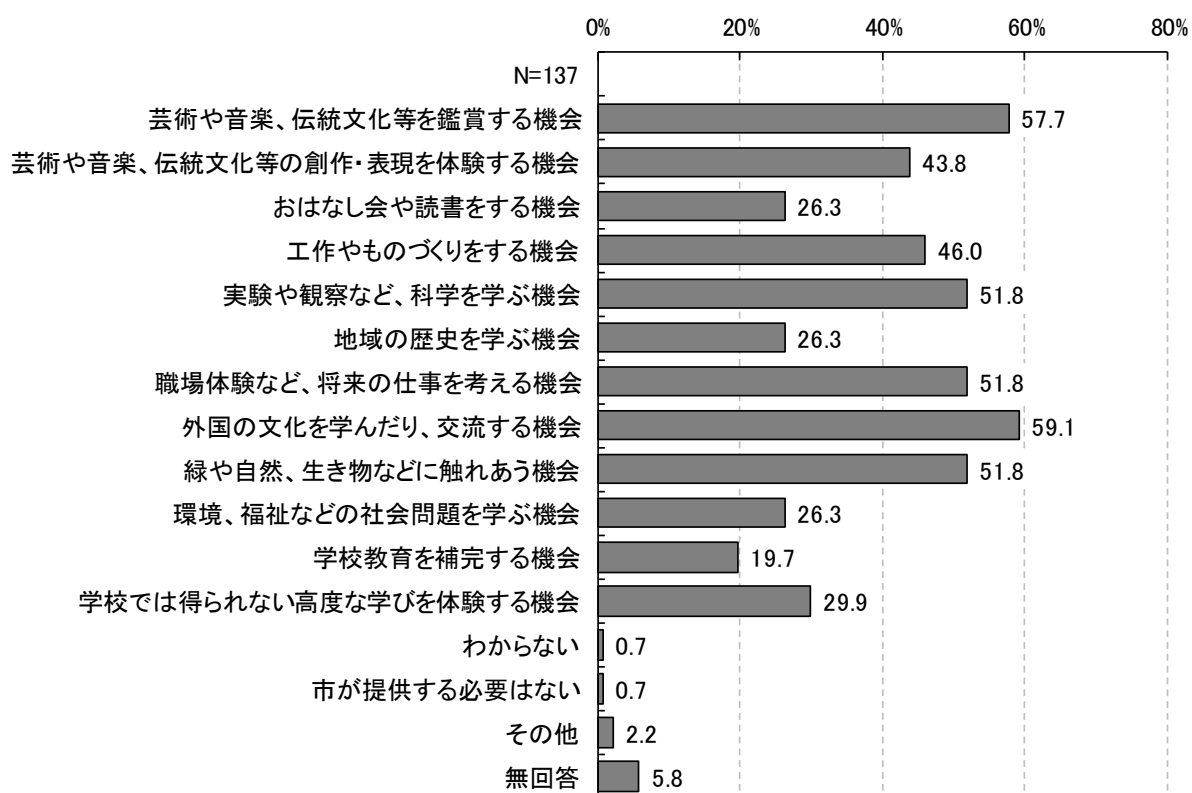


図20

○「外国の文化を学んだり、交流する機会」が59.1%で最も多く、ついで「芸術や音楽、伝統文化等を鑑賞する機会」が57.7%、「実験や観察など、科学を学ぶ機会」、「職場体験など、将来の仕事を考える機会」、「緑や自然、生き物などに触れあう機会」が51.8%で続きます。

問21 中学生以下の子どもがいる137人が回答しました。

あなたは、子どもが生涯学習活動をすることで、どのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

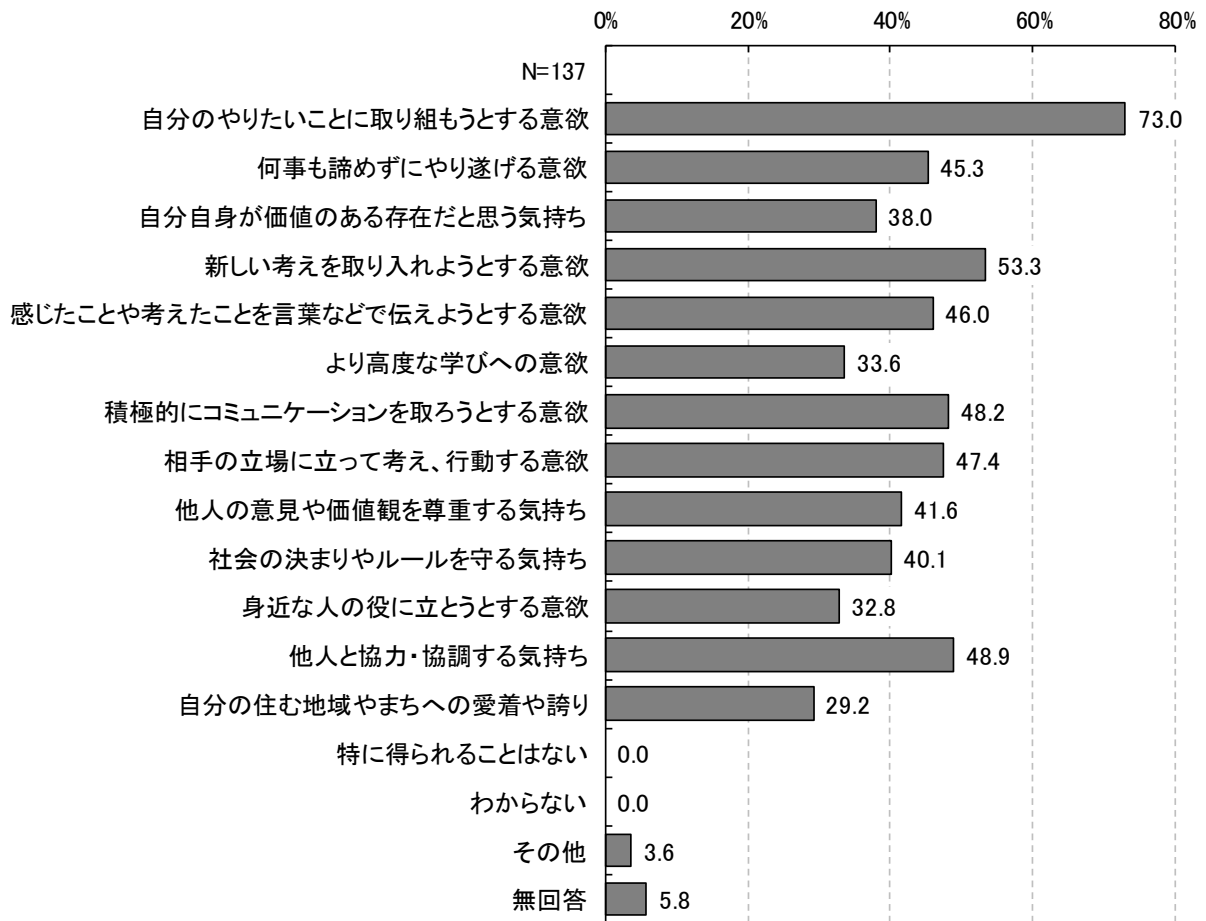


図21

○「自分のやりたいことに取り組もうとする意欲」が73.0%で最も多く、ついで「新しい考えを取り入れようとする意欲」が53.3%、「他人と協力・協調する気持ち」が48.9%で続きます。

4. あなた自身について

問22 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

※本調査では性別は「男性」「女性」の二択で尋ねていますが、回答したくない場合やいずれも該当しない場合は、選択しなくても構いません。

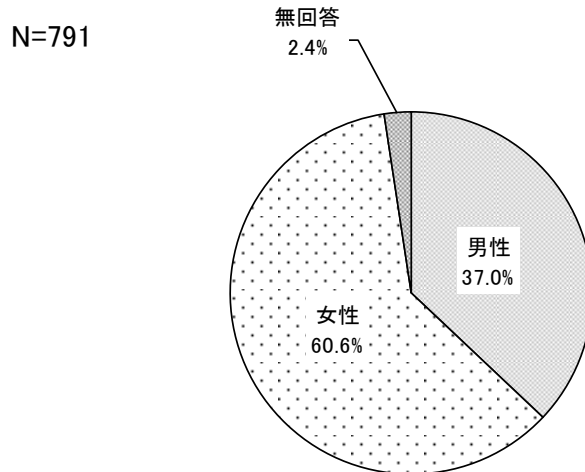


図22

○「男性」が37.0%、「女性」が60.6%です。

問23 あなたの年齢を教えてください。平成30年8月1日時点の年齢を記入してください。(○は1つ)

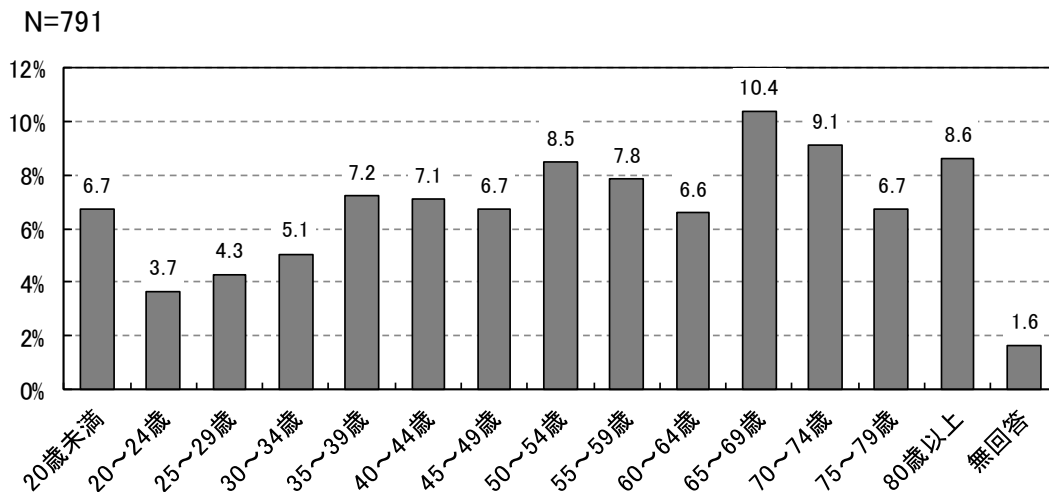


図23

○「65～69歳」が10.4%で最も多く、「70～74歳」が9.1%、「80歳以上」が8.6%で続きます。

問24 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

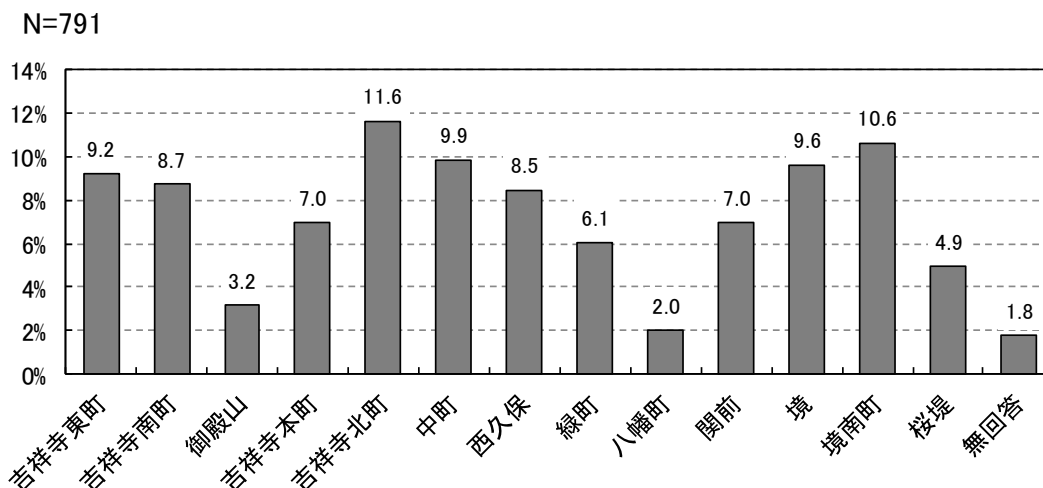


図24

○「吉祥寺北町」が11.6%で最も多く、ついで「境南町」が10.6%、「中町」が9.9%で続きます。

問25 あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

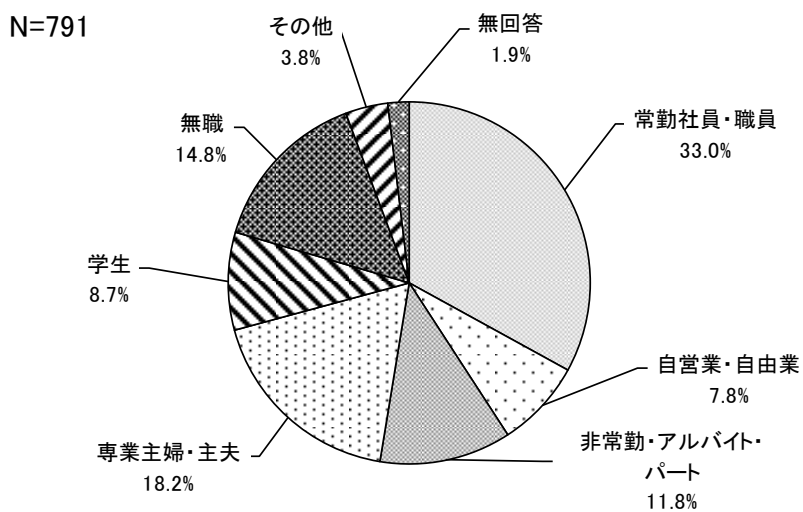


図25

○「常勤社員・職員」が33.0%で最も多く、ついで「専業主婦・主夫」が18.2%、「無職」が14.8%で続きます。

問26 あなたは、お子さんはいますか。(〇はいくつでも)

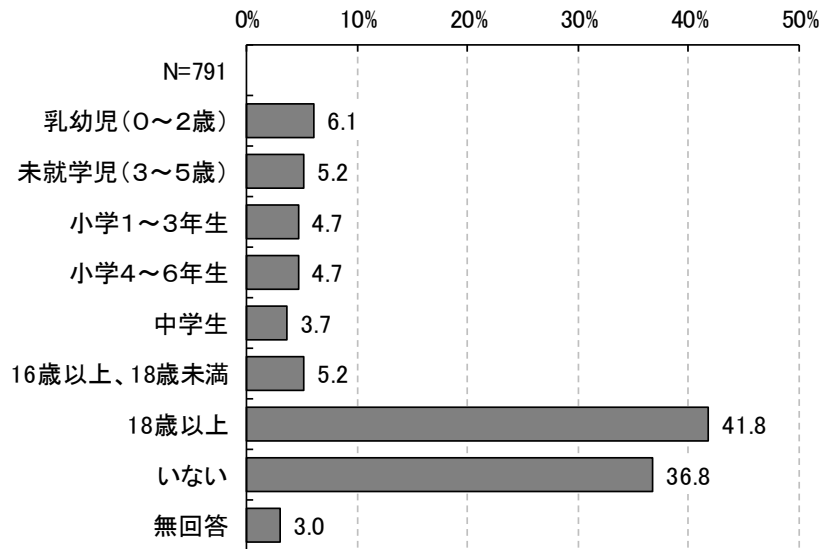


図26

○「18歳以上」が41.8%で最も多く、ついで「いない」が36.8%、「乳幼児」が6.1%で続きます。

問27 あなたは、仕事や学業、家事等のほか、趣味や自分の楽しみのために使える時間が十分取れていると思いますか。(○は1つ)

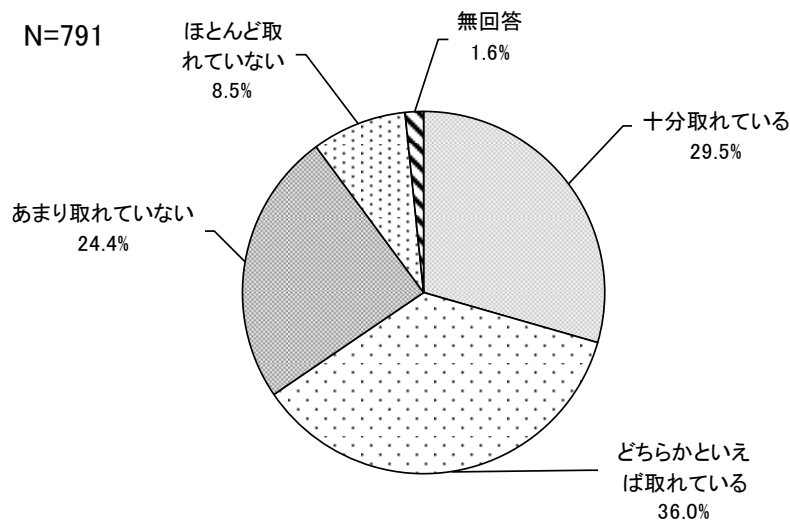


図27

○「どちらかといえば取れている」が36.0%で最も多く、ついで「十分取れている」が29.5%、「あまり取れていない」が24.4%で続きます。

○趣味や自分の楽しみに使える時間が十分とれていると思う人(「十分取れている」と「どちらかというと取れている」の合計)は65.5%となっています。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問27)

【男性】

	合計	十分取れている	どちらかといえば取れている	あまり取れていない	ほとんど取れていない	無回答
全体	(N=293)	32.1	35.8	22.5	8.9	0.7
10歳代	(N=21)	19.0	28.6	28.6	23.8	0.0
20歳代	(N=17)	47.1	47.1	5.9	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	13.3	46.7	26.7	13.3	0.0
40歳代	(N=39)	15.4	41.0	28.2	15.4	0.0
50歳代	(N=53)	18.9	39.6	30.2	11.3	0.0
60歳代	(N=55)	32.7	40.0	18.2	5.5	3.6
70歳代	(N=46)	60.9	23.9	15.2	0.0	0.0
80歳以上	(N=32)	50.0	21.9	21.9	6.3	0.0

【女性】

	合計	十分取れている	どちらかといえば取れている	あまり取れていない	ほとんど取れていない	無回答
全体	(N=477)	28.9	36.7	25.6	8.4	0.4
10歳代	(N=32)	21.9	59.4	12.5	6.3	0.0
20歳代	(N=46)	23.9	34.8	37.0	4.3	0.0
30歳代	(N=65)	16.9	33.8	32.3	15.4	1.5
40歳代	(N=70)	24.3	35.7	24.3	15.7	0.0
50歳代	(N=72)	19.4	38.9	33.3	8.3	0.0
60歳代	(N=78)	42.3	30.8	23.1	3.8	0.0
70歳代	(N=79)	36.7	38.0	21.5	3.8	0.0
80歳以上	(N=35)	45.7	31.4	11.4	8.6	2.9

表23

○男性では20歳代・70歳代・80歳以上、女性では60歳代・80歳以上で「十分取れている」が最も多くなっています。

○「あまり取れていない」が最も多くなっているのは、男性の10歳代と女性の20歳代です。ただ、男性の10歳代を除くと、いずれも「十分取れている」と「どちらかというと取れている」の合計の方が多くなっています。

問28 あなたは、趣味や自分の楽しみのために使えるお金が十分得られていると思いますか。(〇は1つ)

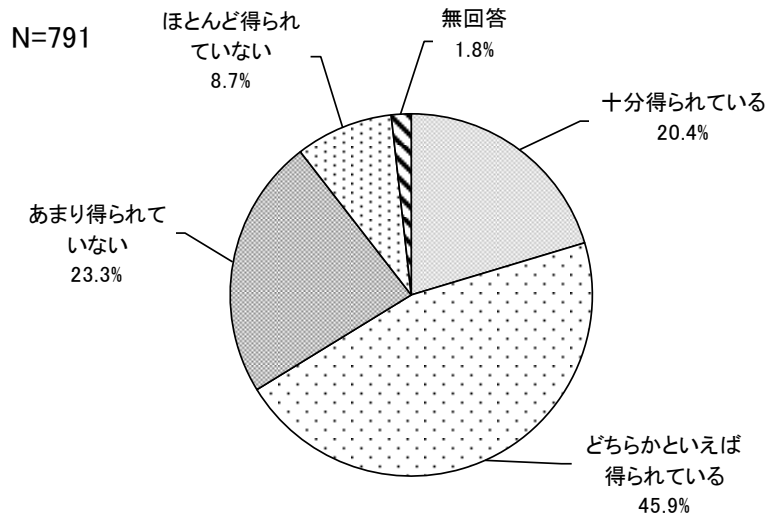


図28

○「どちらかといえば得られている」が45.9%で最も多く、ついで「あまり得られていない」が23.3%、「十分得られている」が20.4%で続きます。

○趣味や自分の楽しみのために使えるお金が十分得られていると思う人(「十分得られている」と「どちらか」と得られている」の合計)は66.3%となっています。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問28)

【男性】

	合計	十分得られている	どちらかといえば得られている	あまり得られていない	ほとんど得られていない	無回答
全体 (N=293)	19.8	42.7	27.3	9.9	0.3	
10歳代 (N=21)	19.0	33.3	23.8	23.8	0.0	
20歳代 (N=17)	23.5	52.9	11.8	11.8	0.0	
30歳代 (N=30)	6.7	36.7	46.7	10.0	0.0	
40歳代 (N=39)	10.3	46.2	38.5	5.1	0.0	
50歳代 (N=53)	24.5	37.7	24.5	13.2	0.0	
60歳代 (N=55)	23.6	41.8	23.6	9.1	1.8	
70歳代 (N=46)	30.4	52.2	10.9	6.5	0.0	
80歳以上 (N=32)	12.5	40.6	40.6	6.3	0.0	

【女性】

	合計	十分得られている	どちらかといえば得られている	あまり得られていない	ほとんど得られていない	無回答
全体 (N=477)	21.4	48.6	21.2	8.2	0.6	
10歳代 (N=32)	28.1	37.5	18.8	15.6	0.0	
20歳代 (N=46)	10.9	41.3	43.5	4.3	0.0	
30歳代 (N=65)	21.5	49.2	20.0	7.7	1.5	
40歳代 (N=70)	27.1	34.3	28.6	10.0	0.0	
50歳代 (N=72)	9.7	58.3	20.8	11.1	0.0	
60歳代 (N=78)	21.8	60.3	14.1	3.8	0.0	
70歳代 (N=79)	30.4	46.8	13.9	7.6	1.3	
80歳以上 (N=35)	20.0	54.3	14.3	8.6	2.9	

表24

○男性では30歳代・80歳代で、女性では20歳代で「あまり得られていない」が最も多くなっています。

○「あまり得られていない」と「ほとんど得られていない」の合計の方が多くなっているのは、男性の30歳代だけです。

問29 あなたは、過去1年間において地域や学校の行事等に参加しましたか。(○は1つ)

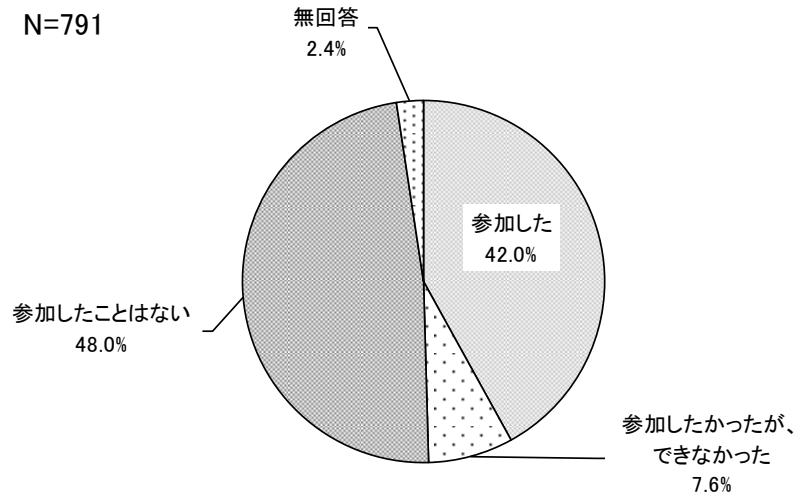


図29

○「参加したことはない」が48.0%で最も多く、ついで「参加した」が42.0%、「参加したかったが、できなかった」が7.6%で続きます。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問29)

【男性】

	合計	参加した	参加した かったが、 できなかった	参加した ことはない	無回答
全体	(N=293)	38.2	8.2	52.6	1.0
10歳代	(N=21)	57.1	4.8	38.1	0.0
20歳代	(N=17)	23.5	11.8	64.7	0.0
30歳代	(N=30)	40.0	3.3	56.7	0.0
40歳代	(N=39)	53.8	10.3	35.9	0.0
50歳代	(N=53)	22.6	11.3	66.0	0.0
60歳代	(N=55)	29.1	5.5	63.6	1.8
70歳代	(N=46)	50.0	8.7	37.0	4.3
80歳以上	(N=32)	37.5	9.4	53.1	0.0

【女性】

	合計	参加した	参加した かったが、 できなかった	参加した ことはない	無回答
全体	(N=477)	45.3	7.5	45.7	1.5
10歳代	(N=32)	62.5	6.3	31.3	0.0
20歳代	(N=46)	23.9	6.5	67.4	2.2
30歳代	(N=65)	50.8	7.7	40.0	1.5
40歳代	(N=70)	64.3	2.9	32.9	0.0
50歳代	(N=72)	38.9	5.6	54.2	1.4
60歳代	(N=78)	34.6	14.1	51.3	0.0
70歳代	(N=79)	46.8	5.1	45.6	2.5
80歳以上	(N=35)	42.9	14.3	37.1	5.7

表25

○「参加した」が最も多くなっているのは、男性の10歳代・40歳代・70歳代と女性の10歳代・30～40歳代・70歳代・80歳以上となっています。

○「参加した」は、男性では10歳代が最も多く、女性の10歳代も40歳代について多くなっています。

問30 あなたは、市内に住む方たちとどのようなつながりがありますか。(〇はいくつでも)

※家族や親せき、会社の同僚、学校の同級生は除きます。

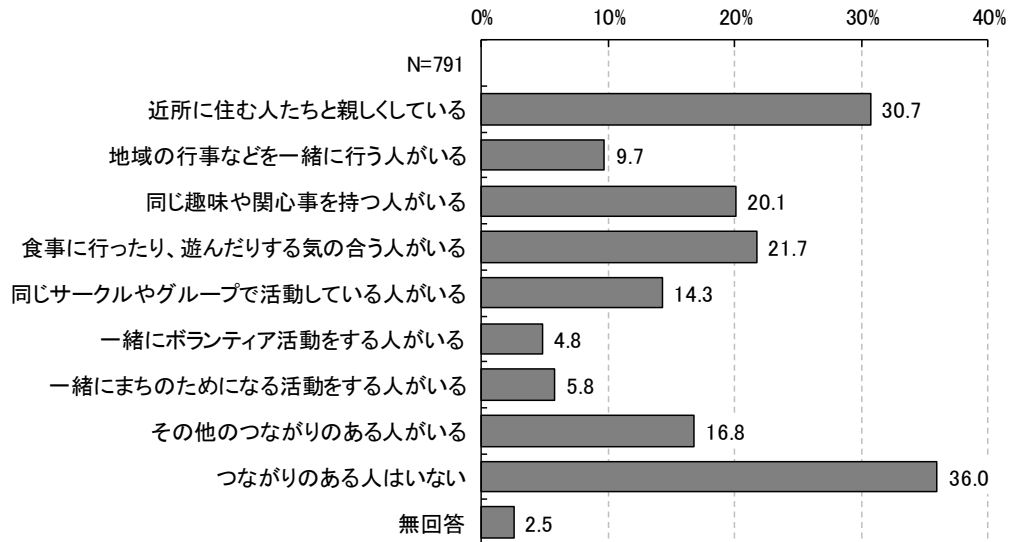


図30

○「つながりのある人はいない」が36.0%で最も多く、ついで「近所に住む人たちと親しくしている」が30.7%、「食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がある」が21.7%で続きます。

○市内に住む人と何らかのつながりのある人(全体から「つながりのある人はいない」と「無回答」を除いて算出)は61.5%となっています。

問31 あなたは、問30のような地域のつながりがあることで、まちにどのような効果があると思いますか。(〇はいくつでも)

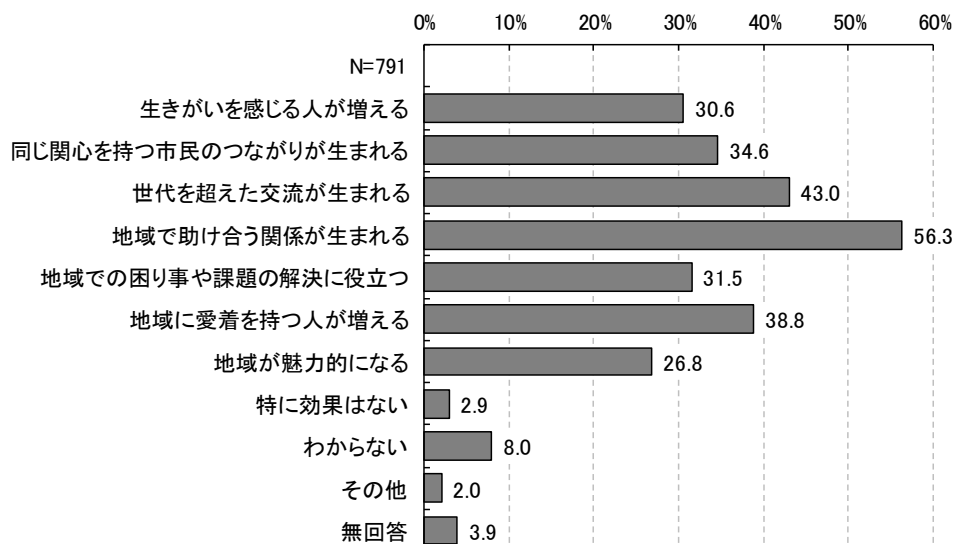


図31

○「地域で助け合う関係が生まれる」が56.3%で最も多く、ついで「世代を超えた交流が生まれる」が43.0%、「地域に愛着を持つ人が増える」が38.8%で続きます。

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問30)

【男性】

	合計	近所に住む人々と親しくしている	地域の行事などと一緒にいる人がいる	同じ趣味や関心事を持つ人がいる	食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる	同じサークルやグループで活動している人がいる	一緒にボランティア活動をする人がいる	一緒にまちのためになる活動をする人がいる	その他のつながりのある人がいる	つながりのある人はいない	無回答
全体	(N=293)	27.3	8.9	15.4	11.6	8.2	3.8	6.1	17.1	40.6	1.7
10歳代	(N=21)	19.0	9.5	9.5	23.8	4.8	0.0	0.0	9.5	42.9	4.8
20歳代	(N=17)	17.6	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	70.6	0.0
30歳代	(N=30)	16.7	10.0	6.7	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3	60.0	0.0
40歳代	(N=39)	33.3	10.3	12.8	12.8	5.1	2.6	5.1	17.9	38.5	0.0
50歳代	(N=53)	24.5	3.8	7.5	9.4	1.9	1.9	0.0	13.2	45.3	0.0
60歳代	(N=55)	21.8	5.5	12.7	7.3	9.1	7.3	10.9	10.9	43.6	5.5
70歳代	(N=46)	39.1	15.2	28.3	10.9	19.6	10.9	17.4	28.3	19.6	0.0
80歳以上	(N=32)	37.5	15.6	31.3	15.6	12.5	0.0	6.3	31.3	25.0	3.1

【女性】

	合計	近所に住む人々と親しくしている	地域の行事などと一緒にいる人がいる	同じ趣味や関心事を持つ人がいる	食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる	同じサークルやグループで活動している人がいる	一緒にボランティア活動をする人がいる	一緒にまちのためになる活動をする人がいる	その他のつながりのある人がいる	つながりのある人はいない	無回答
全体	(N=477)	33.1	10.1	23.7	28.5	18.2	5.7	5.9	17.4	33.8	1.0
10歳代	(N=32)	31.3	3.1	3.1	15.6	12.5	3.1	0.0	3.1	43.8	0.0
20歳代	(N=46)	13.0	0.0	0.0	10.9	2.2	0.0	2.2	4.3	69.6	0.0
30歳代	(N=65)	26.2	1.5	4.6	23.1	3.1	0.0	0.0	10.8	49.2	1.5
40歳代	(N=70)	30.0	12.9	17.1	25.7	15.7	4.3	5.7	15.7	38.6	0.0
50歳代	(N=72)	37.5	13.9	29.2	38.9	12.5	11.1	8.3	19.4	25.0	0.0
60歳代	(N=78)	23.1	5.1	30.8	32.1	25.6	5.1	5.1	16.7	30.8	1.3
70歳代	(N=79)	48.1	20.3	50.6	39.2	34.2	6.3	8.9	26.6	12.7	0.0
80歳以上	(N=35)	60.0	20.0	34.3	25.7	37.1	17.1	17.1	40.0	11.4	8.6

表26

○「つながりのある人はいない」については、男性では10～60歳代で最も多く、女性では10～50歳代で最も多くなっています。

○男性では、70歳代・80歳以上で「近所に住む人々と親しくしている」が最も多くなり、「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」も多くなります。

○女性では、50～60歳代で「食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる」が、70歳代で「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」が、80歳以上で「近所に住む人々と親しくしている」が最も多くなります。

○「同じサークルやグループで活動している人がいる」については、男性では70歳代以降に、女性では40歳代以降に多くなる傾向があります。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

■性別・年代別(10歳代)クロス集計(問30)

【男性】

	合計	生きがいを感じる人が増える	同じ関心を持つ市民のつながりが生まれる	世代を超えた交流が生まれる	地域で助け合う関係が生まれる	地域での困り事や課題の解決に役立つ	地域に愛着を持つ人が増える	地域が魅力的になる	特に効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=293)	29.4	31.7	35.8	50.5	31.4	41.3	27.0	5.5	10.2	2.0	2.4
10歳代	(N=21)	9.5	28.6	23.8	33.3	19.0	42.9	9.5	14.3	14.3	0.0	0.0
20歳代	(N=17)	35.3	41.2	35.3	47.1	58.8	47.1	23.5	0.0	23.5	0.0	0.0
30歳代	(N=30)	26.7	30.0	50.0	53.3	26.7	46.7	26.7	10.0	6.7	0.0	3.3
40歳代	(N=39)	35.9	33.3	51.3	76.9	46.2	59.0	41.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	(N=53)	30.2	26.4	35.8	58.5	34.0	41.5	20.8	5.7	11.3	3.8	0.0
60歳代	(N=55)	36.4	36.4	29.1	52.7	30.9	38.2	38.2	1.8	10.9	1.8	1.8
70歳代	(N=46)	26.1	32.6	37.0	39.1	23.9	32.6	21.7	6.5	6.5	4.3	4.3
80歳以上	(N=32)	25.0	28.1	21.9	28.1	18.8	28.1	21.9	9.4	18.8	3.1	9.4

【女性】

	合計	生きがいを感じる人が増える	同じ関心を持つ市民のつながりが生まれる	世代を超えた交流が生まれる	地域で助け合う関係が生まれる	地域での困り事や課題の解決に役立つ	地域に愛着を持つ人が増える	地域が魅力的になる	特に効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=477)	31.2	36.3	47.8	60.8	31.4	38.2	26.8	1.5	6.5	2.1	3.8
10歳代	(N=32)	21.9	31.3	43.8	46.9	28.1	50.0	34.4	0.0	9.4	0.0	3.1
20歳代	(N=46)	15.2	21.7	34.8	67.4	26.1	45.7	28.3	0.0	6.5	4.3	0.0
30歳代	(N=65)	20.0	24.6	41.5	49.2	26.2	43.1	23.1	1.5	12.3	0.0	7.7
40歳代	(N=70)	27.1	37.1	51.4	74.3	41.4	34.3	32.9	0.0	1.4	7.1	0.0
50歳代	(N=72)	33.3	43.1	62.5	66.7	41.7	37.5	26.4	1.4	4.2	1.4	1.4
60歳代	(N=78)	29.5	34.6	51.3	55.1	20.5	33.3	26.9	2.6	6.4	2.6	6.4
70歳代	(N=79)	45.6	49.4	41.8	62.0	32.9	36.7	22.8	2.5	6.3	0.0	3.8
80歳以上	(N=35)	57.1	40.0	48.6	57.1	31.4	31.4	22.9	2.9	8.6	0.0	8.6

表27

- 男性・女性ともに10歳代では「地域に愛着を持つ人が増える」が最も多くなっています。
- そのほか、男性の20歳代では「地域での困り事や課題の解決に役立つ」が最も多くなっています。
- 男性で20～40歳代、女性で10～30歳代で、他の年代に比べて「地域に愛着を持つ人が増える」が多くなっています。

問32 武蔵野市の生涯学習に関する取組について、何か意見がありましたら自由に記入してください。(抜粋)

■内容

※意見は原文のままで記載しています。

(1)参加の機会の充実

①学習テーマに関する意見

- オリンピック関連がもっと増えるといいと思います。(男性, 20歳代)
- これからはよりボーダレスな社会になっていきます。グローバルな活動、特にアジア圏をベースにきっかけを与えるような取り組みに期待します!(男性, 40歳代)
- 他言語学習の機会があれば知りたい。仕事の後、深夜でも学びの機会が提供されているのであれば、利用してみたい。市内の大学で学び直しの機会を提供してほしい。(女性, 40歳代)
- 日本及び多摩地区の歴史や文化について学びたい(女性, 50歳代)

②子ども向けの事業を求める意見

- 充実しているのではないかと思います。子ども向けのイベントや講座に、もっと参加できる機会が増えると良いと思います(抽選の場合の倍率が高いので…。)(女性, 30歳代)
- 本物(芸術関連)に子供たちが触れる機会を増やしてほしいです(女性, 40歳代)
- 高齢者向けの施設や学習する機会は割に多いと思うが、子供達、又子育て世代の自分の時間が取りにくい人達が気軽にチャレンジ/取り組める学習の機会をもっと増やしてほしい。日々のあわただしい生活に追われていてもふっと気分転換できる様なものも含めて。(女性, 50歳代)
- 高齢者にはいろいろと手厚いと思いますが、若い世代(現役)に子供たちにもっと手厚い企画があるといいなと思います。(女性, 70歳代)

③若者向けの事業を求める意見

- 子ども、高齢者以外、若者、一人ぐらしにむけてのものがほしい。参加してみたいものがあっても大体が子どもむけ(乳幼児)なので参加しにくい。地域の学校との連携が必要。1回完結ではなく、継続して参加すると人のつながりができる。ボランティアはもう少し種類があるとよい。南町からだ中央図書には行きづらい。生涯学習は今後もっと充実させてほしい。現在、予備校などに行っているの。土日以外にもあるとよい。平日夜など働いている人むけのものがほしい。(女性, 30歳代)
- 子供と高齢者ばかりが対象になったサービスにかたよりがちな気がします。私達のような子がない世帯にもつながりのきっかけを作る学習やサービスが何かないものかと思います。これから先、子供がいる家族があたり前の時代ではなくなっていくと考えられます。様々な価値観があることをお互いに理解して思いやれる生涯学習になるように望みます。(女性, 40歳代)
- 高校生、大学生対象のイベントや、補助の充実を望みます。小・中学生と比べると自主性に任せている感がある様に感じます。何かを学ぶきっかけとなる様なことが増えると有難いです。(女性, 50歳代)

④開催日時に関する意見

- 会社員も参加することのできる平日夜、土、日の生涯学習の場も充実させてほしい。(男性, 30歳代)
- 夜や土日に学ぶことができると参加しやすいと思います。託児所があるとさらに助かります。(女性, 30歳代)
- 正社員で働いているので、子ども参加のイベントを土日や、平日夜開催も増やしてほしい。(女性, 30歳代)

⑤参加のきっかけを求める意見

- 市の企画する学習活動には何度か参加させて頂き、貴重な体験をすることができました。生涯学習をスタートさせる契機となったといえます。市がこのようなきっかけを提供すれば市民の方々は自主的に活動

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

をはじめていくと思いますので、最初の一步を後押しする取り組みがとりわけ大切なのではないかと考えます。市立図書館に専門書を増やして頂けると嬉しいです。特に新しい法律の基本書など。(男性、20歳代)

○初心の人が参加し易い活動が多種あると良いと思います。(男性、60歳代)

○行きたい講座があっても、初めて行く勇気がない。(女性、70歳代)

⑥参加費に関する意見

○料金が安く、仕事帰りにでも通える講座、教室等があればいいと思う(語学、スポーツ、音楽等、色々な分野で)(無回答、50歳代)

○お金がかからずに学びたい(女性、80歳以上)

⑦その他

○子供から大人まで、興味を持ったことを学べる(多方面な分野・深く)機会(講座など)があると良い。(女性、10歳代)

○他の市区町村に比べて生涯学習への取り組みが熱心で、転入当初驚いたことを覚えています。何か参加したいと思っていますが、続きものの講座はシフト制の働き方では参加が難しく、かといって他の講座にはあまり興味を持たずあきらめてしまっています。順を追ってで良いので、少しずついろいろな生活スタイルの人に合った多種多様な講座が増えれば良いなと思っています。期待しています。(女性、20歳代)

○平日働いていると、気になるイベントに行けないことが多い。地域とつながりを持ちたいが、どのようにすれば良いか分からない。(女性、30歳代)

○生涯学習を受けたことはありませんが、2020年のオリンピックを迎える時に、都内に海外の方が増えた時に少しでも語学を学んで助けられるようにできるといいと思いました。災害時どう動いていこうかとか健康の面でもいろんな事を学べるとうれしいです。地域のつながりを持っていく事が必要だと感じます。(女性、40歳代)

○何を学びたいかと何を教えられるかと何を伝えるべきか(例えば戦争体験とか)を体系的にまとめることができれば良いと思う。あと学べる時間帯も難しい問題です。講座のネット動画配信とかがあれば時間にとらわれずできる質問等もネットでできたりできればよいのでは?(男性、50歳代)

○江戸時代に生まれた千村が合併して120年ほどしかたたない、若いまちなので、歴史・文化を保存、発展させることを充実してほしい。(無回答、無回答)

(2)活動の場の充実

○学んだことを生かせる機会の提供。市という信頼性の高い機関が関わる事で学習(=インプット)中心からアウトプットする流れを構築して頂ければ社会との結びつき生きがいを感じることににつながるのではないかと思います。学ぶ=自己満足だけで終わることのない仕組み作りの充実を期待致します。(男性、40歳代)

○生涯学習の内容の拡大と充実が必要。需要と供給の齟齬がないか精査し、幅広い学習環境を造ってほしい。(男性、70歳代)

○バスを利用して高齢者総合センターの講座に行っています。楽しく利用させていただいています。中学、高校生の地域での居場所と云うのはあるのでしょうか?楽しく又自分を高める様な場所があれば良いと思います。無ければ作ってあげたいです。(女性、70歳代)

(3)交流の機会の充実

○講演等は多いと思うが、その場限りで、人とつながりにくい。いろいろなテーマで、ファシリテーター等の元、いろいろな人が集まって、意見交換、活動できる場が多いとよいと思う。子供たちのテーマも、子連れの親限定が多くてもったいないと思う。(女性、50歳代)

○市の取組を詳しく理解しているわけではないので、勝手な意見になりますが、同年代の方々とつながることも大切ですが、たてのつながりが気楽に持てるような場所や事柄がたくさんあればいいなあと感じます。年配の

方からいろんなことが伝承されていくことはとても大切なことだと感じます。文化や歴史を伝えていくことはとても大切なことだと思いますし、若者の思いや考え方を年輩の方が知る事も大事だと考えます。(女性, 50歳代)

- 学ぶというだけでなく、学ぶ機会を通じて得るコミュニケーションの人間関係は、同じ興味でつながることができるので、様々な人と知り合い、楽しみが増えた経験があります。高度な知識取得の為というよりは、地域コミュニティの育成を目ざした生涯学習の機会を市から提供していただけると助かります。(女性, 無回答)

(4)事業実施における連携・協力

- 大学の講義を広く開設する機会をつくることによって市民と大学間の交流がより活発になければ好ましいように思われます(男性, 20歳代)
- 民間の施設や教室、団体、講師などを取り入れたり補助があつたりすれば活動の場が広がると思います。資格を持った人が講師となれる取組みもあれば良いと思います。(女性, 50歳代)
- ボランティア活動(市の仕事ができるもの)に参加した人が、何かの教室や体験研修など、楽しめるものにも、参加できる仕組。(映画や観劇、グループで参加する料理教室など)があると、やりがいにもなる。新メンバーを誘うときのポイントにできる。「地域のために働こう」だけでは、人が集まらない。ボランティアに、会議参加や、行事の運営を丸投げするだけでなく、楽しめるもの、人集めの決め手となるものを、作って欲しい。(女性, 50歳代)

(5)学習活動への支援

- ・当市に通学・通勤している人も対象になれるよう所属先への働きかけも行ってはどうか。・低所得者層の参加費はすべて無料にして受講機会均等にしてほしい。若年層が参加しやすい(興味を持てる)学習機会も充実させてほしい。年齢問わず自宅で学習できるカリキュラムも施行してほしい(DVD貸与やネット使用)(女性, 50歳代)
- ①重い障害を持つ人、子どもも学校卒業後も希望すれば学ぶ機会・場所が得られるよう、支援するようにして下さい。②高齢者向け講座(体験など)も元気な人ばかりで、本当に必要な要支援(要介護1)程度の人は通えないな…と思いました。③多方面のジャンルを増やし、選択肢を増やして頂けるといいなと思います。子どもにも安価で楽器やダンス、語学や趣味活動として、気軽に通える場があるといいなと思います。(女性, 60歳代)
- ・このような趣旨の相談窓口、アドバイスコーナーなどがあればと思います。・アンケート結果は集計されて公表されてるのでしょうか?(男性, 70歳代)

(6)広報・PRの充実

- 武蔵野プレイスなど施設がとても充実しているのが良いと思うので、施設でのイベントおよびそのPRをたくさん実施してほしいです。(女性, 20歳代)
- 今まで市報に目を通すことがありませんでしたので、生涯学習について詳しく知りませんでした。この機会に市のTwitterを拝見しましたが、「むさしの安全情報」と生涯学習の情報が混在しており、見やすさがあまり感じられないため、別々にしても良いのではないかと思います。(ex.Twitterアカウントを別にしてRTする。(女性, 20歳代)
- 私が気付いてないかもしれませんが、生涯学習についての案内等をもっとわかり易くポスター等にして、駅や商業施設などにも貼って頂けると目に止まりやすく良いかと思います。図書館に行く方は限られていますし、市のお知らせ等を忙しく読まない方もいると思うので…。よろしくお願いします。(女性, 30歳代)
- 市報をたよりにしています。情報キャッチという点で。もっとメール等でも登録者には発信していくようにしてほしい。様々なイベントや講習会などの告知のために。よろしくお願いいたします。(男性, 60歳代)
- 私だけかもしれませんが、どんな取組があるのかはつきりと分かりません。自分の関心あること以外のことは特に。折角の取組がたくさんあるのだとしたら、ごめんなさい。まだまだ広報活動が足りない気がします。こうして、積極的に取組もうとなさっていることに感謝いたしております。(女性, 60歳代)

(7)その他

○市が主催する行事には(子どもが関係する行事を中心に)市報を確認して適宜参加させて頂いています。子どもの成長の糧になる良い行事を開いて頂いていると思っていますし、今後も引き続き様々な学び、体験の場を企画して頂きたいです。(男性, 40歳代)

5. 学ぶことに対する関心・活動状況による分析

(1) 分析の意図

○市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)の問1「学ぶことに対する関心の有無」、問3「過去1年間における活動状況」を組み合わせ、回答者を無関心層・関心層・行動の3つに分類しました。

分類	問1の回答	問3の回答
無関心層	「どちらかというと関心がない」か「関心がない」を選択した人	(回答は不問)
関心層	「どちらかというと関心がある」か「関心がある」を選択し、	<u>かつ</u> 「行いたかったが、できなかった」か「行わなかった」を選択した人
行動層	「どちらかというと関心がある」か「関心がある」を選択し、	<u>かつ</u> 「行った」を選択した人

○さらに、問7「学び続けようとする意向」を組み合わせることで、次のように5つに分類することも可能となります。

分類	問1の回答	問3の回答	問7の回答
無関心層	「どちらかというと関心がない」か「関心がない」を選択した人	(回答は不問)	(回答は不問)
関心層	「どちらかというと関心がある」か「関心がある」を選択し、	<u>かつ</u> 「行わなかった」を選択した人	(無回答)
行動準備層	「どちらかというと関心がある」か「関心がある」を選択し、	<u>かつ</u> 「行いたかったが、できなかった」を選択した人	(無回答)
行動層	「どちらかというと関心がある」か「関心がある」を選択し、	<u>かつ</u> 「行った」を選択し、	<u>かつ</u> 「学び続けたい」以外を選択した人
行動継続層	「どちらかというと関心がある」か「関心がある」を選択し、	<u>かつ</u> 「行った」を選択し、	<u>かつ</u> 「学び続けたい」を選択した人

○ここでは、これらの分類を分析軸として、学ぶことに対する関心・活動状況による違いを把握していきます。

(2)関心・活動状況による分類

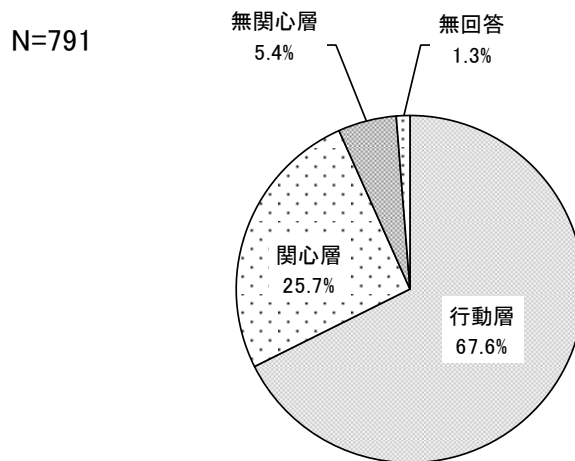


図32

○行動層・関心層・無関心層の3つの分類でみると、「行動層」が67.6%で最も多く、ついで「関心層」が25.7%、無関心層が5.4%と続きます。

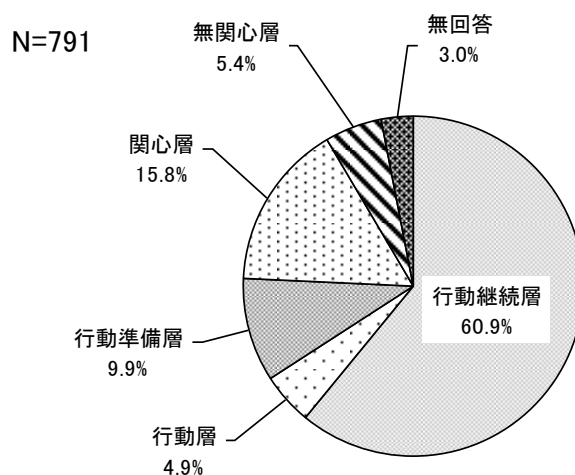


図33

○行動継続層・行動層・行動準備層・無関心層・関心層の5つの分類でみると、「行動継続層」が60.9%で最も多く、ついで「関心層」が15.8%、「行動準備層」が9.9%となっています。

○このことから、関心があり、学習活動をしている人(3分類での「行動層」)のほとんどは、今後も学び続ける意向を持っている(「行動継続層」)ことが分かります。

○一方、学ぶことに関心を持っているが、実際に行動していない人(3分類での「関心層」)の半数以上が、過去1年間に於いて行動しようという意向を持っていない(5分類での「関心層」)ことが分かります。

(3)過去1年間において学ばなかった理由(問9)

	合計	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の希望する種類の講座や教室がない	学ぶための場所が近くにない	教えてくれる人がいない	一緒に学習や活動する仲間がいない	子どもや親等の世話をしてくる人がいない	家族や職場など周囲の理解を得にくい
全体	(N=231)	26.0	53.7	12.1	10.4	3.9	5.2	5.2	2.2
無関心層	(N=28)	10.7	25.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
関心層	(N=203)	28.1	57.6	12.8	9.9	4.4	5.9	5.9	2.5

	合計	何を学んでよいかわからない	必要な情報が入手しづらい	特に必要に迫られなかった	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全体	(N=231)	12.1	10.8	30.3	5.2	9.1	2.2
無関心層	(N=28)	14.3	3.6	42.9	21.4	14.3	7.1
関心層	(N=203)	11.8	11.8	28.6	3.0	8.4	1.5

表28

○無関心層では「特に必要に迫られなかった」が最も多く、関心層では「仕事や家事が忙しくて時間がない」が最も多くなっています。

	合計	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の希望する種類の講座や教室がない	学ぶための場所が近くにない	教えてくれる人がいない	一緒に学習や活動する仲間がいない	子どもや親等の世話をしてくる人がいない	家族や職場など周囲の理解を得にくい	何を学んでよいかわからない
全体	(N=231)	26.0	53.7	12.1	10.4	3.9	5.2	5.2	2.2	12.1
無関心層	(N=28)	10.7	25.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
関心層	(N=125)	24.8	49.6	12.8	7.2	1.6	4.0	3.2	1.6	14.4
行動準備層	(N=78)	33.3	70.5	12.8	14.1	9.0	9.0	10.3	3.8	7.7

	合計	必要な情報が入手しづらい	特に必要に迫られなかった	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全体	(N=231)	10.8	30.3	5.2	9.1	2.2
無関心層	(N=28)	3.6	42.9	21.4	14.3	7.1
関心層	(N=125)	11.2	34.4	4.8	11.2	1.6
行動準備層	(N=78)	12.8	19.2	0.0	3.8	1.3

表29

○より詳細にみると、行動準備層では関心層に比べて「仕事や家事が忙しくて時間がない」が多くなっています。また、行動準備層では「費用がかかる」が2番目に多くなっています。

(4)学ぶようになるためのきっかけ(問11)

	合計	仕事や家庭で必要に迫られる	キャリアアップ等、仕事に役に立つ	学び、調べるための場所が身近にある	魅力のある教室や講座を知る	魅力のある講師・指導者に会う	一緒に学ぶ仲間と出会う	仲間同士で教えあい、学びあう機会がある	あまり費用がかからずできる
全体	(N=781)	30.1	24.6	48.3	46.9	33.8	22.4	12.7	50.4
無関心層	(N=43)	23.3	7.0	9.3	11.6	9.3	11.6	4.7	18.6
関心層	(N=203)	23.6	16.3	42.9	40.4	25.1	12.8	5.9	49.3
行動層	(N=535)	33.1	29.2	53.5	52.1	39.1	26.9	15.9	53.5

	合計	初めてでも気軽に参加できる機会がある	地域やコミュニティでの活動に参加する	本人の意志や意欲による	わからない	その他	無回答
全体	(N=781)	40.3	7.9	47.4	1.2	2.8	2.0
無関心層	(N=43)	9.3	2.3	62.8	4.7	2.3	4.7
関心層	(N=203)	41.4	4.4	36.0	2.5	3.0	0.5
行動層	(N=535)	42.4	9.7	50.5	0.4	2.8	2.4

表30

○無関心層では「本人の意志や意欲による」が最も多く、ついで「仕事や家庭で必要に迫られる」が続きます。

○関心層・行動層では「あまり費用がかからずできる」が最も多くなっているほか、「学び、調べるための場所が身近にある」も多いです。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

	合計	仕事や家庭で必要に迫られる	キャリアアップ等、仕事に役立つ	学び、調べるための場所が身近にある	魅力のある教室や講座を知る	魅力のある講師・指導者に会う	一緒に学ぶ仲間と出会う	仲間同士で教えあい、学びあう機会がある	あまり費用がかからずにできる	初めてでも気軽に参加できる機会がある
全体	(N=767)	30.4	24.9	48.2	46.7	33.9	22.2	12.9	50.3	40.3
無関心層	(N=43)	23.3	7.0	9.3	11.6	9.3	11.6	4.7	18.6	9.3
関心層	(N=125)	24.0	12.8	38.4	36.0	20.8	10.4	4.8	45.6	40.0
行動準備層	(N=78)	23.1	21.8	50.0	47.4	32.1	16.7	7.7	55.1	43.6
行動層	(N=39)	25.6	33.3	53.8	43.6	20.5	23.1	15.4	64.1	38.5
行動継続層	(N=482)	34.2	29.5	53.5	52.7	40.9	27.0	16.4	52.5	42.7

	合計	地域やコミュニティでの活動に参加する	本人の意志や意欲による	わからない	その他	無回答
全体	(N=767)	7.8	48.0	1.2	2.9	2.1
無関心層	(N=43)	2.3	62.8	4.7	2.3	4.7
関心層	(N=125)	1.6	37.6	3.2	3.2	0.8
行動準備層	(N=78)	9.0	33.3	1.3	2.6	0.0
行動層	(N=39)	7.7	38.5	5.1	7.7	2.6
行動継続層	(N=482)	9.8	52.5	0.0	2.5	2.5

表31

○より詳細にみると、行動準備層では関心層と同じく「あまり費用がかからずにできる」が最も多くなっていますが、関心層では「初めてでも気軽に参加できる機会がある」が2番目です。

○一方、行動準備層では「学び、調べるための場所が身近にある」が2番目に多くなっており、傾向としては行動層に似ています。

(5)「生涯学習」のイメージ(問13)

	合計	子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと	趣味・教養を深めること	働く上で必要な知識・技能を身につけること	生きがいや充実すること	生活を楽しむ、心を豊かにすること	自分の住んでいるまちや地域について知ること	講座や教室等の学習活動に参加すること	健康・体力づくりをすること	人と交流し、地域とつながること	わからない	その他	無回答
全体	(N=781)	59.8	55.6	14.0	56.3	65.7	13.1	20.5	23.7	27.7	1.5	1.9	0.9
無関心層	(N=43)	46.5	32.6	7.0	25.6	34.9	9.3	14.0	18.6	16.3	7.0	7.0	4.7
関心層	(N=203)	55.7	53.7	10.8	48.8	67.0	9.9	14.8	21.2	24.1	1.5	1.5	0.5
行動層	(N=535)	62.4	58.1	15.7	61.7	67.7	14.6	23.2	25.0	29.9	1.1	1.7	0.7

表32

○いずれの層においても「わからない」・「無回答」は1割未満です。

○「子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと」と「生活を楽しむ、心を豊かにすること」は共通して多くなっています。

(6)生涯学習の機会を提供する際に重視すること(問14)

	合計	市民の関心やニーズに応える	市民の学びたいという意欲を高める	生きがいを感じられるようにする	様々な意見・価値観に触れることができる	子どもが様々なことを経験できる	大人にとっての学び直しになる	生活や仕事に役立つ知識・情報が得られる	同じ関心や興味を持つ仲間とつながる	地域やコミュニティでの活動につながる	わからない	その他	無回答
全体	(N=781)	54.4	36.5	39.2	32.9	35.2	38.2	30.0	33.3	28.2	2.6	3.5	1.5
無関心層	(N=43)	30.2	20.9	32.6	14.0	14.0	25.6	14.0	25.6	14.0	14.0	7.0	7.0
関心層	(N=203)	50.7	33.0	37.9	22.2	31.0	34.5	29.1	30.0	23.2	4.4	2.0	1.5
行動層	(N=535)	57.8	39.1	40.2	38.5	38.5	40.6	31.6	35.1	31.2	0.9	3.7	1.1

表33

○いずれの層においても「市民の関心やニーズに応える」と「生きがいを感じられるようにする」が多くなっています。

○行動層では「大人にとっての学び直しになる」が2番目に多くなっています。

(7)生涯学習の機会提供がまちにもたらす効果(問16)

	合計	充実した生活を送る人が増える	他人の意見や価値観を尊重する人が増える	自分が望む働き方・生き方ができる人が増える	地域における人と人のつながりが生まれる	地域やコミュニティで活動する人が増える	まちづくりにかかわる人が増える	特に効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=781)	65.7	34.2	31.5	59.5	37.0	24.1	3.1	3.8	1.9	1.4
無関心層	(N=43)	41.9	14.0	7.0	27.9	9.3	4.7	20.9	16.3	4.7	4.7
関心層	(N=203)	58.6	33.0	30.5	55.2	32.0	24.6	2.5	5.4	0.5	0.5
行動層	(N=535)	70.3	36.3	33.8	63.7	41.1	25.4	1.9	2.2	2.2	1.5

表34

○いずれの層においても「充実した生活を送る人が増える」が最も多く、ついで「地域における人と人のつながりが生まれる」が続きます。

○無関心層において「特に効果はない」(20.9%)よりも多くなっているのは、上記の2つの選択肢となっています。

(8)人のつながりがまちにもたらす効果(問31)

	合計	生きがいを感じる人が増える	同じ関心を持つ市民のつながりが生まれる	世代を超えた交流が生まれる	地域で助け合う関係が生まれる	地域での困り事や課題の解決に役立つ	地域に愛着を持つ人が増える	地域が魅力的になる	特に効果はない	わからない	その他	無回答
全体	(N=781)	30.9	35.0	43.0	56.5	31.6	39.1	27.0	2.9	7.9	1.9	3.6
無関心層	(N=43)	16.3	20.9	14.0	27.9	9.3	18.6	9.3	16.3	23.3	0.0	7.0
関心層	(N=203)	25.6	29.6	35.5	53.2	23.2	36.5	17.2	2.0	9.9	2.5	4.4
行動層	(N=535)	34.0	38.1	48.2	60.0	36.6	41.7	32.1	2.2	6.0	1.9	3.0

表35

○市内に住む人たちとのつながりがあることがまちにもたらす効果について、3つの層の結果をみると、いずれの層も「地域で助け合う関係が生まれる」が最も多くなっています。

○無関心層において「わからない」(23.3%)、「特に効果がない」(16.3%)よりも多くなっているのは、上記の選択肢となっています。

(9)生涯学習をする上で重要な施設(問17)

	合計	市立図書館	武蔵野プレイス	市民会館	コミュニティセンター	文化施設(市民文化会館、公会堂等)	武蔵野ふるさと歴史館	市内の小・中学校	市内・近郊の大学	どれも重要だと思わない	その他	無回答
全体	(N=781)	62.4	48.4	30.3	60.1	37.5	12.2	25.6	30.6	2.6	5.4	1.8
無関心層	(N=43)	39.5	32.6	16.3	39.5	14.0	9.3	16.3	18.6	9.3	2.3	4.7
関心層	(N=203)	58.1	41.4	23.6	59.1	32.5	7.4	23.2	25.6	2.5	5.4	1.5
行動層	(N=535)	65.8	52.3	34.0	62.1	41.3	14.2	27.3	33.5	2.1	5.6	1.7

表36

○いずれの層においても「市立図書館」、「武蔵野プレイス」、「コミュニティセンター」が多くなっています。

○関心・行動の有無に応じて、いずれの施設も重要だと思う人は多くなる傾向が見られます。

○いずれの層においても「どれも重要だと思わない」は1割未満となっています。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

(10)過去1年間における子どもの活動状況(問18)

	合計	芸術や音楽、伝統文化等の鑑賞	芸術や音楽、伝統文化等の習い事	図書館等でのおはなし会や読書活動	工作やものづくりをする活動	実験や観察など、科学を学ぶ活動	地域の歴史を学ぶ活動	職場体験など、将来の仕事を考える機会	外国の文化を学んだり、交流する機会
全体	(N=136)	23.5	19.9	14.0	22.8	19.1	2.9	7.4	16.2
無関心層	(N=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
関心層	(N=30)	13.3	10.0	16.7	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0
行動層	(N=99)	28.3	24.2	14.1	27.3	22.2	4.0	10.1	22.2

	合計	緑や自然、生き物などを学ぶ活動	環境、福祉などの社会問題を学ぶ機会	学校教育を補完する機会	活動をさせたかったが、できなかった	活動していない	その他	無回答
全体	(N=136)	21.3	4.4	9.6	7.4	19.9	5.9	7.4
無関心層	(N=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6
関心層	(N=30)	13.3	0.0	0.0	16.7	30.0	6.7	10.0
行動層	(N=99)	25.3	6.1	13.1	4.0	16.2	4.0	5.1

表37

○無関心層・関心層では「活動していない」が最も多く、ついで「活動をさせたかったが、できなかった」が続きます。それぞれ何らかの活動をした人は28.5%、43.3%です。

○行動層では「活動していない」が16.2%となっており、「活動をさせたかったが、できなかった」も4.0%で少なくなっています。何らかの活動をした人は74.7%です。

(11)子どもの生涯学習体験のニーズ(問20)

	合計	芸術や音楽、伝統文化等を鑑賞する機会	芸術や音楽、伝統文化等の創作・表現を体験する機会	おはなし会や読書をする機会	工作やものづくりをする機会	実験や観察など、科学を学ぶ機会	地域の歴史を学ぶ機会	職場体験など、将来の仕事を考える機会	外国の文化を学んだり、交流する機会	緑や自然、生き物などに触れあう機会
全体	(N=136)	57.4	43.4	25.7	45.6	51.5	25.7	51.5	58.8	51.5
無関心層	(N=7)	28.6	28.6	28.6	42.9	14.3	14.3	42.9	42.9	14.3
関心層	(N=30)	56.7	46.7	26.7	46.7	53.3	23.3	50.0	56.7	56.7
行動層	(N=99)	59.6	43.4	25.3	45.5	53.5	27.3	52.5	60.6	52.5

	合計	環境、福祉などの社会問題を学ぶ機会	学校教育を補完する機会	学校では得られない高度な学びを体験する機会	わからない	市が提供する必要はない	その他	無回答
全体	(N=136)	25.7	19.9	30.1	0.7	0.7	2.2	5.9
無関心層	(N=7)	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6
関心層	(N=30)	13.3	20.0	23.3	3.3	0.0	3.3	6.7
行動層	(N=99)	30.3	19.2	33.3	0.0	0.0	2.0	4.0

表38

○いずれの層においても「外国の文化を学んだり、交流する機会」が最も多くなっています。また、「工作やものづくりをする機会」と「職場体験など、将来の仕事を考える機会」も共通して多くなっています。

6. 回答者の生活状況による分析

(1) 分析の意図

- 現在の武蔵野市生涯学習計画では、ライフスタイルに応じた生涯学習機会の提供が事業展開の考え方として挙げられています。
- ここでは、第3章にて分析を行った性別・年代という観点のほか、右の観点から分析を行います。
- 分析対象は主として、過去1年間における行動実態(問3)、学んだ理由(問4)、学んだ方法(問5)、学んだ場所(問6)とします。

生活状況に基づく分析の観点

- 子育て状況
- 就労状況
- 自由にできる時間の程度
- 自由に使える所得の程度

(2) 子育て状況からの分析

① 過去1年間における行動実態(問3)

	合計	学んだことがある	学びたかったが、できなかった	学んだことはない	無回答
全体	(N=767)	69.2	10.3	19.4	1.0
乳幼児(0～2歳)	(N=48)	75.0	10.4	14.6	0.0
未就学児(3～5歳)	(N=41)	78.0	9.8	12.2	0.0
小学1～3年生	(N=37)	67.6	13.5	18.9	0.0
小学4～6年生	(N=37)	75.7	13.5	10.8	0.0
中学生	(N=29)	86.2	3.4	10.3	0.0
16歳以上、18歳未満	(N=41)	78.0	12.2	9.8	0.0
18歳以上	(N=331)	64.4	8.8	24.8	2.1
いない	(N=291)	70.8	11.7	17.2	0.3

表39

- 子どもの有無や年齢にかかわらず、行動状況に大きな違いは見られません。

② 過去1年間で学んだ理由(問4)

	合計	趣味・教養を深めたり、関心を広げるため	様々なことを体験したいため	日々の暮らしに役立てるため	日々の仕事に役立てるため	キャリアアップや転職のため	生きがいや余暇の充実のため	健康・体力づくりのため	仲間づくりのため
全体	(N=325)	77.2	21.5	30.8	22.2	15.4	45.5	34.2	15.4
いる	(N=104)	76.0	24.0	37.5	37.5	31.7	25.0	22.1	4.8
いない	(N=221)	77.8	20.4	27.6	14.9	7.7	55.2	39.8	20.4

	合計	地域やコミュニティの活動のため	ボランティアやNPOの活動のため	子どもに影響されたから	人づきあいのなかで触発されたから	その他	無回答
全体	(N=325)	5.2	5.5	3.7	4.6	2.2	0.6
いる	(N=104)	3.8	1.0	9.6	3.8	3.8	0.0
いない	(N=221)	5.9	7.7	0.9	5.0	1.4	0.9

表40

	合計	子どもに影響されたから
全体	(N=531)	2.3
乳幼児(0～2歳)	(N=36)	5.6
未就学児(3～5歳)	(N=32)	6.3
小学1～3年生	(N=25)	12.0
小学4～6年生	(N=28)	17.9
中学生	(N=25)	8.0
16歳以上、18歳未満	(N=32)	0.0
18歳以上	(N=213)	1.4
いない	(N=206)	0.0

表41

- 学んだ理由をみると、子どものいる人では「子どもに影響されたから」が多くなっています。
- 右のとおり、小学生の子どものいる人においては、他の年代の子どものいる人に比べて「子どもに影響されたから」が多くなっています。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

③過去1年間で学んだ方法(問5)

	合計	本を読ん で	ウェブサ イトで検 索・閲覧 して	ラジオ・テ レビの講 座	市主催の 教室・講 座	コミュニ ティセン ターの行 事	市内・近 郊の大学 の公開講 座	民間の教 室・講座	サークル やグルー プなどで の活動	その他	無回答
全体	(N=531)	56.7	48.0	12.2	15.3	5.5	7.3	36.0	15.4	8.3	0.9
乳幼児(0～2歳)	(N=36)	55.6	58.3	5.6	16.7	2.8	0.0	41.7	0.0	8.3	0.0
未就学児(3～5歳)	(N=32)	78.1	56.3	12.5	15.6	0.0	3.1	31.3	0.0	3.1	0.0
小学1～3年生	(N=25)	72.0	56.0	8.0	20.0	0.0	4.0	48.0	8.0	4.0	0.0
小学4～6年生	(N=28)	60.7	39.3	10.7	32.1	7.1	3.6	28.6	7.1	7.1	0.0
中学生	(N=25)	60.0	56.0	16.0	16.0	8.0	4.0	24.0	8.0	16.0	0.0
16歳以上、18歳未満	(N=32)	59.4	46.9	12.5	15.6	3.1	3.1	37.5	3.1	6.3	3.1
18歳以上	(N=213)	46.9	36.6	14.6	23.0	8.9	9.9	37.6	23.5	8.5	2.3
いない	(N=206)	64.6	56.8	10.7	4.9	2.9	7.3	35.4	13.1	7.3	0.0

表42

○子どもの有無や年齢にかかわらず、学んだ方法に大きな違いは見られません。

④生涯学習の機会を提供する際に重視すること(問14)

	合計	市民の関 心やニー ズに応え る	市民の学 びたいと いう意欲 を高める	生きがい を感じら れるよう にする	様々な意 見・価値 観に触れ ることが できる	子どもが 様々なこ とを経験 できる	大人に とっての 学び直し になる	生活や仕 事に役立 つ知識・ 情報が得 られる	同じ関心 や興味を 持つ仲間 づくりにつ ながる	地域やコ ミュニティ での活動 につながる	わからな い	その他	無回答
全体	(N=476)	54.4	34.7	41.6	28.8	36.8	38.7	27.3	34.7	28.6	2.3	2.7	2.1
いる	(N=137)	60.6	32.1	29.2	24.1	60.6	38.7	36.5	32.8	31.4	2.2	2.9	0.7
いない	(N=339)	51.9	35.7	46.6	30.7	27.1	38.6	23.6	35.4	27.4	2.4	2.7	2.7

表43

○子どもの有無によって生涯学習の機会提供に際して重視することを見ると、子どものいる人では「子どもが様々なことを経験できる」が最も多くなっています。

	合計	子どもが 様々なこ とを経験 できる
全体	(N=767)	35.3
乳幼児(0～2歳)	(N=48)	64.6
未就学児(3～5歳)	(N=41)	78.0
小学1～3年生	(N=37)	67.6
小学4～6年生	(N=37)	62.2
中学生	(N=29)	41.4
16歳以上、18歳未満	(N=41)	39.0
18歳以上	(N=331)	26.9
いない	(N=291)	33.0

○さらに子どもの年齢別にみると、小学6年生までの子どものいる人に顕著であることが分かります。

表44

(3)就労状況からの分析

①過去1年間における行動実態(問3)

	合計	学んだこ とがある	学びた かった が、でき なかった	学んだこ とはない	無回答
全体	(N=776)	69.3	10.1	19.6	1.0
常勤社員・職員	(N=261)	74.3	11.5	14.2	0.0
自営業・自由業	(N=62)	67.7	4.8	25.8	1.6
非常勤・アルバイト・パート	(N=93)	67.7	12.9	17.2	2.2
専業主婦・主夫	(N=144)	71.5	9.0	18.1	1.4
学生	(N=69)	71.0	14.5	14.5	0.0
無職	(N=117)	59.8	6.8	30.8	2.6
その他	(N=30)	56.7	6.7	36.7	0.0

表45

○過去1年間における行動実態をみると、無職において「学んだことはない」が多くなっています。

○働いている人や専業主婦・主夫においては、無職に比べて「学んだことがある」が多くなっています。

②過去1年間で学んだ理由(問4)

	合計	趣味・教 養を深め たり、関 心を広げ るため	様々なこ とを体験 したいた め	日々の暮 らに役立 てるため	日々の仕 事に役立 てるため	キャリア アップや 転職のた め	生きがい や余暇の 充実のた め	健康・体 力づくり のため	仲間づく りのため	地域やコ ミュニティ の活動の ため
全体	(N=538)	79.2	21.6	28.3	24.2	19.0	45.0	29.4	14.1	4.3
常勤社員・職員	(N=194)	78.4	19.1	25.3	44.8	35.6	35.1	19.1	6.2	1.5
自営業・自由業	(N=42)	69.0	28.6	35.7	40.5	19.0	47.6	33.3	16.7	7.1
非常勤・アルバイト・パート	(N=63)	82.5	25.4	22.2	27.0	15.9	46.0	38.1	7.9	3.2
専業主婦・主夫	(N=103)	77.7	22.3	40.8	2.9	4.9	53.4	46.6	28.2	5.8
学生	(N=49)	83.7	26.5	24.5	4.1	10.2	32.7	10.2	10.2	2.0
無職	(N=70)	82.9	20.0	22.9	4.3	5.7	61.4	35.7	21.4	10.0
その他	(N=17)	82.4	5.9	23.5	5.9	5.9	64.7	29.4	17.6	5.9

	合計	ボランティ アやNPO の活動の ため	子どもに 影響され たから	人づきあ いのなか で触発さ れたから	その他	無回答
全体	(N=538)	4.5	2.2	5.0	2.0	0.4
常勤社員・職員	(N=194)	2.6	3.1	3.6	1.0	0.0
自営業・自由業	(N=42)	0.0	0.0	4.8	0.0	2.4
非常勤・アルバイト・パート	(N=63)	7.9	3.2	4.8	1.6	1.6
専業主婦・主夫	(N=103)	3.9	3.9	3.9	2.9	0.0
学生	(N=49)	4.1	0.0	10.2	6.1	0.0
無職	(N=70)	10.0	0.0	7.1	2.9	0.0
その他	(N=17)	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0

表46

○仕事をしている人では他に比べて「日々の仕事に役立てるため」が多くなっています。常勤社員・職員では「キャリアアップや転職のため」も多くなっています。

○専業主婦・主夫、無職では、「仲間づくりのため」が全体に比べて多くなっています。

③過去1年間で学んだ方法(問5)

	合計	本を讀ん で	ウェブサ イトで検 索・閲覧 して	ラジオ・テ レビの講 座	市主催の 教室・講 座	コミュニ ティセン ターの行 事	市内・近 郊の大学 の公開講 座	民間の教 室・講座	サークル やグルー プなどの 活動	その他	無回答
全体	(N=538)	56.7	47.6	12.3	15.6	5.6	7.4	36.1	15.4	8.4	0.7
常勤社員・職員	(N=194)	66.0	57.7	10.3	2.1	1.0	3.6	33.0	9.3	8.8	0.5
自営業・自由業	(N=42)	57.1	42.9	2.4	16.7	0.0	9.5	59.5	11.9	11.9	2.4
非常勤・アルバイト・パート	(N=63)	65.1	46.0	19.0	23.8	4.8	9.5	33.3	12.7	9.5	0.0
専業主婦・主夫	(N=103)	37.9	33.0	15.5	37.9	10.7	7.8	40.8	24.3	7.8	1.9
学生	(N=49)	67.3	69.4	6.1	0.0	0.0	2.0	24.5	12.2	6.1	0.0
無職	(N=70)	48.0	32.9	18.6	24.3	18.6	20.0	32.9	22.9	5.7	0.0
その他	(N=17)	35.3	35.3	5.9	11.8	5.9	0.0	41.2	29.4	11.8	0.0

表47

○学んだ方法については、常勤社員・職員、非常勤・アルバイト・パート、無職においては「本を讀んで」が最も多くなっています。

○自営業・自由業、専業主婦・主夫においては「民間の教室・講座」が最も多くなっています。

○「市主催の教室・講座」については、非常勤・アルバイト・パート、専業主婦・主夫、無職において、他の回答者に比べて多くなっています。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

④過去1年間で学ばなかった理由(問9)

	合計	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の希望する種類の講座や教室がない	学ぶための場所が近くにない	教えてくれる人がいない	一緒に学習や活動する仲間がいない	子どもや親等の世話をしてくる人がいない	家族や職場など周囲の理解を得にくい
全体	(N=230)	26.1	53.5	12.2	10.4	3.5	5.2	5.2	2.2
常勤社員・職員	(N=67)	37.3	80.6	14.9	6.0	3.0	3.0	6.0	1.5
自営業・自由業	(N=19)	10.5	68.4	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3
非常勤・アルバイト・パート	(N=28)	35.7	57.1	10.7	7.1	3.6	10.7	7.1	3.6
専業主婦・主夫	(N=39)	15.4	38.5	12.8	12.8	5.1	2.6	12.8	2.6
学生	(N=20)	30.0	60.0	0.0	5.0	5.0	10.0	0.0	0.0
無職	(N=44)	22.7	18.2	15.9	18.2	4.5	2.3	2.3	2.3
その他	(N=13)	7.7	38.5	23.1	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0

	合計	何を学んでよいかわからない	必要な情報が入手しづらい	特に必要に迫られなかった	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全体	(N=230)	12.6	10.9	30.4	5.2	9.1	2.2
常勤社員・職員	(N=67)	16.4	7.5	25.4	1.5	1.5	1.5
自営業・自由業	(N=19)	5.3	5.3	15.8	5.3	5.3	0.0
非常勤・アルバイト・パート	(N=28)	14.3	21.4	42.9	7.1	3.6	0.0
専業主婦・主夫	(N=39)	2.6	10.3	41.0	2.6	5.1	2.6
学生	(N=20)	20.0	15.0	10.0	5.0	20.0	5.0
無職	(N=44)	11.4	11.4	38.6	11.4	25.0	4.5
その他	(N=13)	23.1	7.7	23.1	7.7	7.7	0.0

表48

○過去1年間で学ばなかった理由をみると、常勤社員・職員では「仕事や家事が忙しくて時間がない」が、他に比べて特に多くなっています。

○専業主婦・主夫と無職では「特に必要に迫られなかった」が最も多くなっています。

⑤生涯学習の機会を提供する際に重視すること(問14)

	合計	市民の関心やニーズに応える	市民の学びたいという意欲を高める	生きがいを感じられるようにする	様々な意見・価値観に触れることができる	子どもが様々なことを経験できる	大人にとっての学び直しになる	生活や仕事に役立つ知識・情報が得られる	同じ関心や興味を持つ仲間づくりにつながる
全体	(N=776)	54.9	36.6	39.3	33.1	35.2	38.4	30.4	33.5
常勤社員・職員	(N=261)	58.6	37.9	32.6	26.8	41.4	42.9	36.4	32.2
自営業・自由業	(N=62)	51.6	40.3	46.8	43.5	27.4	35.5	35.5	33.9
非常勤・アルバイト・パート	(N=93)	55.9	36.6	45.2	36.6	35.5	38.7	28.0	26.9
専業主婦・主夫	(N=144)	60.4	38.2	48.6	31.3	39.6	41.7	27.1	37.5
学生	(N=69)	49.3	34.8	29.0	40.6	36.2	23.2	30.4	36.2
無職	(N=117)	46.2	30.8	40.2	35.9	22.2	31.6	22.2	35.0
その他	(N=30)	46.7	36.7	40.0	36.7	23.3	50.0	23.3	33.3

	合計	地域やコミュニティでの活動につながる	わからない	その他	無回答
全体	(N=776)	28.0	2.6	3.2	1.5
常勤社員・職員	(N=261)	31.4	1.9	4.6	0.8
自営業・自由業	(N=62)	37.1	3.2	3.2	0.0
非常勤・アルバイト・パート	(N=93)	25.8	2.2	3.2	1.1
専業主婦・主夫	(N=144)	25.0	1.4	1.4	1.4
学生	(N=69)	18.8	1.4	4.3	1.4
無職	(N=117)	26.5	5.1	0.9	4.3
その他	(N=30)	26.7	6.7	6.7	3.3

表49

○常勤社員・職員では、「大人にとっての学び直しになる」が2番目に多くなっています。

(4)時間的余裕の程度

①過去1年間における行動実態(問3)

	合計	学んだことがある	学びたかったが、できなかった	学んだことはない	無回答
全体	(N=778)	69.7	10.2	19.2	1.0
十分取れている	(N=233)	79.0	3.4	15.9	1.7
どちらかといえば取れている	(N=285)	70.5	10.2	18.9	0.4
あまり取れていない	(N=193)	66.8	15.0	16.6	1.6
ほとんど取れていない	(N=67)	41.8	19.4	38.8	0.0

○自由にできる時間の取れている人ほど、「学んだことがある」が多くなっています。

表50

②過去1年間で学んだ理由(問4)

	合計	趣味・教養を深めたり、関心を広げるため	様々なことを体験したいため	日々の暮らしに役立てるため	日々の仕事に役立てるため	キャリアアップや転職のため	生きがいや余暇の充実のため	健康・体力づくりのため	仲間づくりのため	地域やコミュニティの活動のため
全体	(N=542)	79.3	21.2	28.4	24.0	19.0	44.8	29.5	14.2	4.2
十分取れている	(N=184)	83.2	19.0	27.7	12.5	10.9	50.5	33.2	22.3	5.4
どちらかといえば取れている	(N=201)	79.1	26.9	25.4	24.9	22.4	46.3	30.8	11.4	4.5
あまり取れていない	(N=129)	78.3	19.4	34.1	36.4	24.8	40.3	25.6	8.5	3.1
ほとんど取れていない	(N=28)	60.7	3.6	28.6	35.7	21.4	17.9	14.3	7.1	0.0

	合計	ボランティアやNPOの活動のため	子どもに影響されたから	人づきあいのなかで触発されたから	その他	無回答
全体	(N=542)	4.4	2.2	5.0	2.2	0.4
十分取れている	(N=184)	4.9	0.0	4.3	2.7	0.5
どちらかといえば取れている	(N=201)	3.0	2.0	5.5	2.0	0.0
あまり取れていない	(N=129)	5.4	6.2	5.4	2.3	0.8
ほとんど取れていない	(N=28)	7.1	0.0	3.6	0.0	0.0

表51

○自由にできる時間が取れていない人ほど、「日々の仕事に役立てるため」が多くなっています。

③過去1年間で学んだ方法(問5)

	合計	本を読んだ	ウェブサイトで検索・閲覧して	ラジオ・テレビの講座	市主催の教室・講座	コミュニティセンターの行事	市内・近郊の大学の公開講座	民間の教室・講座	サークルやグループなどの活動	その他	無回答
全体	(N=542)	56.6	47.4	12.2	15.5	5.5	7.4	35.6	15.9	8.7	0.9
十分取れている	(N=184)	48.9	40.2	13.0	19.6	10.3	11.4	34.2	20.7	10.3	1.1
どちらかといえば取れている	(N=201)	63.2	54.2	13.4	14.4	4.5	6.5	38.3	17.9	7.0	0.5
あまり取れていない	(N=129)	53.5	43.4	10.9	14.0	0.8	3.9	36.4	7.0	9.3	1.6
ほとんど取れていない	(N=28)	75.0	64.3	3.6	3.6	3.6	3.6	21.4	10.7	7.1	0.0

表52

○自由にできる時間が取れている人ほど、「市主催の教室・講座」、「コミュニティセンターの行事」、「市内・近郊の大学の公開講座」が多くなっています。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

④過去1年間で学ばなかった理由(問9)

	合計	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の希望する種類の講座や教室がない	学ぶための場所が近くにない	教えてくれる人がいない	一緒に学習や活動する仲間がいない	子どもや親等の世話をしてくれる人がいない	家族や職場など周囲の理解を得にくい	何を学んでよいかわからない
全体	(N=228)	25.9	53.5	11.8	10.1	3.5	5.3	5.3	2.2	12.7
十分取れている	(N=45)	24.4	17.8	17.8	6.7	2.2	6.7	2.2	2.2	15.6
どちらかといえば取れている	(N=83)	19.3	48.2	14.5	8.4	3.6	6.0	1.2	1.2	13.3
あまり取れていない	(N=61)	27.9	73.8	1.6	9.8	1.6	3.3	4.9	1.6	11.5
ほとんど取れていない	(N=39)	38.5	74.4	15.4	17.9	7.7	5.1	17.9	5.1	10.3

	合計	必要な情報が入手しづらい	特に必要に迫られなかった	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全体	(N=228)	10.5	30.3	4.8	9.2	2.2
十分取れている	(N=45)	8.9	33.3	13.3	17.8	4.4
どちらかといえば取れている	(N=83)	13.3	38.6	1.2	6.0	2.4
あまり取れていない	(N=61)	9.8	24.6	3.3	9.8	1.6
ほとんど取れていない	(N=39)	7.7	17.9	5.1	5.1	0.0

表53

○自由にできる時間が十分取れている人では、他に比べて「仕事や家事が忙しくて時間がない」が少なくなっています。

(5)経済的な余裕の程度

①過去1年間における行動実態(問3)

	合計	学んだことがある	学びたかったが、できなかった	学んだことはない	無回答
全体	(N=777)	69.5	10.2	19.3	1.0
十分得られている	(N=161)	75.8	8.1	14.3	1.9
どちらかといえば得られている	(N=363)	72.2	7.4	19.8	0.6
あまり得られていない	(N=184)	68.5	13.0	16.8	1.6
ほとんど得られていない	(N=69)	43.5	21.7	34.8	0.0

表54

○自由にできる所得を得られている人ほど、「学んだことがある」が多くなっています。

○自由にできる所得の得られていない人ほど、「学びたかったが、できなかった」、「学んだことはない」が少なくなっています。

②過去1年間で学んだ理由(問4)

	合計	趣味・教養を深めたり、関心を広げるため	様々なことを体験したいため	日々の暮らしに役立てるため	日々の仕事に役立てるため	キャリアアップや転職のため	生きがいや余暇の充実のため	健康・体力づくりのため	仲間づくりのため	地域やコミュニティの活動のため
全体	(N=540)	79.4	21.3	28.1	24.1	19.1	44.8	29.4	14.1	4.3
十分得られている	(N=122)	86.1	21.3	24.6	17.2	17.2	43.4	31.1	21.3	4.9
どちらかといえば得られている	(N=262)	76.3	22.5	27.1	20.6	17.2	46.2	31.7	13.7	4.6
あまり得られていない	(N=126)	78.6	19.0	30.2	35.7	23.0	44.4	25.4	7.9	3.2
ほとんど得られていない	(N=30)	83.3	20.0	43.3	33.3	26.7	40.0	20.0	13.3	3.3

	合計	ボランティアやNPOの活動のため	子どもに影響されたから	人づきあいのなかで触発されたから	その他	無回答
全体	(N=540)	4.4	2.2	5.0	2.2	0.4
十分得られている	(N=122)	4.1	0.0	8.2	1.6	0.8
どちらかといえば得られている	(N=262)	4.2	1.9	3.8	2.3	0.4
あまり得られていない	(N=126)	4.8	4.8	4.0	1.6	0.0
ほとんど得られていない	(N=30)	6.7	3.3	6.7	6.7	0.0

表55

○自由にできる所得の少ない人ほど、「日々の暮らしに役立てるため」、「キャリアアップや転職のため」が多くなっています。「日々の仕事に役立てるため」も概ね同様の傾向が見られます。

③過去1年間で学んだ方法(問5)

	合計	本を讀んで	ウェブサイトで検索・閲覧して	ラジオ・テレビの講座	市主催の教室・講座	コミュニティセンターの行事	市内・近郊の大学の公開講座	民間の教室・講座	サークルやグループなどでの活動	その他	無回答
全体	(N=540)	56.9	47.6	12.2	15.4	5.6	7.4	35.7	15.7	8.5	0.9
十分得られている	(N=122)	53.3	45.9	11.5	14.8	6.6	5.7	36.1	21.3	11.5	2.5
どちらかといえば得られている	(N=262)	54.6	43.9	13.4	17.6	6.5	9.2	38.2	16.4	6.9	0.8
あまり得られていない	(N=126)	61.9	52.4	10.3	12.7	4.0	6.3	31.0	12.7	8.7	0.0
ほとんど得られていない	(N=30)	70.0	66.7	13.3	10.0	0.0	3.3	33.3	0.0	10.0	0.0

表56

- 自由にできるお金のある人ほど、「サークルやグループなどでの活動」が多くなっています。
- 自由にできるお金の少ない人ほど、「本を讀んで」、「ウェブサイトで検索・閲覧して」が多くなっています。

④過去1年間で学ばなかった理由(問9)

	合計	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の希望する種類の講座や教室がない	学ぶための場所が近くにない	教えてくれる人がいない	一緒に学習や活動する仲間がいない	子どもや親等の世話をしてくれる人がいない	家族や職場など周囲の理解を得にくい	何を学んでよいかわからない
全体	(N=229)	26.2	53.7	12.2	10.5	3.5	5.2	5.2	2.2	12.7
十分得られている	(N=36)	2.8	50.0	19.4	5.6	0.0	5.6	2.8	2.8	11.1
どちらかといえば得られている	(N=99)	18.2	53.5	9.1	6.1	1.0	5.1	5.1	1.0	14.1
あまり得られていない	(N=55)	41.8	50.9	14.5	10.9	5.5	3.6	5.5	1.8	12.7
ほとんど得られていない	(N=39)	46.2	61.5	10.3	25.6	10.3	7.7	7.7	5.1	10.3

	合計	必要な情報が入手しづらい	特に必要に迫られなかった	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全体	(N=229)	10.9	30.1	4.8	9.2	2.2
十分得られている	(N=36)	13.9	27.8	5.6	11.1	2.8
どちらかといえば得られている	(N=99)	8.1	35.4	3.0	10.1	3.0
あまり得られていない	(N=55)	10.9	27.3	7.3	7.3	1.8
ほとんど得られていない	(N=39)	15.4	23.1	5.1	7.7	0.0

表57

- 自由にできるお金を得られていない人では、そうでない人に比べて「費用がかかる」が多くなっています。また、「学ぶための場所が近くにない」も多くなっています。

7. 子どもの学習活動の状況に関する分析

(1)分析の意図

○子どもの学習活動の状況について、年齢別の行動状況のほか、保護者の関心や活動状況との関係、また時間的・経済的余裕の程度による行動状況の観点から分析を行います。

(2)年齢別の活動状況(問18)

	合計	活動している	活動していない	その他	無回答
全体	(N=137)	67.2	19.7	5.8	7.3
乳幼児(0～2歳)	(N=48)	41.7	33.3	8.3	16.7
未就学児(3～5歳)	(N=41)	68.3	24.4	2.4	4.9
小学1～3年生	(N=37)	89.2	5.4	5.4	0.0
小学4～6年生	(N=37)	86.5	10.8	0.0	2.7
中学生	(N=29)	82.9	10.3	3.4	3.4
16歳以上、18歳未満	(N=14)	85.8	7.1	7.1	0.0
18歳以上	(N=5)	60.0	20.0	0.0	20.0

表58

○乳幼児(0～2歳)では、他の年齢層に比べて「活動している」が少なくなっていますが、いずれの年齢においても半数からそれ以上の子どもが何らかの学習活動を行っています。

	合計	芸術や音楽、伝統文化等の鑑賞	芸術や音楽、伝統文化等の習い事	図書館等でのおはなし会や読書活動	工作やものづくりをする活動	実験や観察など、科学を学ぶ活動	地域の歴史を学ぶ活動	職場体験など、将来の仕事を考える機会	外国の文化を学んだり、交流する機会	緑や自然、生き物などを学ぶ活動
全体	(N=137)	23.4	19.7	13.9	22.6	19.0	2.9	7.3	16.1	21.2
乳幼児(0～2歳)	(N=48)	10.4	10.4	16.7	12.5	4.2	0.0	4.2	8.3	14.6
未就学児(3～5歳)	(N=41)	19.5	26.8	14.6	22.0	14.6	0.0	7.3	19.5	24.4
小学1～3年生	(N=37)	18.9	35.1	10.8	48.6	40.5	2.7	8.1	18.9	29.7
小学4～6年生	(N=37)	35.1	35.1	8.1	32.4	37.8	8.1	8.1	16.2	21.6
中学生	(N=29)	44.8	20.7	6.9	17.2	17.2	3.4	10.3	17.2	13.8
16歳以上、18歳未満	(N=14)	42.9	21.4	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	21.4
18歳以上	(N=5)	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

	合計	環境、福祉などの社会問題を学ぶ機会	学校教育を補完する機会	活動をさせたかったが、できなかった	活動していない	その他	無回答
全体	(N=137)	4.4	9.5	8.0	19.7	5.8	7.3
乳幼児(0～2歳)	(N=48)	0.0	0.0	0.0	33.3	8.3	16.7
未就学児(3～5歳)	(N=41)	2.4	7.3	7.3	24.4	2.4	4.9
小学1～3年生	(N=37)	5.4	16.2	10.8	5.4	5.4	0.0
小学4～6年生	(N=37)	8.1	10.8	16.2	10.8	0.0	2.7
中学生	(N=29)	10.3	13.8	10.3	10.3	3.4	3.4
16歳以上、18歳未満	(N=14)	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	0.0
18歳以上	(N=5)	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0

表59

○具体的な活動内容をみると、小学4年生から上の年齢層では「芸術や音楽、伝統文化等の鑑賞」がそれより下の年齢層に比べて多くなっています。

○小学1～6年生においては、「工作やものづくりをする活動」、「実験や観察など、科学を学ぶ活動」が多くなっています。

(3)保護者の関心・活動との関係(問18)

	合計	活動している	活動をさせたかったが、できなかった	活動していない	その他	無回答
全体	(N=136)	59.4	7.4	19.9	5.9	7.4
無関心層	(N=7)	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6
関心層	(N=30)	36.6	16.7	30.0	6.7	10.0
行動層	(N=99)	70.7	4.0	16.2	4.0	5.1

表60

○保護者が関心層である子どもに比べて、行動層である子どもの方が「活動している」が多くなっています。

(4)保護者の時間的・経済的な余裕との関係(問18)

①時間的な余裕との関係

	合計	活動している	活動をさせたかったが、できなかった	活動していない	その他	無回答
全体	(N=137)	59.2	8.0	19.7	5.8	7.3
十分取れている	(N=14)	57.2	7.1	21.4	14.3	0.0
どちらかといえば取れている	(N=42)	66.7	7.1	14.3	4.8	7.1
あまり取れていない	(N=56)	64.2	5.4	21.4	3.6	5.4
ほとんど取れていない	(N=25)	36.0	16.0	24.0	8.0	16.0

表61

○保護者が自由にできる時間が取れていない場合には、他と比べて子どもの「活動している」が少なくなっています。また、「活動させたかったが、できなかった」も多くなっています。

②経済的な余裕との関係

	合計	活動している	活動をさせたかったが、できなかった	活動していない	その他	無回答
全体	(N=137)	59.2	8.0	19.7	5.8	7.3
十分得られている	(N=17)	70.6	5.9	17.6	0.0	5.9
どちらかといえば得られている	(N=62)	57.9	6.5	21.0	8.1	6.5
あまり得られていない	(N=43)	62.7	14.0	11.6	4.7	7.0
ほとんど得られていない	(N=15)	40.0	0.0	40.0	6.7	13.3

表62

○保護者に自由にできる所得が得られているほど、子どもの「活動している」が多くなっています。

○保護者に自由にできる所得が得られていない場合、他に比べて子どもの「活動している」が多くなっています。

8. 学習活動と社会関係資本の関係に関する分析

(1)分析の意図

- 学ぶことに対する関心や学習活動と、地域活動への参加状況や市内での人とのつながりなどの社会関係資本の関係について分析します。
- それによってコミュニティ形成と学習活動との関係について考察する資料を得ます。

(2)関心や活動状況との関係

①地域活動への参加状況(問29)

	合計	参加した	参加した かったが、でき なかった	参加した ことはない	無回答
全体	(N=781)	42.3	7.7	47.8	2.3
無関心層	(N=43)	25.6	2.3	67.4	4.7
関心層	(N=203)	34.5	7.9	55.7	2.0
行動層	(N=535)	46.5	8.0	43.2	2.2

表63

- 「参加した」について各層を比較すると、行動層において最も多くなっています。
- また、行動層においては、参加意向を持っている人(「参加した」と「参加したかったが、できなかった」の合計)は54.5%となります。

②市内での人とのつながり(問30)

	合計	つながり のある人 がいる	つながり のある人 はいない	無回答
全体	(N=781)	61.4	36.4	2.2
無関心層	(N=43)	44.2	48.8	7.0
関心層	(N=203)	60.1	36.9	3.0
行動層	(N=535)	63.4	35.1	1.5

表64

- 「つながりのある人がある」について各層を比較すると、関心層・行動層ともに6割程度となっています。
- 無関心層では「つながりのある人はいない」の方が多くなっています。

	合計	近所に住 む人たち と親しくし ている	地域の行 事などを 一緒に行 う人がい る	同じ趣味 や関心事 を持つ人 がいる	食事に 行ったり、 遊んだり する気の 合う人が いる	同じサー クルやグ ループで 活動して いる人が いる	一緒にボ ランティア 活動をし る人がい る	一緒にま ちのため になる活 動をする 人がいる	その他の つながり のある人 がいる	つながり のある人 はいない	無回答
全体	(N=781)	30.5	9.7	20.1	21.9	14.5	4.9	5.9	16.9	36.4	2.2
無関心層	(N=43)	14.0	2.3	0.0	4.7	4.7	2.3	0.0	20.9	48.8	7.0
関心層	(N=203)	29.6	6.4	13.3	20.2	9.4	3.0	6.4	17.7	36.9	3.0
行動層	(N=535)	32.1	11.6	24.3	23.9	17.2	5.8	6.2	16.3	35.1	1.5

表65

- 人とのつながりの具体的な内容を見ると、行動層では他に比べて、「地域の行事などを一緒に行う人がいる」、「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」、「同じサークルやグループで活動している人がいる」が多くなっています。

(3)活動目的との関係

①地域活動への参加状況(問29)

	合計	参加した	参加した かったが、でき なかった	参加した ことはな い	無回答
全体	(N=547)	46.4	7.9	43.3	2.4
趣味・教養を深め たり、関心を広げ るため	(N=432)	49.1	6.7	42.4	1.9
様々なことを体験 したいため	(N=118)	51.7	10.2	34.7	3.4
日々の暮らしに役 立てるため	(N=155)	51.6	12.3	34.2	1.9
日々の仕事に役 立てるため	(N=131)	38.2	9.2	51.9	0.8
キャリアアップや 転職のため	(N=103)	36.9	4.9	57.3	1.0
生きがいや余暇 の充実のため	(N=244)	49.6	7.8	41.8	0.8
健康・体力づくり のため	(N=162)	53.7	6.8	37.7	1.9
仲間づくりのため	(N=78)	55.1	7.7	33.3	3.8
地域やコミュニ ティの活動のため	(N=25)	72.0	0.0	16.0	12.0
ボランティアやNP Oの活動のため	(N=24)	75.0	0.0	25.0	0.0
子どもに影響され たから	(N=12)	83.3	16.7	0.0	0.0
人づきあいのな かで触発された から	(N=27)	59.3	11.1	25.9	3.7
その他	(N=13)	38.5	15.4	38.5	7.7

○日々の仕事やキャリアアップ・転職のために生涯学習をしている人以外では、「参加した」が最も多くなっています。

○地域やコミュニティの活動、ボランティアやNPOの活動を理由に生涯学習をしている人、また子どもに影響されて生涯学習をしている人は、他に比べて「参加した」が多くなっています。

表66

②市内での人とのつながり(問30)

	合計	近所に住 む人たち と親しく している	地域の行 事などを 一緒に行 う人がい る	同じ趣味 や関心事 を持つ人 がいる	食事に 行ったり、 遊んだり する気の 合う人が いる	同じサー クルやグ ループで 活動して いる人が いる	一緒にボ ランティア 活動をし る人がい る	一緒にま ちのため になる活 動をする 人がいる	その他の つながり のある人 がいる	つながり のある人 はいない	無回答
全体	(N=547)	31.8	11.3	23.6	23.4	17.0	5.7	6.0	15.7	36.0	1.6
趣味・教養を深め たり、関心を広げ るため	(N=432)	32.6	11.8	24.5	24.8	17.6	6.5	6.5	16.4	36.3	0.7
様々なことを体験 したいため	(N=118)	33.1	13.6	29.7	26.3	18.6	7.6	8.5	18.6	33.9	2.5
日々の暮らしに役 立てるため	(N=155)	34.8	14.2	22.6	27.7	20.0	4.5	4.5	14.8	35.5	1.3
日々の仕事に役 立てるため	(N=131)	27.5	9.2	13.7	17.6	7.6	0.8	3.1	10.7	46.6	0.8
キャリアアップや 転職のため	(N=103)	24.3	5.8	11.7	21.4	4.9	1.9	1.9	7.8	53.4	0.0
生きがいや余暇 の充実のため	(N=244)	34.4	11.9	29.5	29.9	23.4	7.8	7.4	18.4	32.8	0.4
健康・体力づくり のため	(N=162)	40.7	14.8	36.4	34.0	25.3	10.5	8.0	16.0	25.9	2.5
仲間づくりのため	(N=78)	44.9	20.5	52.6	44.9	39.7	12.8	11.5	15.4	17.9	2.6
地域やコミュニ ティの活動のため	(N=25)	56.0	40.0	64.0	44.0	48.0	40.0	40.0	28.0	4.0	8.0
ボランティアやNP Oの活動のため	(N=24)	45.8	16.7	58.3	41.7	33.3	50.0	25.0	12.5	20.8	0.0
子どもに影響され たから	(N=12)	33.3	33.3	16.7	33.3	25.0	8.3	16.7	8.3	25.0	0.0
人づきあいのな かで触発された から	(N=27)	33.3	18.5	37.0	33.3	22.2	14.8	18.5	18.5	37.0	0.0
その他	(N=13)	15.4	15.4	23.1	15.4	15.4	0.0	0.0	30.8	38.5	7.7

表67

○生きがいや余暇の充実や健康・体力づくりを理由に生涯学習をしている人では「近所に住む人たちと親しくしている」が最も多くなっています。

○仲間づくりや地域やコミュニティの活動、ボランティアやNPOの活動を理由に生涯学習をしている人では「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」が最も多くなっています。

○地域やコミュニティの活動のために生涯学習をしている人では、他に比べて「つながりのある人はいない」が少なくなっています。

○人づきあいのなかで触発されて生涯学習をしている人では、「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」が最も多くなっています。

9. 生涯学習施策に対する評価に関する分析

(1)分析意図

- 現在の生涯学習計画では、右の6つの基本目的に沿って施策を推進してきました。
- 本調査では、この6つの目標の実現につながる生涯学習の機会や環境、コミュニティにかかわる6つのあり方について市民の実感を尋ねました。(問12)
- これら評価について、関心・活動状況や子どもの有無など、当事者としての属性から分析します。

6つの基本目標

- ①学びを育む基礎づくり
- ②多様に学ぶ機会の充実
- ③学びの成果の共有
- ④市民文化の発信
- ⑤生涯学習社会基盤の強化
- ⑥未来への学びの継承

(2)学ぶことに対する関心・活動状況による分析

①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している

	合計	実感している	どちらかという実感している	どちらかという実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=781)	15.2	41.6	24.3	15.1	3.7
無関心層	(N=43)	9.3	20.9	23.3	37.2	9.3
関心層	(N=203)	4.9	26.1	37.4	27.1	4.4
行動層	(N=535)	19.6	49.2	19.4	8.8	3.0

表68

- 無関心層では「実感していない」が、関心層では「どちらかという実感していない」が最も多くなっています。実感していない人(「実感していない」と「どちらかという実感していない」の合計)は無関心層・関心層ではそれぞれ60.5%、64.5%となっています。
- 一方、行動層では「どちらかという実感している」が最も多く、実感している人(「実感している」と「どちらかという実感している」の合計)は68.8%となっています。

②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している

	合計	実感している	どちらかという実感している	どちらかという実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=781)	11.1	32.9	33.3	18.2	4.5
無関心層	(N=43)	7.0	16.3	27.9	37.2	11.6
関心層	(N=203)	3.0	21.2	39.4	32.0	4.4
行動層	(N=535)	14.6	38.7	31.4	11.4	3.9

表69

- 無関心層では「実感していない」が、関心層では「どちらかという実感していない」が最も多くなっています。実感していない人は無関心層・関心層ではそれぞれ65.1%、71.4%となっています。
- 一方、行動層では「どちらかという実感している」が最も多く、実感している人は53.3%となっています。

③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが豊かである

	合計	実感している	どちらか というと実 感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=781)	4.6	24.8	35.1	30.1	5.4
無関心層	(N=43)	4.7	14.0	18.6	48.8	14.0
関心層	(N=203)	2.5	19.7	36.5	35.0	6.4
行動層	(N=535)	5.4	27.7	35.9	26.7	4.3

表70

○無関心層では「実感していない」が最も多く、関心層・行動層では「どちらかというと実感していない」が最も多くなっています。

○いずれの層においても実感していない人の方が多くなっています。

④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている

	合計	実感している	どちらか というと実 感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=781)	4.6	21.5	43.1	24.7	6.0
無関心層	(N=43)	9.3	7.0	23.3	48.8	11.6
関心層	(N=203)	2.5	19.2	43.3	28.6	6.4
行動層	(N=535)	5.0	23.6	44.7	21.3	5.4

表71

○無関心層では「実感していない」が最も多く、関心層・行動層では「どちらかというと実感していない」が最も多くなっています。

○いずれの層においても実感していない人の方が多くなっています。

⑤学びや地域・コミュニティの活動のための施設が充実している

	合計	実感している	どちらか というと実 感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=781)	11.0	33.0	33.7	17.2	5.1
無関心層	(N=43)	11.6	16.3	25.6	34.9	11.6
関心層	(N=203)	6.4	27.1	39.9	20.2	6.4
行動層	(N=535)	12.7	36.6	32.0	14.6	4.1

表72

○無関心層では「実感していない」が、関心層では「どちらかというと実感していない」が最も多くなっています。実感していない人は無関心層・関心層ではそれぞれ60.5%、60.1%となっています。

○一方、行動層では「どちらかというと実感している」が最も多く、実感している人は49.3%となっています。

⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している

	合計	実感している	どちらか というと実 感している	どちらか というと実 感していない	実感して いない	無回答
全体	(N=781)	6.1	27.3	39.2	20.1	7.3
無関心層	(N=43)	7.0	18.6	23.3	39.5	11.6
関心層	(N=203)	3.4	25.6	38.9	24.6	7.4
行動層	(N=535)	7.1	28.6	40.6	16.8	6.9

表73

○無関心層では「実感していない」が最も多く、関心層・行動層では「どちらかというと実感していない」が最も多くなっています。

○いずれの層においても実感していない人の方が多くなっています。

第3章 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)集計結果

	合計	実感している	どちらかという実感している	どちらかという実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=476)	5.5	31.3	37.2	18.1	8.0
いる	(N=137)	8.0	38.7	38.7	13.9	0.7
いない	(N=339)	4.4	28.3	36.6	19.8	10.9

	合計	実感している	実感していない	無回答
全体	(N=476)	36.8	55.3	8.0
いる	(N=137)	46.7	52.6	0.7
いない	(N=339)	32.7	56.4	10.9

表74

○「将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している」についての評価を子どもの有無によって分析を行ったところ、子どものいる人では実感している人(「実感している」と「どちらかという実感している」の合計)は46.7%となり、全体よりも多くなります。

	合計	実感している	どちらかという実感している	どちらかという実感していない	実感していない	無回答
全体	(N=767)	5.7	27.6	39.4	20.2	7.0
乳幼児(0～2歳)	(N=48)	8.3	41.7	31.3	18.8	0.0
未就学児(3～5歳)	(N=41)	4.9	41.5	39.0	12.2	2.4
小学1～3年生	(N=37)	2.7	43.2	37.8	16.2	0.0
小学4～6年生	(N=37)	13.5	35.1	35.1	16.2	0.0
中学生	(N=29)	10.3	34.5	55.2	0.0	0.0
16歳以上、18歳未満	(N=41)	4.9	39.0	46.3	7.3	2.4
18歳以上	(N=331)	5.1	28.1	36.0	19.9	10.9
いない	(N=291)	6.2	21.6	43.0	23.7	5.5

表75

○子どもの年齢別にみると、小学4～6年生よりも下の年代では「どちらかという実感している」が最も多く、それ以上の年代では「どちらかという実感していない」が最も多くなります。

	合計	実感している	実感していない	無回答
全体	(N=767)	33.3	59.6	7.0
乳幼児(0～2歳)	(N=48)	50.0	50.1	0.0
未就学児(3～5歳)	(N=41)	46.4	51.2	2.4
小学1～3年生	(N=37)	45.9	54.0	0.0
小学4～6年生	(N=37)	48.6	51.3	0.0
中学生	(N=29)	44.8	55.2	0.0
16歳以上、18歳未満	(N=41)	43.9	53.6	2.4
18歳以上	(N=331)	33.2	55.9	10.9
いない	(N=291)	27.8	66.7	5.5

表76

○実感している人(「実感している」と「どちらかという実感している」の合計)は、子どもの年齢が上がるとともに、概ね少なくなっていく。

⑦まとめ

○「いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している」、「ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している」、「学びや地域・コミュニティの活動のための施設が充実している」については、関心・活動状況に応じて異なり、行動している人ほど評価が得られています。

○一方、「地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが豊かである」、「市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている」、「将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している」については、行動層においても十分に評価が得られていないと言えます。

○ただし、「将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している」については、子どものいる人では、全体に比べて評価されています。

第4章 市民の学びに関するアンケート調査(団体向け)集計結果

1. 団体について

問1 貴団体の活動年数を教えてください。(〇は1つ)

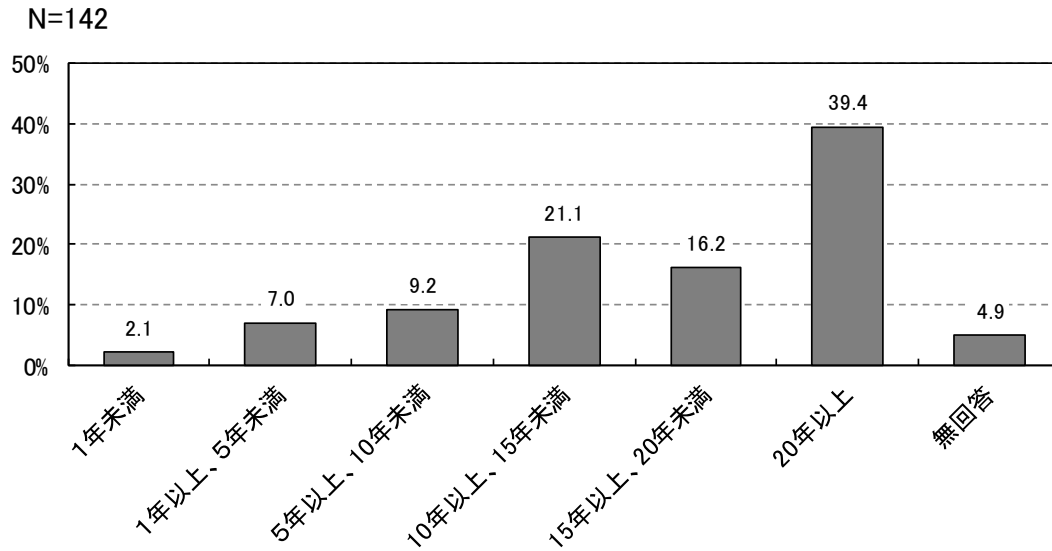


図34

○「20年以上」が39.4%で最も多く、ついで「10年以上、15年未満」が21.1%、「15年以上、20年未満」が16.2%で続きます。

問2 貴団体の会員は、おおよそどの年代の方が多いですか。(〇は1つ)

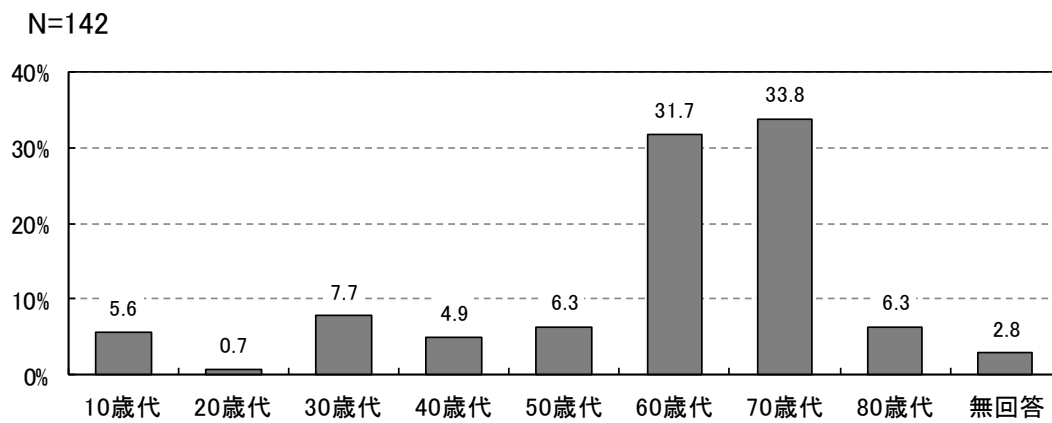


図35

○「70歳代」が33.8%で最も多く、ついで「60歳代」が31.7%、「30歳代」が7.7%で続きます。

問3 貴団体の会員数は、現在、どのくらいですか。(○は1つ)

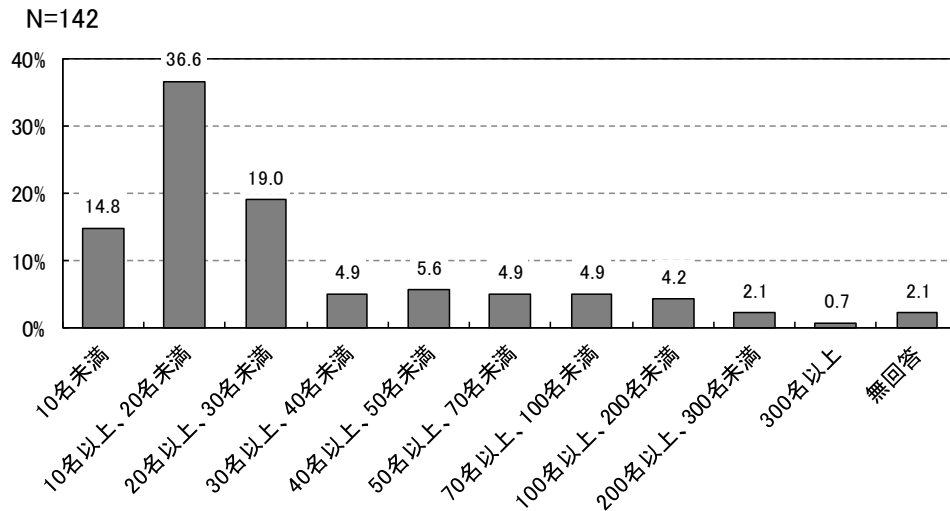


図36

○「10名以上、20名未満」が36.6%で最も多く、ついで「20名以上、30名未満」が19.0%、「10名未満」が14.8%で続きます。

問4 貴団体として最も多く活動しているテーマはどちらになりますか。(○は1つ)

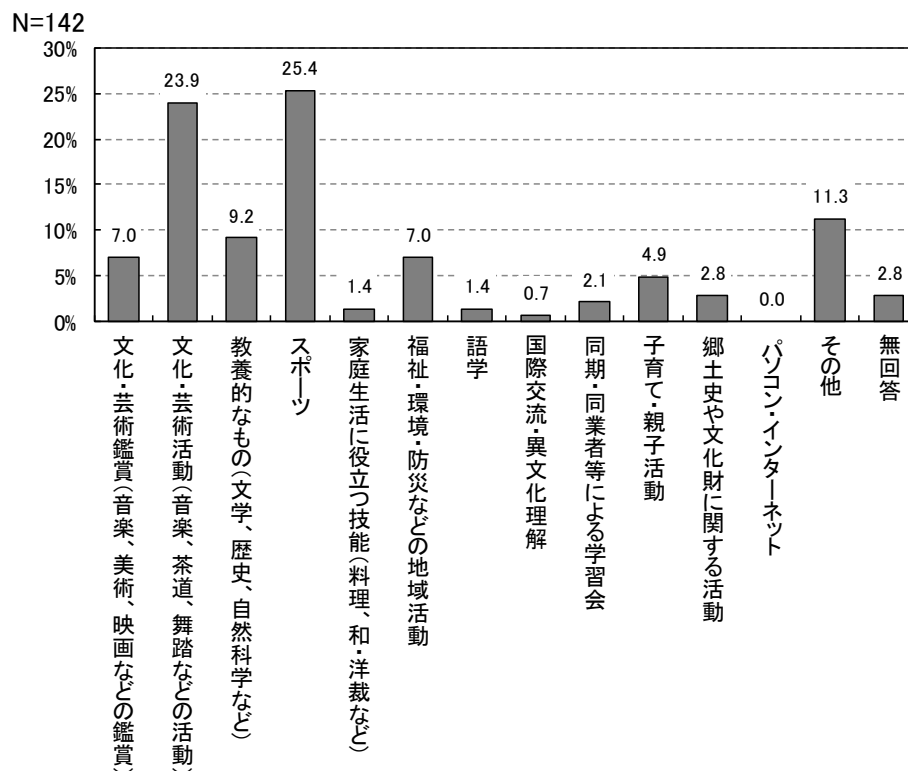


図37

○「スポーツ」が25.4%で最も多く、ついで「文化・芸術活動(音楽、茶道、舞踏などの活動)」が23.9%、「その他」が11.3%で続きます。

問5 貴団体は、現在、主にどのような形態や方法で活動を行っていますか。（〇はいくつでも）

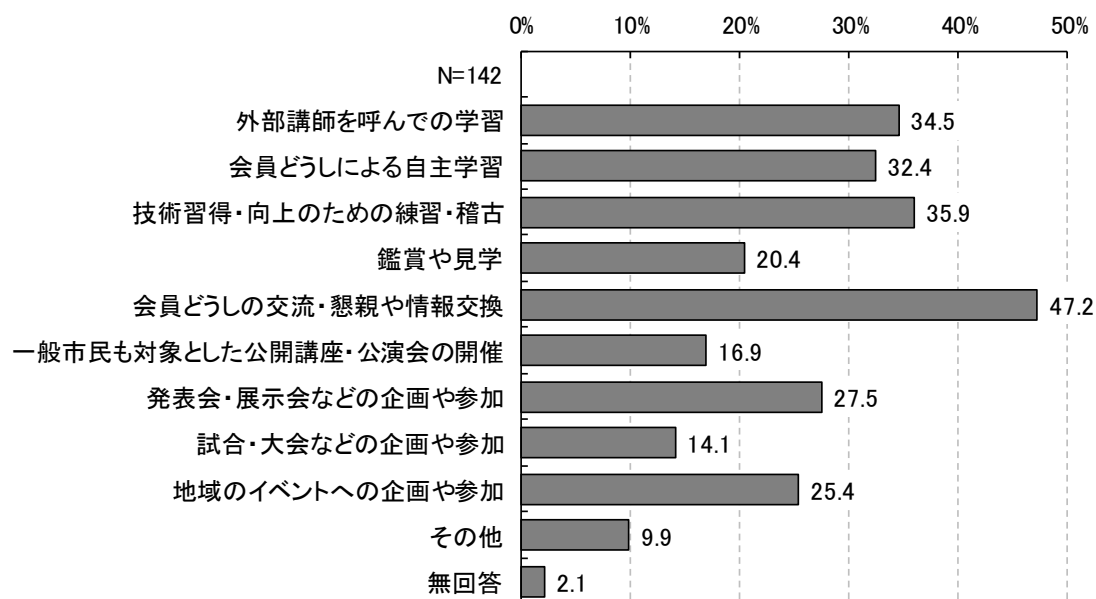


図38

○「会員どうしの交流・懇親や情報交換」が47.2%で最も多く、ついで「技術習得・向上のための練習・稽古」が35.9%、「外部講師を呼んでの学習」が34.5%で続きます。

2. 活動について

問6 貴団体は、下記の活動について、それぞれどのような場所で、どのくらい活動をおこなっていますか。(頻度、時間帯については○は1つ、場所については○はいくつでも)

①日常的な活動(練習、イベントの準備など)

【頻度】

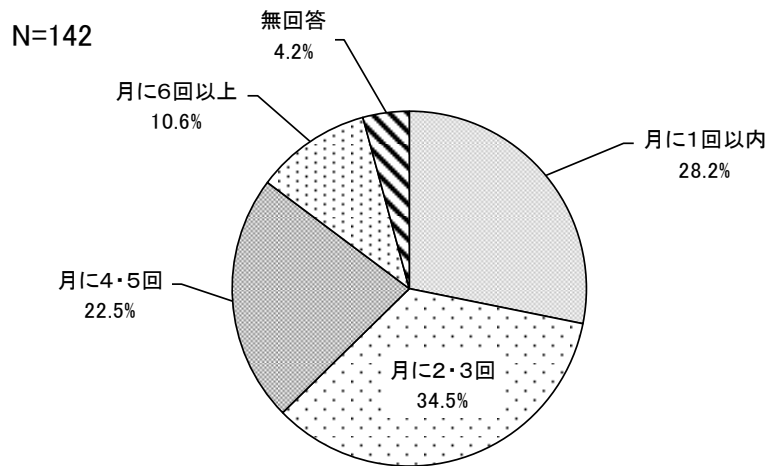


図39

○「月に2・3回」が34.5%で最も多く、ついで「月に1回以内」が28.2%、「月に4・5回」が22.5%で続きます。

【時間帯】

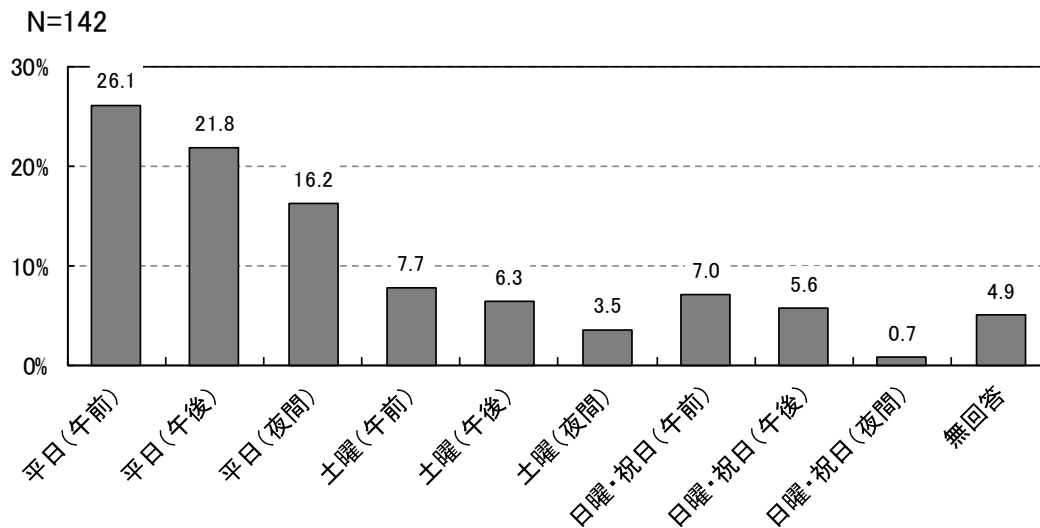


図40

○「平日(午前)」が26.1%で最も多く、ついで「平日(午後)」が21.8%、「平日(夜間)」が16.2%で続きます。

【場所】

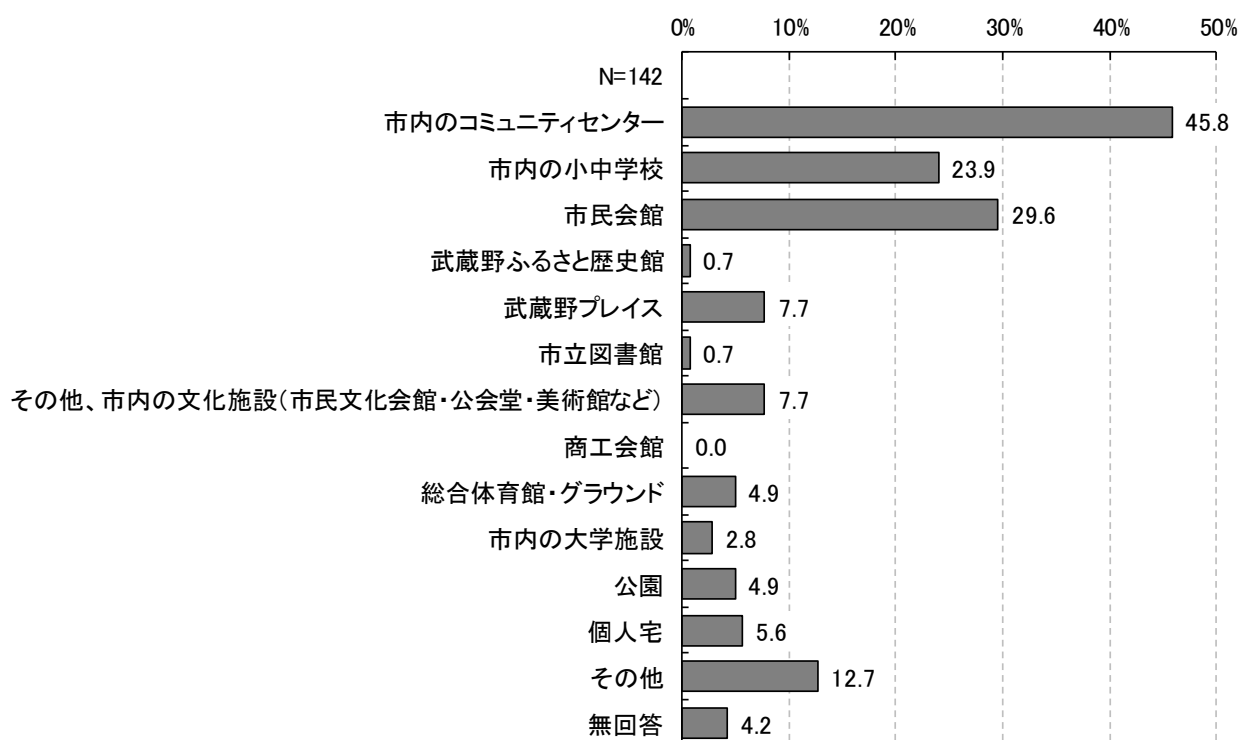


図41

○「市内のコミュニティセンター」が45.8%で最も多く、ついで「市民会館」が29.6%、「市内の小中学校」が23.9%で続きます。

②イベント的な活動(発表会・大会など)

【頻度】

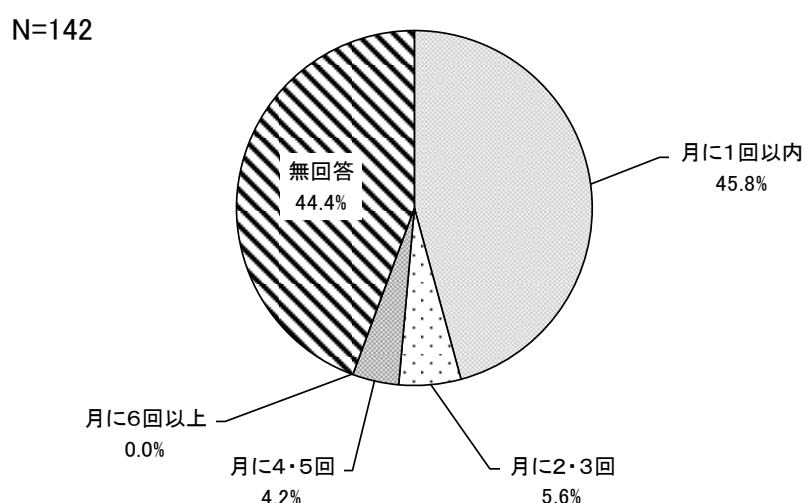


図42

○「月に1回以内」が45.8%で最も多く、「無回答」(44.4%)を除くと、ついで「月に2・3回」が5.6%、「月に4・5回」が4.2%で続きます。

【時間帯】

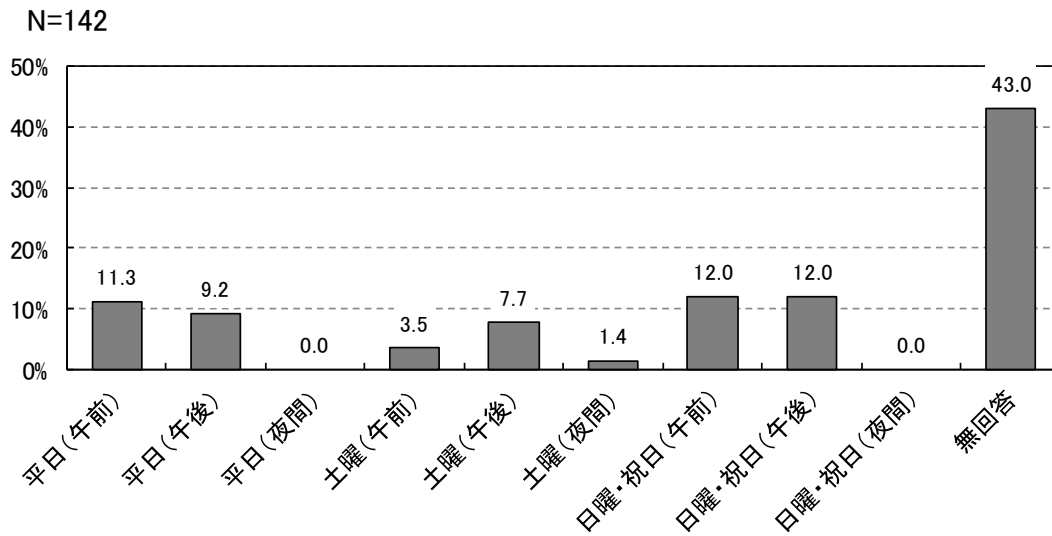


図43

○「無回答」(43.0%)を除くと、「日曜・祝日(午前)」と「日曜・祝日(午後)」が12.0%で最も多く、ついで「平日(午前)」が11.3%、「平日(午後)」が9.2%で続きます。

【場所】

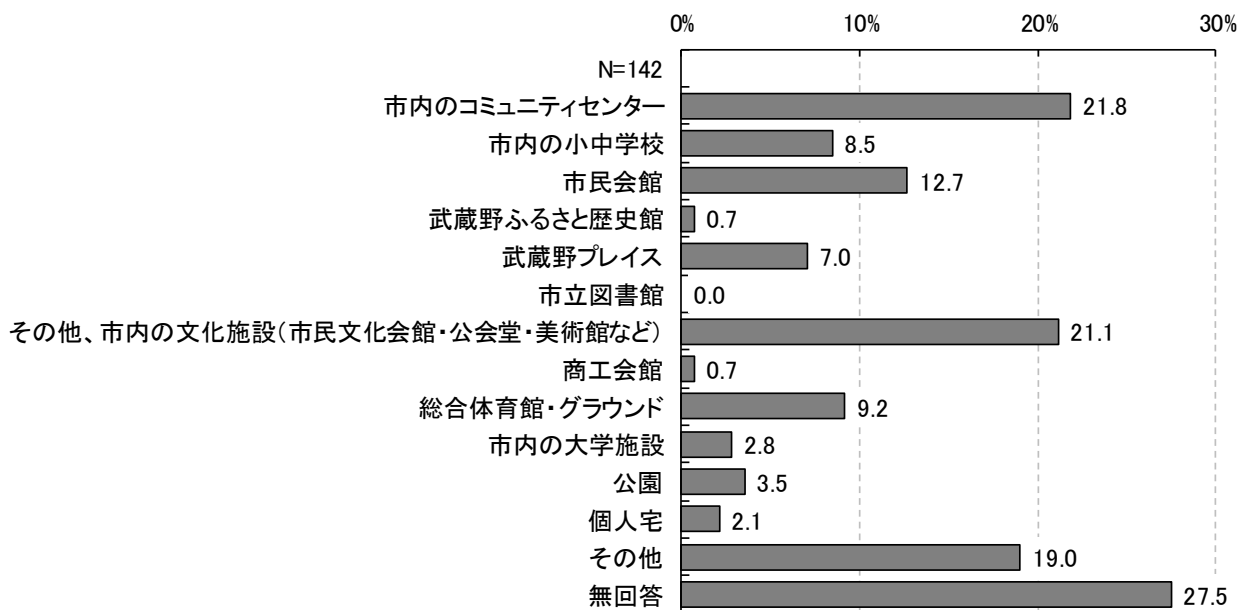


図44

○「無回答」(27.5%)を除くと、「市内のコミュニティセンター」が21.8%で最も多く、ついで「その他、市内の文化施設(市民文化会館・公会堂・美術館など)」が21.1%、「その他」が19.0%で続きます。

問7 貴団体が、生涯学習をしている一番の目的は何ですか。(○は1つ)

N=142

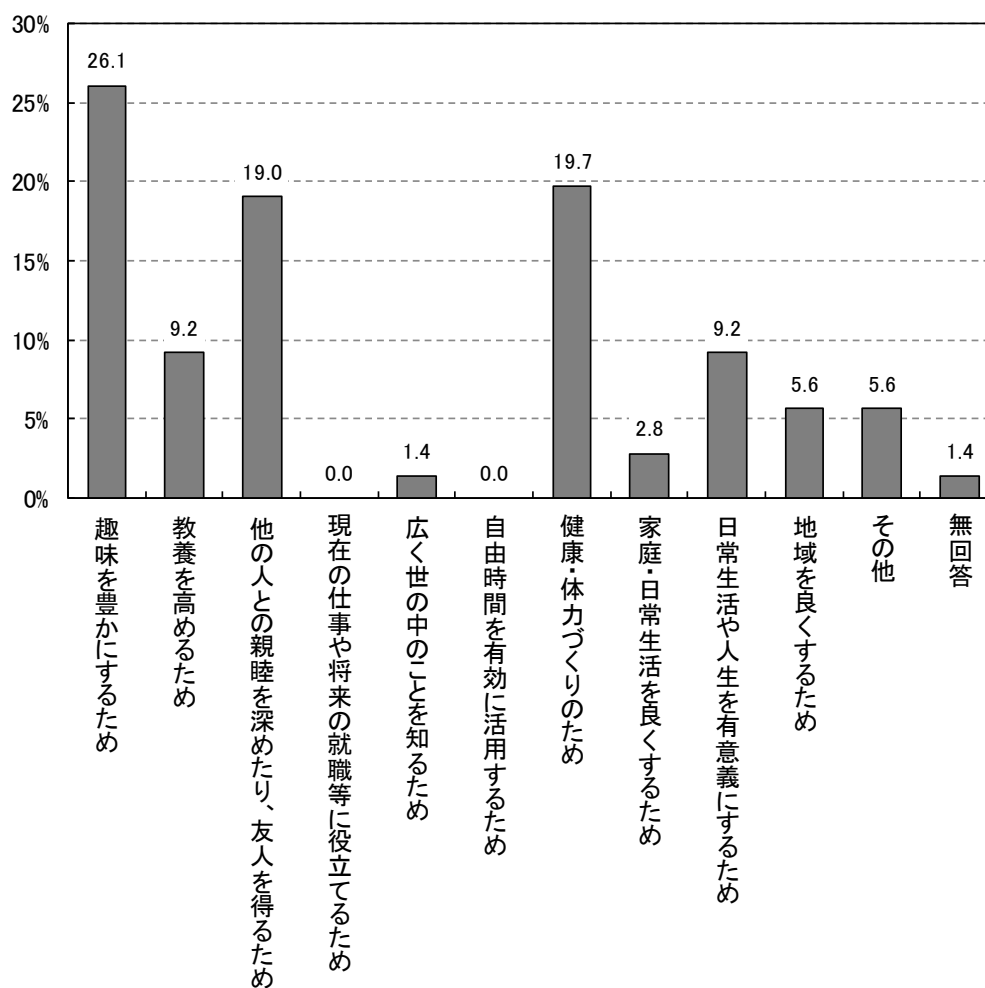


図45

○「趣味を豊かにするため」が26.1%で最も多く、ついで「健康・体力づくりのため」が19.7%、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」が19.0%で続きます。

問8 貴団体は、生涯学習をつうじて身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。
(〇はいくつでも)

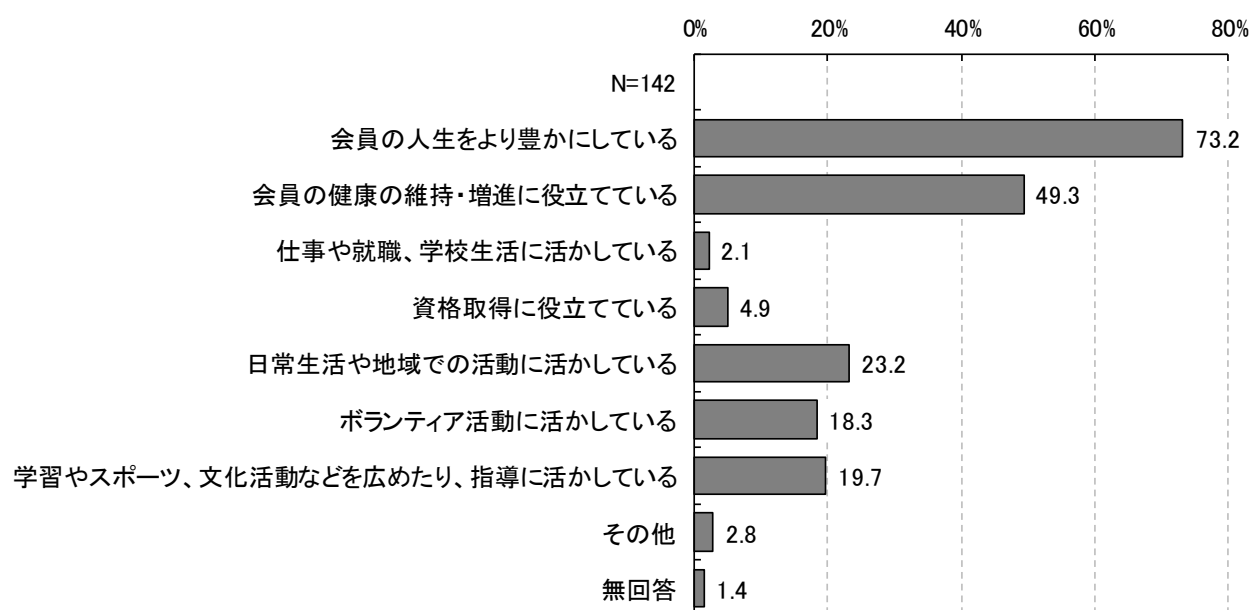


図46

○「会員の人生をより豊かにしている」が73.2%で最も多く、ついで「会員の健康の維持・増進に役立てている」が49.3%、「日常生活や地域での活動に活かしている」が23.2%で続きます。

問9 貴団体が、生涯学習に関する活動をおこなううえで困っていることはありますか。次のなかから、あてはまることをお選びください。（○はいくつでも）

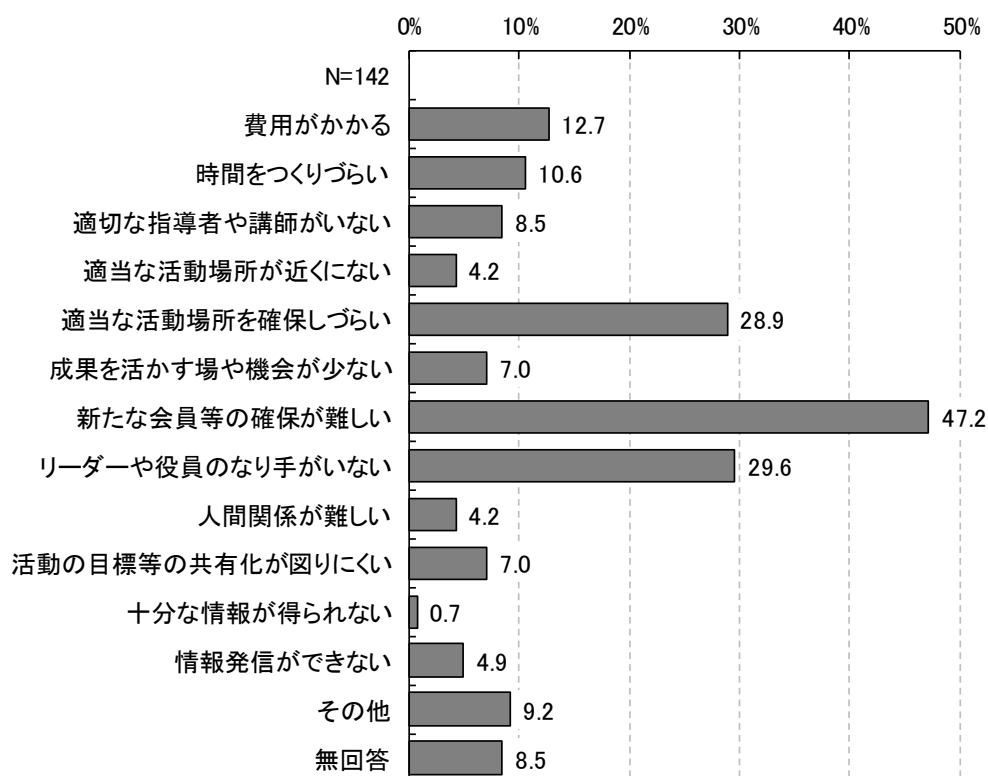


図47

○「新たな会員等の確保が難しい」が47.2%で最も多く、ついで「リーダーや役員のなり手がいない」が29.6%、「適当な活動場所を確保しづらい」が28.9%で続きます。

3. 今後の活動について

問10 貴団体が、今後、生涯学習に関する活動をおこなううえで、活動内容を広げたいと思いますか。(○は1つ)

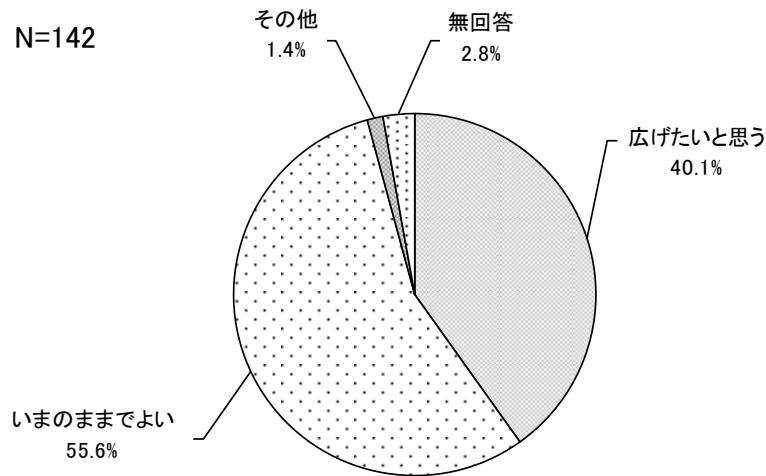


図48

○「いまのままでよい」が55.6%で、「広げたいと思う」が40.1%となっています。

問11 貴団体は、地域の他の団体(他の社会教育団体、PTA、商店会など)や個人との交流がありますか。次のなかから、あてはまることをお選びください。(○はいくつでも)

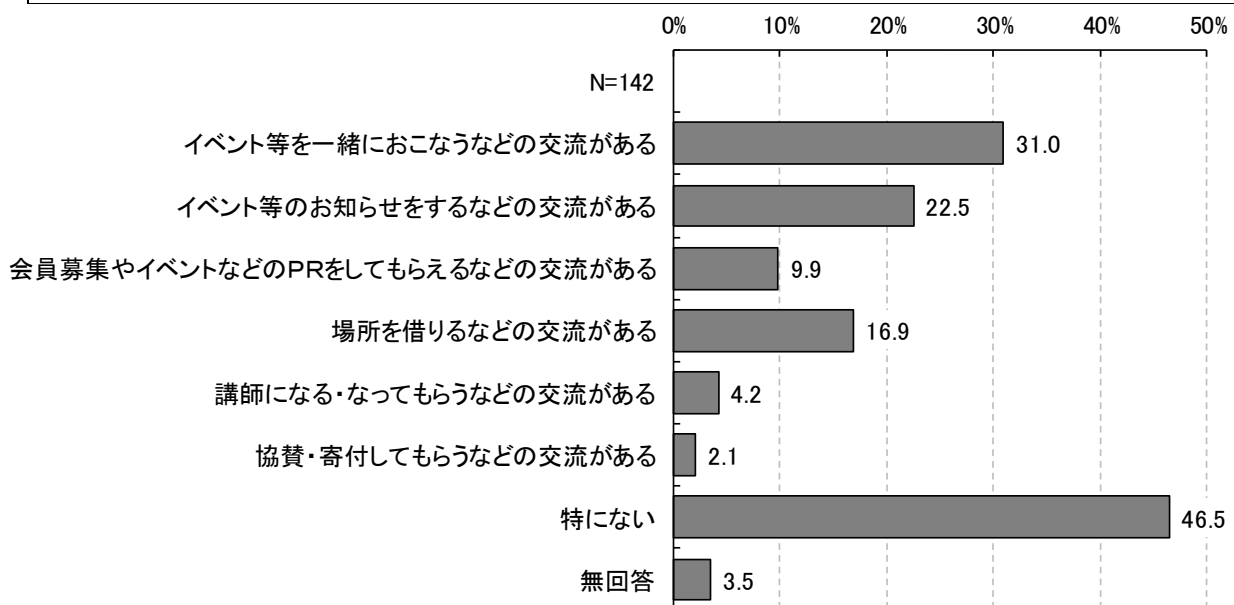


図49

○「特にない」が46.5%で最も多く、ついで「イベント等を一緒におこなうなどの交流がある」が31.0%、「イベント等のお知らせをするなどの交流がある」が22.5%で続きます。

○何らかの交流のある団体(全体から「特にない」と「無回答」を除いて算出)は50.0%です。

問12 今後、地域の他の団体や個人と協力(協働)しながら、どのような生涯学習に関する活動をしてみたいですか。また、できると思いますか。(〇はいくつでも)

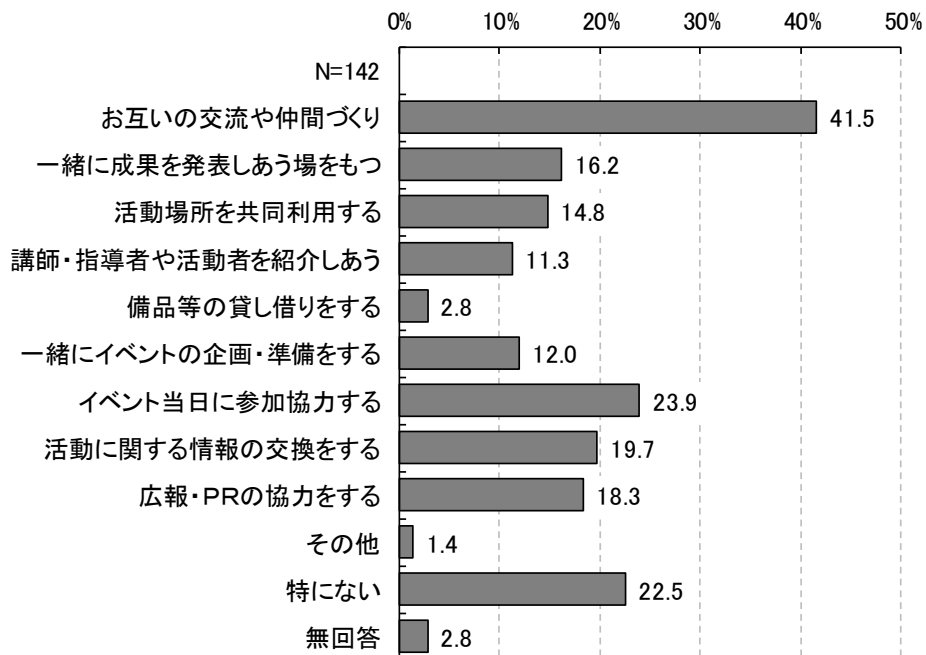


図50

- 「お互いの交流や仲間づくり」が41.5%で最も多く、ついで「イベント当日に参加協力する」が23.9%、「特にない」が22.5%で続きます。
- 他の団体や個人と協力(協働)しながら何らかの活動をしてみたいと思う団体(全体から「特にない」と「無回答」を除いて算出)は74.7%です。

問13 市と協力(協働)しながら、どのような生涯学習に関する活動をしてみたいです。また、できると思いますか。(〇はいくつでも)

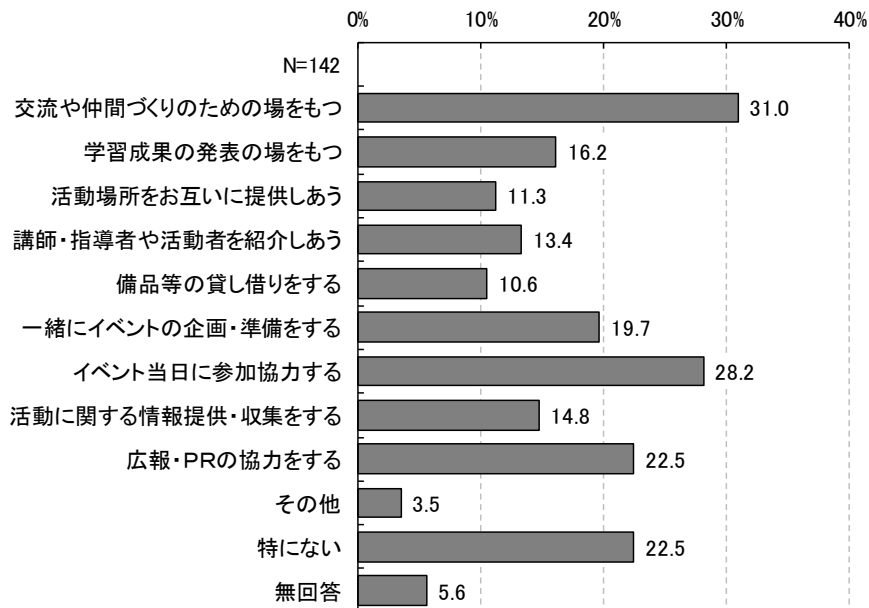


図51

○「交流や仲間づくりのための場をもつ」が31.0%で最も多く、ついで「イベント当日に参加協力する」が28.2%、「広報・PRの協力をする」と「特にない」が22.5%で続きます。

○市と協力(協働)しながら何らかの活動をしてみたいと思う団体(全体から「特にない」と「無回答」を除いて算出)は71.9%です。

問14 貴団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

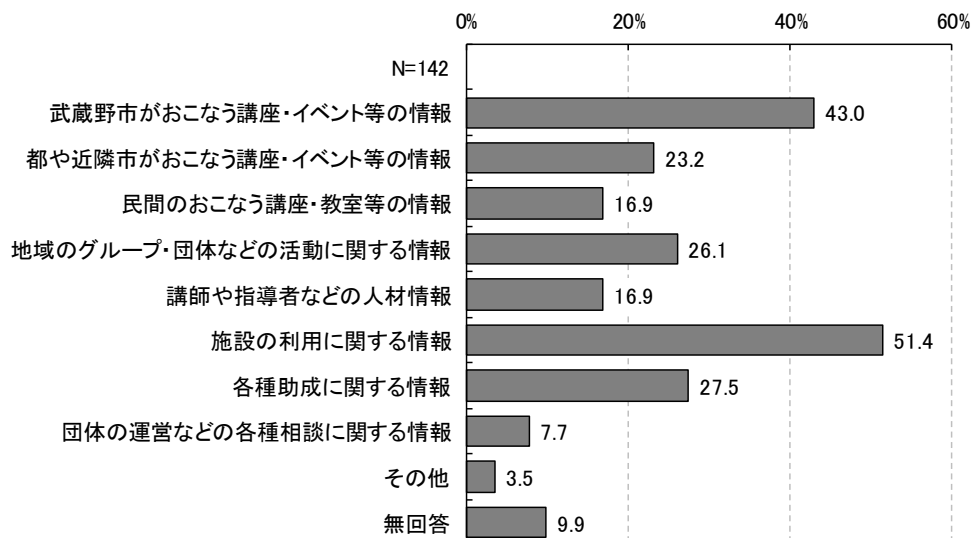


図52

○「施設の利用に関する情報」が51.4%で最も多く、ついで「武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報」が43.0%、「各種助成に関する情報」が27.5%で続きます。

4. 市の施策について

問15 市では、社会教育関係団体の活動に対する支援をおこなっています。次のうち、知っているもの、または利用したことがあるものをお選びください。（各項目について○は1つつつ）

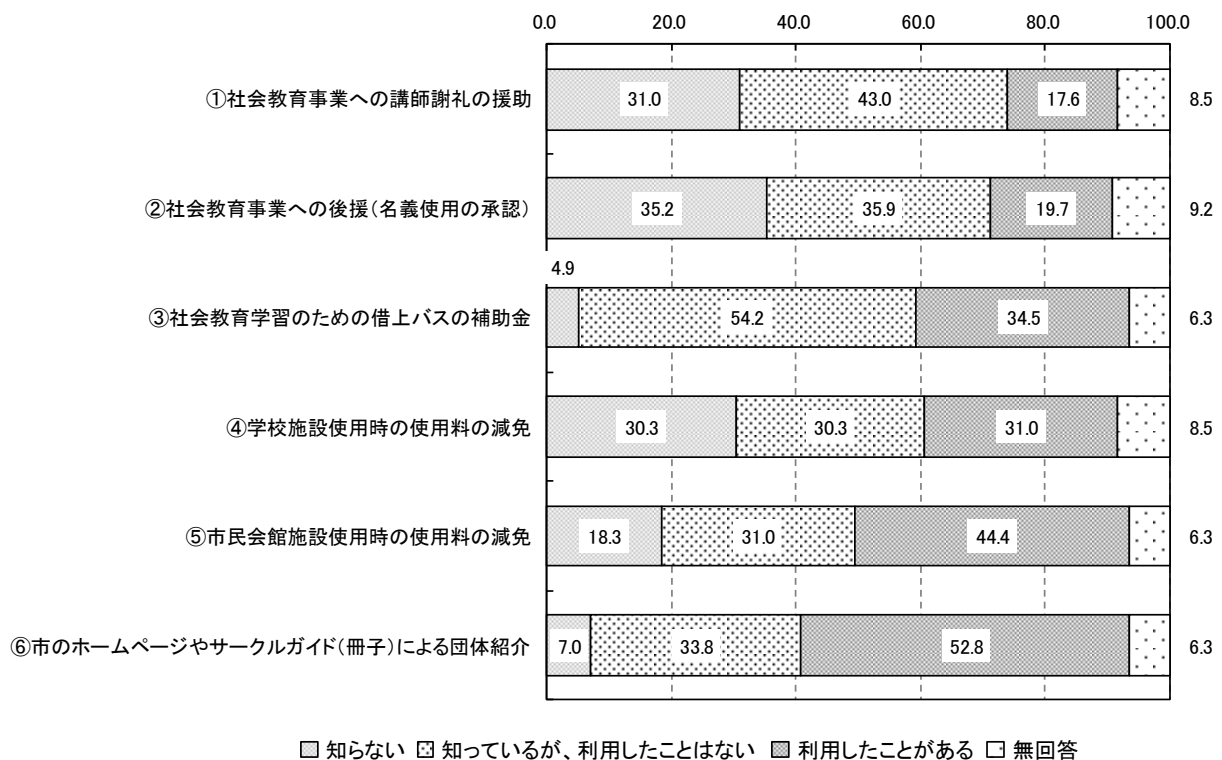


図53

- 「利用したことがある」が5割を上回っているのは、「市のホームページやサークルガイド(冊子)による団体紹介」です。「市民会館施設使用時の使用料の減免」が44.4%、「社会教育学習のための借上バスの補助金」が34.5%で続きます。
- いずれも、知っている、ないしは利用したことがある(「知っているが、利用したことはない」と「利用したことがある」の合計)は5割を上回っています。特に「社会教育学習のための借上バスの補助金」と「市のホームページやサークルガイド(冊子)による団体紹介」は8割を上回っています。
- 「知らない」については、「社会教育事業への後援(名義使用の承認)」が35.2%で最も多く、ついで「社会教育事業への講師謝礼の援助」が31.0%、「学校施設使用時の使用料の減免」が30.3%で続きます。

問16 貴団体として、問15の項目①～⑥の支援のうち、利用したいと思うものはありますか。利用したいと思うものをお選びください。(〇はいくつでも)
※利用の有無にかかわらず、お選びください。

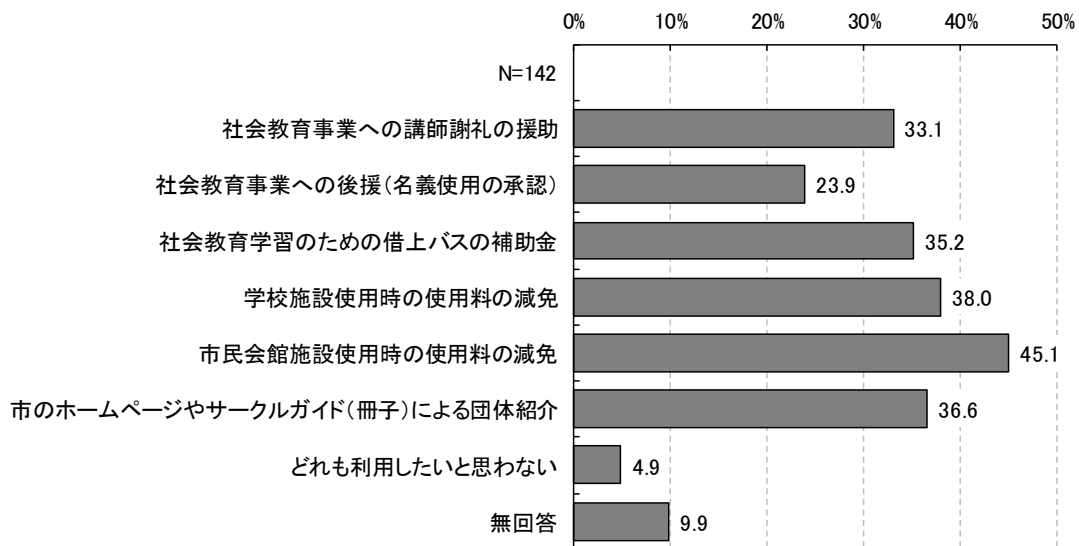


図54

○「市民会館施設使用時の使用料の減免」が45.1%で最も多く、ついで「学校施設使用時の使用料の減免」が38.0%、「市のホームページやサークルガイド(冊子)による団体紹介」が36.6%で続きます。

問17 今後、生涯学習に関する活動を活発にするために、市にどのような取り組みを望みますか。(〇はいくつでも)

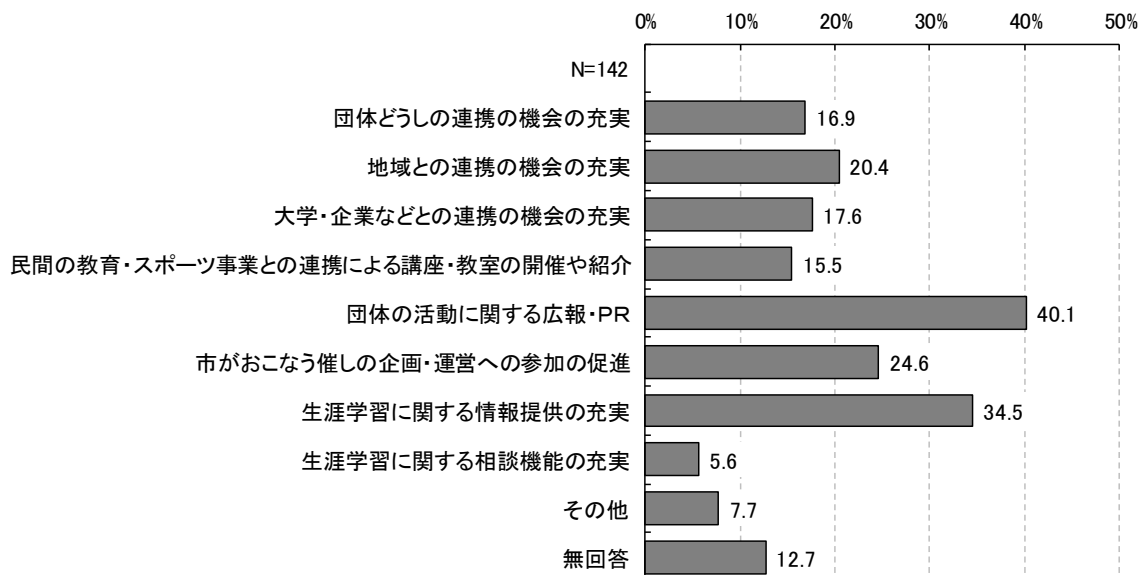


図55

○「団体の活動に関する広報・PR」が40.1%で最も多く、ついで「生涯学習に関する情報提供の充実」が34.5%、「市がおこなう催しの企画・運営への参加の促進」が24.6%で続きます。

問18 その他、武蔵野市の生涯学習に関するご意見をご自由にお書きください。(抜粋)

■内容

※意見は原文のまま記載しています。

(1)活動支援への期待

○会員全員が80才台で体力的に能動的な活動は難しい。後期高齢者への支援をご工夫下さい。

(2)施設の充実

○現在活動の際コミセンを利用し、年1回の発表の場として芸能劇場等の公共施設を利用させて頂いている。非常に低料金あるいは無料で利用でき、会の活動に助かっている。ただ近年施設、設備ともに老朽化が進行してきており、計画的更新等の対策をお願いしたい。

○市の生涯学習に対する取組は評価に値するものであり、感謝いたします。ただ、活動が運動をするもので、場所の確保が難儀するときがあり、150㎡以上の広さの運動できる施設が、もっとあればと思います。

○武蔵野市の生涯学習は広範囲で充実している。活動する場所(音楽・合唱、練習の場所)が更に充実する事を期待する。

(3)活動場所の確保・利用しやすさ

○コミセン、学校等の施設を借りる場合、時間の区切りがもう少し自由になると良いと思います。Ex コミセン等、時間またぎで短時間借りたい時等

○生涯学習の場の確保が次第にむずかしくなりつつあります。それだけ団体の数が増えたということで市全体でみれば良いことだと思うのですが、活動の場が無くなるのは困ります

(4)人的支援への期待

○高齢者の団体なので、無償ボランティアで自発的に組織をリードする人材を得ることが最大の問題です。なお、講師の派遣は市にお願いしているので、謝礼等の支払いはありません。

(5)連携ニーズ

○団体としての連携の強化を図るべき。

(6)情報発信への期待

○生涯学習に関心のない人々に啓発が重要である。

(7)助成・減免への期待

○武蔵野の生涯学習はとても良い取組みであると思います。市民会館使用料の減免は、当会の運営にも役立たせて頂いています。財政が厳しい昨今ですが、市民の生活の潤いのためにも永く続けて欲しい取り組みです。

○補助金制度や施設利用料の減免は大変助かります。活動の幅が広がり、よい制度だと思います。

(8)その他

○毎年の合同バス研修においては、お世話になります。会員の方も楽しみにしております。今後とも宜しくお願い致します。

○老壮セミナーを受講、市内に居住するおたがいに知らないシニア世代が、親睦第一に意見交換しながら文化財や郷土の歴史、工場見学、研究施設の見学、自然観察等を行ってきました。生涯学習に関する情報提供の充実を希望します。

○直接関係ないかも知れませんが、武蔵野自由大学の講座に個人として申し込みをしても抽選にもれることが多く、定員が少なすぎるのではないかと思います。

第5章 武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査集計結果

1. 学びや調べ事への関心や行動について

問1 あなたは、過去1年間において、学校や勤務先以外で何かを自主的に学んだことはありますか。(〇は1つ)

(例: 読書やウェブサイトの検索・閲覧、習い事、教室・講座への参加など。)

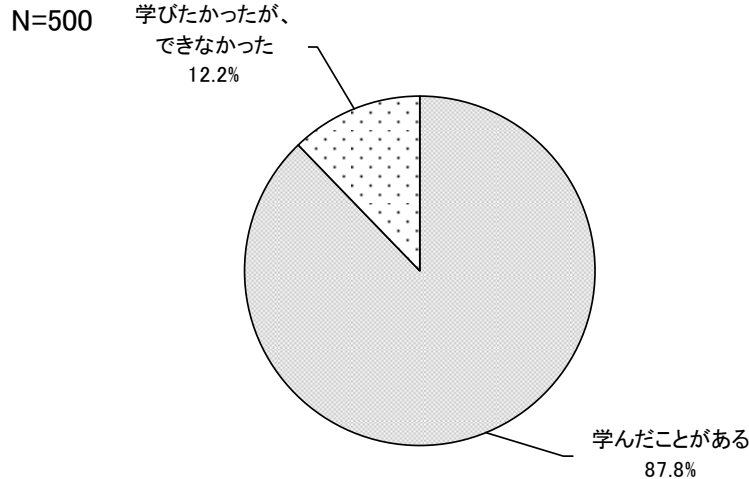


図56

○「学んだことがある」が87.8%、「学びたかったが、できなかった」が12.2%です²。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)との比較³

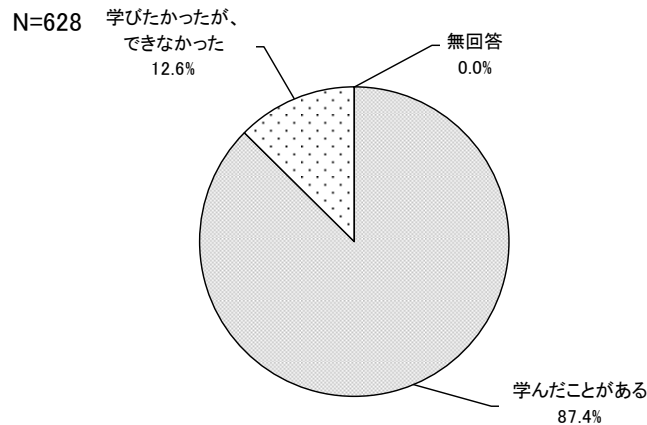


図57

○過去1年間における活動状況は、武蔵野市と周辺自治体でほぼ同じ傾向にあります。

² 武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査は、過去1年間において何かを自主的に学んだことがある人、ないしはその意向を持っている人(「学びたかったが、できなかった」を選択した人)であり、かつこれまでに武蔵野市の施設を利用したことのある人を対象としています。

³ ここでは比較のため、市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)での問3にて「学ばなかった」と回答した人は除いて集計しなめています。

問2 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。

あなたは、これまでに何かを学ぶために次の施設を使ったことはありますか。(○はいくつでも)

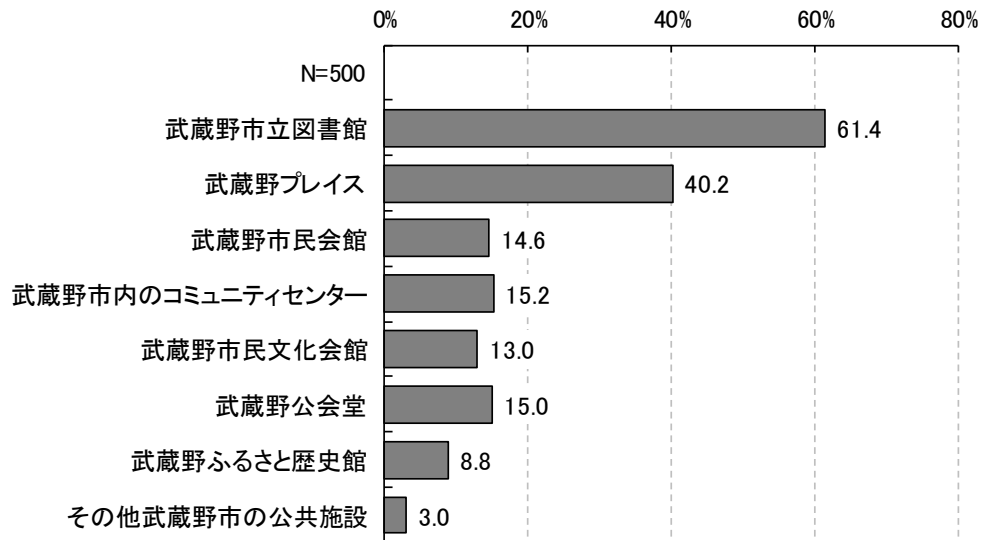


図58

○「武蔵野市立図書館」が61.4%で最も多く、ついで「武蔵野プレイス」が40.2%、「武蔵野市内のコミュニティセンター」が15.2%で続きます。

問3 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。

あなたは、過去1年間において、何かを学ぶために次の施設を使ったことはありますか。(○はいくつでも)

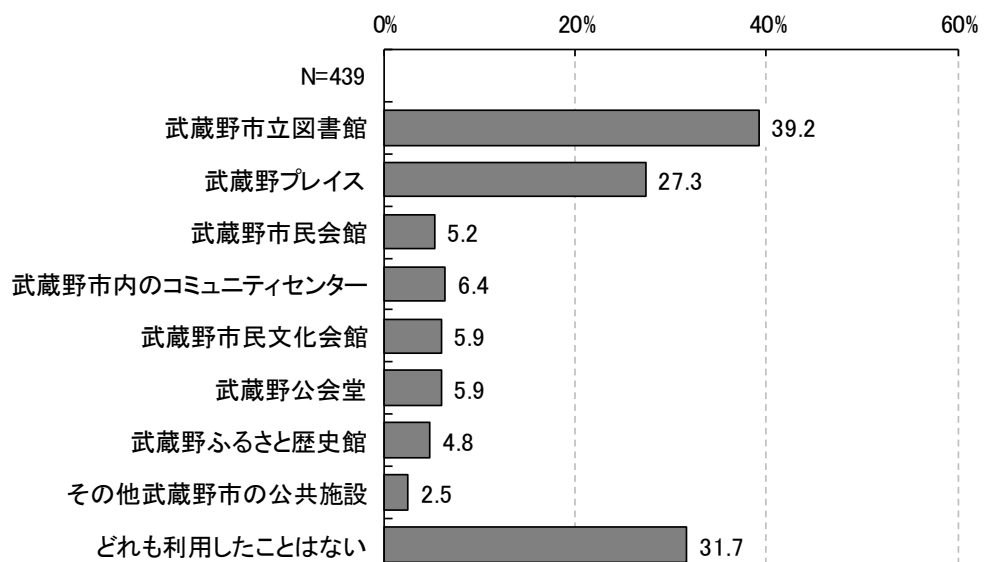


図59

○「武蔵野市立図書館」が39.2%で最も多く、ついで「どれも利用したことはない」が31.7%、「武蔵野プレイス」が27.3%で続きます。

問4 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。
あなたが、過去1年間に、何かを学ぶために武蔵野市の施設を利用したのはなぜですか。（○はいくつでも）

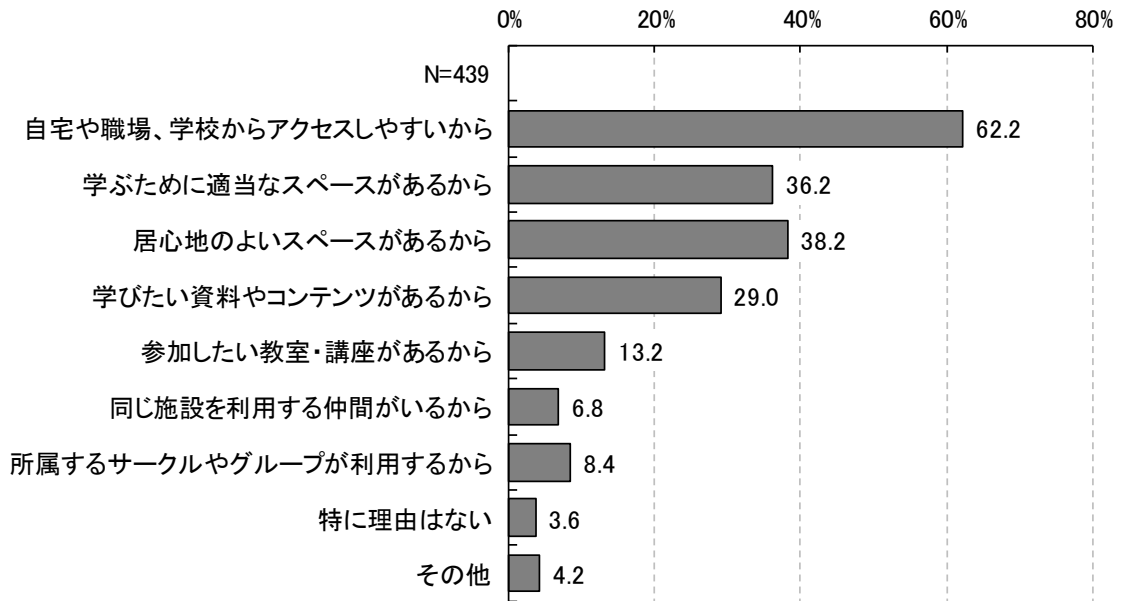


図60

○「自宅や職場、学校からアクセスしやすいから」が62.2%で最も多く、ついで「居心地のよいスペースがあるから」が38.2%、「学ぶために適当なスペースがあるから」が36.2%で続きます。

問5 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。

あなたが、過去1年間において、何かを学んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

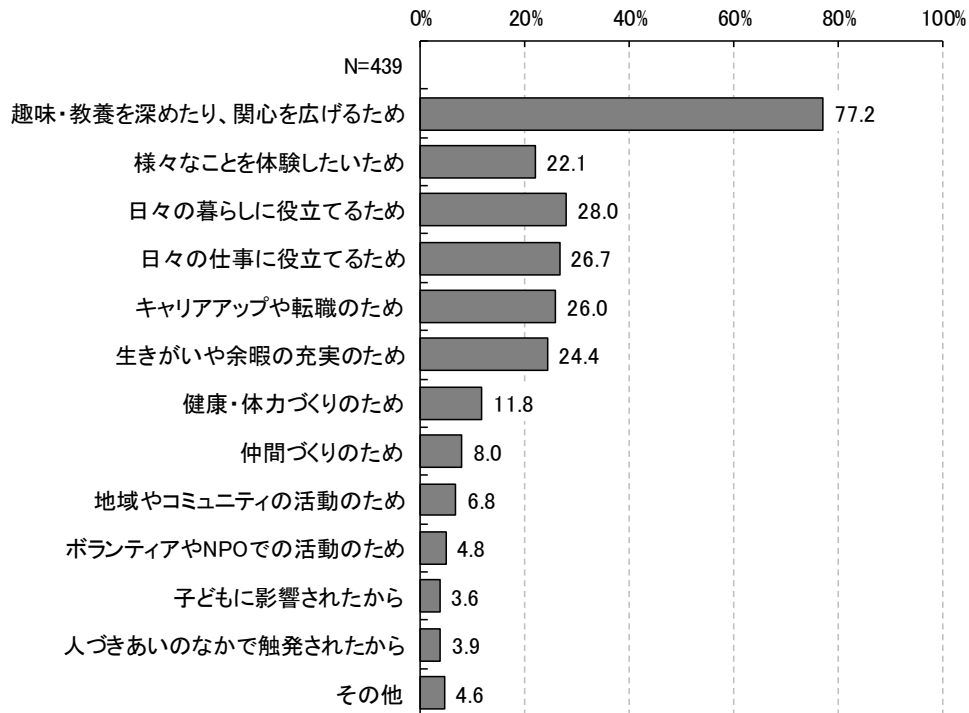


図61

○「趣味・教養を深めたり、関心を広げるため」が77.2%で最も多く、ついで「日々の暮らしに役立てるため」が28.0%、「日々の仕事に役立てるため」が26.7%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け) との比較

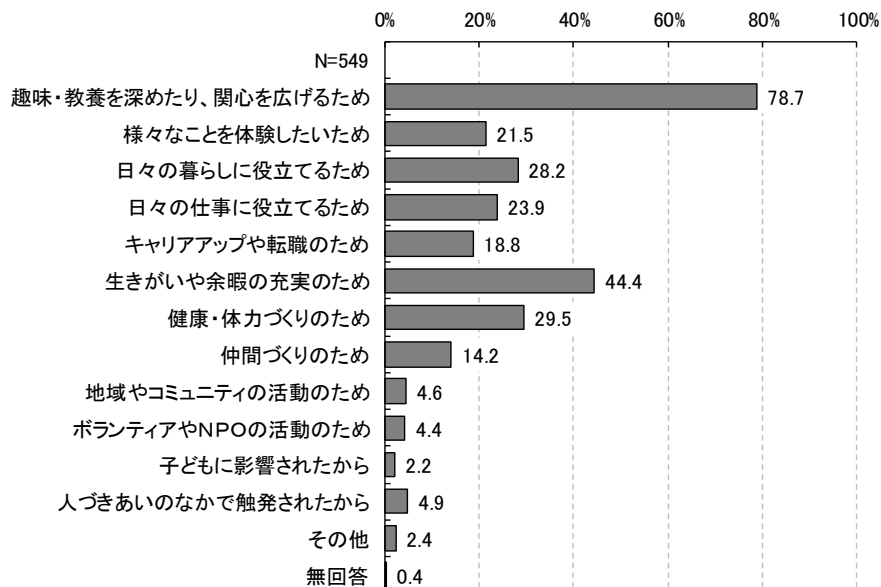


図62

○周辺自治体と比較すると、武蔵野市では「生きがいや余暇の充実のため」と「仲間づくりのため」が多く、「キャリアアップや転職のため」が少なくなっています。

問6 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。
あなたは、過去1年間に於いて、どのように学びましたか。(○はいくつでも)

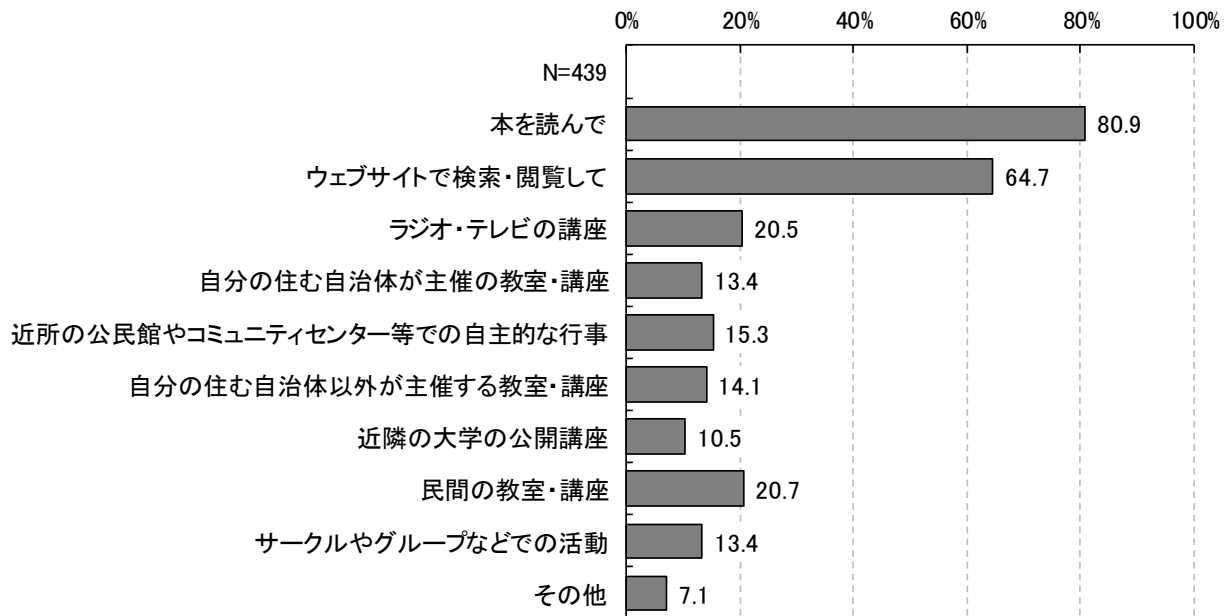


図63

○「本を読んで」が80.9%で最も多く、ついで「ウェブサイトで検索・閲覧して」が64.7%、「民間の教室・講座」が20.7%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)との比較

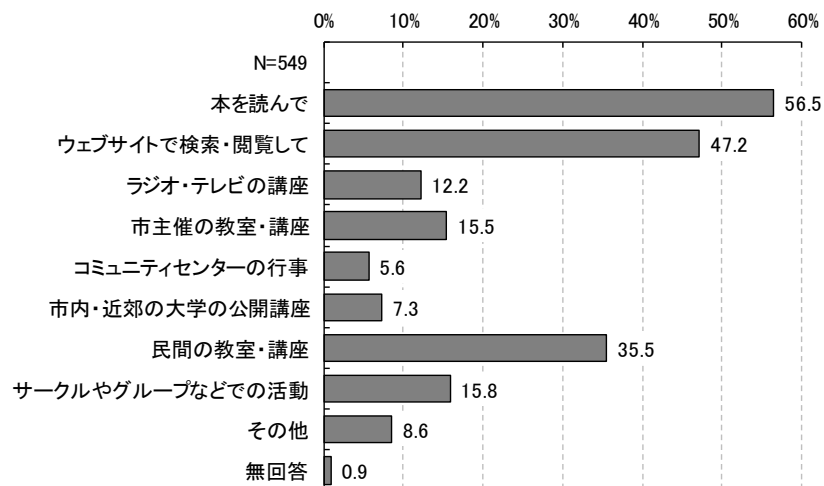


図64

○周辺自治体と比較すると、武蔵野市は「本を読んで」と「ウェブサイトを検索・閲覧して」が少なく、「民間の教室・講座」が多くなっています。

問7 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。

あなたは、過去1年間に学んだことを今後も学び続けたいと思いますか。(○は1つ)

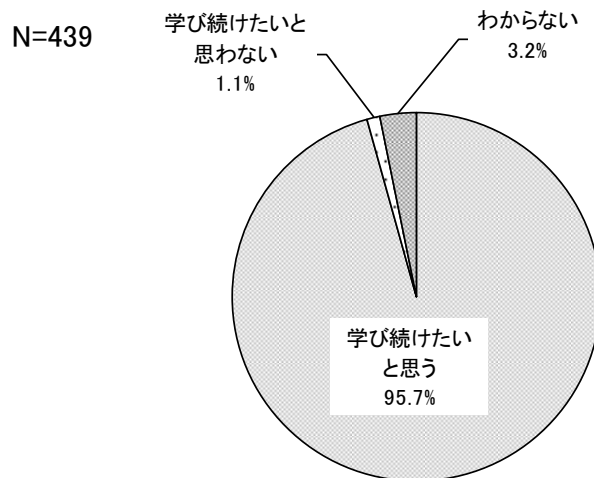


図65

○「学び続けたいと思う」が95.7%で最も多く、ついで「わからない」が3.2%、「学び続けたいと思わない」が1.1%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け) との比較

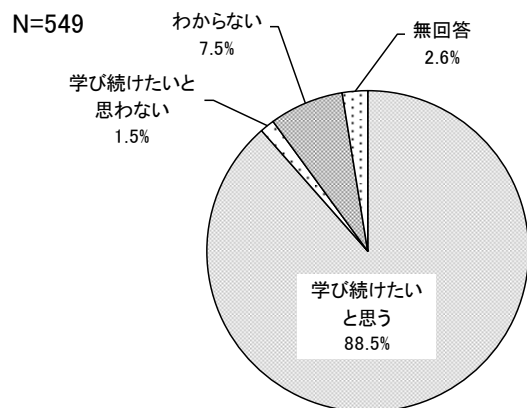


図66

○過去1年間における活動状況は、武蔵野市と周辺自治体でほぼ同じ傾向にあります。

問8 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。
あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。（○はいくつでも）

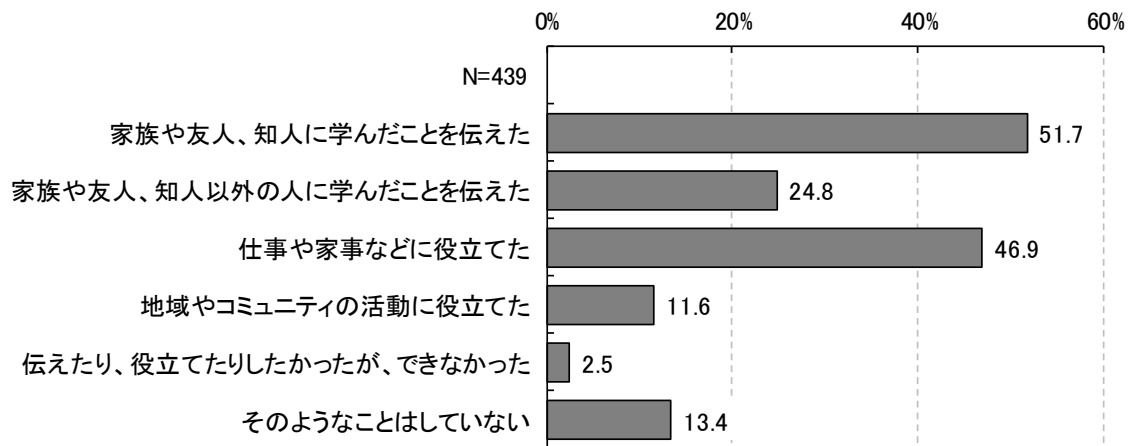


図67

- 「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」が51.7%で最も多く、ついで「仕事や家事などに役立てた」が46.9%、「家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた」が24.8%で続きます。
- 過去1年間に学んだことを誰かに伝えたり、何かに役立てたりした人（全体から「伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった」と「そのようなことはしていない」を除いて算出）は84.1%となっています。

■市民の学びに関するアンケート調査（市民向け）との比較

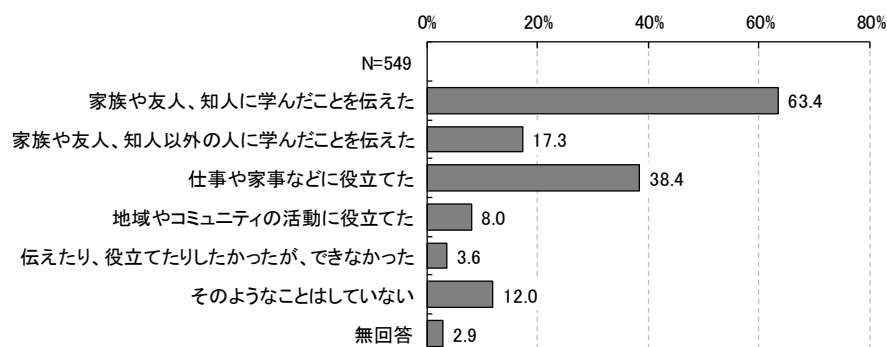


図68

- 周辺自治体と比較すると、「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」が多く、「家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた」と「仕事や家事などに役立てた」は少なくなっています。

問9 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。
あなたは、今後、何かを自主的に学び始めようと思いますか。(○は1つ)

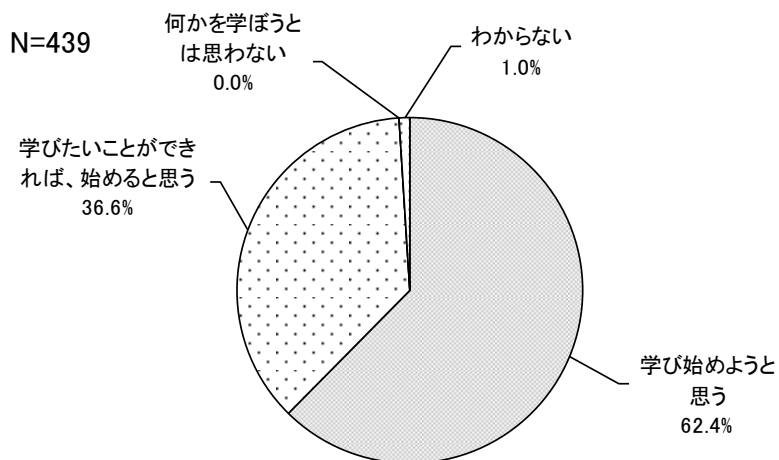


図69

○「学び始めようと思う」が62.4%で最も多く、ついで「学びたいことができれば、始めようと思う」が36.6%、「わからない」が1.0%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)との比較

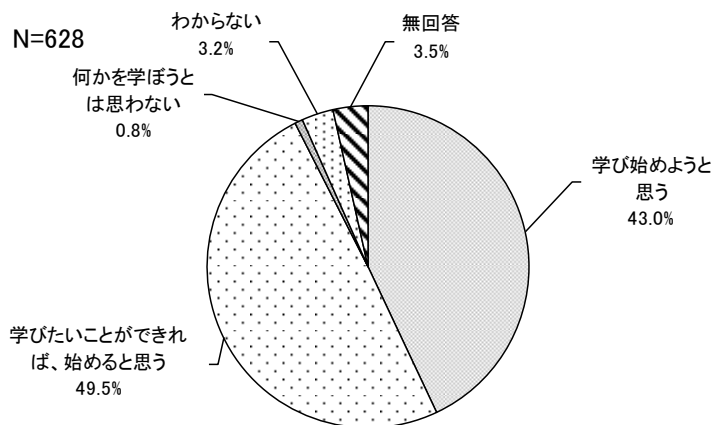


図70.

○周辺自治体と比較すると、「学び始めようと思う」が少なく、「学びたいことができれば、始めようと思う」が多くなっています。

問10 問1で「学んだことがある」と回答した439人が回答しています。

あなたにとって、何かを学んだり、調べたりすることの効果は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

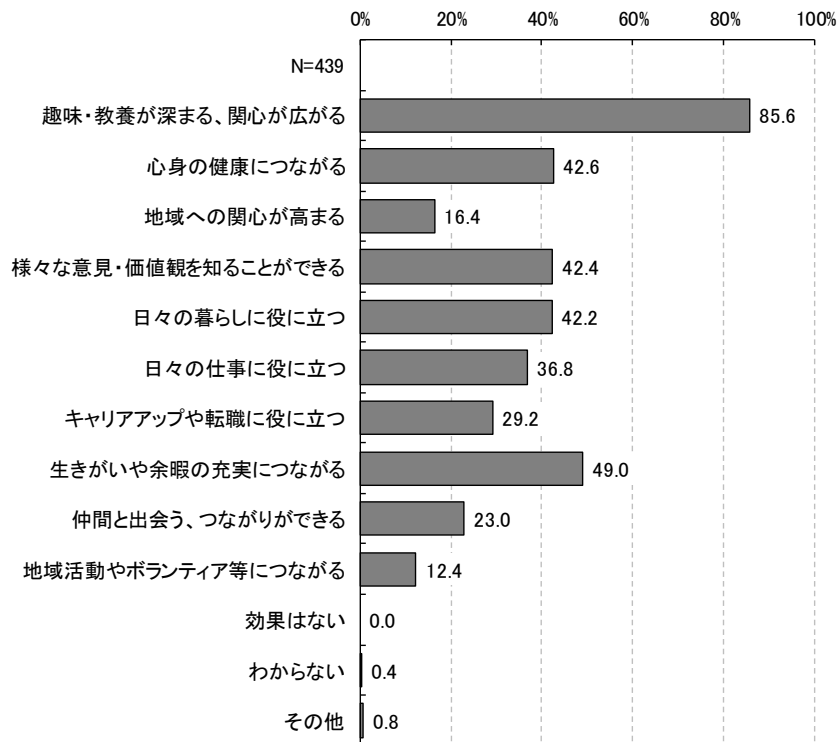


図71

〇「趣味・教養が深まる、関心が広がる」が85.6%で最も多く、ついで「生きがいや余暇の充実につながる」が49.0%、「心身の健康につながる」が42.6%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け) との比較

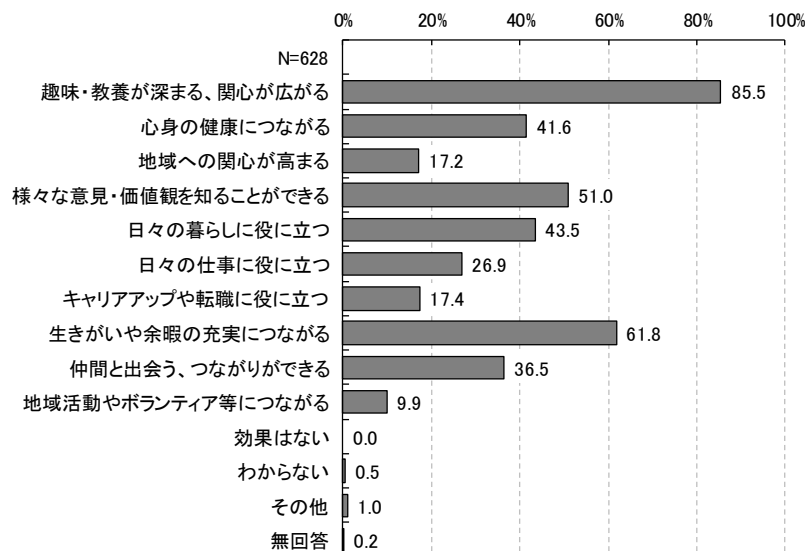


図72

〇周辺自治体と比較すると、「生きがいや余暇の充実につながる」と「様々な意見・価値観を知ることができる」は多く、「日々の仕事に役に立つ」と「キャリアアップや転職に役に立つ」、「仲間と出会う、つながりができる」は少なくなっています。

2. 生涯学習施策の評価・ニーズについて

問11 あなたは、武蔵野市の生涯学習のための施設や事業に関して、次の事柄を実感することはありますか。項目①～⑥について実感しているかどうかを教えてください。（各項目につき○は1つつつ）

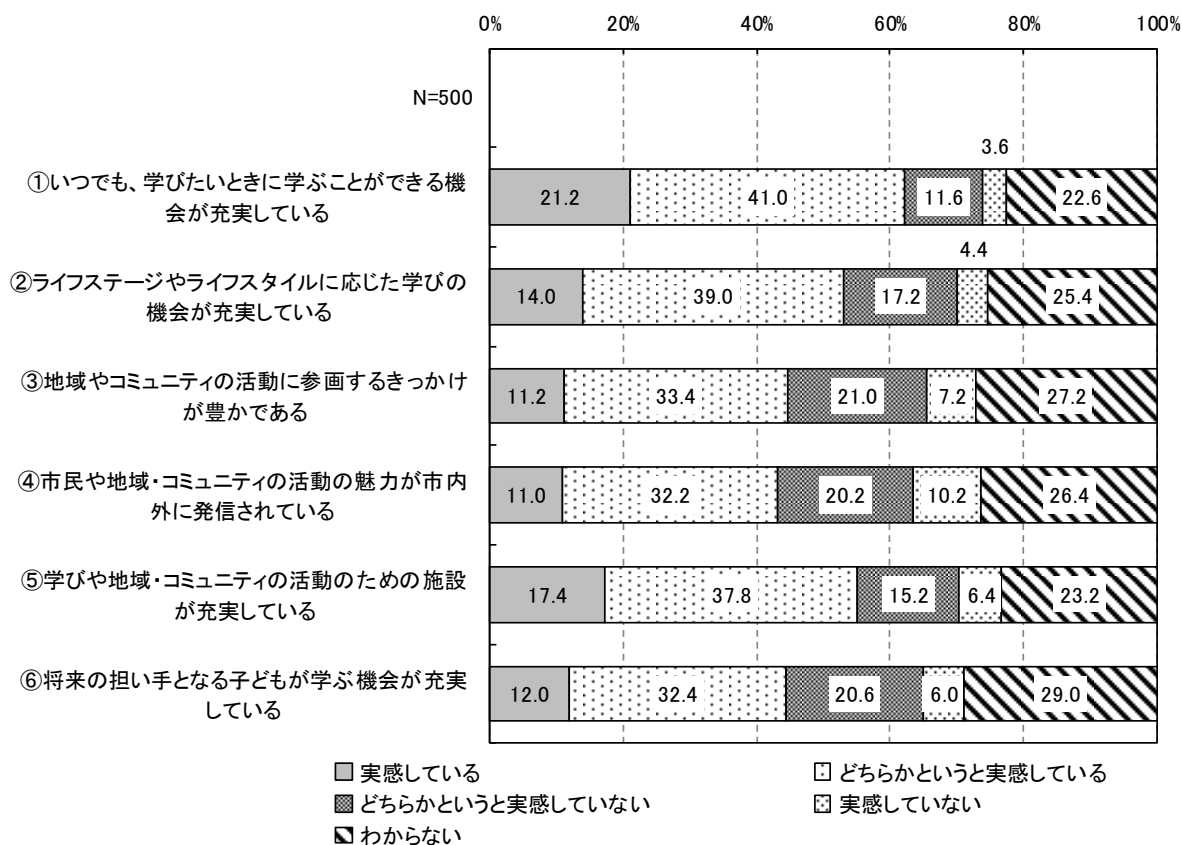


図73

○「いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している」、「ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している」、「学びや地域・コミュニティの活動のための施設が充実している」については、「実感している」と「どちらかというと実感している」の合計が5割を上回っています。

○そのほか、3つの項目についても「実感している」と「どちらかというと実感している」の合計は4割以上となっています。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け) との比較

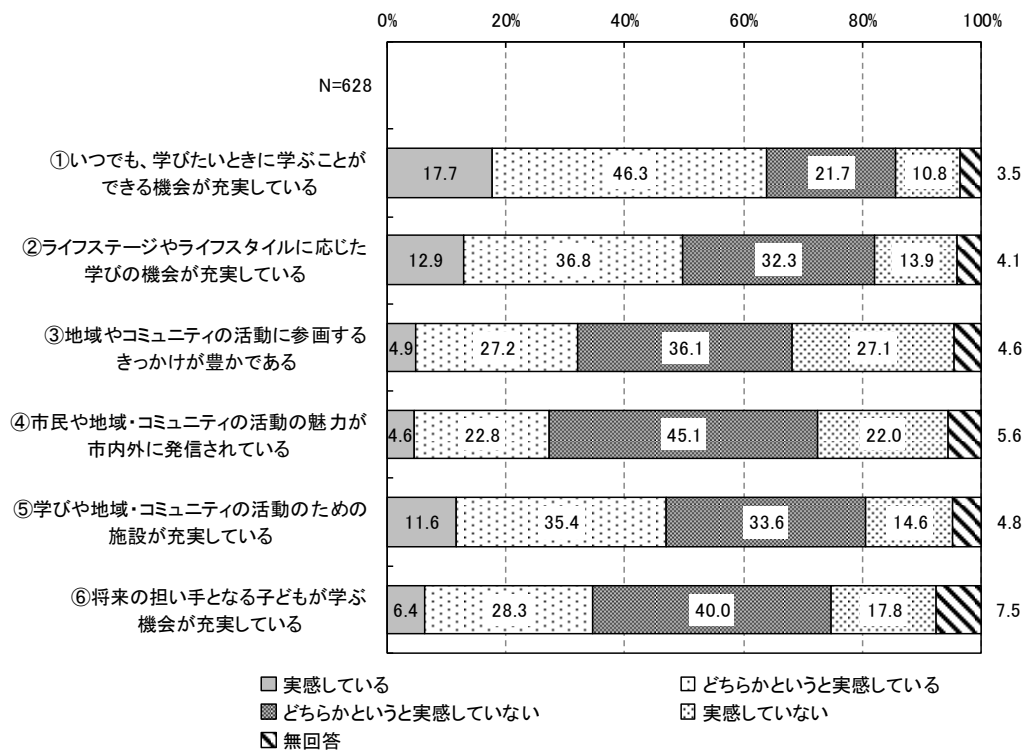


図74

○周辺自治体と比較すると、「地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが豊かである」と「市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている」については、周辺自治体の住民の方が評価されています。

問12「生涯学習」⁴と聞いて、あなたが思い浮かべるイメージについて、お答えください。(〇はいくつでも)

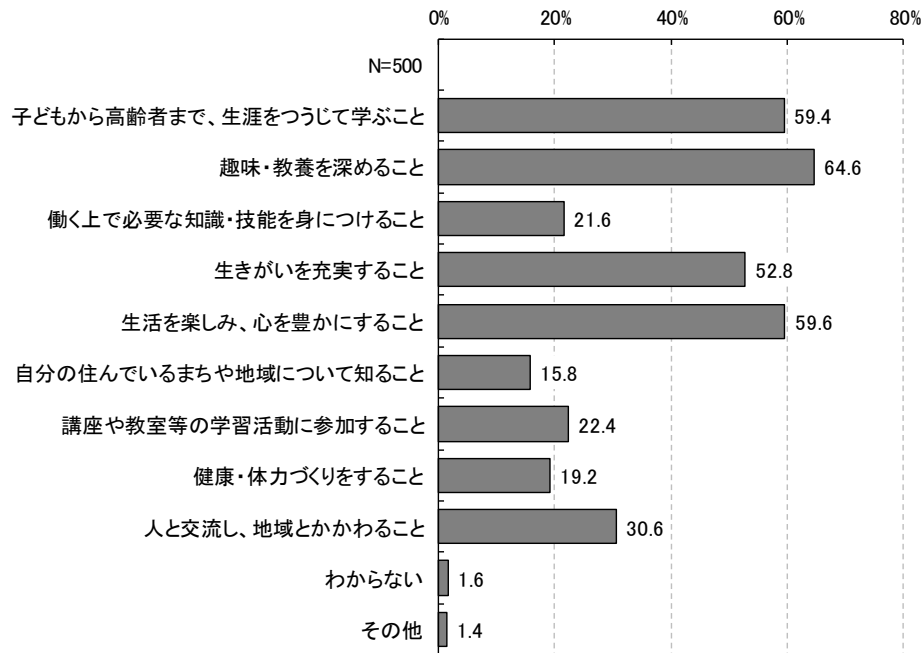


図75

〇「趣味・教養を深めること」が64.6%で最も多く、ついで「生活を楽しむ、心を豊かにすること」が59.6%、「子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと」が59.4%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け) との比較

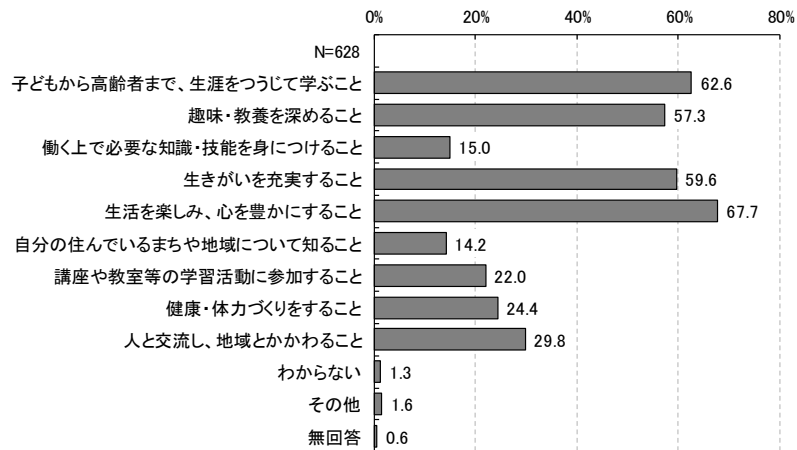


図76

〇周辺自治体と比較すると、「生活を楽しむ、心を豊かにすること」は多く、「働く上で必要な知識・技能を身につけること」は少なくなっています。

⁴ 問12以降は、調査画面にて、生涯学習を「生涯学習とは、市民が生涯にわたり、いつでも自由に学習機会を選んで学ぶことを言います。生涯学習には、学校教育、社会教育、芸術・文化、地域やまちづくり、スポーツ、ボランティアなどの活動も含まれます。」と定義しています。

問13 自治体が生涯学習の機会を提供する際に重視すべきことはどのようなことだと思いますか。
(〇はいくつでも)

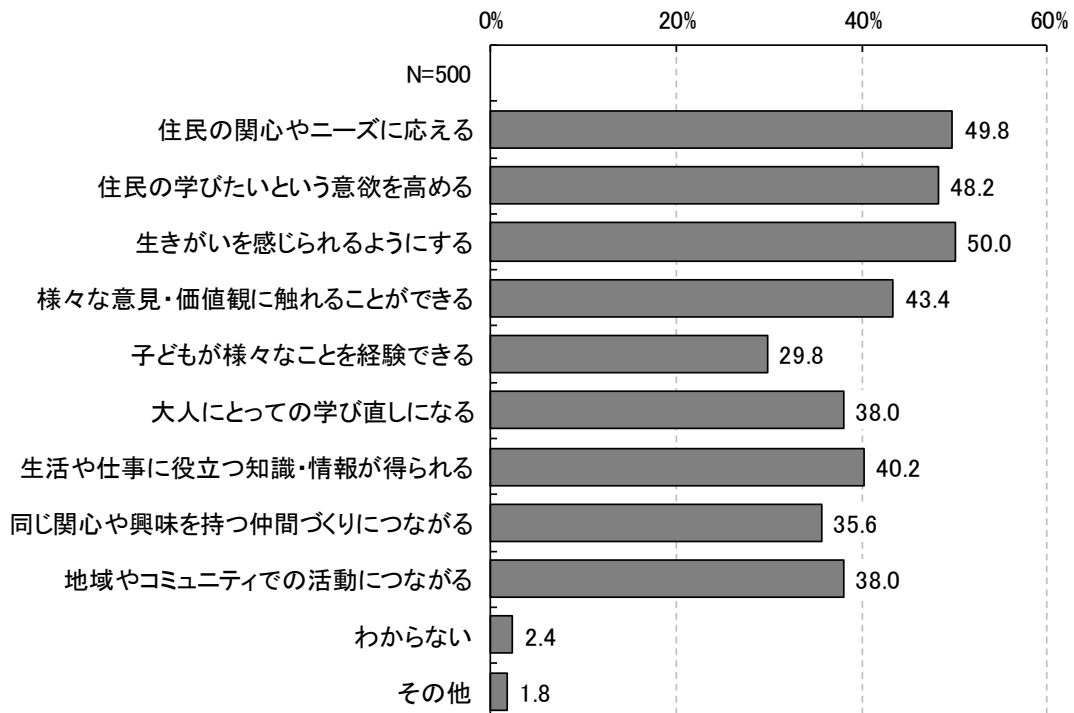


図77

○「生きがいを感じられるようにする」が50.0%で最も多く、ついで「住民の関心やニーズに応える」が49.8%、「住民の学びたいという意欲を高める」が48.2%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)との比較

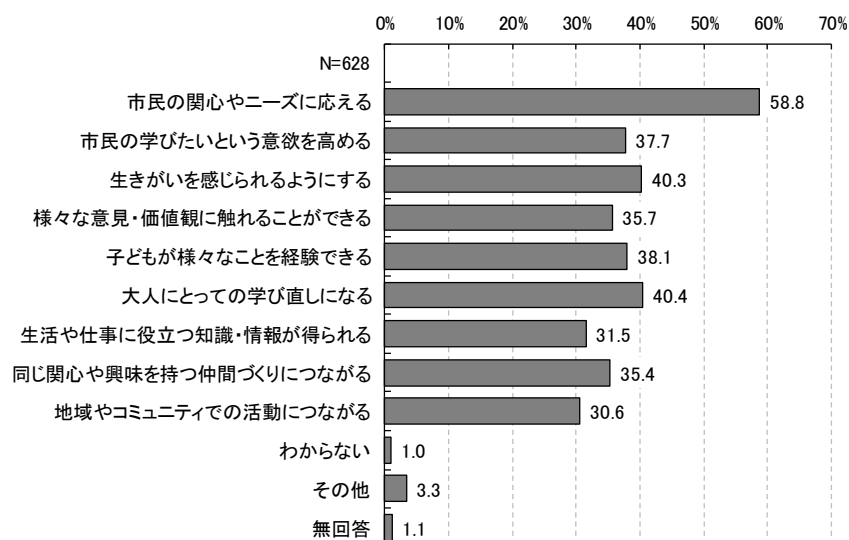


図78

○周辺自治体と比較すると、「市民の関心やニーズに応える」は多く、「市民の学びたいという意欲を高める」と「生きがいを感じられるようにする」、「生活や仕事に役立つ知識・情報が得られる」、「地域やコミュニティでの活動につながる」は少なくなっています。

問14 自治体が生涯学習の機会を提供することで、まちにどのような効果があると思いますか。(○はいくつでも)

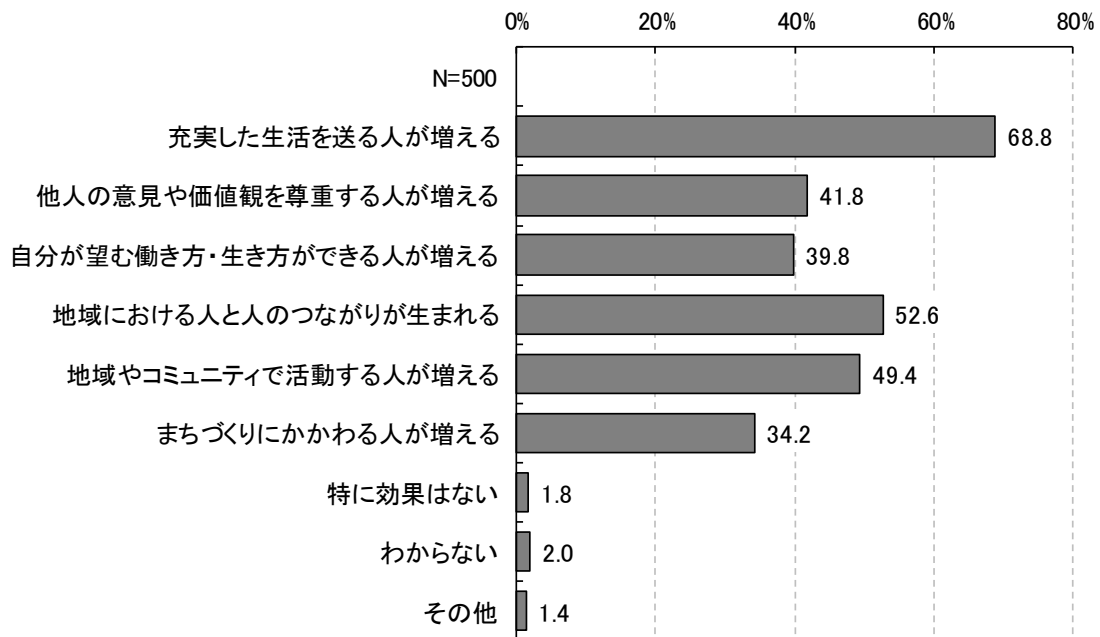


図79

○「充実した生活を送る人が増える」が68.8%で最も多く、ついで「地域における人と人のつながりが生まれる」が52.6%、「地域やコミュニティで活動する人が増える」が49.4%で続きます。

■市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)との比較

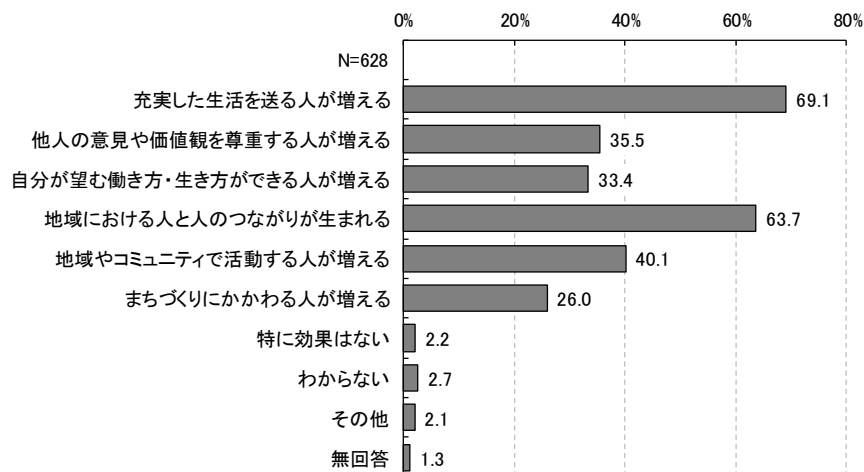


図80

○周辺自治体と比較すると、「地域における人と人のつながりが生まれる」は多く、「地域やコミュニティで活動する人が増える」と「まちづくりにかかわる人が増える」は少なくなっています。

問15 あなたは、次の施設のうち、生涯学習活動をする上で充実していると思う施設はどれですか。
特に充実していると思う3つの施設を選択してください。（○は3つまで）

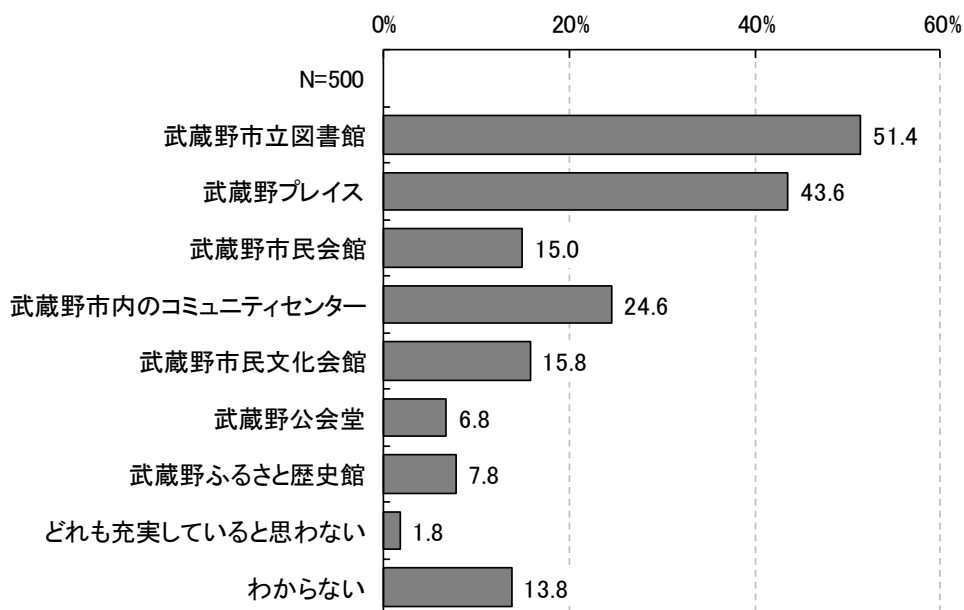


図81

○「武蔵野市立図書館」が51.4%で最も多く、ついで「武蔵野プレイス」が43.6%、「武蔵野市内のコミュニティセンター」が24.6%で続きます。

3. あなた自身について

問16 あなたは、過去1年間において地域や学校の行事等に参加しましたか。(○は1つ)

N=500

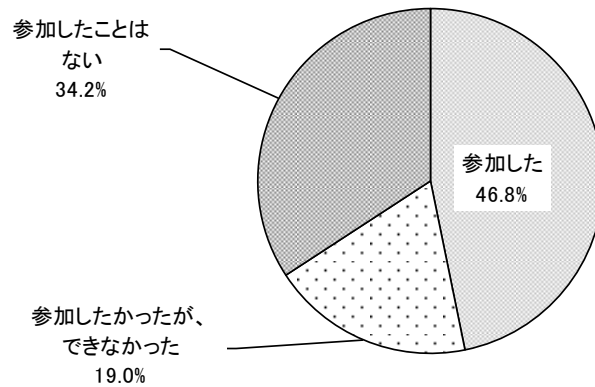


図82

○「参加した」が46.8%で最も多く、ついで「参加したことは無い」が34.2%、「参加したかったが、できなかった」が19.0%で続きます。

問17 あなたは、自分の住むまちの人たちとどのようなつながりがありますか。(○はいくつでも)
※家族や親せき、会社の同僚、学校の同級生は除きます。

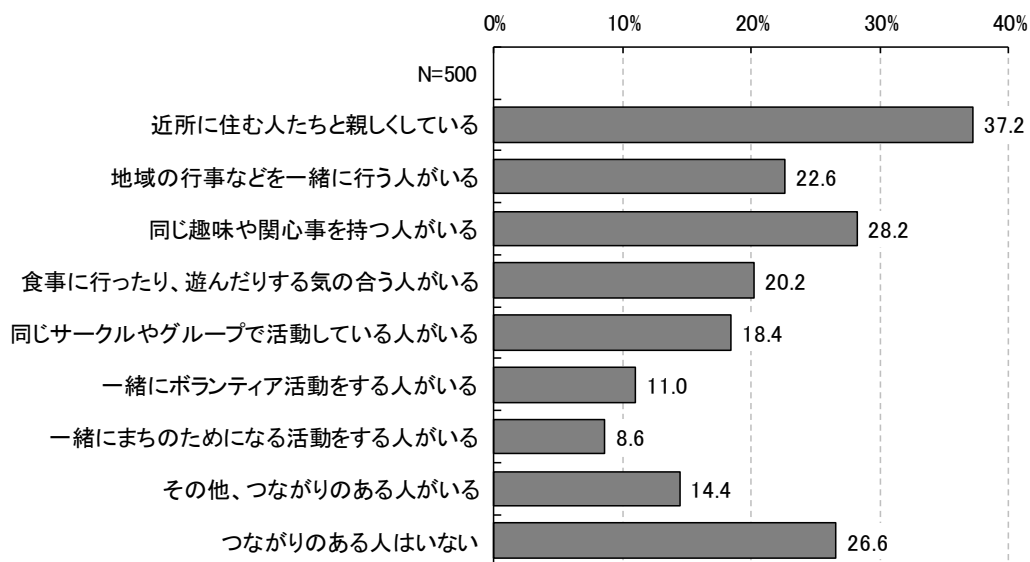


図83

○「近所に住む人たちと親しくしている」が37.2%で最も多く、ついで「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」が28.2%、「つながりのある人はいない」が26.6%で続きます。

○自分の住む自治体の人と何らかのつながりのある人(全体から「つながりのある人はいない」を除いて算出)は73.4%となっています。

問18 あなたは、問17のような地域のつながりがあることで、まちにどのような効果があると思いますか。(〇はいくつでも)

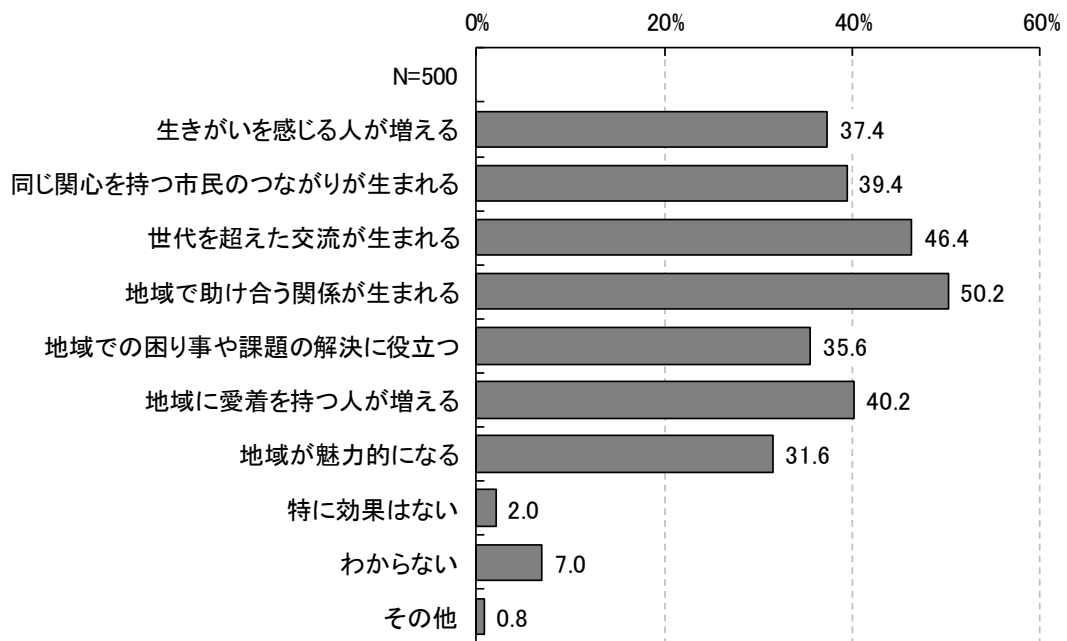


図84

○「地域で助け合う関係が生まれる」が50.2%で最も多く、ついで「世代を超えた交流が生まれる」が46.4%、「地域に愛着を持つ人が増える」が40.2%で続きます。

問 性別

N=500

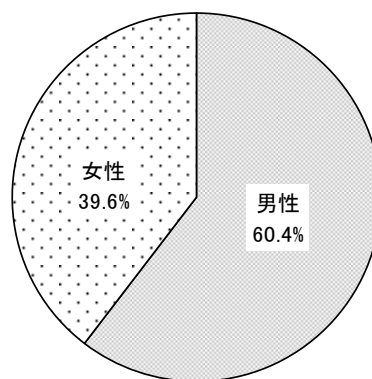


図85

○「男性」が60.4%、「女性」が39.6%となっています。

問 年代

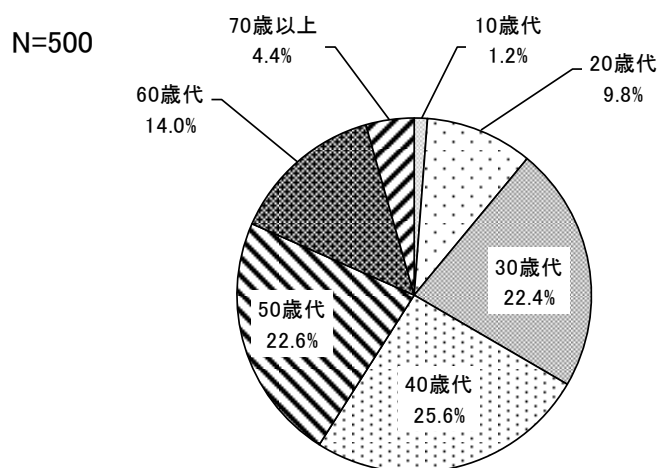


図86

○「40歳代」が25.6%、「50歳代」が22.6%、「30歳代」が22.4%で続きます。

問 居住地

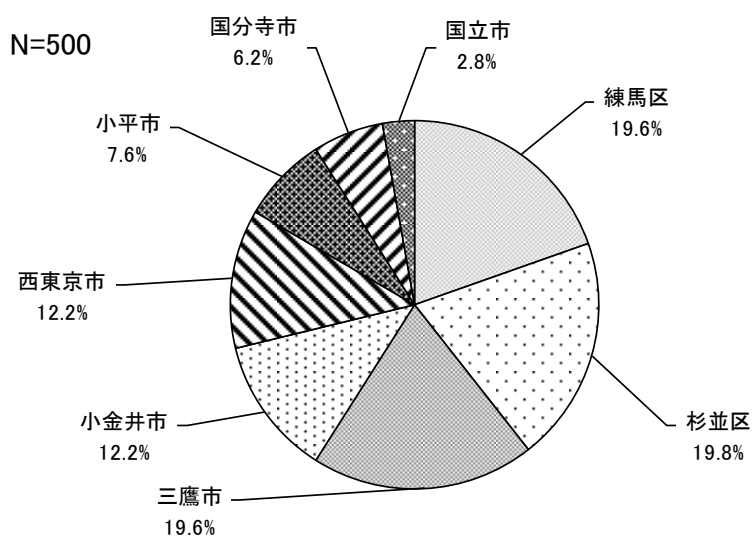


図87

○「杉並区」が19.8%、「練馬区」と「三鷹市」が19.6%、「小金井市」と「西東京市」が12.2%で続きます。

問19 あなたの職業を教えてください。(〇は1つ)

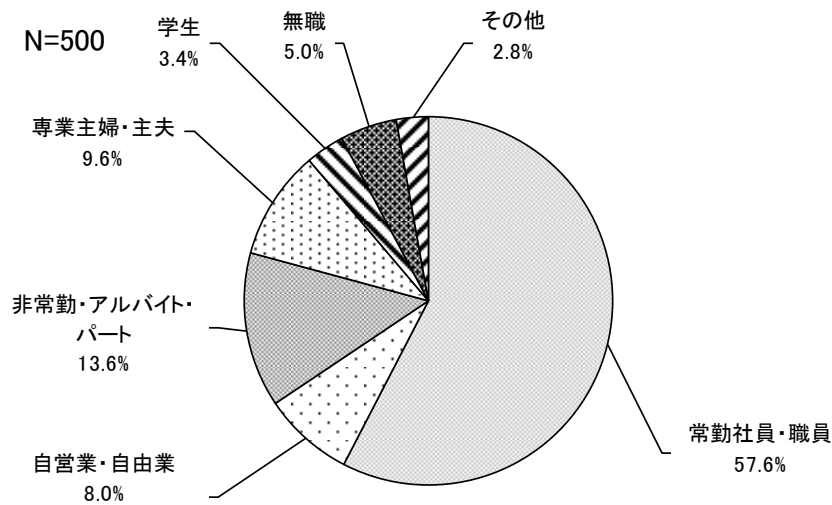


図88

○「常勤社員・職員」が57.6%で最も多く、ついで「非常勤・アルバイト・パート」が13.6%、「専業主婦・主夫」が9.6%で続きます。

問20 あなたは、お子さんはいますか。(〇はいくつでも)

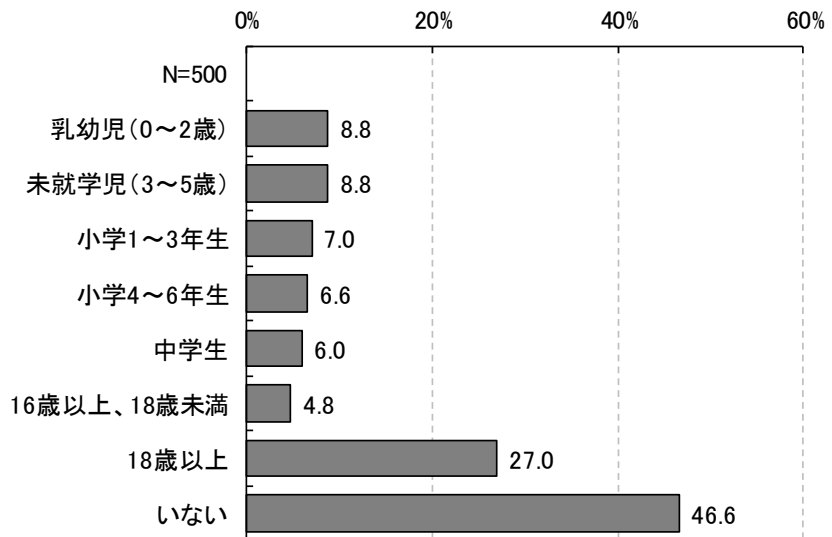


図89

○「いない」が46.6%で最も多く、ついで「18歳以上」が27.0%、「乳幼児(0～2歳)」と「未就学児(3～5歳)」が8.8%で続きます。

4. 子どもの生涯学習について

問21 中学生以上の子どものいる130人が回答しました。

あなたのお子さんは、学校の授業や課外活動、部活動以外で、過去1年間において何かを学んだり、体験する活動をしましたか。(〇はいくつでも)

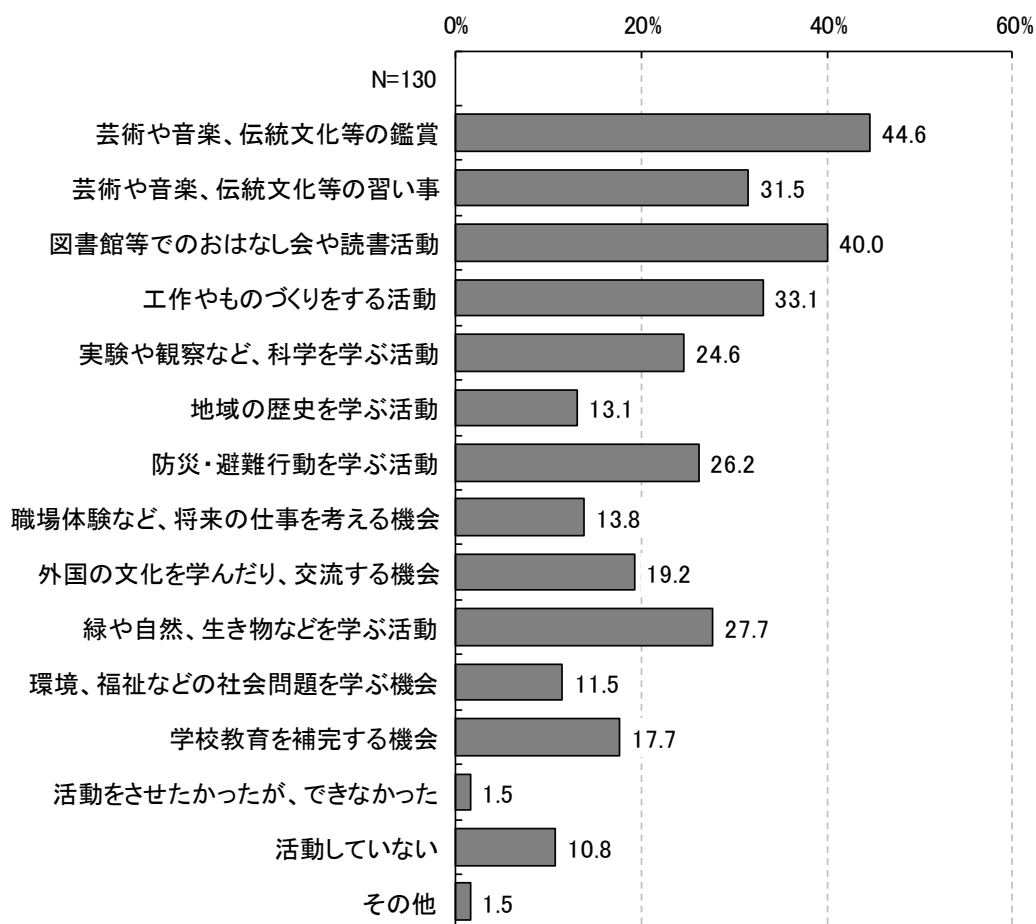


図90

○「芸術や音楽、伝統文化等の鑑賞」が44.6%で最も多く、ついで「図書館等でのおはなし会や読書活動」が40.0%、「工作やものづくりをする活動」が33.1%で続きます。

○過去1年間で何かを学んだり、体験する活動をした子ども(全体から「活動させたかったが、できなかった」と「活動していない」を除いて算出)は87.7%です。

問22 中学生以上の子どもがいる130人が回答しました。

あなた、子どもが生涯学習活動をすることで、どのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

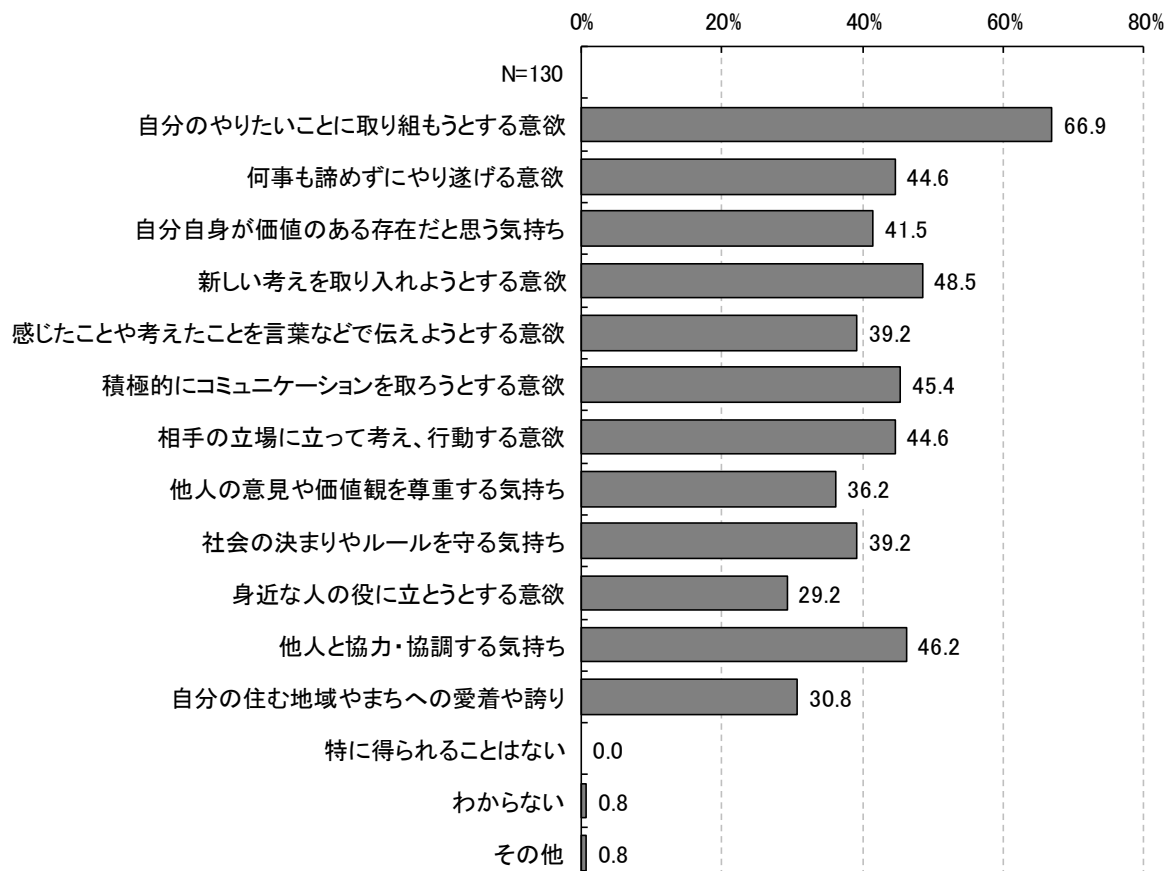


図91

○「自分のやりたいことに取り組もうとする意欲」が66.9%で最も多く、ついで「新しい考えを取り入れようとする意欲」が48.5%、「他人と協力・協調する気持ち」が46.2%で続きます。

第6章 ヒアリング調査結果

1. 武蔵野市民会館運営委員会

(1) ヒアリングの背景

- 長期的な財政予測を見据えながら住民ニーズに対応するため、公共施設を総合的にマネジメントするための「公共施設等総合管理計画」を策定しています。
- 同計画では、市民会館を含む生涯学習施設について、「生涯学習計画などの個別計画を勘案し、集会施設のあり方と整合を取った上で、市民会館を含むすべての生涯学習施設に関する施設整備計画を策定する」と書かれています。
- これを踏まえ、市民会館のあり方を検討するため、市民会館運営委員会に施設の課題や今後の展望について尋ねました。

(2) ヒアリング内容

【市民会館の現状と評価】

- 市民会館運営委員会では、9時から22時まで利用できることで利便性は高く、抽選になるほど利用が多い点が評価されていました。ただし、団体・サークルが繰り返し利用することが多いことから、一般の市民から十分に認知されていないのではないかという指摘もありました。
- このことから幅広い市民が利用できるようになることが課題であり、そのために市民会館の認知を高めていくためのPRも必要になると考えます。
- ヒアリングでは、市民会館の認知向上のための方策として、広く市民が訪れる用途で市民会館を使うことで、市民会館を利用しない人も訪れる機会をつくることで、施設を知ってもらうようにすることが提案されました。

【今後の展望】

- 今後の展望では、交流機会をつくることも提起されましたが、コミュニティセンターのような機能よりも、生涯学習のための施設であることを重視した方がよいという意見がありました。また、市民会館が独自に学習機会をつくる方が望ましいという指摘もありました。
- そのほか、市民会館に設置された男女平等推進センターや、武蔵境周辺に立地する武蔵野ふるさと歴史館や武蔵野プレイスと、それぞれの特長を活かして連携することが望ましいという提案もありました。
- ただし、施設利用率が高いなか、市民会館自主事業を実施することで利用できる施設や時間帯が減少することについては懸念が示されました。
- たしかに、ヒアリングで得られた意見を実現しようとする際には、市民会館における貸館と自主事業のバランスについて配慮する必要があります。また、事業企画や運営のための体制についても検討することが必要となります。

【必要な市の施策】

- 市民が気軽に市民会館に入ってくるきっかけとして、子ども向けの絵本コーナーも含め、カフェなどの飲食・談話ができるスペースの設置を希望する意見がありました。

2. 武蔵野市文化財保護委員・歴史公文書等管理委員

(1) ヒアリングの背景

- 武蔵野ふるさと歴史館についても、「公共施設等総合管理計画」を踏まえ、施設のあり方を検討する必要があります。
- それにくわえて、武蔵野ふるさと歴史館は、現在の武蔵野市生涯学習計画の策定後に設置された施設であることから、改定に際しては計画に役割を明記する必要があります。
- そのため、同館の設立に際して構想・計画について協議し、現在も意見をいただいている武蔵野市文化財保護委員・歴史公文書等管理委員にヒアリングを行いました。
- また、これからの武蔵野市に求められる文化財行政のあり方についてもヒアリングしています。

(2) ヒアリング内容

【武蔵野ふるさと歴史館の現状と評価】

- 武蔵野市にはこれまで地域の歴史や文化財を保存・発信する施設がなかったことから、武蔵野ふるさと歴史館の設置自体が評価されていました。
- ただ、既存施設の遊休スペースを活用して設置していることから、施設として十分なスペースが確保できていないことが指摘されています。そのほか、文化財の保存のための設備も一層の充実が求められていました。
- 企画展および常設展示に関しては、展示スペースが十分ではないなかで工夫されていると評価されていました。

【現状の課題】

- 実施している事業に対して人員体制が十分ではない印象を持っているという意見がありました。
- また、学芸員及び公文書専門員が配置されているものの、雇用期限が定められた嘱託職員であるため、息長く地域の研究を行い、施設や事業に成果を還元していくサイクルがつかれないことが指摘されていました。
- この現状を踏まえ、専門知識を持った学芸員及び公文書専門員を専任で雇用し、事業企画や文化財の収集・保存の核をつくっていく必要性が指摘されました。
- 武蔵野ふるさと歴史館の運営について議論できるよう、独自に運営協議会を設置することが望ましいという意見がありました。
- 運営協議会は、専門的になりすぎないように、市民の声が反映されるような委員構成が望まれていました。また、文化財の所有者など、歴史館にとってのステークスホルダーが委員となってもよいという意見もありました。
- そのほか、知識やスキルを持った市民が施設の運営や事業に関わることができるよう、職員がうまくコーディネートすることも求められていました。
- 駅から離れた立地であることによって認知や集客が十分に得られていないことへの対応が求められていました。その対応して、インターネット上での情報発信のほか、アクセスする際のサインの充実させるという意見もありました。

【今後の展望】

- 文化財保護法も改正され、保存から活用に展開する動きがあるため、武蔵野市としてもその動向を捉えて取組をしていくとよいという意見がありました。
- 人生100年時代において学び直しがキーワードとなっていることから、武蔵野ふるさと館が学び直しの場になっていくことが期待されていました。
- 若い年代に関しては、歴史好きな若者を取り込んでいく事業企画のほか、大学と連携して文化財の収集・整理にかかわるボランティア活動を展開するという意見もありました。
- 子どもに対してはボランティアの機会やワークショップを通じて地域を知る機会をつくったり、高齢者と対話するような機会をつくれれば、地域に愛着を持つことにつながるという意見もありました。
- アーカイブ機能については、郷土資料を収集している図書館との連携を図るとともに、保存と公開の役割分担を図書館と図ることも検討することも必要だという意見がありました。

【文化財の活用の可能性】

- 市内には原始、古代、江戸時代から戦前・戦中における貴重な文化財も残っていることから、保存・活用を図るべきだという指摘がありました。
- 五日市街道沿いの民家などは、江戸東京たてもの園のように実物のまま保存することも考えられるが、地域性を考慮して、現在の立地において景観とともに保存することが望ましいという意見がありました。
- 保存・活用にあたっては東京都との連携を模索することも視野に入れる必要があるという意見がありました。
- ただ、その場合にも武蔵野市がかなりの費用を拠出する必要があることから、市民に保存する必要を理解してもらうことも重要であるという指摘もありました。そして、そのためには、文化財を歩いて巡るような事業を通じて文化財を身近に感じてもらうなど、PRのための取組が必要だという意見がありました。
- 武蔵野市のみならず、日本の文化財行政においてPRが十分でないことが指摘されました。イギリスでの文化財を舞台とした演劇の上演など、体験として楽しめる催しがあってもよいという意見がありました。また、史資料と関連した食を通じて、歴史に興味を持ってもらうことも可能性があると指摘されました。

3. 障害者団体・ボランティア団体(身体・知的・精神)

(1) ヒアリングの背景

- 文部科学省では、障害者が学校卒業後も障害を通じて教育、文化、スポーツなどに親しむことができるよう、障害者学習推進室が中心となって、障害者の生涯学習の推進に向けた方策を検討されています。
- 背景には、障害者の生涯学習の機会を確保することが規定されている「障害者の権利に関する条約」に平成26(2014)年に批准したこと、そして平成28(2016)年の「障害者差別解消法」の施行が挙げられます⁵。
- 武蔵野市においても障害者が生涯学習に親しむことができることを目指し、障害の当事者およびその支援者にヒアリングを行い、現状と課題について把握しました。

(2) ヒアリングから得られた所見

【生涯学習の取組状況】

- 身体障害者の団体からは、精神的な障壁はあるものの、障害があることによって生涯学習の機会に参加ができなくなることは少ないという意見がありました。
- 特にパラリンピックの開催に向けてスポーツの機会が増えていることが評価されていました。
- 知的障害者の支援団体からは、音楽や美術など、創作的な活動を行う機会に参加することはあるという意見がありました。
- ただ、知的障害者・精神障害者それぞれの支援団体からは、広く参加者を募る学習機会に、健常者とともに参加することは難しいという認識が示されました。

【取り組む上での課題】

- 身体障害者の団体からは、広く参加者を募る学習機会に参加した際に、運営側が障害者の参加を予定していなかったためか、対応に困っている様子が見られたことがあるという意見がありました。
- それを踏まえ、事前に健常者のみを対象にしていることを明記するか、広く参加者を募るのであれば、機会を提供する事業者が障害者が参加することに対する意識や、必要な知識、適切な対応を求める意見がありました。
- 知的障害者の支援団体からは、知的障害者向けの機会が提供されることが望まれていました。さらに障害の程度によって活動できる内容も変わってくることから、障害の程度に応じて細かく対応されていると参加しやすくなるという意見がありました。
- 精神障害者の支援団体からは、障害の性質上、外出することが困難である場合があることが指摘されました。
- 知的障害者・精神障害者の支援団体ともに、障害に対する知識があり、適切な対応ができる人材を、機会提供の場に配置することが求められていました。

⁵ 「障害者の権利に関する条約」では、教育に関して規定する第24条に、「締約国は、教育についての障害者の権利を認める。締約国は、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、障害者を包括するあらゆる段階の教育制度及び生涯学習を確保する。」などの条文があります。

【生涯学習に対するニーズ】

- 身体障害者の団体からは、障害に応じた機会提供よりも、既存の機会に参加しやすいよう人材の配置などの配慮が求められていました。
- 知的障害者の支援団体からは、障害の程度に応じて参加できる機会が求められたとともに、音楽や創作活動などの機会であれば参加しやすいだろうという意見がありました。
- 知的障害者の支援団体からは、施設等が機会を提供するのではなく、障害者団体・ボランティア団体が会員向けに機会を提供する上で施設が活用しやすくなるとよいという意見がありました。
- 精神障害者の支援団体からは、外出することがケアの一環であることから、市民文化会館などでの公演に際して、一部の席を精神障害者向けに用意するなどの配慮があれば参加しやすくなるという意見がありました。
- そのほか、精神障害者の支援団体からは、ケアの一環としてスポーツなどの機会があるとよいという意見もありましたが、参加へのハードルを下げる工夫の必要性が指摘されました。また、広く参加者を募る機会への参加は難しい場合があることから、個別の機会が求められていました。

第7章 調査票

1. 市民の学びに関するアンケート調査(市民向け)

市民の学びに関するアンケート調査

日頃より、本市の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

武蔵野市教育委員会では、平成31年度に「武蔵野市生涯学習計画」の改定を予定しています。それにあたり、市民の皆様の日頃の学習活動や地域での活動の現状、今後のニーズなどをお聞きし、計画へと反映するためのアンケートを実施します。

本調査は、無作為に抽出した武蔵野市に住民登録のある18歳以上の方(平成30年8月1日現在)2,500名にお送りしております。

調査は無記名で行い、結果は統計的に処理いたしますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れることはございません。ご多忙とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答にあたってのお願い

1. アンケートは、封筒の宛名のご本人が回答ください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお考えを聞きながら記入ください。
2. 回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。(○は1つ)(○はいくつでも)のように指定されている通り○をつけてください。
3. 「その他」など、選択肢に()がついているものを選んだ場合は、()の中にその内容を具体的に記入してください。

回答したアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、**9月12日(水)まで**にポストにご投函ください(切手を貼る必要はありません)。なお、調査の内容などについて、分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課
電話 0422(60)1902

平成30年8月
武蔵野市教育委員会

1. 学びや調べ事への関心や行動について

問1 あなたは、何かを学ぶことや、調べることなどに関心がありますか。(○は1つ)

- 1 関心がある
- 2 どちらかというと関心がある
- 3 どちらかというと関心がない
- 4 関心がない

問2 あなたにとって、何かを学んだり、調べたりすることの効果は何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 趣味・教養が深まる、関心が広がる | 8 生きがいや余暇の充実につながる |
| 2 心身の健康につながる | 9 仲間と出会う、つながりができる |
| 3 地域への関心が高まる | 10 地域活動やボランティア等につながる |
| 4 様々な意見・価値観を知ることができる | 11 効果はない |
| 5 日々の暮らしに役に立つ | 12 わからない |
| 6 日々の仕事に役に立つ | 13 その他 |
| 7 キャリアアップや転職に役に立つ | () |

問3 あなたは、過去1年間において、学校や勤務先以外で何かを自主的に学んだことはありますか。(○は1つ)

(例: 読書やウェブサイトの検索・閲覧、習い事、教室・講座への参加など。)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 学んだことがある | → P.2～3 問4～8へ |
| 2 学びたかったが、できなかった | } → P.4 問9へ |
| 3 学んだことはない | |

問4 問3で「1」を選択した方に伺います。

あなたが何かを学んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 趣味・教養を深めたり、関心を広げるため | 8 仲間づくりのため |
| 2 様々なことを体験したいため | 9 地域やコミュニティの活動のため |
| 3 日々の暮らしに役立てるため | 10 ボランティアやNPOの活動のため |
| 4 日々の仕事に役立てるため | 11 子どもに影響されたから |
| 5 キャリアアップや転職のため | 12 人づきあいのなかで触発されたから |
| 6 生きがいや余暇の充実のため | 13 その他 |
| 7 健康・体力づくりのため | () |

問5 問3で「1」を選択した方に伺います。

あなたは、どのように学びましたか。(○はいくつでも)

- 1 本を読んで
- 2 ウェブサイトで検索・閲覧して
- 3 ラジオ・テレビの講座
- 4 市主催の教室・講座
- 5 コミュニティセンターの行事
- 6 市内・近郊の大学の公開講座
- 7 民間の教室・講座
- 8 サークルやグループなどでの活動
- 9 その他()

問6 問3で「1」を選択した方に伺います。

あなたは、どこで学ぶことが多かったですか。最も多く使った場所を選択してください。(○は1つ)

※「2 市の公共施設」を選択した場合は、施設名を記入してください(例:武蔵野プレイス、中央図書館など)

- 1 自宅
- 2 市の公共施設(施設名:)
- 3 その他、市内
- 4 市外

問7 問3で「1」を選択した方に伺います。

あなたは、過去1年間に学んだことを今後も学び続けたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 学び続けたいと思う
- 2 学び続けたいと思わない
- 3 わからない

問8 問3で「1」を選択した方に伺います。

あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。

(○はいくつでも)

- 1 家族や友人、知人に学んだことを伝えた
- 2 家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた
- 3 仕事や家事などに役立てた
- 4 地域やコミュニティの活動に役立てた
- 5 伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった
- 6 そのようなことはしていない

問9 問3で「2」「3」を選択した方に伺います。

過去1年間で、あなたが何かを学ばなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 費用がかかる
- 2 仕事や家事が忙しくて時間がない
- 3 自分の希望する種類の講座や教室がない
- 4 学ぶための場所が近くにない
- 5 教えてくれる人がいない
- 6 一緒に学習や活動する仲間がいない
- 7 子どもや親等の世話をしてくれる人がいない
- 8 家族や職場など周囲の理解を得にくい
- 9 何を学んでよいかわからない
- 10 必要な情報が入手しづらい
- 11 特に必要に迫られなかった
- 12 何かを学びたいと思わない
- 13 その他()

問10から問17は、全員が回答してください。

問10 あなたは、今後、何かを自主的に学び始めようと思いますか。(○は1つ)

- 1 学び始めようと思う
- 2 学びたいことができれば、始めようと思う
- 3 何かを学ぼうとは思わない
- 4 わからない

問11 あなたは、自主的に学んだり、調べたりするようになるためには何が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 仕事や家庭で必要に迫られる
- 2 キャリアアップ等、仕事に役に立つ
- 3 学び、調べるための場所が身近にある
- 4 魅力のある教室や講座を知る
- 5 魅力のある講師・指導者に出会う
- 6 一緒に学ぶ仲間と出会う
- 7 仲間同士で教えあい、学びあう機会がある
- 8 あまり費用がかからずにできる
- 9 初めてでも気軽に参加できる機会がある
- 10 地域やコミュニティでの活動に参加する
- 11 本人の意志や意欲による
- 12 わからない
- 13 その他()

2. 生涯学習施策の評価・ニーズについて

問12 あなたは、日々の生活のなかで次の事柄について実感することはありますか。項目①～⑥について実感しているかどうかを教えてください。（各項目につき○は1つずつ）

項目	実感している	どちらかという 実感している	どちらかという 実感していない	実感していない
① いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している	1	2	3	4
② ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している	1	2	3	4
③ 地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが豊かである	1	2	3	4
④ 市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている	1	2	3	4
⑤ 学びや地域・コミュニティの活動のための施設が充実している	1	2	3	4
⑥ 将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している	1	2	3	4

問13 「生涯学習」と聞いて、あなたが思い浮かべるイメージについて、お答えください。

（○はいくつでも）

- 1 子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと
- 2 趣味・教養を深めること
- 3 働く上で必要な知識・技能を身につけること
- 4 生きがいを充実すること
- 5 生活を楽しみ、心を豊かにすること
- 6 自分の住んでいるまちや地域について知ること
- 7 講座や教室等の学習活動に参加すること
- 8 健康・体力づくりをすること
- 9 人と交流し、地域とかかわること
- 10 わからない
- 11 その他（

）

本調査における「生涯学習」の定義

問14以降、設問文に「生涯学習」という用語を用いていますが、次の意味のように定義しています。
生涯学習とは、市民が生涯にわたり、いつでも自由に学習機会を選んで学ぶことを言います。生涯学習には、学校教育、社会教育、芸術・文化、地域やまちづくり、スポーツ、ボランティアなどの活動も含まれます。

問14 あなたは、市が生涯学習の機会を提供する際に重視するべきことはどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 市民の関心やニーズに応える
- 2 市民の学びたいという意欲を高める
- 3 生きがいを感じられるようにする
- 4 様々な意見・価値観に触れることができる
- 5 子どもが様々なことを経験できる
- 6 大人にとっての学び直しになる
- 7 生活や仕事に役立つ知識・情報が得られる
- 8 同じ関心や興味を持つ仲間づくりにつながる
- 9 地域やコミュニティでの活動につながる
- 10 わからない
- 11 その他()

問15 あなたは、高齢者が学ぶために、市に行ってほしいことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 図書館等の市の施設に通いやすくする
- 2 高齢者向けの教室・講座を増やす
- 3 自主的な活動を支援する
- 4 グループへの参加や立ち上げを支援する
- 5 地域やコミュニティでの活動機会をつくる
- 6 ボランティアやNPOでの活動機会をつくる
- 7 デイサービスや福祉施設での学習機会を充実させる
- 8 気軽に立ち寄れる居場所を充実させる
- 9 世代や障害の有無に関わらず交流できる機会をつくる
- 10 わからない
- 11 市が取り組むことはない
- 12 その他()

問16 あなたは、市が生涯学習の機会を提供することで、まちにどのような効果があると思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 充実した生活を送る人が増える
- 2 他人の意見や価値観を尊重する人が増える
- 3 自分が望む働き方・生き方ができる人が増える
- 4 地域における人と人のつながりが生まれる
- 5 地域やコミュニティで活動する人が増える
- 6 まちづくりにかかわる人が増える
- 7 特に効果はない
- 8 わからない
- 9 その他()

問17 あなたは、生涯学習をする上で、重要な施設はどれだと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 市立図書館
- 2 武蔵野プレイス
- 3 市民会館
- 4 コミュニティセンター
- 5 文化施設(市民文化会館、公会堂等)
- 6 武蔵野ふるさと歴史館
- 7 市内の小・中学校
- 8 市内・近郊の大学
- 9 どれも重要だと思わない
- 10 その他()

次のページにも設問は続きます。ひきつづきよろしくお願いします。

3. 子どもの生涯学習について

以下の設問は、中学生以下の子どもがいる方が回答してください。該当しない方は、P.10の「4. あなた自身について」にお進みください。

※複数のお子さんがある場合は、最も年上のお子さんについて回答してください。

問18 あなたのおさんは、学校の授業や課外活動、部活動以外で、過去1年間において何かを学んだり、体験する活動をしましたか。(○はい/×でも)

※習い事で取り組んでいる場合も含みます。

- 1 芸術や音楽、伝統文化等の鑑賞
- 2 芸術や音楽、伝統文化等の習い事
- 3 図書館等でのおはなし会や読書活動
- 4 工作やものづくりをする活動
- 5 実験や観察など、科学を学ぶ活動
- 6 地域の歴史を学ぶ活動
- 7 職場体験など、将来の仕事を考える機会
- 8 外国の文化を学んだり、交流する機会
- 9 緑や自然、生き物などを学ぶ活動
- 10 環境、福祉などの社会問題を学ぶ機会
- 11 学校教育を補完する機会
- 12 活動をさせたかったが、できなかった
- 13 活動していない
- 14 その他()

問19 問18で「12」「13」を選択した方に伺います。

あなたのおさんが、学んだり、体験活動をしていない理由は何ですか。(○はい/×でも)

- 1 お金がかかるから
- 2 身近に体験・活動できる機会がないから
- 3 保護者が仕事で忙しくて時間がないから
- 4 保護者が家事・育児で忙しくて時間がないから
- 5 幼稚園・保育園、学校以外で学んだり、体験する必要性を感じないから
- 6 子どもの学びや体験のための機会について情報が少ないから
- 7 どのように活動させてよいかわからないから
- 8 子どもが関心を示さないから
- 9 保護者や子どもの健康上の理由から
- 10 特に理由はない
- 11 その他()

問20 あなたが、子どものために、市が提供した方がよいと思う機会をすべて選択してください。

(○はいくつでも)

- 1 芸術や音楽、伝統文化等を鑑賞する機会
- 2 芸術や音楽、伝統文化等の創作・表現を体験する機会
- 3 おはなし会や読書をする機会
- 4 工作やものづくりをする機会
- 5 実験や観察など、科学を学ぶ機会
- 6 地域の歴史を学ぶ機会
- 7 職場体験など、将来の仕事を考える機会
- 8 外国の文化を学んだり、交流する機会
- 9 緑や自然、生き物などに触れあう機会
- 10 環境、福祉などの社会問題を学ぶ機会
- 11 授業の補習や塾の代替となる機会
- 12 学校では得られない高度な学びを体験する機会
- 13 わからない
- 14 市が提供する必要はない
- 15 その他()

問21 あなたは、子どもが生涯学習活動をすることで、どのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

- 1 自分のやりたいことに取り組もうとする意欲
- 2 何事も諦めずにやり遂げる意欲
- 3 自分自身が価値のある存在だと思える気持ち
- 4 新しい考えを取り入れようとする意欲
- 5 感じたことや考えたことを言葉などで伝えようとする意欲
- 6 より高度な学びへの意欲
- 7 積極的にコミュニケーションを取ろうとする意欲
- 8 相手の立場に立って考え、行動する意欲
- 9 他人の意見や価値観を尊重する気持ち
- 10 社会の決まりやルールを守る気持ち
- 11 身近な人の役に立とうとする意欲
- 12 他人と協力・協調する気持ち
- 13 自分の住む地域やまちへの愛着や誇り
- 14 特に得られることはない
- 15 わからない
- 16 その他()

4. あなた自身について

問22 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

※本調査では性別は「男性」「女性」の二択で尋ねていますが、回答したくない場合やいずれも該当しない場合は、選択しなくても構いません。

- | |
|------|
| 1 男性 |
| 2 女性 |

問23 あなたの年齢を教えてください。平成30年8月1日時点の年齢を記入してください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1 20歳未満 | 5 35～39歳 | 9 55～59歳 | 13 75～79歳 |
| 2 20～24歳 | 6 40～44歳 | 10 60～64歳 | 14 80歳以上 |
| 3 25～29歳 | 7 45～49歳 | 11 65～69歳 | |
| 4 30～34歳 | 8 50～54歳 | 12 70～74歳 | |

問24 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-------|--------|
| 1 吉祥寺東町 | 6 中町 | 11 境 |
| 2 吉祥寺南町 | 7 西久保 | 12 境南町 |
| 3 御殿山 | 8 緑町 | 13 桜堤 |
| 4 吉祥寺本町 | 9 八幡町 | |
| 5 吉祥寺北町 | 10 関前 | |

問25 あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------|
| 1 常勤社員・職員 | 5 学生 |
| 2 自営業・自由業 | 6 無職 |
| 3 非常勤・アルバイト・パート | 7 その他 |
| 4 専業主婦・主夫 | |

問26 あなたは、お子さんはいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 乳幼児(0～2歳) | 5 中学生 |
| 2 未就学児(3～5歳) | 6 16歳以上、18歳未満 |
| 3 小学1～3年生 | 7 18歳以上 |
| 4 小学4～6年生 | 8 いない |

問27 あなたは、仕事や学業、家事等のほか、趣味や自分の楽しみのために使える時間が十分取れていると思いますか。(○は1つ)

- 1 十分取れている
- 2 どちらかといえば取れている
- 3 あまり取れていない
- 4 ほとんど取れていない

問28 あなたは、趣味や自分の楽しみのために使えるお金が十分得られていると思いますか。(○は1つ)

- 1 十分得られている
- 2 どちらかといえば得られている
- 3 あまり得られていない
- 4 ほとんど得られていない

問29 あなたは、過去1年間に於いて地域や学校の行事等に参加しましたか。(○は1つ)

- 1 参加した
- 2 参加したかったが、できなかった
- 3 参加したことはない

問30 あなたは、市内に住む方たちとどのようなつながりがありますか。(○はいくつでも)

※家族や親せき、会社の同僚、学校の同級生は除きます。

- 1 近所に住む人たちと親しくしている
- 2 地域の行事などを一緒に行う人がある
- 3 同じ趣味や関心事を持つ人がある
- 4 食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がある
- 5 同じサークルやグループで活動している人がある
- 6 一緒にボランティア活動をする人がある
- 7 一緒にまちのためになる活動をする人がある
- 8 その他のつながりのある人がある
- 9 つながりのある人はいない

問31 あなたは、問30のような地域のつながりがあることで、まちにどのような効果があると思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 生きがいを感じる人が増える
- 2 同じ関心を持つ市民のつながりが生まれる
- 3 世代を超えた交流が生まれる
- 4 地域で助け合う関係が生まれる
- 5 地域での困り事や課題の解決に役立つ
- 6 地域に愛着を持つ人が増える
- 7 地域が魅力的になる
- 8 特に効果はない
- 9 わからない
- 10 その他()

問32 武蔵野市の生涯学習に関する取組について、何か意見がありましたら自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

回答したアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、**9月12日(水)まで**にポストにご投函ください(切手を貼る必要はありません)。

来年度の「武蔵野市生涯学習計画」策定にあたっては、議論の経過をホームページ等で公開いたしますので、ぜひご意見をお寄せください。

2. 市民の学びに関するアンケート調査(団体向け)

市民の学びに関するアンケート調査

日頃より、本市の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

武蔵野市教育委員会では、平成31年度に「武蔵野市生涯学習計画」の改定を予定しています。それにあたり、社会教育関係団体として登録いただいている団体の皆様の日頃の活動やニーズなどをお聞きし、計画へと反映するためのアンケートを実施します。

調査は無記名で行い、結果は統計的に処理いたしますので、団体名などの情報が外部に漏れることはありません。ご多忙とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答にあたってのお願い

1. アンケートは、封筒の宛名の団体の代表の方が回答してください。なお、代表の方が記入できない場合は、代理の方などが代表者のお考えを聞きながら記入してください。
2. 回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。(○は1つ)(○はいくつでも)のように指定されている通り○をつけてください。
3. 「その他」など、選択肢に()がついているものを選んだ場合は、()の中にその内容を具体的に記入してください。

回答したアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、**10月24日(水)まで**にポストにご投函ください(切手を貼る必要はありません)。なお、調査の内容などについて、分からないことがありましたら、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課
電話 0422(60)1902

平成30年9月
武蔵野市教育委員会

団体について

問1 貴団体の活動年数を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 1年未満 | 4 10年以上、15年未満 |
| 2 1年以上、5年未満 | 5 15年以上、20年未満 |
| 3 5年以上、10年未満 | 6 20年以上 |

問2 貴団体の会員は、おおよそどの年代の方が多いですか。(○は1つ)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳代

問3 貴団体の会員数は、現在、どのくらいですか。(○は1つ)

1 10名未満	6 50名以上、70名未満
2 10名以上、20名未満	7 70名以上、100名未満
3 20名以上、30名未満	8 100名以上、200名未満
4 30名以上、40名未満	9 200名以上、300名未満
5 40名以上、50名未満	10 300名以上

問4 貴団体として最も多く活動しているテーマはどちらになりますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1 文化・芸術鑑賞(音楽、美術、映画などの鑑賞) |
| 2 文化・芸術活動(音楽、茶道、舞踏などの活動) |
| 3 教養的なもの(文学、歴史、自然科学など) |
| 4 スポーツ |
| 5 家庭生活に役立つ技能(料理、和・洋裁など) |
| 6 福祉・環境・防災などの地域活動 |
| 7 語学 |
| 8 国際交流・異文化理解 |
| 9 同期・同業者等による学習会 |
| 10 子育て・親子活動 |
| 11 郷土史や文化財に関する活動 |
| 12 パソコン・インターネット |
| 13 その他() |

問5 貴団体は、現在、主にどのような形態や方法で活動を行っていますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1 外部講師を呼んでの学習 |
| 2 会員どうしによる自主学習 |
| 3 技術習得・向上のための練習・稽古 |
| 4 鑑賞や見学 |
| 5 会員どうしの交流・懇親や情報交換 |
| 6 一般市民も対象とした公開講座・公演会の開催 |
| 7 発表会・展示会などの企画や参加 |
| 8 試合・大会などの企画や参加 |
| 9 地域のイベントへの企画や参加 |
| 10 その他() |

問6 貴団体は、下記の活動について、それぞれどのような場所で、どのくらい活動をおこなっていますか。(頻度、時間帯については○は1つ、場所については○はいくつでも)

① 日常的な活動(練習、イベントの準備など)	頻 度	1 月に1回以内	3 月に4・5回
		2 月に2・3回	4 月に6回以上
	時間帯	1 平日(午前)	4 土曜(午前)
		2 平日(午後)	5 土曜(午後)
② イベント的な活動(発表会・大会など)		3 平日(夜間)	6 土曜(夜間)
		7 日曜・祝日(午前)	8 日曜・祝日(午後)
		9 日曜・祝日(夜間)	
	場 所	1 市内のコミュニティセンター 2 市内の小中学校 3 市民会館 4 武蔵野ふるさと歴史館 5 武蔵野プレイス 6 市立図書館 7 その他、市内の文化施設(市民文化会館・公会堂・美術館など) 8 商工会館 9 総合体育館・グラウンド 10 市内の大学施設 11 公園 12 個人宅 13 その他()	

問7 貴団体が、生涯学習をしている一番の目的は何ですか。(○は1つ)

- 1 趣味を豊かにするため
- 2 教養を高めるため
- 3 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため
- 4 現在の仕事や将来の就職等に役立てるため
- 5 広く世の中のことを知るため
- 6 自由時間を有効に活用するため
- 7 健康・体力づくりのため
- 8 家庭・日常生活を良くするため
- 9 日常生活や人生を有意義にするため
- 10 地域を良くするため
- 11 その他()

問8 貴団体は、生涯学習をつうじて身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。
(○はいくつでも)

- 1 会員の人生をより豊かにしている
- 2 会員の健康の維持・増進に役立てている
- 3 仕事や就職、学校生活に活かしている
- 4 資格取得に役立てている
- 5 日常生活や地域での活動に活かしている
- 6 ボランティア活動に活かしている
- 7 学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしている
- 8 その他()

問9 貴団体が、生涯学習に関する活動をおこなううえで困っていることはありますか。次のなかから、
あてはまることをお選びください。(○はいくつでも)

- 1 費用がかかる
- 2 時間をつくりづらい
- 3 適切な指導者や講師がいない
- 4 適当な活動場所が近くにない
- 5 適当な活動場所を確保しづらい
- 6 成果を活かす場や機会が少ない
- 7 新たな会員等の確保が難しい
- 8 リーダーや役員のなり手がいない
- 9 人間関係が難しい
- 10 活動の目標等の共有化が図りにくい
- 11 十分な情報が得られない
- 12 情報発信ができない
- 13 その他()

問10 貴団体が、今後、生涯学習に関する活動をおこなううえで、活動内容を広げたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|--|
| 1 広げたいと思う | |
| 2 いまのままでよい | |
| 3 その他() | |

問11 貴団体は、地域の他の団体(他の社会教育団体、PTA、商店会など)や個人との交流がありますか。次のなかから、あてはまることを選びください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1 イベント等と一緒に行動するなどの交流がある |
| 2 イベント等のお知らせをするなどの交流がある |
| 3 会員募集やイベントなどのPRをしてもらえるなどの交流がある |
| 4 場所を借りるなどの交流がある |
| 5 講師になる・なってもらうなどの交流がある |
| 6 協賛・寄付してもらうなどの交流がある |
| 7 特にない |

問12 今後、地域の他の団体や個人と協力(協働)しながら、どのような生涯学習に関する活動してみたいですか。また、できると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------|
| 1 お互いの交流や仲間づくり |
| 2 一緒に成果を発表しあう場をもつ |
| 3 活動場所を共同利用する |
| 4 講師・指導者や活動者を紹介しあう |
| 5 備品等の貸し借りをする |
| 6 一緒にイベントの企画・準備をする |
| 7 イベント当日に参加協力する |
| 8 活動に関する情報の交換をする |
| 9 広報・PRの協力をする |
| 10 その他() |
| 11 特にない |

問13 市と協力(協働)しながら、どのような生涯学習に関する活動をしてみたいですか。また、できる
と思いますか。(○はい/×でも)

- | | | |
|----|------------------|---|
| 1 | 交流や仲間づくりのための場をもつ | |
| 2 | 学習成果の発表の場をもつ | |
| 3 | 活動場所をお互いに提供しあう | |
| 4 | 講師・指導者や活動者を紹介しあう | |
| 5 | 備品等の貸し借りをする | |
| 6 | 一緒にイベントの企画・準備をする | |
| 7 | イベント当日に参加協力する | |
| 8 | 活動に関する情報提供・収集をする | |
| 9 | 広報・PRの協力をする | |
| 10 | その他(|) |
| 11 | 特になし | |

問14 団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思いますか。
(○はい/×でも)

- | | | |
|---|-----------------------|---|
| 1 | 武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報 | |
| 2 | 都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報 | |
| 3 | 民間のおこなう講座・教室等の情報 | |
| 4 | 地域のグループ・団体などの活動に関する情報 | |
| 5 | 講師や指導者などの人材情報 | |
| 6 | 施設の利用に関する情報 | |
| 7 | 各種助成に関する情報 | |
| 8 | 団体の運営などの各種相談に関する情報 | |
| 9 | その他(|) |

問15 市では、社会教育関係団体の活動に対する支援をおこなっています。次のうち、知っているもの、または利用したことがあるものをお選びください。（各項目について○は1つずつ）

項目	説明	知らない	知っているが、利用したことはない	利用したことがある
①社会教育事業への講師謝礼の援助	団体が公開で（一般市民の参加を受け入れて）おこなう自主的事业に対し、講師謝礼の一部を援助します。	1	2	3
②社会教育事業への後援（名義使用の承認）	団体が公開で（一般市民の参加を受け入れて）おこなう自主的事业に対し、教育委員会が後援します。	1	2	3
③社会教育学習のための借上バスの補助金	団体が行なう事業で学習活動に必要な場合、借上バスの一部を補助します。	1	2	3
④学校施設使用時の使用料の減免	市内小中学校施設を使用する場合の利用料を減免します。	1	2	3
⑤市民会館施設使用時の使用料の減免	市民会館を使用する場合の利用料を減免します。	1	2	3
⑥市のホームページやサークルガイド(冊子)による団体紹介	団体の情報を市のホームページやサークルガイド(冊子)に掲載し、市民に情報提供します。	1	2	3

問16 貴団体として、問15の項目①～⑥の支援のうち、利用したいと思うものはありますか。利用したいと思うものをお選びください。（○はいくつでも）

※利用の有無にかかわらず、お選びください。

1	社会教育事業への講師謝礼の援助
2	社会教育事業への後援(名義使用の承認)
3	社会教育学習のための借上バスの補助金
4	学校施設使用時の使用料の減免
5	市民会館施設使用時の使用料の減免
6	市のホームページやサークルガイド(冊子)による団体紹介
7	どれも利用したいと思わない

(○はいくつでも)

- 1 団体どうしの連携の機会の充実
- 2 地域との連携の機会の充実
- 3 大学・企業などとの連携の機会の充実
- 4 民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介
- 5 団体の活動に関する広報・PR
- 6 市がおこなう催しの企画・運営への参加の促進
- 7 生涯学習に関する情報提供の充実
- 8 生涯学習に関する相談機能の充実
- 9 その他（

問18 その他、武蔵野市の生涯学習に関するご意見をご自由にお書きください。

[illegible]

来年度の「武蔵野市生涯学習計画」策定にあたっては、議論の経過をホームページ等で公開いたしますので、ぜひご意見をお寄せください。

3. 武蔵野市周辺住民の学びに関するアンケート調査

SC1
必須

あなたは、過去1年間において、学校や勤務先以外で何かを自主的に学んだことはありますか。
(例：読書やウェブサイトの検索・閲覧、習い事、教室・講座への参加など。)

☐

1.学んだことがある

☐

2.学びたかったが、できなかった

☐

3.学んだことはない

SC2
必須

あなたは、これまでに何かを学ぶために次の施設を使ったことはありますか。
また、あなたは、過去1年間において、何かを学ぶために次の施設を使ったことはありますか。
(いくつでも)

※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。
※項目2は、項目1で回答したものの中からお選びください。

↓

a. これまでに何かを学ぶために使った施設

b. 過去1年間において、何かを学ぶために使った施設

1. 武蔵野市立図書館

☐

☐

2. 武蔵野プレイス

☐

☐

3. 武蔵野市民会館

☐

☐

4. 武蔵野市内のコミュニティセンター

☐

☐

5. 武蔵野市民文化会館

☐

☐

6. 武蔵野公会堂

☐

☐

7. 武蔵野ふるさと歴史館

☐

☐

8. その他武蔵野市の公共施設

☐

☐

(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

9. どれも利用したことはない

☐

☐

(排他)

SC3
必須

あなたのお住まいをお答えください。

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> 1.千代田区 | <input type="radio"/> 22.葛飾区 | <input type="radio"/> 43.東久留米市 |
| <input type="radio"/> 2.中央区 | <input type="radio"/> 23.江戸川区 | <input type="radio"/> 44.武蔵村山市 |
| <input type="radio"/> 3.港区 | <input type="radio"/> 24.八王子市 | <input type="radio"/> 45.多摩市 |
| <input type="radio"/> 4.新宿区 | <input type="radio"/> 25.立川市 | <input type="radio"/> 46.稲城市 |
| <input type="radio"/> 5.文京区 | <input type="radio"/> 26.武蔵野市 | <input type="radio"/> 47.羽村市 |
| <input type="radio"/> 6.台東区 | <input type="radio"/> 27.三鷹市 | <input type="radio"/> 48.あきる野市 |
| <input type="radio"/> 7.墨田区 | <input type="radio"/> 28.青梅市 | <input type="radio"/> 49.西東京市 |
| <input type="radio"/> 8.江東区 | <input type="radio"/> 29.府中市 | <input type="radio"/> 50.西多摩郡瑞穂町 |
| <input type="radio"/> 9.品川区 | <input type="radio"/> 30.昭島市 | <input type="radio"/> 51.西多摩郡日の出町 |
| <input type="radio"/> 10.目黒区 | <input type="radio"/> 31.調布市 | <input type="radio"/> 52.西多摩郡檜原村 |
| <input type="radio"/> 11.大田区 | <input type="radio"/> 32.町田市 | <input type="radio"/> 53.西多摩郡奥多摩町 |
| <input type="radio"/> 12.世田谷区 | <input type="radio"/> 33.小金井市 | <input type="radio"/> 54.大島町 |
| <input type="radio"/> 13.渋谷区 | <input type="radio"/> 34.小平市 | <input type="radio"/> 55.利島村 |
| <input type="radio"/> 14.中野区 | <input type="radio"/> 35.日野市 | <input type="radio"/> 56.新島村 |
| <input type="radio"/> 15.杉並区 | <input type="radio"/> 36.東村山市 | <input type="radio"/> 57.神津島村 |
| <input type="radio"/> 16.豊島区 | <input type="radio"/> 37.国分寺市 | <input type="radio"/> 58.三宅島三宅村 |
| <input type="radio"/> 17.北区 | <input type="radio"/> 38.国立市 | <input type="radio"/> 59.御蔵島村 |
| <input type="radio"/> 18.荒川区 | <input type="radio"/> 39.福生市 | <input type="radio"/> 60.八丈島八丈町 |
| <input type="radio"/> 19.板橋区 | <input type="radio"/> 40.狛江市 | <input type="radio"/> 61.青ヶ島村 |
| <input type="radio"/> 20.練馬区 | <input type="radio"/> 41.東大和市 | <input type="radio"/> 62.小笠原村 |
| <input type="radio"/> 21.足立区 | <input type="radio"/> 42.清瀬市 | <input type="radio"/> 63.その他の地域 |

Q1
必須

あなたが、何かを学ぶために武蔵野市の施設を利用したのはなぜですか。
(いくつでも)

- ☐ 1.自宅や職場、学校からアクセスしやすいから
- ☐ 2.学ぶために適当なスペースがあるから
- ☐ 3.居心地のよいスペースがあるから
- ☐ 4.学びたい資料やコンテンツがあるから
- ☐ 5.参加したい教室・講座があるから
- ☐ 6.同じ施設を利用する仲間がいるから
- ☐ 7.所属するサークルやグループが利用するから
- ☐ 8.特に理由はない(排他)
- ☐ 9.その他

Q2
必須

あなたが過去1年間において、何かを学んだ理由は何ですか。
(いくつでも)

- | | |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.趣味・教養を深めたり、関心を広げるため | <input type="checkbox"/> 8.仲間づくりのため |
| <input type="checkbox"/> 2.様々なことを体験したいため | <input type="checkbox"/> 9.地域やコミュニティの活動のため |
| <input type="checkbox"/> 3.日々の暮らしに役立てるため | <input type="checkbox"/> 10.ボランティアやNPOでの活動のため |
| <input type="checkbox"/> 4.日々の仕事に役立てるため | <input type="checkbox"/> 11.子どもに影響されたから |
| <input type="checkbox"/> 5.キャリアアップや転職のため | <input type="checkbox"/> 12.人づきあいのなかで触発されたから |
| <input type="checkbox"/> 6.生きがいや余暇の充実のため | <input type="checkbox"/> 13.その他 |
| <input type="checkbox"/> 7.健康・体力づくりのため | |

Q3 必須 あなたは、過去1年間に、どのように学びましたか。
(いくつでも)

- ☐ 1.本を読んで
- ☐ 2.ウェブサイトで検索・閲覧して
- ☐ 3.ラジオ・テレビの講座
- ☐ 4.自分の住む自治体が主催の教室・講座
- ☐ 5.近所の公民館やコミュニティセンター等での自主的な行事
- ☐ 6.自分の住む自治体以外が主催する教室・講座
- ☐ 7.近隣の大学の公開講座
- ☐ 8.民間の教室・講座
- ☐ 9.サークルやグループなどでの活動
- ☐ 10.その他

Q4 必須 あなたは、過去1年間に学んだことを今後も学び続けたいと思いますか。

- ☐ 1.学び続けたいと思う
- ☐ 2.学び続けたいと思わない
- ☐ 3.わからない

Q5 必須 あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。
(いくつでも)

- ☐ 1.家族や友人、知人に学んだことを伝えた
- ☐ 2.家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた
- ☐ 3.仕事や家事などに役立てた
- ☐ 4.地域やコミュニティの活動に役立てた
- ☐ 5.伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった(排他)
- ☐ 6.そのようなことはしていない(排他)

Q6 必須 あなたは、今後、何かを自主的に学び始めようと思いますか。

- ☐ 1.学び始めようと思う
- ☐ 2.学びたいことができれば、始めようと思う
- ☐ 3.何かを学ぼうとは思わない
- ☐ 4.わからない

Q7 必須 あなたにとって、何かを学んだり、調べたりすることの効果は何だと思いますか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.趣味・教養が深まる、関心が広がる | <input type="checkbox"/> 8.生きがいや余暇の充実につながる |
| <input type="checkbox"/> 2.心身の健康につながる | <input type="checkbox"/> 9.仲間と出会う、つながりができる |
| <input type="checkbox"/> 3.地域への関心が高まる | <input type="checkbox"/> 10.地域活動やボランティア等につながる |
| <input type="checkbox"/> 4.様々な意見・価値観を知ることができる | <input type="checkbox"/> 11.効果はない(排他) |
| <input type="checkbox"/> 5.日々の暮らしに役に立つ | <input type="checkbox"/> 12.わからない(排他) |
| <input type="checkbox"/> 6.日々の仕事に役に立つ | <input type="checkbox"/> 13.その他 |
| <input type="checkbox"/> 7.キャリアアップや転職に役に立つ | |

Q8 必須 あなたは、武蔵野市の生涯学習のための施設や事業に関して、次の事柄を実感することはありますか。

項目1～6について実感しているかどうかを教えてください。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

		1. 実感している	2. どちらかというと実感している	3. どちらかというと実感していない	4. 実感していない	5. わからない
						
1. いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが豊かである	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 学びや地域・コミュニティの活動のための施設が充実している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q9 必須 「生涯学習」と聞いて、あなたが思い浮かべるイメージについて、お答えください。（いくつでも）

- | | |
|----------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 子どもから高齢者まで、生涯をつうじて学ぶこと | <input type="checkbox"/> 7. 講座や教室等の学習活動に参加すること |
| <input type="checkbox"/> 2. 趣味・教養を深めること | <input type="checkbox"/> 8. 健康・体力づくりをすること |
| <input type="checkbox"/> 3. 働く上で必要な知識・技能を身につけること | <input type="checkbox"/> 9. 人と交流し、地域とかかわること |
| <input type="checkbox"/> 4. 生きがいを充実すること | <input type="checkbox"/> 10. わからない(排他) |
| <input type="checkbox"/> 5. 生活を楽しみ、心を豊かにすること | <input type="checkbox"/> 11. その他 |
| <input type="checkbox"/> 6. 自分の住んでいるまちや地域について知ること | |

Q10 必須

本調査における「生涯学習」の定義
これより、設問文に「生涯学習」という用語を用いていますが、次の意味のように定義しています。

生涯学習とは、住民が生涯にわたり、いつでも自由に学習機会を選んで学ぶことを言います。生涯学習には、学校教育、社会教育、芸術・文化、地域やまちづくり、スポーツ、ボランティアなどの活動も含まれます。

自治体が生涯学習の機会を提供する際に重視するべきことはどのようなことだと思いますか。（いくつでも）

- | | |
|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 住民の関心やニーズに応える | <input type="checkbox"/> 7. 生活や仕事に役立つ知識・情報が得られる |
| <input type="checkbox"/> 2. 住民の学びたいという意欲を高める | <input type="checkbox"/> 8. 同じ関心や興味を持つ仲間づくりにつながる |
| <input type="checkbox"/> 3. 生きがいを感じられるようにする | <input type="checkbox"/> 9. 地域やコミュニティでの活動につながる |
| <input type="checkbox"/> 4. 様々な意見・価値観に触れることができる | <input type="checkbox"/> 10. わからない(排他) |
| <input type="checkbox"/> 5. 子どもが様々なことを経験できる | <input type="checkbox"/> 11. その他 |
| <input type="checkbox"/> 6. 大人にとっての学び直しになる | |

Q11 必須 自治体が生涯学習の機会を提供することで、まちにどのような効果があると思いますか。
(いくつでも)

- ☐ 1.充実した生活を送る人が増える
- ☐ 2.他人の意見や価値観を尊重する人が増える
- ☐ 3.自分が望む働き方・生き方ができる人が増える
- ☐ 4.地域における人と人のつながりが生まれる
- ☐ 5.地域やコミュニティで活動する人が増える
- ☐ 6.まちづくりにかかわる人が増える
- ☐ 7.特に効果はない(排他)
- ☐ 8.わからない(排他)
- ☐ 9.その他

Q12 必須 あなたは、次の施設のうち、生涯学習活動をする上で充実していると思う施設はどれですか。
特に充実していると思う3つの施設を選択してください。
(3つまで)

- ☐ 1.武蔵野市立図書館
- ☐ 2.武蔵野プレイス
- ☐ 3.武蔵野市民会館
- ☐ 4.武蔵野市内のコミュニティセンター
- ☐ 5.武蔵野市民文化会館
- ☐ 6.武蔵野公会堂
- ☐ 7.武蔵野ふるさと歴史館
- ☐ 8.どれも充実していると思わない(排他)
- ☐ 9.わからない(排他)

Q13 必須 あなたは、過去1年間に於いて地域や学校の行事等に参加しましたか。

- ☐ 1.参加した
- ☐ 2.参加したかったが、できなかった
- ☐ 3.参加したことはない

Q14 必須 あなたは、自分の住むまちの人たちとどのようなつながりがありますか。
(いくつでも)

※家族や親せき、会社の同僚、学校の同級生は除きます。

- ☐ 1.近所に住む人たちと親しくしている
- ☐ 2.地域の行事などを一緒に行う人がいる
- ☐ 3.同じ趣味や関心事を持つ人がいる
- ☐ 4.食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる
- ☐ 5.同じサークルやグループで活動している人がいる
- ☐ 6.一緒にボランティア活動をする人がいる
- ☐ 7.一緒にまちのためになる活動をする人がいる
- ☐ 8.その他、つながりのある人がいる
- ☐ 9.つながりのある人はいない(排他)

Q15 必須 あなたは、前問のような地域のつながりがあることで、まちにどのような効果があると思いますか。
(いくつでも)

- ☐ 1.生きがいをを感じる人が増える
- ☐ 2.同じ関心を持つ市民のつながりが生まれる
- ☐ 3.世代を超えた交流が生まれる
- ☐ 4.地域で助け合う関係が生まれる
- ☐ 5.地域での困り事や課題の解決に役立つ
- ☐ 6.地域に愛着を持つ人が増える
- ☐ 7.地域が魅力的になる
- ☐ 8.特に効果はない(排他)
- ☐ 9.わからない(排他)
- ☐ 10.その他

Q16 必須 あなたの職業を教えてください。

- ☐ 1.常勤社員・職員
- ☐ 2.自営業・自由業
- ☐ 3.非常勤・アルバイト・パート
- ☐ 4.専業主婦・主夫
- ☐ 5.学生
- ☐ 6.無職
- ☐ 7.その他

Q17 必須 あなたは、お子さんはいますか。
(いくつでも)

- ☐ 1.乳幼児 (0～2歳)
- ☐ 2.未就学児 (3～5歳)
- ☐ 3.小学1～3年生
- ☐ 4.小学4～6年生
- ☐ 5.中学生
- ☐ 6.16歳以上、18歳未満
- ☐ 7.18歳以上
- ☐ 8.いない(排他)

Q18 必須 あなたのお子さんは、学校の授業や課外活動、部活動以外で、過去1年間において何かを学んだり、体験する活動をしましたか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.芸術や音楽、伝統文化等の鑑賞 | <input type="checkbox"/> 9.外国の文化を学んだり、交流する機会 |
| <input type="checkbox"/> 2.芸術や音楽、伝統文化等の習い事 | <input type="checkbox"/> 10.緑や自然、生き物などを学ぶ活動 |
| <input type="checkbox"/> 3.図書館等でのおはなし会や読書活動 | <input type="checkbox"/> 11.環境、福祉などの社会問題を学ぶ機会 |
| <input type="checkbox"/> 4.工作やものづくりをする活動 | <input type="checkbox"/> 12.学校教育を補完する機会 |
| <input type="checkbox"/> 5.実験や観察など、科学を学ぶ活動 | <input type="checkbox"/> 13.活動をさせたかったが、できなかった(排他) |
| <input type="checkbox"/> 6.地域の歴史を学ぶ活動 | <input type="checkbox"/> 14.活動していない(排他) |
| <input type="checkbox"/> 7.防災・避難行動を学ぶ活動 | <input type="checkbox"/> 15.その他 |
| <input type="checkbox"/> 8.職場体験など、将来の仕事を考える機会 | |

Q19 あなたは、子どもが生涯学習活動をすることで、どのようなことを期待しますか。
必須 (いくつでも)

- | | |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.自分のやりたいことに取り組もうとする意欲 | <input type="checkbox"/> 9.社会の決まりやルールを守る気持ち |
| <input type="checkbox"/> 2.何事も諦めずにやり遂げる意欲 | <input type="checkbox"/> 10.身近な人の役に立とうとする意欲 |
| <input type="checkbox"/> 3.自分自身が価値のある存在だと思う気持ち | <input type="checkbox"/> 11.他人と協力・協調する気持ち |
| <input type="checkbox"/> 4.新しい考えを取り入れようとする意欲 | <input type="checkbox"/> 12.自分の住む地域やまちへの愛着や誇り |
| <input type="checkbox"/> 5.感じたことや考えたことを言葉などで伝えようとする意欲 | <input type="checkbox"/> 13.特に得られることはない (排他) |
| <input type="checkbox"/> 6.積極的にコミュニケーションを取ろうとする意欲 | <input type="checkbox"/> 14.わからない (排他) |
| <input type="checkbox"/> 7.相手の立場に立って考え、行動する意欲 | <input type="checkbox"/> 15.その他 |
| <input type="checkbox"/> 8.他人の意見や価値観を尊重する気持ち | |

生涯学習に関する調査報告書

平成31年3月

武蔵野市教育委員会 生涯学習スポーツ課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

電話 0422-60-1902

FAX 0422-51-9269
